

## 設置計画の概要

事 項	記 入 欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部の学科の設置
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジン カナサワダイガク 国立大学法人 金沢大学
フリガナ大学の名称	カナサワダイガク 金沢大学 ( Kanazawa University )
新設学部等において養成する人材像	<p><b>【理工学域】</b></p> <p>①養成する人材 国際競争力の向上, 活力ある地域経済社会の構築等の課題に取り組みつつ, 広い視野を持ち, 柔軟な発想力や応用力を持つ学際的知識と国際感覚も備えた, 世界に羽ばたくグローバルな理工系人材の養成</p> <p>②教育研究上の目的 基礎科学と工学の先進的な研究を通して理工学の高度な専門知識を育み, 高い倫理性と豊かな教養を備え, 課題探究能力と国際感覚をもって自然環境と調和のとれた科学と技術の発展を目指し, 新産業・新技術を創出する国際性と発展性・実践力を兼ね備えた高度な技術者・専門人の人材を養成することを目的とする。</p> <p><b>【機械工学類】</b></p> <p>①養成する人材 高度化, 精密化, 知能化, 学際化するものづくりに対して, 自然環境との調和を図りながら工業・産業の広い分野で活躍できる技術者・研究者の養成</p> <p>②教育研究上の目的 学生に以下の能力を修得させる。 &lt;機械創造コース&gt; 機械工学の基幹となる力学系科目を基盤に置き, 加工学, 材料工学, 設計学などの高度な専門分野の学習から得られた知識や思考力を駆使して, 従来の機械の概念を超えた革新的な機械を創造できる能力 &lt;機械数理コース&gt; 数学や物理などの工学の基礎となる科目に加え, 機械設計・制御などの応用・実践的学習により得られた知識や考え方をもとに, 機械工学における新しい技術分野に挑戦し, 斬新なアイデアを意欲的に創成する能力 &lt;エネルギー機械コース&gt; 機械工学の基礎となる力学系科目に加え, エネルギー変換, エネルギーシステム, 省エネルギー, 資源循環などの応用・実践的学習により得られた知識や考え方に基づき, 安全で環境負荷の小さい機械技術を開発・応用し, 持続可能社会の構築と発展に貢献する能力</p> <p>③卒業後の進路 大学院進学, 民間企業(重工業, 自動車, 化学, 機械, 電機, 素材・材料, 情報, 電力等), 公務員等</p> <p><b>【フロンティア工学類】</b></p> <p>①養成する人材 先進的かつ安全な近未来人間社会を創造するために, 電子情報工学, 機械工学, 物質工学の知と技を結集して, ナノの世界から宇宙空間までを対象とした様々な未踏領域を切り拓き, 工学の飛躍的発展を牽引していくエンジニアや研究者の養成</p> <p>②教育研究上の目的 電子情報工学, 機械工学, 物質工学にわたる幅広い専門知識を修め, ナノの世界から宇宙空間や人間社会にわたるまでの様々な未踏領域を切り拓き, グローバルな観点から, 工学の飛躍的な発展と, 近未来社会の創造を牽引していく能力を学生に修得させる。</p> <p>③卒業後の進路 大学院進学, 民間企業(自動車, 重工業, 電機, 化学等)等</p> <p><b>【電子情報通信学類】</b></p> <p>①養成する人材 電気電子・情報通信工学の専門的な知識と技術を基に, これらが必要とされる様々な分野において, 深い洞察力和広い視野により最先端の技術課題を解決し, 高い倫理観を持ちながら, 社会の持続的な発展に貢献できる技術者・研究者の養成</p> <p>②教育研究上の目的 学生に以下の能力を修得させる。 &lt;電気電子コース&gt; 電磁気学, 電気回路及び電子回路などの電気電子分野の基礎学問を学習した上で, 電気エネルギー, 半導体・材料, 電子・光子素子, 集積回路, 制御に係る最先端の技術の基礎知識取得と実践を通じて, 工学のもつ倫理的責任を理解する能力 &lt;情報通信コース&gt; 情報科学・メディア処理・通信に関わる新たなシステムの開発・設計・構築・管理・運用に必要な知識と技術を身につけ, これらの知識と技術を持ちながら工学の持つ社会的責任を自覚し, 創意工夫と新分野開拓を行うことのできる能力</p> <p>③卒業後の進路 大学院進学, 民間企業(電力, 電機, 情報, ソフトウェア, ディスプレイ, 福祉機器・医療機器, 自動車, 機械等), 公務員等</p> <p><b>【地球社会基盤学類】</b></p>

	<p>①養成する人材 地球環境科学及び土木都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識を身に付けた、高度な学理探求を目指す研究者、地球環境の課題解決や人々の豊かな生活と持続的発展を志向する安全で安心な社会の基盤づくりを担う技術者、ならびに次世代の人材育成を担う教育者の養成</p> <p>②教育研究上の目的 学生に以下の能力を修得させる。 ＜土木防災コース＞ 「高度な社会活動を支える社会基盤施設(インフラストラクチャー)の調査・設計・施工・維持管理」に必要な専門的応用能力と、土木防災及び環境都市の幅広い局面に必要な専門基礎学力 ＜環境都市コース＞ 「都市・地域に関わる社会活動の調査・計画」や「都市における環境の維持と廃棄物の処理・再生」に必要な専門的応用能力と、環境都市及び土木防災及び環境都市の幅広い局面に必要な専門基礎学力 ＜地球惑星科学コース＞ 「地球や惑星を構成する物質やその循環」、「地球環境の変遷と生命の歴史」、「地震や火山などの地球・惑星内部や表層のダイナミクス」を理解するために必要となる幅広い専門基礎学力の涵養と多様な実験・分析方法、情報処理能力や調査の技能</p> <p>③卒業後の進路 大学院進学、民間企業(土木、建築、鉄道、電力等)、公務員等</p> <p><b>【生命理工学類】</b></p> <p>①養成する人材 生物学、バイオ工学及びそれらを支援する生命情報学の観点から、生命と生態系システムの構築と作動原理を解き明かす研究者と、水産業を含む様々なバイオ関連産業に貢献する新技術を開発する技術者、及び次世代の人材を育成する教育者の養成</p> <p>②教育研究上の目的 学生に以下の能力を修得させる。 ＜生命システムコース＞ 生命の神秘を解き明かし、人類の幸福に寄与するという目標に向けて、21世紀の社会における地球環境、海洋資源などの課題を解決できる研究者、技術者としての基礎的な能力 ＜海洋生物資源コース＞ 海洋生物、生物資源、環境科学の知識を、社会で必要とされる技術に応用し、持続的社会的実現に貢献する能力 ＜バイオ工学コース＞ 工学的原理を生物学や医学に応用することを通して、医療、エネルギー、環境などの分野で新しい技術と機器を開発する能力</p> <p>③卒業後の進路 大学院進学、民間企業(美容、医療、食品、電力等)、公務員等</p>
<p>既存学部等において養成する人材像</p>	<p><b>【理工学域】</b></p> <p>①養成する人材 自然環境と調和のとれた科学と技術の発展を目指し、人間の知的欲求と科学技術の発展に対応するため、基礎科学と工学の分野を見渡せる場を構築し、広い学問分野での高度な専門能力と高い倫理性、豊かな教養を備え、世界に通用する人材を養成</p> <p>②教育研究上の目的 基礎科学と工学の先進的な研究を通して理工学の高度な専門知識を育み、高い倫理性と豊かな教養を備え、課題探究能力と国際感覚をもって自然環境と調和のとれた科学と技術の発展を目指し、人類の幸福のため世界で活躍する個性輝く人材を養成することを目的とする。</p> <p><b>【数物科学類】</b></p> <p>①養成する人材 現代の科学技術を根底で支えている数学、物理学及び計算科学の教育を通じて、物事に対する根源的な理解と、それを具体的な対象に対して応用し発展させる能力を育み、今日の科学と社会の発展に貢献できる人材の養成</p> <p>②教育研究上の目的 学生に以下の能力を修得させる。 ＜数学コース＞ 数学の学習経験を積む中で、数理的なものの見方、思考法および洞察力を身につけ、教育、情報・通信、金融をはじめ、高度情報化社会の様々な分野で活躍できる能力 ＜物理学コース＞ 物理学の学習経験を積む中で、知識のみならず、広く情報を集め、それらを再構成し、その中から問題を見出し、自ら解決方法を見出す力を身につけ、さらに様々な議論に基づき自分の考えや意見をまとめ、それを適切に他者に伝える能力 ＜計算科学コース＞ 数学・物理学の基礎理論の修得とコンピュータの実習を通じて、基礎科学と応用技術の2つの側面を持つ計算科学を様々な分野に応用できる能力</p> <p>③卒業後の進路 大学院進学、民間企業(製造業、印刷出版業、流通業、ソフトウェア開発等)、公務員等</p> <p><b>【物質化学類】</b></p> <p>①養成する人材 化学を通じて人類が自然と共生しながら持続的に豊かに生きるための科学技術及び文化の発展と充実に貢献することができる人材の養成</p> <p>②教育研究上の目的 学生に以下の能力を修得させる。 ＜化学コース＞ 物質の化学的性質・構造・反応などに関する基礎的原理や実験技術と合わせて広範な自然科学の素養を修得し、未来の科学を支えるために独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち、発見の感動</p>

<p>を味わうことに価値を見いだすことができる能力</p> <p>&lt;応用化学コース&gt;</p> <p>応用化学の研究者および技術者として必要な知識と技術、化学的な思考力・創造力、実際問題への応用能力を修得するとともに、工学倫理や環境に対する責任を自覚し、社会でリーダーシップを発揮できる能力</p> <p>③卒業後の進路</p> <p>大学院進学, 民間企業(化学, 薬品, 医療, 食品, 環境, エネルギー, 電機, 自動車等), 公務員等</p> <p><b>【機械工学類】</b></p> <p>①養成する人材</p> <p>高度化, 精密化, 知能化, 学際化するものづくりに対して, 自然環境や人間社会との調和を図りながら工業・産業の広い分野で活躍できる技術者・研究者の養成</p> <p>②教育研究上の目的</p> <p>学生に以下の能力を修得させる。</p> <p>&lt;機械システムコース&gt;</p> <p>数学や物理などの工学の基礎となる科目を重視した学習により, それから得られた知識や考え方を駆使して新しい機械システムの構築や新たな工学分野を開拓する能力</p> <p>&lt;知能機械コース&gt;</p> <p>機械設計論, 制御理論などの応用・実践的学習により得られた知識や考え方をもとに, 機械工学における新しい技術分野に挑戦し, 斬新なアイデアを意欲的に創成する能力</p> <p>&lt;人間機械コース&gt;</p> <p>人間生活に密接に関わるロボットや医療・健康機器, 介護・福祉機器, 生体や生物の機能に学ぶ機械デザインなどの学習を通して, 人間支援および人間と機械との適合を図る新しい機械技術を創造する能力</p> <p>&lt;エネルギー環境コース&gt;</p> <p>新エネルギー, 省エネルギー, 環境工学, 資源循環論, 環境マネジメントなどの学習を通して, 安全かつ人と社会にやさしい機械技術の持続的な発展に貢献する能力</p> <p>③卒業後の進路</p> <p>大学院進学, 民間企業(重工業, 自動車, 化学, 機械, 電機, 素材・材料, 情報, 電力等), 公務員等</p> <p><b>【電子情報学類】</b></p> <p>①養成する人材</p> <p>電子情報工学の基盤的な専門知識及び専門技術を修得し, 最先端の技術開発を担い, 社会の持続的な発展に貢献できる人材の養成</p> <p>②教育研究上の目的</p> <p>学生に以下の能力を修得させる。</p> <p>&lt;電気電子コース&gt;</p> <p>電磁気学, 電気回路および電子回路といった電気電子分野の基礎を学習した上で, エネルギー技術, 電子・光子技術, 集積回路技術, 制御技術等を身につけ, 工学のもつ倫理的責任を理解する能力</p> <p>&lt;情報システムコース&gt;</p> <p>電子・通信・情報システムに関わる新たなデバイスやシステムの開発・設計・構築・管理・運用に必要な知識と技術</p> <p>&lt;生命情報コース&gt;</p> <p>先端的な情報処理技術や人工知能理論を駆使して, 全ての生命に内蔵されたデジタルコードであるDNA配列を読み解き, 遺伝子やタンパク質の機能とダイナミクスを解明できる能力</p> <p>③卒業後の進路</p> <p>大学院進学, 民間企業(情報通信, 半導体, 電機, 電力, 自動車等), 公務員等</p> <p><b>【環境デザイン学類】</b></p> <p>①養成する人材</p> <p>基礎知識と専門知識を身に付け, 自然と調和した国土の創造, 持続的発展の可能な都市システムや安全・安心な社会基盤の整備の重要性と責任を自覚し, 地域における歴史, 文化など人文・社会系の分野にも精通した, まちづくりから地球環境全体までの「環境デザイン」ができる人材の養成</p> <p>②教育研究上の目的</p> <p>都市・地域の調査・設計, 都市・地域を支える社会基盤(インフラストラクチャー)の設計・施工・維持管理, さらに都市環境の維持と廃棄物の処理・再生といった環境デザインの幅広い局面に必要な能力を, 基礎的能力を学生に修得させる。</p> <p>③卒業後の進路</p> <p>大学院進学, 民間企業(土木, 建築等), 公務員等</p> <p><b>【自然システム学類】</b></p> <p>①養成する人材</p> <p>広い視野に立って生物学, 生物工学, 物質工学, 環境科学及び地球科学の観点から自然システムの基本を追求する研究者並びにその成果を人々の豊かな生活の実現に応用できる技術者及び教育者の養成</p> <p>②教育研究上の目的</p> <p>学生に以下の能力を修得させる。</p> <p>&lt;バイオ工学コース&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>21世紀の社会における生命・福祉, 地球環境(資源, 環境保全, エネルギー), 物質生産, 材料などの課題を生物工学的立場から解決できる研究者・技術者としての基礎的な能力</li> <li>数学および自然科学(物理学・化学・生物学・地球科学)の基礎知識</li> <li>自然科学と幅広い応用科学の特徴を理解するとともに, 技術が人間社会や自然に及ぼす影響を理解する能力</li> <li>生物工学に関連する幅広い科学技術分野の研究動向と今後の展望についてその概要を理解する能力</li> <li>生物工学の専門技術に関連する基礎知識とそれらに応用する能力</li> <li>生物工学に関連した種々の課題を解決するためのデザイン能力</li> <li>日本語の論述力, 研究発表やグループ討論のコミュニケーション能力, 英語によるコミュニケーションの基礎的な能力</li> <li>自己研鑽意欲を持ち自主的・継続的に学習する能力</li> <li>様々な要因を勘案した計画を立案し, 計画的に仕事を進めることができる能力</li> </ol> <p>&lt;物質循環工学コース&gt;</p>
---

	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養</li> <li>2. 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果, および技術者が社会に対して負っている責任(技術者倫理)に関して理解する能力</li> <li>3. 数学, 自然科学および情報技術に関する知識とそれらを活用できる能力</li> <li>4. 化学工学分野の専門技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力</li> <li>5. 種々の科学, 技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力</li> <li>6. 日本語による論理的な記述力, 口頭発表力, 討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力</li> <li>7. 自主的, 継続的に学習できる能力</li> <li>8. 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め, まとめる能力</li> </ol> <p>&lt;地球学コース&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地球科学に関する知識を修得し, それらを地球環境等の様々な時間・空間スケールの課題に対して活用する能力</li> <li>2. 地球科学に関連する実験技術や調査法, 情報処理能力を修得し, 様々な課題に対して応用する能力</li> <li>3. 設定された課題に対し, 種々の知識や技術を活用して課題を解決する能力および継続的に課題に取り組む能力</li> <li>4. 論理的な思考力を涵養し, 論理的な記述, プレゼンテーション, ディスカッション, ならびにコミュニケーションができる能力</li> </ol> <p>&lt;生物学コース&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生物学全般にわたる基礎知識</li> <li>2. 生命現象を遺伝子・分子・細胞レベルで理解する方法論, 分析法, 思考法</li> <li>3. 個体・集団に見られる生物多様性の実像を把握し, 加えて進化という時間軸を通して理解する方法論, 分析法, 思考法</li> <li>4. 地球環境, 遺伝子操作, 生命倫理などの問題を正しく理解し, 批判的かつ建設的に判断できる能力</li> <li>5. 生物学の知識を, 社会で必要とされる技術に応用する能力</li> <li>6. 日本語と英語による論述, 発表, 討論の能力</li> <li>7. 意欲的に学習し, 自己成長できる能力</li> <li>8. 計画的に問題に対処し, 解決する能力</li> </ol> <p>③卒業後の進路 大学院進学, 民間企業(化学, 製造, 情報等), 公務員等</p>
<p>新設学部等において 取得可能な資格</p>	<p>【機械工学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教員1種(工業)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【フロンティア工学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教員1種(工業)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【電子情報通信学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教員1種(工業)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【地球社会基盤学類(土木防災コース, 環境都市コース)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教員1種(工業)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【地球社会基盤学類(地球惑星科学コース)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学・高校教員1種(理科)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【生命理工学類(生命システムコース, 海洋生物資源コース)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学・高校教員1種(理科)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul>
<p>既存学部等において 取得可能な資格</p>	<p>【数物科学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学・高校教員1種(数学, 理科), 高校教員1種(情報)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【物質化学類(化学コース)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学・高校教員1種(理科)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【物質化学類(応用化学コース)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学・高校教員1種(理科), 高校教員1種(工業)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【機械工学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教員1種(工業)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【電子情報学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教員1種(工業)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【環境デザイン学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教員1種(工業)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【自然システム学類(生物学コース, 地球学コース)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学・高校教員1種(理科)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【自然システム学類(物質循環工学コース, バイオ工学コース)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教員1種(工業)</li> <li>①国家資格, ②資格取得可能, ③卒業要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要</li> </ul>

	新設学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又 は称号	学位又は 学科の分野		異動元	助教 以上	うち 教授
新設学部等の概要	理工学域 [College of Science and Engineering ]	機械工学類 [School of Mechanical Engineering]	4	100	3年次 10	420	学士 (工学)	工学関係	平成30年 4月  3年次 平成32年 4月	機械工学類	33	12
										自然システム学類	3	1
										新規採用	6	6
		計	42	19								
		フロンティア工学 類 [School of Frontier Engineering]	4	110	3年次 5	450	学士 (工学)	工学関係	平成30年 4月  3年次 平成32年 4月	機械工学類	19	6
	自然システム学類									9	3	
	電子情報学類									8	3	
	計	38	14									
	電子情報通信学 類 [School of Electrical, Information and Communication Engineering]	4	80	3年次 7	334	学士 (工学)	工学関係	平成30年 4月  3年次 平成32年 4月	電子情報学類	32	14	
									新規採用	2	2	
									計	34	16	
	地球社会基盤学 類 [School of Geosciences and Civil Engineering]	4	100	3年次 7	414	学士 (理学又は工学)	理学関係 工学関係	平成30年 4月  3年次 平成32年 4月	環境デザイン学類	26	9	
									自然システム学類	12	5	
									新規採用	6	6	
	計	44	20									
	生命理工学類 [School of Biological Science and Technology]	4	59	3年次 2	240	学士 (理学又は工学)	理学関係 工学関係	平成30年 4月  3年次 平成32年 4月	自然システム学類	19	4	
									電子情報学類	4	1	
									新規採用	4	3	
	計	27	8									
	既存学部等の概要	新設学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	授与する学位等		開設時期	専任教員	
						学位又 は称号	学位又は 学科の分野		異動先	助教 以上	うち 教授	
理工学域		数物科学類	4	84	—	336	学士 (理学)	理学関係	平成20年 4月	数物科学類	44	15
										退職	6	6
										計	50	21
		物質化学類	4	81	—	324	学士 (理学又は工学)	理学関係 工学関係	平成20年 4月	物質化学類	36	13
										退職	4	4
										計	40	17
機械工学類 (廃止)		4	140	—	560	学士 (工学)	工学関係	平成20年 4月	機械工学類	33	12	
									フロンティア工学類	19	6	
									退職	7	7	
計		59	25									
電子情報学類 (廃止)		4	108	—	432	学士 (工学)	工学関係	平成20年 4月	フロンティア工学類	8	3	
									生命理工学類	4	1	
									電子情報通信学類	32	14	
退職		2	2									
計		46	20									
環境デザイン学 類 (廃止)		4	74	—	296	学士 (工学)	工学関係	平成20年 4月	地球社会基盤学類	26	9	
									退職	5	5	
									計	31	14	
自然システム学 類 (廃止)	4	102	—	408	学士 (理学又は工学)	理学関係 工学関係	平成20年 4月	機械工学類	3	1		
								フロンティア工学類	9	3		
								生命理工学類	19	4		
								地球社会基盤学類	12	5		
								退職	6	5		
計	49	18										

【備考欄】

○理工学域では、学域共通として40名の3年次編入学定員を設定していたが、今回の改組に際し、改組しない学類も含め、編入学定員を学類ごとに設定することとした。

≪参考≫今回改組しない学類の編入学定員

- ・数物科学類：5名
- ・物質化学類：4名

○同一設置者内における変更状況（平成30年4月）

【学士課程】

人間社会学域〔入学定員変更〕（△25名）

経済学類〔入学定員変更〕（△50名）

地域創造学類〔入学定員変更〕（10名）

国際学類〔入学定員変更〕（15名）

【大学院課程】

人間社会環境研究科（博士前期課程）〔入学定員変更〕（6名）

経済学専攻〔入学定員変更〕（△2名）

地域創造学専攻〔入学定員変更〕（6名）

国際学専攻〔入学定員変更〕（2名）

新学術創成研究科融合科学共同専攻（博士前期課程）〔平成29年4月 事前伺い〕

構成大学：金沢大学大学院新学術創成研究科、北陸先端科学技術大学院大学大学院先端科学技術研究科

- ・全体の入学定員 博士前期課程 24名（金沢14名・北陸先端10名）
- ・全体の収容定員 博士前期課程 48名（金沢28名・北陸先端20名）

教育課程等の概要(事前伺い)															
(理工学域 機械工学類)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1			○								兼 73	クラス分け
	初學者ゼミ I	1①・②・③	1				○							兼 84	クラス分け
	情報処理基礎	1①	1				○							兼 61	クラス分け
	地域概論	1①・②	1			○								兼 69	クラス分け
	小計(4科目)	—	4	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼 256	—
共通教育科目 GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の政治経済学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	グローバル時代の社会学	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け
	ケーススタディによる応用倫理学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	地球生物圏と人間	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	物理の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	化学の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	哲学(自我論)	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	パーソナリティ心理学	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の文学	1①・②・③・④		1		○								兼 6	クラス分け
	健康科学	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け
	細胞・分子生物学	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	エクササイズ&スポーツ 実技	1①・②・③・④		1				○						兼 18	クラス分け
	プレゼン・ディベート論(初學者ゼミⅡ)	1①・②		1				○						兼 86	クラス分け
	クリティカル・シンキング	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	価値と情動の認知科学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	論理学から見る世界	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	数学的発想法	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	芸術と自己表現	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	スポーツ科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	金沢・能登と世界の地域文化	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	日本史・日本文化	1②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	異文化間コミュニケーション	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	異文化体験	1②・④		1					○					兼 2	クラス分け
	異文化体験	1②・④		2					○					兼 4	クラス分け
	異文化体験	1②・④		3					○					兼 6	クラス分け
	異文化体験	1②・④		4					○					兼 3	クラス分け
	異文化体験	1②・④		5					○					兼 1	
	異文化体験	1②・④		6					○					兼 1	
	異文化体験	1②・④		7					○					兼 1	
	異文化体験	1②・④		8					○					兼 1	
	国際社会とボランティア	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
グローバル社会と地域の課題	1①・③・④		1		○								兼 1		
科学技術と科学方法論	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け	
統計学から未来を見る	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け	
情報の科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け	
環境学とESD	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け	
生活と社会保障	1③・④		1		○								兼 3	クラス分け	
人権・ジェンダー論	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け	

	小計 (39 科目)	—	1	66	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 221	—
GS 言語科目 (英語)	TOEIC 準備 I	1①	1			○							兼 28	クラス分け
	TOEIC 準備 II	1②	1			○							兼 28	クラス分け
	TOEIC 準備 III	1③	1			○							兼 31	クラス分け
	TOEIC 準備 IV	1④	1			○							兼 31	クラス分け
	TOEIC 準備 (演習)	2①・②・③・④		1		○							兼 2	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) I	1①	1			○							兼 25	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) II	1①	1			○							兼 27	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) III	1③	1			○							兼 36	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) IV	1④	1			○							兼 36	クラス分け
	EAP (Retake)	1③・④・2①・②		1		○							兼 14	クラス分け
GS 言語科目 (日本語)	アカデミック基礎日本語 A	1①・③	1			○							兼 2	クラス分け
	アカデミック基礎日本語 B	1②・④	1			○							兼 2	クラス分け
	アカデミック・ライティング IA	1①・③		1		○							兼 1	
	アカデミック・ライティング IB	1②・④		1		○							兼 1	
	アカデミック・ライティング IIA	1①・③		1		○							兼 1	
	アカデミック・ライティング IIB	1②・④		1		○							兼 1	
	講義の聴解 A	1①・③		1		○							兼 1	
	講義の聴解 B	1②・④		1		○							兼 1	
	口頭発表 IA	1③		1		○							兼 1	
	口頭発表 IB	1④		1		○							兼 1	
	口頭発表 IIA	1①		1		○							兼 1	
	口頭発表 IIB	1②		1		○							兼 1	
	上級読解 IA	1①		1		○							兼 1	
	上級読解 IB	1②		1		○							兼 1	
	上級読解 IIA	1③		1		○							兼 1	
	上級読解 IIB	1④		1		○							兼 1	
	日本事情 A	1①・③		1		○							兼 1	
	日本事情 B	1②・④		1		○							兼 1	
日本語で学ぶ論理 A	1③		1		○							兼 1		
日本語で学ぶ論理 B	1④		1		○							兼 1		
小計 (30 科目)	—	10	20	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 64	—	
基礎科目	微分積分学第一	1①・②		2		○							兼 9	クラス分け
	微分積分学第二	1③・④		2		○							兼 7	クラス分け
	線形代数学第一	1①・②		2		○							兼 10	クラス分け
	線形代数学第二	1③・④		2		○							兼 7	クラス分け
	統計数学	1③・④		2		○							兼 3	クラス分け
	物理学 I	1①・②		2		○							兼 16	クラス分け
	物理学 II	1①・②・③・④		2		○							兼 15	クラス分け
	物理学実験	1①・②・③・④		2				○					兼 32	クラス分け
	化学 I	1①・②		2		○							兼 11	クラス分け
	化学 II	1③・④		2		○							兼 7	クラス分け
	化学実験	1①・②・③・④		2				○					兼 15	クラス分け
	化学実験	2①		1				○					兼 11	クラス分け
	地学 I	1①・②		2		○							兼 4	クラス分け
	地学 II	1③・④		2		○							兼 1	
小計 (14 科目)	—	0	27	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 106		
初習言語科目	ドイツ語 A1-1	1①・③		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A1-2	1②・④		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-1	1①・③		1		○							兼 8	クラス分け



ドイツ語 A2-2	1②・④	1	○					兼8	クラス分け
ドイツ語 A3-1	1①・③	1	○					兼8	クラス分け
ドイツ語 A3-2	1②・④	1	○					兼8	クラス分け
ドイツ語 A4-1	1①・③	1	○					兼7	クラス分け
ドイツ語 A4-2	1②・④	1	○					兼7	クラス分け
ドイツ語 B-1	2①	1	○					兼3	クラス分け
ドイツ語 B-2	2②	1	○					兼3	クラス分け
ドイツ語 C-1	2①・③	1	○					兼2	クラス分け
ドイツ語 C-2	2②・④	1	○					兼2	クラス分け
フランス語 A1-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A1-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A2-1	1①・③	1	○					兼5	クラス分け
フランス語 A2-2	1②・④	1	○					兼5	クラス分け
フランス語 A3-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A3-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A4-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A4-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 B-1	2①・③	1	○					兼6	クラス分け
フランス語 B-2	2②・④	1	○					兼6	クラス分け
フランス語 C-1	2①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 C-2	2②・④	1	○					兼4	クラス分け
ロシア語 A1-1	1①	1	○					兼1	
ロシア語 A1-2	1②	1	○					兼1	
ロシア語 A2-1	1①	1	○					兼1	
ロシア語 A2-2	1②	1	○					兼1	
ロシア語 A3-1	1③	1	○					兼1	
ロシア語 A3-2	1④	1	○					兼1	
ロシア語 A4-1	1③	1	○					兼1	
ロシア語 A4-2	1④	1	○					兼1	
ロシア語 B-1	2①・③	1	○					兼1	
ロシア語 B-2	2②・④	1	○					兼1	
ロシア語 C-1	2①・③	1	○					兼1	
ロシア語 C-2	2②・④	1	○					兼1	
中国語 A1-1	1①・③	1	○					兼6	クラス分け
中国語 A1-2	1②・④	1	○					兼6	クラス分け
中国語 A2-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
中国語 A2-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
中国語 A3-1	1①・③	1	○					兼5	クラス分け
中国語 A3-2	1②・④	1	○					兼5	クラス分け
中国語 A4-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
中国語 A4-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
中国語 B-1	2①・③	1	○					兼3	クラス分け
中国語 B-2	2②・④	1	○					兼3	クラス分け
中国語 C-1	2①・③	1	○					兼3	クラス分け
中国語 C-2	2②・④	1	○					兼3	クラス分け
朝鮮語 A1-1	1①・③	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A1-2	1②・④	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A2-1	1①・③	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A2-2	1②・④	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A3-1	1①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 A3-2	1②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 A4-1	1①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 A4-2	1②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 B-1	2①・③	1	○					兼1	

	朝鮮語 B-2	2②・④	1	○								兼1	
	朝鮮語 C-1	2①・③	1	○								兼2	クラス分け
	朝鮮語 C-2	2②・④	1	○								兼2	クラス分け
	ギリシャ語 A1-1	1①	1	○								兼1	
	ギリシャ語 A1-2	1②	1	○								兼1	
	ギリシャ語 A2-1	1③	1	○								兼1	
	ギリシャ語 A2-2	1④	1	○								兼1	
	ギリシャ語 A3-1	1①	1	○								兼1	
	ギリシャ語 A3-2	1②	1	○								兼1	
	ギリシャ語 A4-1	1③	1	○								兼1	
	ギリシャ語 A4-2	1④	1	○								兼1	
	ギリシャ語 B-1	1①	1	○								兼1	
	ギリシャ語 B-2	1②	1	○								兼1	
	ギリシャ語 C-1	1③	1	○								兼1	
	ギリシャ語 C-2	1④	1	○								兼1	
	ラテン語 A1-1	1①	1	○								兼2	クラス分け
	ラテン語 A1-2	1②	1	○								兼2	クラス分け
	ラテン語 A2-1	1③	1	○								兼2	クラス分け
	ラテン語 A2-2	1④	1	○								兼2	クラス分け
	ラテン語 A3-1	1①	1	○								兼1	
	ラテン語 A3-2	1②	1	○								兼1	
	ラテン語 A4-1	1③	1	○								兼1	
	ラテン語 A4-2	1④	1	○								兼1	
	ラテン語 B-1	1①	1	○								兼1	
	ラテン語 B-2	1②	1	○								兼1	
	ラテン語 C-1	1③	1	○								兼1	
	ラテン語 C-2	1④	1	○								兼1	
	スペイン語 A1-1	1①	1	○								兼1	
	スペイン語 A1-2	1②	1	○								兼1	
	スペイン語 A2-1	1①	1	○								兼1	
	スペイン語 A2-2	1②	1	○								兼1	
	スペイン語 A3-1	1③	1	○								兼1	
	スペイン語 A3-2	1④	1	○								兼1	
	スペイン語 A4-1	1③	1	○								兼1	
	スペイン語 A4-2	1④	1	○								兼1	
	スペイン語 B-1	2①	1	○								兼1	
	スペイン語 B-2	2②	1	○								兼1	
	スペイン語 C-1	2③	1	○								兼1	
	スペイン語 C-2	2④	1	○								兼1	
	小計 (96 科目)	—	0	96	0	—	0	0	0	0	0	兼45	—
自由履修科目	ジャーナリズム論	1・2③	1	○								兼1	
	石川県の行政	1・2③・④	2	○								兼1	
	石川県の市町	1・2①・②	2	○								兼1	
	キャリアディベロップメント実践	3・4①・②	2	○								兼2	共同
	健康論実践 D	1・2③・④	1	○								兼4	共同
	健康論実践 E	1・2③・④	1	○								兼2	共同
	能登の世界農業遺産を学ぶスタディ・ツアー	1・2①・②	1	○								兼8	共同
	里山体験実習 in 能登半島	1・2①・②	1	○								兼6	共同
	里海体験実習 in 能登半島	1・2①・②	1	○								兼6	共同
	地元学 A (地域資源調査)	1・2①	1	○								兼1	
	地元学 B (聞き書き)	1・2②	1	○								兼1	
	生と死を見つめて	1・2②	1	○								兼6	オムニバス

実践アントレプレナー学	1・2①・②	1	○					兼8	オムニバス
クラウド時代の「ものグラミング」概論	1・2①・②	2	○					兼3	共同
シェルスクリプト言語論	1・2①・②	2	○					兼2	共同
マスメディアと現代を読み解く	1・2②	1	○					兼1	
ライフキャリアデザイン	1・2③・④	2	○					兼1	
ダイバーシティとインクルージョン	1・2②	1	○					兼3	共同
キャリアディベロップメント	1・2①・②	2	○					兼1	
ファシリテーション入門	1・2②・④	1	○					兼3	共同
学生・学習論	1・2①	1	○					兼2	共同
コーヒーの世界	1・2③・④	2	○					兼13	オムニバス
画像解剖学	2・3・4③・④	1	○					兼1	
よくわかる健康と病気	1・2③・④	1	○					兼1	
国際協力と地域のグローバル化	1・2③・④	2	○					兼1	
心と体の健康	1・2③	1	○					兼3	共同
死と喪失	1・2①・②・④	1	○					兼1	
ひとのからだⅠ	1・2①・②	2	○					兼1	
ひとのからだⅡ	1・2③・④	2	○					兼1	
基礎病態学	1・2③・④	1	○					兼1	
哲学A	2①・②	2	○					兼1	
宗教学A	1・2③・④	2	○					兼1	
ことばと文化J	1・2③・④	2	○					兼1	
基礎運動学	2①・②	1	○					兼4	オムニバス
地域「超」体験プログラム（能登 珠洲）	1①・②	1			○			兼1	
地域「超」体験プログラム（能登 小木）	1①・②	1			○			兼1	
地域「超」体験プログラム（白山麓）	1①・②	1			○			兼1	
地域「超」体験プログラム（五箇山）	1③・④	1			○			兼1	
地方行政	1・2③・④	2	○					兼1	
ボランティア入門	1・2①・②	2	○					兼1	
ゼミ／政治哲学入門	1・2③・④	2			○			兼1	
茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③・④	2	○					兼1	
日本の伝統芸能	1・2①・②	2	○					兼1	
金沢の歴史と文化	1・2③・④	2	○					兼2	共同
ESD 入門	1・2①・②	1	○					兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1・2①・②	1	○					兼1	
持続可能性と福祉	1・2①・③	1	○					兼1	
異文化間ディベート	1・2 ①・②・③・④	2	○					兼1	
日本の歴史からみた暦と時間	1・2 ①・②・③・④	2	○					兼1	
日本と金沢の建築・都市	1・2①・②	2	○					兼2	共同
コミュニケーションビジネス	1・2③・④	2	○					兼2	共同
日本国憲法概説	1・2 ①・②・③・④	2	○					兼4	クラス分け
行政学入門	1・2①・②	2	○					兼1	
公共政策入門Ⅰ	1・2①・②	2	○					兼1	
経済学入門C	1・2③・④	2	○					兼1	
日本史要説	2③・④	2	○					兼4	オムニバス
東洋史要説	2③・④	2	○					兼3	オムニバス

	法論理学入門	1・2①	2	○									兼1		
	異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション	1・2③	1	○									兼1		
	ビジネス入門	1・2①	1	○									兼1		
	日本のオープンデータ活用	1・2②	1	○									兼1		
	ビジネスと金融	1・2③	1	○									兼1		
	世界のオープンデータ活用	1・2④	1	○									兼1		
	ガラスとクリスタルⅠ	1・2②	1	○									兼1		
	ガラスとクリスタルⅡ	1・2③	1	○									兼1		
	英国諸島の地史Ⅰ	1・2②	1	○									兼1		
	英国諸島の地史Ⅱ	1・2③	1	○									兼1		
	地学実験	1・2①・②・③	2						○				兼16	クラス分け	
	東洋医学	3・4③・④	2	○									兼2	クラス分け	
	コンピュータグラフィクス演習	1・2③・④	2						○				兼1		
	生物学実験	1・2①・②	2						○				兼13	共同	
	実践 Web プログラミング実習	1・2③・④	2						○				兼1		
	実践システム開発工程入門	1・2③・④	2						○				兼1		
	プログラミング演習	1・2③・④	2						○				兼1		
	環境動態学概説Ⅰ	1・2③	1	○									兼1		
	環境動態学概説Ⅱ	1・2④	1	○									兼1		
	海洋生化学演習	1・2①・②	2					○					兼4	共同	
	動画配信サービスを用いた情報発信演習	1・2①・②	2	○									兼1		
	プレゼンテーション演習	1・2③・④	2	○									兼1		
	英語セミナー	1・2②・③・④	1	○									兼7	クラス分け	
	英語セミナー	1・2③・④	2	○									兼2	クラス分け	
	ゼミ/漢文資料読解A	1・2①・②	2					○					兼1		
	ゼミ/漢文資料読解B	1・2③・④	2					○					兼1		
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	1・2③・④	2					○					兼1		
	ゼミ/角間の里山づくり 春編	1・2①	1					○					兼1		
	ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1・2③	1					○					兼1		
	身体・スポーツ実技/野外活動	1・2①・②	1						○				兼3	共同	
	身体・スポーツ実技/初心者スキー	1・2③・④	1						○				兼6	共同	
	ゼミ/身体運動心理学	3・4①・②	2	○									兼1		
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1						○				兼1		
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1						○				兼1		
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1						○				兼1		
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1						○				兼1		
	フランス語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1						○				兼1		
	フランス語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1						○				兼1		
	フランス語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1						○				兼1		
	フランス語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1						○				兼1		
	中国語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1						○				兼1		
	中国語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1						○				兼1		
	中国語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1						○				兼1		
	中国語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1						○				兼1		
	小計(101科目)	—	0	147	0	—			0	0	0	0	0	兼156	—
	共通教育科目計(284科目)	—	15	356	0	—			0	0	0	0	0	兼617	—
専門科目	学域GS科	数学物理学演習A	1③	1	○									兼3	
		数学物理学演習B	1④	1	○									兼3	
		物質化学序論A	2①	1	○									兼4	

	物質化学序論 B	2②		1		○							兼 4			
	先端テクノロジー概論	1③・④		1		○			19					オムニバス		
	数学物理基礎リテラシー	2①～②		1		○				4		1	兼 2	オムニバス		
	電子情報通信工学序論	2①		1		○							兼 4	オムニバス		
	地球社会基盤情報処理演習 A	2①		1			○						兼 7	共同		
	地球社会基盤情報処理演習 B	2②		1			○						兼 7	共同		
	生命科学技術論 A	1①		1		○							兼 14	オムニバス		
	生命科学技術論 B	1②		1		○							兼 7	オムニバス		
	小計 (11 科目)	—	0	11	0		—		19	4	0	1	0	兼 55	—	
学域 GS 言語科目	学域 GS 言語科目 I (理工系英語 I)	2①		1			○			1						
	学域 GS 言語科目 II (理工系英語 II)	2②		1			○			1						
	小計 (2 科目)	—	2	0	0		—		0	1	0	0	0	—		
専門基礎科目	<b>《機械創造コース・機械数理コース》</b>															
	<b>【学域共通科目】</b>															
		情報・計算科学基礎	1③		2		○							兼 3	オムニバス	
		計算科学	1④		2		○							兼 2	オムニバス	
		情報処理演習	1③～④		1			○						兼 2	共同	
		工業力学	2①～②	2			○				2		1	兼 1	共同	
		計算機リテラシー A	2①		1		○							兼 2	オムニバス	
		計算機リテラシー B	2②		1		○							兼 2	オムニバス	
		地球社会基盤学概論 A	2①		1		○							兼 43	オムニバス	
		地球社会基盤学概論 B	2②		1		○							兼 43	オムニバス	
		生命理工学概論 A	1③		2		○							兼 14	オムニバス	
		生命理工学概論 B	1④		2		○							兼 7	オムニバス	
		国際研修 A	1・2・3・4 ①・②・③・④		1				○		1					
		国際研修 B	1・2・3・4 ①・②・③・④		2				○		1					
		<b>【専門基礎科目 I】</b>														
		微分方程式及び演習	1③～④		2		○				1				※演習	
		ベクトル解析及び演習	2①～②		2		○							兼 1	※演習	
		フーリエ解析及び演習	2①～②		2		○				1				※演習	
		複素解析及び演習	2③～④		2		○				1				※演習	
		確率・統計解析 A	3③		1		○				2				クラス分け	
		確率・統計解析 B	3④		1		○				2				クラス分け	
		<b>【専門基礎科目 II】</b>														
		材料力学 I 及び演習	2①～②		2		○			3				兼 3	※演習 共同	
		振動工学 I 及び演習	2③～④		2		○							兼 2	※演習 共同	
		流れ学 I 及び演習	2③～④		2		○			1	1				※演習 共同	
		熱力学 I 及び演習	2③～④		2		○				2				※演習 共同	
		<b>【専門基礎科目 III】</b>														
		材料工学 A	2③		1		○			1						
	材料工学 B	2④		1		○			1							
	基礎加工学 A	2③		1		○			2			1		オムニバス		
	基礎加工学 B	2④		1		○			2			1		オムニバス		
	制御工学 I A	2③		1		○							兼 1			
	制御工学 I B	2④		1		○							兼 1			
	小計 (28 科目)	—	2	40	0		—		7	7	0	2	0	兼 127	—	
	<b>《エネルギー機械コース》</b>															
	<b>【学域共通科目】</b>															
	情報・計算科学基礎	1③		2		○							兼 3	オムニバス		
	計算科学	1④		2		○							兼 2	オムニバス		

	情報処理演習	1③～④	1			○						兼2	共同	
	工業力学	2①～②	2			○		2	1			兼1	共同	
	計算機リテラシーA	2①	1			○						兼2	オムニバス	
	計算機リテラシーB	2②	1									兼2	オムニバス	
	地球社会基盤学概論A	2①	1			○						兼43	オムニバス	
	地球社会基盤学概論B	2②	1			○						兼43	オムニバス	
	生命理工学概論A	1③	2			○						兼14	オムニバス	
	生命理工学概論B	1④	2			○						兼7	オムニバス	
	国際研修A	1・2・3・4 ①・②・③・④	1				○	1						
	国際研修B	1・2・3・4 ①・②・③・④	2				○	1						
	<b>【専門基礎科目Ⅰ】</b>													
	微分方程式及び演習	1③～④	2			○		1					※演習	
	ベクトル解析及び演習	2①～②	2			○						兼1	※演習	
	フーリエ解析及び演習	2①～②	2			○		1					※演習	
	複素解析及び演習	2③～④	2			○		1					※演習	
	信頼性工学A	2③	1			○						兼1	共同	
	信頼性工学B	2④	1			○						兼1	共同	
	<b>【専門基礎科目Ⅱ】</b>													
	材料力学Ⅰ及び演習	2①～②	2			○		3				兼3	※演習 共同	
	振動工学Ⅰ及び演習	2③～④	2			○						兼2	※演習 共同	
	流れ学Ⅰ及び演習	2③～④	2			○				2			※演習 共同	
	熱力学Ⅰ及び演習	2③～④	2			○		2	1	1			※演習 共同	
	材料工学A	2③	1			○		1						
	材料工学B	2④	1			○		1						
	加工学A	2③	1			○		1						
	加工学B	2④	1			○		1						
	制御工学ⅠA	2③	1			○						兼1		
	制御工学ⅠB	2④	1			○						兼1		
	小計(28科目)	—	6	36	0	—	—	7	5	0	4	0	兼129	—
専門科目	<b>《機械創造コース》</b>													
	<b>【実践科目】</b>													
	機械工学設計製図基礎	2③～④	2				○			1	1		共同	
	計算機プログラミング演習	3①～②	1				○		1		1	兼1	共同	
	機械工学基礎実験	3①～②	1				○	19	9	1	13		共同	
	機械工作実習	3①～②	1				○	2			2		共同	
	機械工学設計製図演習	3①～②	2				○	2			1	兼4	共同	
	応用プログラミング技術	3③～④	2			○			1			兼3	※実習 共同	
	<b>【専門科目Ⅰ】</b>													
	数値解析A	2③	1			○			2				オムニバス	
	数値解析B	2④	1			○			2				オムニバス	
	材料力学ⅡA	2③	1			○		1				兼1	共同	
	材料力学ⅡB	2④	1			○		1				兼1	共同	
	電気回路A	2①	1			○			1					
	電気回路B	2②	1			○			1					
	機構運動学A	2③	1			○		1						
	機構運動学B	2④	1			○		1						
	振動工学ⅡA	3①	1			○						兼1		
	振動工学ⅡB	3②	1			○						兼1		
	機械材料学ⅠA	3①	1			○		1						
機械材料学ⅠB	3②	1			○		1							
制御工学ⅡA	3①	1			○						兼1			
制御工学ⅡB	3②	1			○						兼1			

流れ学ⅡA	3①	1	○		1	1						共同
流れ学ⅡB	3②	1	○		1	1						共同
機械設計学	3①	2	○								兼1	
熱力学ⅡA	3①	1	○			1						
熱力学ⅡB	3②	1	○			1						
計測工学A	3③	1	○			1						
計測工学B	3④	1	○			1						
生産工学A	3①	1	○		1				1			オムニバス
生産工学B	3②	1	○		1				1			オムニバス
<b>【専門科目Ⅱ】</b>												
生産システム工学A	3③	1	○		2							オムニバス
生産システム工学B	3④	1	○		2							オムニバス
航空宇宙工学A	3①	1	○		1	1					兼1	共同
航空宇宙工学B	3②	1	○		1	1					兼1	共同
応用数理解析A	3③	1	○			2						共同
応用数理解析B	3④	1	○			2						共同
レーザー工学A	3③	1	○		1							
レーザー工学B	3④	1	○		1							
伝熱工学A	3③	1	○			2						共同
伝熱工学B	3④	1	○			2						共同
エネルギー変換工学A	3③	1	○		2	1						オムニバス
エネルギー変換工学B	3④	1	○		2	1						オムニバス
成形加工A	4③	1	○			1						
成形加工B	4④	1	○			1						
トライボロジーA	3③	1	○						1			
トライボロジーB	3④	1	○						1			
機械材料学ⅡA	3③	1	○		1							
機械材料学ⅡB	3④	1	○		1							
<b>【専門科目Ⅲ】</b>												
メカトロニクスA	3①	1	○								兼1	
メカトロニクスB	3②	1	○								兼1	
電気回路C	3③	1	○								兼1	
電気回路D	3④	1	○								兼1	
<b>【専門総合科目】</b>												
学外技術体験実習A※2	3①～② ・③～④	1			○	19	9	1	13			集中
学外技術体験実習B※2	3①～② ・③～④	2			○	19	9	1	13			集中
海外技術体験実習※2	3①～② ・③～④	2			○	19	9	1	13			集中
企業開放講義	3③～④	1	○			19	9	1	13			オムニバス
機械工学総合実験	3③～④	1			○	19	9	1	13			共同
機械工学特別演習A	3③	1		○		19	9	1	13			共同
機械工学特別演習B	3④	1		○		19	9	1	13			共同
技術社会と倫理	4③	1	○			2						オムニバス
卒業研究※3	4通	8			○	19	9	1	13			共同
機械工学輪講	4①～②	1	○			19	9	1	13			共同
<b>【教職科目】</b>												
工業概論※1	4①～②	2	○								兼11	オムニバス
職業指導第1※1	3③～④	2	○								兼1	
職業指導第2※1	4①～②	2	○								兼1	
小計(64科目)	—	17	63	0	—	19	9	1	13	1	兼22	—
<b>《機械数理コース》</b>												
<b>【実践科目】</b>												

機械工学設計製図基礎	2③～④	2			○			1		1		共同
計算機プログラミング演習	3①～②	1			○			1		1	兼1	共同
機械工学基礎実験	3①～②	1					19	9	1	13		共同
機械工作実習	3①～②	1					2			2		共同
機械工学設計製図演習	3①～②	2			○		2			1	兼4	※実習 共同
応用プログラミング技術	3③～④	2			○			1			兼3	※実習 共同
<b>【専門科目Ⅰ】</b>												
数値解析 A	2③	1			○			1				
数値解析 B	2④	1			○			1				
材料力学ⅡA	2③	1			○		1				兼1	共同
材料力学ⅡB	2④	1			○		1				兼1	共同
電気回路 A	2①	1			○			1				
電気回路 B	2②	1			○			1				
機構運動学 A	2③	1			○		1					
機構運動学 B	2④	1			○		1					
電子回路概論 A	3①	1			○						兼1	
電子回路概論 B	3②	1			○						兼1	
振動工学ⅡA	3①	1			○						兼2	共同
振動工学ⅡB	3②	1			○						兼2	共同
機械材料学ⅠA	3①	1			○		1					
機械材料学ⅠB	3②	1			○		1					
制御工学ⅡA	3①	1			○						兼1	
制御工学ⅡB	3②	1			○						兼1	
流れ学ⅡA	3①	1			○		1	1				共同
流れ学ⅡB	3②	1			○		1	1				共同
機械設計学	3①	2			○						兼1	
熱力学ⅡA	3①	1			○			1				
熱力学ⅡB	3②	1			○			1				
計測工学 A	3③	1			○			1				
計測工学 B	3④	1			○			1				
生産工学 A	3①	1			○		1			1		オムニバス
生産工学 B	3②	1			○		1			1		オムニバス
<b>【専門科目Ⅱ】</b>												
生産システム工学 A	3③	1			○		2					オムニバス
生産システム工学 B	3④	1			○		2					オムニバス
航空宇宙工学 A	3①	1			○		1	1			兼1	共同
航空宇宙工学 B	3②	1			○		1	1			兼1	共同
メカトロニクス A	3①	1			○						兼1	
メカトロニクス B	3②	1			○						兼1	
応用数理解析 A	3③	1			○			2				共同
応用数理解析 B	3④	1			○			2				共同
レーザー工学 A	3③	1			○		1					
レーザー工学 B	3④	1			○		1					
伝熱工学 A	3③	1			○			2				共同
伝熱工学 B	3④	1			○			2				共同
エネルギー変換工学 A	3③	1			○		2	1				オムニバス
エネルギー変換工学 B	3④	1			○		2	1				オムニバス
トライボロジー A	3③	1			○					1		
トライボロジー B	3④	1			○					1		
機械材料学ⅡA	3③	1			○		1					
機械材料学ⅡB	3④	1			○		1					
<b>【専門科目Ⅲ】</b>												
電気回路 C	3③	1			○						兼1	
電気回路 D	3④	1			○						兼1	



通信工学 A	4③		1		○								兼 1	
通信工学 B	4④		1		○								兼 1	
信号処理 A	3①		1		○								兼 1	
信号処理 B	3②		1		○								兼 1	
パターン認識 A	3③		1		○								兼 1	
パターン認識 B	3④		1		○								兼 1	
画像処理 A	3③		1		○								兼 1	
画像処理 B	3④		1		○								兼 1	
<b>【専門総合科目】</b>														
学外技術体験実習 A※2	3①～② ・③～④		1				○	19	9	1	13			集中
学外技術体験実習 B※2	3①～② ・③～④		2				○	19	9	1	13			集中
海外技術体験実習※2	3①～② ・③～④		2				○	19	9	1	13			集中
企業開放講義	3③～④		1		○			19	9	1	13			オムニバス
機械工学総合実験	3③～④		1				○	19	9	1	13			共同
機械工学特別演習 A	3③		1			○		19	9	1	13			共同
機械工学特別演習 B	3④		1			○		19	9	1	13			共同
技術社会と倫理	4③	1			○			2						オムニバス
卒業研究※3	4通	8					○	19	9	1	13			共同
機械工学輪講	4①～②	1			○			19	9	1	13			共同
<b>【教職科目】</b>														
工業概論※1	4①～②		2		○								兼 11	オムニバス
職業指導第 1※1	3③～④		2		○								兼 1	
職業指導第 2※1	4①～②		2		○								兼 1	
小計 (72 科目)	—	17	71	0	—	—	—	19	9	1	13	1	兼 25	—
<b>《エネルギー機械コース》</b>														
<b>【実践科目】</b>														
機械工学設計製図基礎	2③～④	2					○				2			共同
計算機プログラミング演習	2③～④	1				○					2			共同
機械工学基礎実験	3①～②	1					○	19	9	1	13			共同
機械工作実習	3①～②	1					○	1						
数値解析及びプログラミング演習 A	3①	1				○							兼 1	
数値解析及びプログラミング演習 B	3②	1				○							兼 1	
<b>【専門科目 I】</b>														
材料力学ⅡA	2③		1		○								兼 1	
材料力学ⅡB	2④		1		○								兼 1	
機械設計工学 A	2③		1		○								兼 1	
機械設計工学 B	2④		1		○								兼 1	
電気回路 A	2①		1		○			1						
電気回路 B	2②		1		○			1						
振動工学ⅡA	3①		1		○								兼 1	
振動工学ⅡB	3②		1		○								兼 1	
材料設計学 A	3①		1		○			1						
材料設計学 B	3②		1		○			1						
制御工学ⅡA	3①		1		○								兼 1	
制御工学ⅡB	3②		1		○								兼 1	
流れ学ⅡA	3①		1		○						1			
流れ学ⅡB	3②		1		○						1			
熱力学ⅡA	3①		1		○				1					
熱力学ⅡB	3②		1		○			1						

構造解析学 A	3③	1	○	1									
構造解析学 B	3④	1	○	1									
知的生産システム A	3③	1	○	1									
知的生産システム B	3④	1	○	1									
<b>【専門科目Ⅱ】</b>													
伝熱学 A	3①	1	○	1									
伝熱学 B	3②	1	○	1									
人体科学 A	3①	1	○								兼 2	オムニバス	
人体科学 B	3②	1	○								兼 2	オムニバス	
エネルギー変換工学 A	3③	1	○	2			1					オムニバス	
エネルギー変換工学 B	3④	1	○	2			1					オムニバス	
人間工学 A	3③	1	○								兼 2	オムニバス	
人間工学 B	3④	1	○								兼 2	オムニバス	
生体計測 A	3③	1	○								兼 1		
生体計測 B	3④	1	○								兼 1		
生物工学 A	3③	1	○								兼 2	オムニバス	
生物工学 B	3④	1	○								兼 2	オムニバス	
物質循環工学 A	3③	1	○	1									
物質循環工学 B	3④	1	○	1									
応用伝熱学 A	3③	1	○	1									
応用伝熱学 B	3④	1	○	1									
エネルギー・環境工学 A	3③	1	○	1									
エネルギー・環境工学 B	3④	1	○	1									
工業デザイン A	4①	1	○	1							兼 4	オムニバス	
工業デザイン B	4②	1	○	1							兼 4	オムニバス	
成形加工 A	4③	1	○						1				
成形加工 B	4④	1	○						1				
<b>【専門科目Ⅲ】</b>													
ロボット工学 A	3①	1	○								兼 4	オムニバス	
ロボット工学 B	3②	1	○								兼 4	オムニバス	
<b>【専門総合科目】</b>													
創造デザイン実習	3①～②	2		○						1	兼 3	共同	
学外技術体験実習 A※2	3①～②	1		○			19	9	1	13		集中	
	・③～④												
学外技術体験実習 B※2	3①～②	2		○			19	9	1	13		集中	
	・③～④												
海外技術体験実習※2	3①～②	2		○			19	9	1	13		集中	
	・③～④												
企業開放講義	3③～④	1	○				19	9	1	13		オムニバス	
機械工学総合実験	3③～④	1		○			19	9	1	13		共同	
機械工学特別演習 A※	3③	1		○			19	9	1	13		共同	
機械工学特別演習 B※	3④	1		○			19	9	1	13		共同	
技術社会と倫理	4③	1	○				2					オムニバス	
卒業研究※3	4 通	8					19	9	1	13		共同	
機械工学輪講	4①～②	1	○				19	9	1	13		共同	
<b>【教職科目】</b>													
工業概論※1	4①～②	2	○								兼 11	オムニバス	
職業指導第 1※1	3③～④	2	○								兼 1		
職業指導第 2※1	4①～②	2	○								兼 1		
小計 (64 科目)	—	19	59	0	—		19	9	1	13	0	兼 26	—
専門科目計 (269 科目)	—	63	280	0	—		19	9	1	13	0	兼 127	—
合計 (553 科目)	—	78	636	0	—		19	9	1	13	1	兼 744	※1 の科目は卒業及び課題研究・卒業研究着

											手に必要な単位に含めない。 ※2 の科目は第1, 2又は第3, 4 のいずれかのクォーターで開講する。 ※3 の科目は早期卒業の場合は第1, 2クォーターで24時間開講することがある。
学位又は称号	学士 (工学)	学位又は学科の分野		工学関係							

設置の趣旨・必要性

1 設置の趣旨・必要性

(背景)

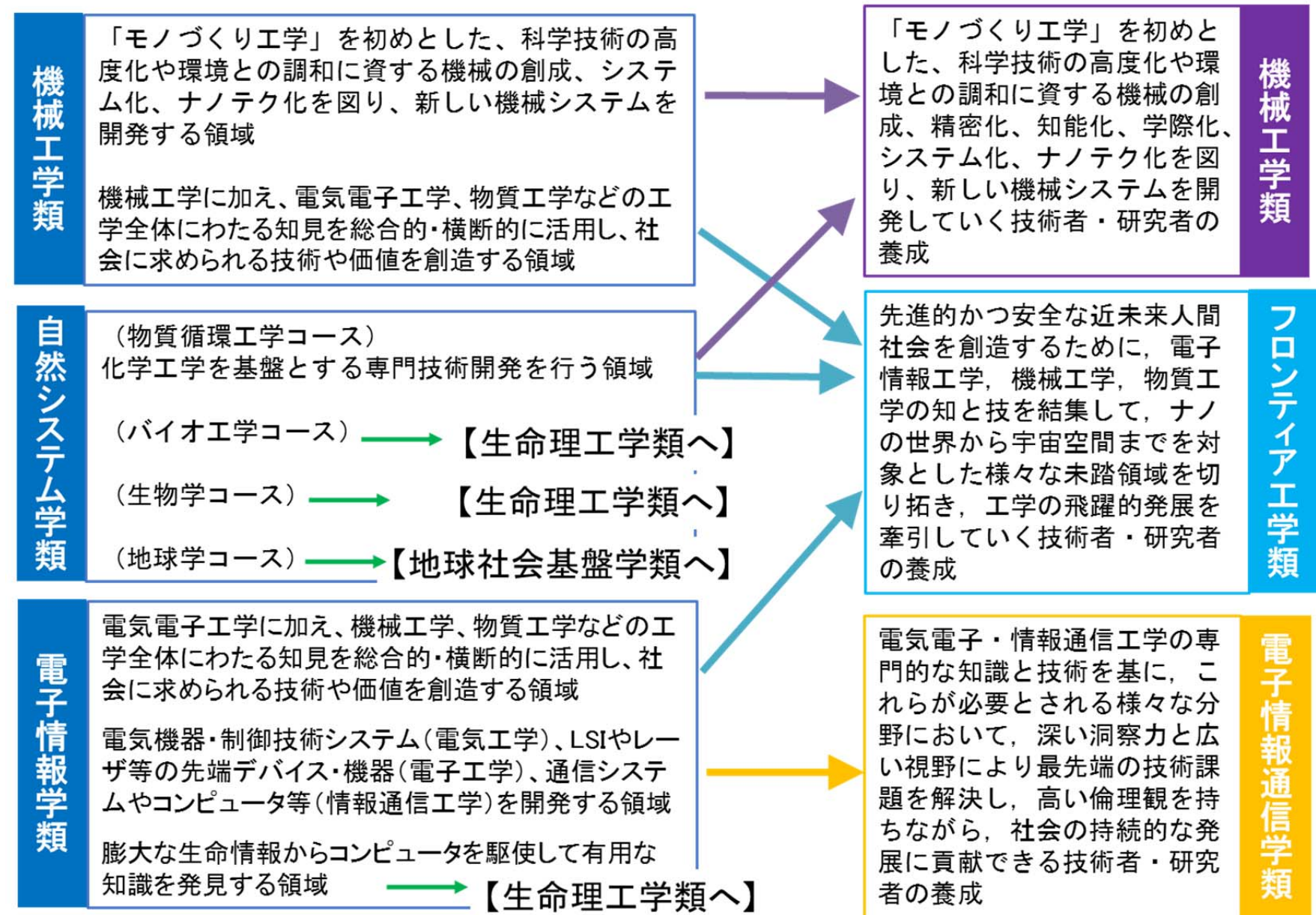
機械工学はあらゆる産業の基盤となる学問であることから、様々な業種から多くの人材が求められている。一方で、技術や課題の高度化・複雑化は日進月歩を続けており、これらに対応可能な人材を育成することは、国内のみにとどまらず、国際的にも強く要請されている。

(本学に設置する必要性)

工学への応用を重視した数学、物理学を基盤として、機械工学の基幹となる力学系科目、専門科目を体系的に学び、そのうえで、従来の機械の概念を超えた革新的な機械を創造できる能力を育成し、機械の加工や、生産システム、材料の分野を主として、工業・産業の広い分野で活躍することができ、ものづくり工学の持つ社会的使命と責任を果たす、機械技術者・研究開発者を養成することを目的とした専門教育を行う。具体的には、旧機械工学類のスタッフを中心に、一部旧自然システム学類のスタッフを加えて、新たな機械工学類を組織する。

《図1》

【学類組織の移行図(機械工学類に関連する部分のみ)】



## II 教育課程編成の考え方・特色

### (教育課程の基本的な考え方)

機械工学分野の技術者・研究者として基礎を養い、その上で、高度な技術及び挑戦的な課題に対応できるよう専門的能力の向上を図る。さらに、技術者としての実践能力や国際的コミュニケーション能力を有する人材を育成する。

### (教育課程の特色)

技術者・研究者として欠くことのできない素養を学ぶため、1・2年次に学域共通科目、学域GS科目、学域GS言語科目を必修科目あるいは選択必修科目として配置した。

機械技術者としてもものづくりをするうえで必要不可欠な構造、制御、材料・加工、熱流体などの機械工学の基幹分野及びその基礎教育を徹底するため、専門基礎科目Ⅰ群及び機械工学の基礎力学などを学ばせる専門基礎科目Ⅱ、Ⅲ群を、必修科目あるいは選択必修科目として配置する。その後、各コースの特徴を持たせた専門科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ群を選択科目として体系的に配置する。また、機械技術者としての実践力を高めるため実践科目を、プレゼンテーション能力、課題探求能力等を養成するため専門総合科目を体系的に配置する。コース毎の特色は下記の通り。

#### <機械創造コース>

レーザー、光、新素材などを応用したナノレベルの加工や3次元造形技術の開発、マイクロマシン、ロボットを応用した生産システム、低環境負荷生産システムなどの設計に携わり、従来の概念を超えた革新的な機械を創造できる人材を育てるために、機械工学の基盤分野を広く学び、さらに、次世代加工法や機能性材料など、機械の新たな創造に関連する分野に関して一歩進んだ専門知識とスキルを修得できるカリキュラムを編成する。

#### <機械数理コース>

機械の知能化、高機能化を目的とした計算機援用技法、レーザーや光を用いた先進計測、人工知能応用技術などに携わり、新しい工学分野の開拓に挑戦して斬新なアイデアを意欲的に創成する人材を育てるために、数学、物理学など自然科学から積み上げて設計、材料・加工、計測・制御、熱流体などの機械工学基幹分野を修得し、さらにロボット工学、電子工学など先端工学分野を理解するための知識を広く修得できるカリキュラムを編成する。

#### <エネルギー機械コース>

新エネルギーの実用化、高効率でクリーンなエンジンの開発、省エネルギーや新しい空調技術の開発など、安全で低環境負荷なエネルギーシステムを実現する機械工学分野を開拓し、持続可能社会の構築と発展に貢献する人材を育てるために、機械工学の基礎科目を体系的に学び、さらに、エネルギー機械や環境工学などを理解し、技術の高度化と自然との調和に対応できる専門的能力を身につけることができるように、カリキュラムを編成する。

<図2>

## 機械工学類カリキュラム

### ① 共通教育科目群 (1年次～)

共通教育科目(GS科目、基礎科目)

学域共通科目群

学類配属(2年生進学時)

### ② 専門基礎科目群 (学類共通) (2年次～)

学類共通: 機械工学の基礎科目

材料力学Ⅰ及び演習、流れ学Ⅰ及び演習、熱力学Ⅰ及び演習、振動工学Ⅰ及び演習 等  
微分方程式及び演習;ベクトル解析及び演習、フーリエ解析及び演習、信頼性工学A, B 等

コース配属(2年2Q終了時)

### ③ 実践科目 (2年3Q～)

学類でほぼ共通: 機械工学の基礎的スキル

機械工学設計製図基礎、機械工学基礎実験、機械工作実習、計算機プログラミング演習 等

#### 機械創造コース

#### 機械数理コース

#### エネルギー機械コース

### ④ 専門科目 (2年次～, 主に3年次)

<機械の新たな創造>

械材料学ⅠA, B, ⅡA, B  
生産システム工学A, B  
レーザー工学A, B 等

<機械の知能化, 高機能化>

計測工学A, B  
航空宇宙工学A, B  
応用数理解析A, B

<安全で低環境負荷なenergy system>

エネルギー・環境工学A, B  
応用伝熱学A, B  
工業デザインA, B

### 【卒業要件】

共通教育46+専門78単位

⑤ 卒業研究(4年次) を含む専門総合科目

### 参考

#### 1. 人材養成目標

機械工学類では、金沢大学グローバル・スタンダード(KUGS)に基づきグローバル社会をリードする人材育成のため、産業技術の基盤となる機械工学分野の基礎学力と高度な専門知識を身に付け、自然や社会との調和を図りつつ、モノづくり工学の持つ社会的使命と責任を果たす、工業・産業の広い分野で活躍できる機械技術者・研究開発者を養成する。

## 2. ディプロマポリシー

### 【機械創造コース】

金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS) 及び本学類が掲げる人材養成目標に加えて、特に、加工学、材料工学、設計学などの高度な専門分野の学習から得られた知識や思考力を駆使して、従来の機械の概念を超えた革新的な機械を創造できる能力を身に付けるために、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士（工学）の学位を授与する。

#### ○学修成果

- A-1. 工学や科学の基礎となる数学・物理学を重視した自然科学の基礎知識を身に付ける。
- A-2. 課題探求・実践学修を通じた自主性、創造性、協調性、発表・報告能力および国際的コミュニケーション能力を身に付ける。
- A-3. 技術倫理についての自覚と、地球的観点から多面的に考えることができる素養を涵養する。
- B-4. 機械工学の実践に必要なスキルと最新の工学ツールを使う能力を身に付ける。
- B-5. 設計、計測・制御、材料・加工、熱流体など機械工学の基幹分野の能力を身に付ける。
- C-6. 加工学、材料工学、設計学などの高度な専門分野の学習から得られた知識や思考力を活用する応用力を修得する。
- C-7. 従来の機械の概念を超えた革新的な機械を創造するために必要な課題発見・解決能力および自主学修能力を身に付ける。

### 【機械数理コース】

金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS) 及び本学類が掲げる人材養成目標に加えて、特に、機械設計・制御などの応用・実践的学習により得られた知識や考え方をもち、機械工学における新しい技術分野に挑戦し、斬新なアイデアを意欲的に創成する能力を身に付けるために、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士（工学）の学位を授与する。

#### ○学修成果

- A-1. 工学や科学の基礎となる数学・物理学を重視した自然科学の基礎知識を身に付ける。
- A-2. 課題探求・実践学修を通じた自主性、創造性、協調性、発表・報告能力および国際的コミュニケーション能力を身に付ける。
- A-3. 技術倫理についての自覚と、地球的観点から多面的に考えることができる素養を涵養する。
- B-4. 機械工学の実践に必要なスキルと最新の工学ツールを使う能力を身に付ける。
- B-5. 設計、計測・制御、材料・加工、熱流体など機械工学の基幹分野の能力を身に付ける。
- C-6. 機械設計・制御などの応用・実践的学習により得られた知識や考え方を活用する応用力を修得する。
- C-7. 機械工学における新しい技術分野に挑戦し、斬新なアイデアを意欲的に創成する能力を涵養する。

### 【エネルギー機械コース】

金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS) 及び本学類が掲げる人材養成目標に加えて、特に、エネルギー変換、エネルギーシステム、省エネルギー、資源循環などの応用・実践的学習により得られた知識や考え方に基づき、安全で環境負荷の小さい機械技術を開発・応用し、持続可能社会の構築と発展に貢献する能力を身に付けるために、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士（工学）の学位を授与する。

#### ○学修成果

- A-1. 工学や科学の基礎となる数学・物理学を重視した自然科学の基礎知識を身に付ける。
- A-2. 課題探求・実践学修を通じた自主性、創造性、協調性、発表・報告能力および国際的コミュニケーション能力を身に付ける。
- A-3. 技術倫理についての自覚と、地球的観点から多面的に考えることができる素養を涵養する。
- B-4. 機械工学の実践に必要なスキルと最新の工学ツールを使う能力を身に付ける。
- B-5. 設計、計測・制御、材料・加工、熱流体など機械工学の基幹分野の能力を身に付ける。
- C-6. エネルギー変換、エネルギーシステム、省エネルギー、資源循環などの応用・実践的学習により得られた知識や考え方を機械工学分野に活用する応用力を修得する。
- C-7. 安全で環境負荷の小さい機械技術を開発・応用し、持続可能社会の構築と発展に貢献するために必要な多面的な視野と総合的な思考力を身に付ける。

## 3. カリキュラムポリシー

機械工学類では、技術者として基礎となる科目について体系的に学び、その上でさらなる技術の高度化、人間・自然・社会との調和や未来の課題に対応できる自主性、創造性、協調性、発表・報告能力、国際的コミュニケーション能力および技術倫理を身に付けられるよう科目を配置した（科目群A）。さらに、機械工学分野の技術者として必要な、設計、計測・制御、材料・加工、熱流体など機械工学の基幹分野および機械工学の実践に必要なスキルと最新の工学ツールを使いこなせる実践能力を高めるための実験・実習科目を4年間通して開講するようにカリキュラムを編成した（科目群B）。さらに、各コースの特色を活かした専門科目群および、自主性・創造性・協調性やプレゼンテーション能力（論理的構成力）、課題探求能力等を養成するための専門総合科目（科目群C）の多くは能動的な学修が行えるように少人数のグループワークとした。各科目群において、学生の能動的学修を積極的に促すためのアクティブラーニングの手法を取り入れている。

#### 【機械創造コース】

本コースでは、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施する。

技術者として必要な、工学への応用を重視した数学、物理学を修得し、自主性、創造性、協調性、発表・報告能力、国際的コミュニケーション能力、技術倫理についての自覚と、地球的観点から多面的に考えることができる素養を涵養するため（科目群A）に基礎科目群を配置した。続いて、機械工学分野の技術者として必要な、設計、計測・制御、材料・加工、熱流体など機械工学の基幹的な専門科目群および機械工学の実践に必要なスキルと最新の工学ツールを使いこなせる実践能力を高めるための実験・実習科目を4年間通して開講するようにカリキュラムを編成した（科目群B）。そのうえで、従来の機械の概念を超えた革新的な機械を創造できる能力を育成するため、機械の加工や、生産システム、材料などの応用的な専門科目および卒業研究等の総合的な実践科目（科目群C）へと続くカリキュラムを編成した。

#### ○評価方法

平常評価と期末評価を総合して学修成果の達成度を評価する。平常評価は、小テスト（中間試験）、レポート、演習での発表等で行う。期末評価は、期末試験、期末レポート等で行う。また、卒業研究については研究発表で行う。

#### 【機械数理コース】

本コースでは、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施する。

技術者として必要な、工学への応用を重視した数学、物理学を修得し、自主性、創造性、協調性、発表・報告能力、国際的コミュニケーション能力、技術倫理についての自覚と、地球的観点から多面的に考えることができる素養を涵養するため（科目群A）に基礎科目群を配置した。続いて、機械工学分野の技術者として必要な、設計、計測・制御、材料・加工、熱流体など機械工学の基幹的な専門科目群および機械工学の実践に必要なスキルと最新の工学ツールを使いこなせる実践能力を高めるための実験・実習科目を4年間通して開講するようにカリキュラムを編成した（科目群B）。そのうえで、機械工学における新しい技術分野に挑戦し、斬新なアイデアを意欲的に創成する能力を涵養するため、機械設計・制御などの応用的な専門科目および卒業研究等の総合的な実践科目（科目群C）へと続くカリキュラムを編成した。

#### ○評価方法

平常評価と期末評価を総合して学修成果の達成度を評価する。平常評価は、小テスト（中間試験）、レポート、演習での発表等で行う。期末評価は、期末試験、期末レポート等で行う。また、卒業研究については研究発表で行う。

#### 【エネルギー機械コース】

本コースでは、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施する。

技術者として必要な、工学への応用を重視した数学、物理学を修得し、自主性、創造性、協調性、発表・報告能力、国際的コミュニケーション能力、技術倫理についての自覚と、地球的観点から多面的に考えることができる素養を涵養するため（科目群A）に基礎科目群を配置した。続いて、機械工学分野の技術者として必要な、設計、計測・制御、材料・加工、熱流体など機械工学の基幹的な専門科目群および機械工学の実践に必要なスキルと最新の工学ツールを使いこなせる実践能力を高めるための実験・実習科目を4年間通して開講するようにカリキュラムを編成した（科目群B）。そのうえで、安全で環境負荷の小さい機械技術を開発・応用し、持続可能社会の構築と発展に貢献するために必要な多面的な視野と総合的な思考力を身に付けるため、エネルギー変換、エネルギーシステム、省エネルギー、資源循環などの応用的な専門科目および卒業研究等の総合的な実践科目（科目群C）へと続くカリキュラムを編成した。

#### ○評価方法

平常評価と期末評価を総合して学修成果の達成度を評価する。平常評価は、小テスト（中間試験）、レポート、演習での発表等で行う。期末評価は、期末試験、期末レポート等で行う。また、卒業研究については研究発表で行う。

#### 4. アドミッションポリシー

機械工学類では、技術者・研究者として、安全で安心な生活を支え、かつ、向上をもたらす様々な工業製品から、最先端技術の開発に至るまでを対象とした、先進的な設計技術、超精密加工、高度なシミュレーション技法の研究、さらに、エネルギー問題の解決に取り組み、ものづくりのリーダーとして国際的に広く活躍する人材を育成する。そのために、機械工学の基盤となる物理学・数学を積極的に取り入れ、基礎学力の上に立脚した応用能力を涵養し、先端的な教育・研究を通して技術革新を担う能力を育成する。また、自己を知り自己の人間力や表現力を高めるため、倫理・環境に関する教育・研究を実施して工学のみならず社会の調和に貢献し得る人間力を養成する。

本学類は、物理学・数学を駆使し、原子・分子レベルから、巨大構造までを対象とした最適設計法、超精密加工技術、新素材の開発など、未知の領域に挑む分野から、環境に配慮した新エネルギーやエンジンの開発など、自然の保護と持続に貢献する分野まで、広く興味を持つ人材の入学を期待する。

求める人材

- ・ 先端機械工学への興味、モノづくりへの熱意、人間支援に対する高い志を持ち、講義、実験や実習、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- ・ 技術倫理についての自覚を持ち、地球環境への関心が高く、グローバルな視野の拡大と国際的コミュニケーション能力の向上に意欲を持つ人
- ・ 独創性と創造性があり、自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針

■一般入試

基礎学力に加え、前期日程では、機械工学にとっての基礎となる数学・物理・英語の学力を評価する。後期日程では、理系一括入試による。

■帰国子女入試

機械工学にとっての基礎となる数学・物理・英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価する。

■私費外国人留学生入試

日本語の読解・筆記能力、機械工学にとっての基礎となる数学・物理・化学・英語の学力を重視するとともに、面接により、日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価する。

■国際バカロレア入試

機械工学にとっての基礎となる数学・物理・英語の学力を成績評価証明書により評価するとともに、面接により、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価する。

入学までに身に付けて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目（理系科目及び文系科目）および一般入試の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要である。また、身の回りの“モノづくり”の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことが望まれる。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p><b>【課題研究・卒業研究着手の要件】</b></p> <p>共通教育科目 46 単位以上，専門科目（専門基礎科目を含む） 63 単位以上を含む，合計 109 単位以上を修得しなければならない。</p> <p>ただし，共通教育科目については，指定された導入科目を 4 単位，GS 科目(5 群)の各群から必修単位を含む 3 単位（計 15 単位），指定された GS 言語科目を 8 単位，自由履修科目を 3 単位以上，基礎科目から 16 単以上を修得しなければならない。</p> <p>専門科目（専門基礎科目を含む）については，</p> <p>《機械創造コース・機械数理コース》</p> <p>3 年第 4 クォータまでの必修科目の単位すべてと，専門基礎科目Ⅰから 8 単位以上，専門基礎科目Ⅱから 6 単位以上，専門基礎科目Ⅲから 4 単位以上，専門科目Ⅰから 14 単位以上，専門総合科目から 3 単位以上を修得しなければならない。</p> <p>《エネルギー機械コース》</p> <p>3 年第 4 クォータまでの必修科目の単位すべてと，専門基礎科目Ⅰから 8 単位以上，専門基礎科目Ⅱから 12 単位以上，専門科目Ⅰから 14 単位以上，専門科目Ⅱから 6 単位以上，専門総合科目から 5 単位以上を修得しなければならない。</p> <p><b>【卒業に必要な要件】</b></p> <p>共通教育科目 46 単位以上及び専門科目 78 単位以上を含む，合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし，共通教育科目については，指定された導入科目を 4 単位，GS 科目(5 群)の各群から必修単位を含む 3 単位（計 15 単位），指定された GS 言語科目を 8 単位，自由履修科目を 3 単位以上，基礎科目から 16 単以上を修得しなければならない。</p> <p>専門科目（専門基礎科目を含む）については，必修科目の単位すべてを修得し，さらに，各コースで以下の要件を満たさなければならない。</p> <p>《機械創造コース・機械数理コース》</p> <p>専門科目Ⅰから 16 単位以上，専門総合科目から 13 単位以上を修得しなければならない。</p> <p>《エネルギー機械コース》</p> <p>専門科目Ⅱから 8 単位以上，専門総合科目から 15 単位以上を修得しなければならない。</p> <p>履修科目の登録の上限：12 単位（クォーター）</p>	1 学年の学期区分	4 学期
	1 学期の授業期間	8 週
	1 時限の授業時間	90 分

教育課程等の概要 (事前伺い)															
(理工学域 フロンティア工学類)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1			○								兼 73	クラス分け
	初学者ゼミ I	1①・②・③	1				○							兼 84	クラス分け
	情報処理基礎	1①	1				○							兼 61	クラス分け
	地域概論	1①・②	1			○								兼 69	クラス分け
	小計 (4科目)	—	4	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼 256	—
共通教育科目 GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の政治経済学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	グローバル時代の社会学	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け
	ケーススタディによる応用倫理学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	地球生物圏と人間	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	物理の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	化学の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	哲学 (自我論)	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	パーソナリティ心理学	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の文学	1①・②・③・④		1		○								兼 6	クラス分け
	健康科学	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け
	細胞・分子生物学	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	エクササイズ&スポーツ実技	1①・②・③・④		1				○						兼 18	クラス分け
	プレゼン・ディベート論 (初学者ゼミ II)	1①・②	1	1			○							兼 86	クラス分け
	クリティカル・シンキング	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	価値と情動の認知科学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	論理学から見る世界	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	数学的発想法	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	芸術と自己表現	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	スポーツ科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	金沢・能登と世界の地域文化	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	日本史・日本文化	1②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	異文化間コミュニケーション	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	異文化体験	1②・④		1				○						兼 2	クラス分け
	異文化体験	1②・④		2				○						兼 4	クラス分け
	異文化体験	1②・④		3				○						兼 6	クラス分け
	異文化体験	1②・④		4				○						兼 3	クラス分け
	異文化体験	1②・④		5				○						兼 1	
	異文化体験	1②・④		6				○						兼 1	
	異文化体験	1②・④		7				○						兼 1	
	異文化体験	1②・④		8				○						兼 1	
	国際社会とボランティア	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
グローバル社会と地域の課題	1①・③・④		1		○								兼 1		
科学技術と科学方法論	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け	
統計学から未来を見る	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け	
情報の科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け	



	環境学とESD	1①・②・③・④	1		○								兼2	クラス分け
	生活と社会保障	1③・④	1		○								兼3	クラス分け
	人権・ジェンダー論	1①・②・③・④	1		○								兼5	クラス分け
	小計(39科目)	—	1	66	0	—	0	0	0	0	0	0	兼221	—
GS 言語科目 (英語)	TOEIC準備I	1①	1		○								兼28	クラス分け
	TOEIC準備II	1②	1		○								兼28	クラス分け
	TOEIC準備III	1③	1		○								兼31	クラス分け
	TOEIC準備IV	1④	1		○								兼31	クラス分け
	TOEIC準備(演習)	2①・②・③・④	1		○								兼2	クラス分け
	English for Academic Purposes(EAP) I	1①	1		○								兼25	クラス分け
	English for Academic Purposes(EAP) II	1①	1		○								兼27	クラス分け
	English for Academic Purposes(EAP) III	1③	1		○								兼36	クラス分け
	English for Academic Purposes(EAP) IV	1④	1		○								兼36	クラス分け
	EAP(Retake)	1③・④・2①・②	1		○								兼14	クラス分け
GS 言語科目 (日本語)	アカデミック基礎日本語A	1①・③	1		○								兼2	クラス分け
	アカデミック基礎日本語B	1②・④	1		○								兼2	クラス分け
	アカデミック・ライティングIA	1①・③	1		○								兼1	
	アカデミック・ライティングIB	1②・④	1		○								兼1	
	アカデミック・ライティングIIA	1①・③	1		○								兼1	
	アカデミック・ライティングIIB	1②・④	1		○								兼1	
	講義の聴解A	1①・③	1		○								兼1	
	講義の聴解B	1②・④	1		○								兼1	
	口頭発表IA	1③	1		○								兼1	
	口頭発表IB	1④	1		○								兼1	
	口頭発表IIA	1①	1		○								兼1	
	口頭発表IIB	1②	1		○								兼1	
	上級読解IA	1①	1		○								兼1	
	上級読解IB	1②	1		○								兼1	
	上級読解IIA	1③	1		○								兼1	
	上級読解IIB	1④	1		○								兼1	
	日本事情A	1①・③	1		○								兼1	
日本事情B	1②・④	1		○								兼1		
日本語で学ぶ論理A	1③	1		○								兼1		
日本語で学ぶ論理B	1④	1		○								兼1		
小計(30科目)	—	10	20	0	—	0	0	0	0	0	0	兼64	—	
基礎科目	微分積分学第一	1①・②	2		○								兼9	クラス分け
	微分積分学第二	1③・④	2		○								兼7	クラス分け
	線形代数学第一	1①・②	2		○								兼10	クラス分け
	線形代数学第二	1③・④	2		○								兼7	クラス分け
	統計数学	1③・④	2		○								兼3	クラス分け
	物理学I	1①・②	2		○								兼16	クラス分け
	物理学II	1①・②・③・④	2		○								兼15	クラス分け
	物理学実験	1①・②・③・④	2		○		○						兼32	クラス分け
	化学I	1①・②	2		○								兼11	クラス分け

	化学Ⅱ	1③・④		2		○							兼 7	クラス分け
	化学実験	1①・②・③・④		2									兼 15	クラス分け
	化学実験	2①		1									兼 11	クラス分け
	地学Ⅰ	1①・②		2		○							兼 4	クラス分け
	地学Ⅱ	1③・④		2		○							兼 1	
	小計 (14 科目)	—	0	27	0	—		0	0	0	0	0	兼 106	—
初習言語科目	ドイツ語 A1-1	1①・③		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A1-2	1②・④		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-1	1①・③		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-2	1②・④		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-1	1①・③		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-2	1②・④		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A4-1	1①・③		1		○							兼 7	クラス分け
	ドイツ語 A4-2	1②・④		1		○							兼 7	クラス分け
	ドイツ語 B-1	2①		1		○							兼 3	クラス分け
	ドイツ語 B-2	2②		1		○							兼 3	クラス分け
	ドイツ語 C-1	2①・③		1		○							兼 2	クラス分け
	ドイツ語 C-2	2②・④		1		○							兼 2	クラス分け
	フランス語 A1-1	1①・③		1		○							兼 4	クラス分け
	フランス語 A1-2	1②・④		1		○							兼 4	クラス分け
	フランス語 A2-1	1①・③		1		○							兼 5	クラス分け
	フランス語 A2-2	1②・④		1		○							兼 5	クラス分け
	フランス語 A3-1	1①・③		1		○							兼 4	クラス分け
	フランス語 A3-2	1②・④		1		○							兼 4	クラス分け
	フランス語 A4-1	1①・③		1		○							兼 4	クラス分け
	フランス語 A4-2	1②・④		1		○							兼 4	クラス分け
	フランス語 B-1	2①・③		1		○							兼 6	クラス分け
	フランス語 B-2	2②・④		1		○							兼 6	クラス分け
	フランス語 C-1	2①・③		1		○							兼 4	クラス分け
	フランス語 C-2	2②・④		1		○							兼 4	クラス分け
	ロシア語 A1-1	1①		1		○							兼 1	
	ロシア語 A1-2	1②		1		○							兼 1	
	ロシア語 A2-1	1①		1		○							兼 1	
	ロシア語 A2-2	1②		1		○							兼 1	
	ロシア語 A3-1	1③		1		○							兼 1	
	ロシア語 A3-2	1④		1		○							兼 1	
	ロシア語 A4-1	1③		1		○							兼 1	
	ロシア語 A4-2	1④		1		○							兼 1	
	ロシア語 B-1	2①・③		1		○							兼 1	
	ロシア語 B-2	2②・④		1		○							兼 1	
ロシア語 C-1	2①・③		1		○							兼 1		
ロシア語 C-2	2②・④		1		○							兼 1		
中国語 A1-1	1①・③		1		○							兼 6	クラス分け	
中国語 A1-2	1②・④		1		○							兼 6	クラス分け	
中国語 A2-1	1①・③		1		○							兼 4	クラス分け	
中国語 A2-2	1②・④		1		○							兼 4	クラス分け	
中国語 A3-1	1①・③		1		○							兼 5	クラス分け	
中国語 A3-2	1②・④		1		○							兼 5	クラス分け	
中国語 A4-1	1①・③		1		○							兼 4	クラス分け	
中国語 A4-2	1②・④		1		○							兼 4	クラス分け	
中国語 B-1	2①・③		1		○							兼 3	クラス分け	

	中国語 B-2	2②・④	1	○					兼3	クラス分け
	中国語 C-1	2①・③	1	○					兼3	クラス分け
	中国語 C-2	2②・④	1	○					兼3	クラス分け
	朝鮮語 A1-1	1①・③	1	○					兼2	クラス分け
	朝鮮語 A1-2	1②・④	1	○					兼2	クラス分け
	朝鮮語 A2-1	1①・③	1	○					兼2	クラス分け
	朝鮮語 A2-2	1②・④	1	○					兼2	クラス分け
	朝鮮語 A3-1	1①・③	1	○					兼1	
	朝鮮語 A3-2	1②・④	1	○					兼1	
	朝鮮語 A4-1	1①・③	1	○					兼1	
	朝鮮語 A4-2	1②・④	1	○					兼1	
	朝鮮語 B-1	2①・③	1	○					兼1	
	朝鮮語 B-2	2②・④	1	○					兼1	
	朝鮮語 C-1	2①・③	1	○					兼2	クラス分け
	朝鮮語 C-2	2②・④	1	○					兼2	クラス分け
	ギリシャ語 A1-1	1①	1	○					兼1	
	ギリシャ語 A1-2	1②	1	○					兼1	
	ギリシャ語 A2-1	1③	1	○					兼1	
	ギリシャ語 A2-2	1④	1	○					兼1	
	ギリシャ語 A3-1	1①	1	○					兼1	
	ギリシャ語 A3-2	1②	1	○					兼1	
	ギリシャ語 A4-1	1③	1	○					兼1	
	ギリシャ語 A4-2	1④	1	○					兼1	
	ギリシャ語 B-1	1①	1	○					兼1	
	ギリシャ語 B-2	1②	1	○					兼1	
	ギリシャ語 C-1	1③	1	○					兼1	
	ギリシャ語 C-2	1④	1	○					兼1	
	ラテン語 A1-1	1①	1	○					兼2	クラス分け
	ラテン語 A1-2	1②	1	○					兼2	クラス分け
	ラテン語 A2-1	1③	1	○					兼2	クラス分け
	ラテン語 A2-2	1④	1	○					兼2	クラス分け
	ラテン語 A3-1	1①	1	○					兼1	
	ラテン語 A3-2	1②	1	○					兼1	
	ラテン語 A4-1	1③	1	○					兼1	
	ラテン語 A4-2	1④	1	○					兼1	
	ラテン語 B-1	1①	1	○					兼1	
	ラテン語 B-2	1②	1	○					兼1	
	ラテン語 C-1	1③	1	○					兼1	
	ラテン語 C-2	1④	1	○					兼1	
	スペイン語 A1-1	1①	1	○					兼1	
	スペイン語 A1-2	1②	1	○					兼1	
	スペイン語 A2-1	1①	1	○					兼1	
	スペイン語 A2-2	1②	1	○					兼1	
	スペイン語 A3-1	1③	1	○					兼1	
	スペイン語 A3-2	1④	1	○					兼1	
	スペイン語 A4-1	1③	1	○					兼1	
	スペイン語 A4-2	1④	1	○					兼1	
	スペイン語 B-1	2①	1	○					兼1	
	スペイン語 B-2	2②	1	○					兼1	
	スペイン語 C-1	2③	1	○					兼1	
	スペイン語 C-2	2④	1	○					兼1	

	小計 (96 科目)	—	0	96	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 45	—
自由履修科目	ジャーナリズム論	1・2③		1		○							兼 1	
	石川県の行政	1・2③・④		2		○							兼 1	
	石川県の市町	1・2①・②		2		○							兼 1	
	キャリアディベロップメント実践	3・4①・②		2		○							兼 2	共同
	健康論実践 D	1・2③・④		1		○							兼 4	共同
	健康論実践 E	1・2③・④		1		○							兼 2	共同
	能登の世界農業遺産を学ぶ スタディ・ツアー	1・2①・②		1		○							兼 8	共同
	里山体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1		○							兼 6	共同
	里海体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1		○							兼 6	共同
	地元学 A (地域資源調査)	1・2①		1		○							兼 1	
	地元学 B (聞き書き)	1・2②		1		○							兼 1	
	生と死を見つめて	1・2②		1		○							兼 6	オムニバス
	実践アントレプレナー学	1・2①・②		1		○							兼 8	オムニバス
	クラウド時代の「ものグラ ミング」概論	1・2①・②		2		○							兼 3	共同
	シュルスクリプト言語論	1・2①・②		2		○							兼 2	共同
	マスメディアと現代を読み 解く	1・2②		1		○							兼 1	
	ライフキャリアデザイン	1・2③④		2		○							兼 1	
	ダイバーシティとインクル ーション	1・2②		1		○							兼 3	共同
	キャリアディベロップメント	1・2①・②		2		○							兼 1	
	ファシリテーション入門	1・2②・④		1		○							兼 3	共同
	学生・学習論	1・2①		1		○							兼 2	共同
	コーヒーの世界	1・2③・④		2		○							兼 13	オムニバス
	画像解剖学	2・3・4③・④		1		○							兼 1	
	よくわかる健康と病気	1・2③・④		1		○							兼 1	
	国際協力と地域のグローバ ル化	1・2③・④		2		○							兼 1	
	心と体の健康	1・2③		1		○							兼 3	共同
	死と喪失	1・2①・②・④		1		○							兼 1	
	ひとのからだ I	1・2①・②		2		○							兼 1	
	ひとのからだ II	1・2③・④		2		○							兼 1	
	基礎病態学	1・2③・④		1		○							兼 1	
	哲学 A	2①・②		2		○							兼 1	
	宗教学 A	1・2③・④		2		○							兼 1	
	ことばと文化 J	1・2③・④		2		○							兼 1	
	基礎運動学	2①・②		1		○							兼 4	オムニバス
	地域「超」体験プログラム (能登 珠洲)	1①・②		1			○						兼 1	
	地域「超」体験プログラム (能登 小木)	1①・②		1			○						兼 1	
地域「超」体験プログラム (白山麓)	1①・②		1			○						兼 1		
地域「超」体験プログラム (五箇山)	1③・④		1			○						兼 1		
地方行政	1・2③・④		2		○							兼 1		
ボランティア入門	1・2①・②		2		○							兼 1		

ゼミ／政治哲学入門	1・2③・④	2			○						兼1	
茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③・④	2			○						兼1	
日本の伝統芸能	1・2①・②	2			○						兼1	
金沢の歴史と文化	1・2③・④	2			○						兼2	共同
ESD 入門	1・2①・②	1			○						兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1・2①・②	1			○						兼1	
持続可能性と福祉	1・2①・③	1			○						兼1	
異文化間ディベート	1・2	2			○						兼1	
	①・②・③・④											
日本の歴史からみた暦と時間	1・2	2			○						兼1	
	①・②・③・④											
日本と金沢の建築・都市	1・2①・②	2			○						兼2	共同
コミュニケーションビジネス	1・2③・④	2			○						兼2	共同
日本国憲法概説	1・2	2			○						兼4	クラス分け
	①・②・③・④											
行政学入門	1・2①・②	2			○						兼1	
公共政策入門 I	1・2①・②	2			○						兼1	
経済学入門 C	1・2③・④	2			○						兼1	
日本史要説	2③・④	2			○						兼4	オムニバス
東洋史要説	2③・④	2			○						兼3	オムニバス
法論理学入門	1・2①	2			○						兼1	
異文化理解のためのビデオ	1・2③	1			○						兼1	
会議ディスカッション												
ビジネス入門	1・2①	1			○						兼1	
日本のオープンデータ活用	1・2②	1			○						兼1	
ビジネスと金融	1・2③	1			○						兼1	
世界のオープンデータ活用	1・2④	1			○						兼1	
ガラスとクリスタル I	1・2②	1			○						兼1	
ガラスとクリスタル II	1・2③	1			○						兼1	
英国諸島の地史 I	1・2②	1			○						兼1	
英国諸島の地史 II	1・2③	1			○						兼1	
地学実験	1・2①・②・③	2						○			兼16	クラス分け
東洋医学	3・4③・④	2			○						兼2	クラス分け
コンピュータグラフィクス	1・2③・④	2						○			兼1	
演習												
生物学実験	1・2①・②	2						○			兼13	共同
実践 Web プログラミング実習	1・2③・④	2						○			兼1	
実践システム開発工程入門	1・2③・④	2						○			兼1	
プログラミング演習	1・2③・④	2						○			兼1	
環境動態学概説 I	1・2③	1			○						兼1	
環境動態学概説 II	1・2④	1			○						兼1	
海洋生化学演習	1・2①・②	2						○			兼4	共同
動画配信サービスを用いた	1・2①・②	2			○						兼1	
情報発信演習												
プレゼンテーション演習	1・2③・④	2			○						兼1	
英語セミナー	1・2②・③・④	1			○						兼7	クラス分け
英語セミナー	1・2③・④	2			○						兼2	クラス分け
ゼミ／漢文資料読解 A	1・2①・②	2						○			兼1	
ゼミ／漢文資料読解 B	1・2③・④	2						○			兼1	
ゼミ／アフリカ系人の音楽	1・2③・④	2						○			兼1	

	を通じて知る現代の世界																	
	ゼミ／角間の里山づくり春編	1・2①	1				○									兼1		
	ゼミ／角間の里山づくり秋編	1・2③	1				○									兼1		
	身体・スポーツ実技／野外活動	1・2①・②	1						○							兼3	共同	
	身体・スポーツ実技／初心者スキー	1・2③・④	1						○							兼6	共同	
	ゼミ／身体運動心理学	3・4①・②	2				○									兼1		
	ドイツ語A (充実クラス I-1)	1③	1						○							兼1		
	ドイツ語A (充実クラス I-2)	1④	1						○							兼1		
	ドイツ語A (充実クラス II-1)	1③	1						○							兼1		
	ドイツ語A (充実クラス II-2)	1④	1						○							兼1		
	フランス語A (充実クラス I-1)	1③	1						○							兼1		
	フランス語A (充実クラス I-2)	1④	1						○							兼1		
	フランス語A (充実クラス II-1)	1③	1						○							兼1		
	フランス語A (充実クラス II-2)	1④	1						○							兼1		
	中国語A (充実クラス I-1)	1③	1						○							兼1		
	中国語A (充実クラス I-2)	1④	1						○							兼1		
	中国語A (充実クラス II-1)	1③	1						○							兼1		
	中国語A (充実クラス II-2)	1④	1						○							兼1		
	小計 (101科目)	—	0	147	0	—	—		0	0	0	0	0	0	0	兼156	—	
	共通教育科目計 (284科目)		—	15	356	0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	兼617	—	
	専門科目	学域GS科目	数学物理学演習 A	1③	1			○									兼3	オムニバス
			数学物理学演習 B	1④	1			○									兼3	オムニバス
物質化学序論 A			2①	1				○								兼4	オムニバス	
物質化学序論 B			2②	1				○								兼4	オムニバス	
先端テクノロジー概論			1③・④	1				○			14					兼1	オムニバス	
数学物理基礎リテラシー			2①～②	1				○				2				兼5	オムニバス	
電子情報通信工学序論			2①	1				○								兼4	オムニバス	
地球社会基盤情報処理演習 A			2①	1				○								兼8	共同	
地球社会基盤情報処理演習 B			2②	1				○								兼8	共同	
生命科学技術論 A			1①	1				○								兼14	オムニバス	
生命科学技術論 B			1②	1				○								兼7	オムニバス	
小計 (11科目)		—	0	11	0	—	—	14	2	0	0	0	0	0	兼61			
学域GS言語科目		学域GS言語科目Ⅰ (理工系英語Ⅰ)	2①	1				○			1							
		学域GS言語科目Ⅱ (理工系英語Ⅱ)	2②	1				○			1							
	小計 (2科目)	—	2	0	0	—	—	1	0	0	0	0	0	0				
フロンティア工学基礎	<b>【学域共通科目】</b>																	
	情報・計算科学基礎	1③	2				○									兼3	オムニバス	
	計算科学	1④	2				○									兼2	オムニバス	
	情報処理演習	1③～④	1				○									兼2	共同	
	工業力学	2①～②	2				○									兼4	オムニバス	
	計算機リテラシーA	2①	1				○									兼2	オムニバス	
	計算機リテラシーB	2②	1				○									兼2	オムニバス	
	地球社会基盤学概論 A	2①	1				○									兼43	オムニバス	
	地球社会基盤学概論 B	2②	1				○									兼43	オムニバス	
	生命理工学概論 A	1③	2				○									兼14	オムニバス	
	生命理工学概論 B	1④	2				○									兼7	オムニバス	
国際研修 A	1・2・3・4	1						○		1								

	国際研修 B	①・②・③・④ 1・2・3・4	2				○	1						
	<b>【専門基礎科目 I】</b>													
	微分方程式及び演習	1③～④	2				○						兼 1	
	フーリエ解析及び演習	2①～②	2				○						兼 1	
	ベクトル解析及び演習	2①～②	2				○						兼 1	
	複素解析及び演習	2③～④	2				○						兼 1	
	<b>【専門基礎科目 II】</b>													
	電気回路 A	2①	1				○	1						
	電気回路 B	2②	1				○	1						
	プログラミング演習	2①～②	2				○			1				※演習
	材料力学 I 及び演習	2①～②	2				○	2	1				兼 3	※演習 共同
	プロセス工学 A	2①	1				○	1	1					共同
	プロセス工学 B	2②	1				○	1	1					共同
	小計 (22 科目)	—	0	34	0		—	4	2	0	1	0	兼 133	—
	<b>【実践コア科目】</b>													
	機械工学設計製図基礎 (ME)	2③～④	2				○						兼 1	
	<b>【コア科目 I】</b>													
	材料力学 II A (ME)	2③	1				○	1					兼 1	共同
	材料力学 II B (ME)	2④	1				○	1					兼 1	共同
	振動工学 I 及び演習 (ME)	2③～④	2				○	1	1					※演習 共同
	流れ学 I 及び演習 (ME)	2③～④	2				○						兼 2	※演習 共同
	熱力学 I 及び演習 (ME)	2③～④	2				○						兼 2	※演習 共同
	<b>【コア科目 II】</b>													
	基礎加工学 A	2③	1				○						兼 3	オムニバス
	基礎加工学 B	2④	1				○						兼 3	オムニバス
	制御工学 I A (ME)	2③	1				○						兼 1	
	制御工学 I B (ME)	2④	1				○						兼 1	
	数値解析 A	2③	1				○						兼 2	共同
	数値解析 B	2④	1				○						兼 2	共同
	メカトロニクス A	3①	1				○		1					
	メカトロニクス B	3②	1				○		1					
	電子回路概論 A	3①	1				○	1						
	電子回路概論 B	3②	1				○	1						
	電気回路 C	3③	1				○	1						
	電気回路 D	3④	1				○	1						
	技術社会と倫理	4③	1				○						兼 2	オムニバス
	小計 (19 科目)	—	2	21	0		—	2	3	0	0	0	兼 15	—
	<b>【実践コア科目】</b>													
	機械工学設計製図基礎 (BH)	2③～④	2				○						兼 2	共同
	<b>【コア科目 I】</b>													
	振動工学 I 及び演習 (BH)	2③～④	2				○	1		1				※演習 共同
	流れ学 I 及び演習 (BH)	2③～④	2				○						兼 1	※演習
	熱力学 I 及び演習 (BH)	2③～④	2				○						兼 4	※演習 共同
	材料力学 II A (BH)	2③	1				○						兼 1	
	材料力学 II B (BH)	2④	1				○						兼 1	
	信頼性工学 A	2③	1				○	1						
	信頼性工学 B	2④	1				○	1						
	<b>【コア科目 II】</b>													
	材料工学 A (BH)	2③	1				○						兼 1	
	材料工学 B (BH)	2④	1				○						兼 1	

	加工学 A	2③		1		○								兼 1	
	加工学 B	2④		1		○								兼 1	
	制御工学 I A(BH)	2③		1		○			1						
	制御工学 I B(BH)	2④		1		○			1						
	機械設計工学 A	2③		1		○			1						
	機械設計工学 B	2④		1		○			1						
	技術社会と倫理	4③		1		○								兼 2	オムニバス
	小計 (17 科目)	—	2	19	0	—			2	2	0	1	0	兼 9	—
コアプログラム (化学工学)	<b>【実践コア科目】</b>														
	プロセス工学実験	2③～④	1				○					1			
	プロセス工学演習	2③～④	1				○					2			共同
	<b>【コア科目 I】</b>														
	統計解析 A	2③		1		○			1						
	統計解析 B	2④		1		○			1						
	プロセス工学数学 A	2③		1		○				1					
	プロセス工学数学 B	2④		1		○				1					
	伝熱工学 A	2③		1		○				1					
	伝熱工学 B	2④		1		○				1					
	流体工学 A	2③		1		○								兼 1	
	流体工学 B	2④		1		○								兼 1	
	熱力学 A	2③		1		○								兼 2	共同
	熱力学 B	2④		1		○								兼 2	共同
	物理化学 A	2③		1		○			1						
	物理化学 B	2④		1		○			1						
	化学反応速度論 A	2③		1		○			1						
	化学反応速度論 B	2④		1		○			1						
	プロセス工学量論 A	2③		1		○			1	1					共同
	プロセス工学量論 B	2④		1		○				2					共同
	プロセス制御 A	2③		1		○				1		1			共同
	プロセス制御 B	2④		1		○				1		1			共同
	単位操作 A	2③		1		○				1		1			共同
単位操作 B	2④		1		○				1		1			共同	
工学における倫理と法	4①～②		2			○								兼 3	オムニバス
	小計 (23 科目)	—	2	22	0	—			3	3	0	2	0	兼 6	—
コアプログラム (電子情報)	<b>【実践コア科目】</b>														
	電子情報基礎実験	2③～④	2				○		1			1			オムニバス
	<b>【コア科目 I】</b>														
	統計解析 A	2③		1		○			1						
	統計解析 B	2④		1		○			1						
	パターン認識 A	2③		1		○						1			
	パターン認識 B	2④		1		○						1			
	電気回路 C	2③		1		○			1						
	電気回路 D	2④		1		○			1						
	電子回路 I	2③		2		○			1						
	電子回路 II	2④		2		○			1						
	電気磁気学及び演習 A	3①		1		○								兼 2	共同
	電気磁気学及び演習 B	3②		1		○								兼 2	共同
	電気磁気学及び演習 C	3③		1		○								兼 1	
	電気磁気学及び演習 D	3④		1		○								兼 1	
	論理回路 A	2③		1		○						1			
	論理回路 B	2④		1		○						1			
	通信工学 A	2③		1		○			1						
	通信工学 B	2④		1		○			1						
システム制御基礎 A	2③		1		○				1						



	システム制御基礎 B	2④		1		○			1						
	振動工学	2③～④		2		○			1						
	工学における倫理と法	4①～②		2		○								兼 3	オムニバス
	小計 (21 科目)	—	2	24	0	—			4	1	1	1	0	兼 6	—
	<b>【実践科目】</b>														
	知能ロボティクス基礎実験	3①～②	1					○	1	1		2		兼 4	共同
	機械工作実習 (ME)	3①～②	1					○						兼 4	共同
	機械設計演習 A	3①～②	1				○		1	1		2		兼 3	※実習 共同
	機械設計演習 B	3②	1				○		1	1		2		兼 3	※実習 共同
	応用プログラミング技術	3③～④	2					○	1	1				兼 2	共同
	<b>【専門科目】</b>														
	振動工学ⅡA (ME)	3①	1					○	1						
	振動工学ⅡB (ME)	3②	1					○	1						
	航空宇宙工学 A	3①	1					○		1				兼 2	共同
	航空宇宙工学 B	3②	1					○		1				兼 2	共同
	制御工学ⅡA (ME)	3①	1					○						兼 1	
	制御工学ⅡB (ME)	3②	1					○						兼 1	
	熱力学ⅡA (ME)	3①	1					○						兼 1	
	熱力学ⅡB (ME)	3②	1					○						兼 1	
	機械設計学	3①	2					○	1						
	信号処理 A	3①	1					○			1				
	信号処理 B	3②	1					○			1				
	計測工学 A	3③	1					○						兼 1	
	計測工学 B	3④	1					○						兼 1	
	確率・統計解析 A	3③	1					○						兼 2	共同
	確率・統計解析 B	3④	1					○						兼 2	共同
	ロボット工学 A	3①	1					○	2	2					共同
	ロボット工学 B	3②	1					○	2	2					共同
	パターン認識 A	3③	1					○				1			
	パターン認識 B	3④	1					○				1			
	画像処理 A	3③	1					○				1			
	画像処理 B	3④	1					○				1			
	流れ学ⅡA (ME)	4①	1					○						兼 2	共同
	流れ学ⅡB (ME)	4②	1					○						兼 2	共同
	アルゴリズムとデータ構造 A	4①	1					○						兼 2	共同
	アルゴリズムとデータ構造 B	4②	1					○						兼 2	共同
	通信工学 A	4③	1					○	1						
	通信工学 B	4④	1					○	1						
	機械学習 A	4③	1					○						兼 1	
	機械学習 B	4④	1					○						兼 1	
	小計 (34 科目)	—	3	33	0	—			3	4	1	3	0	兼 19	—
	<b>【実践科目】</b>														
	バイオメカトロニクス基礎実験	3①～②	1					○		2		1		兼 4	共同
	機械工作実習 (BH)	3①～②	1					○						兼 1	
	数値解析及びプログラミング演習 A	3①	1					○	1						※演習
	数値解析及びプログラミング演習 B	3②	1					○	1						※演習
	創造デザイン実習	3①～②	2					○	1	1		1		兼 1	共同
	<b>【専門科目】</b>														
	人体科学 A	3①	1					○	1					兼 1	オムニバス
	人体科学 B	3②	1					○	1					兼 1	オムニバス
	振動工学ⅡA (BH)	3①	1					○	1						

	振動工学ⅡB(BH)	3②	1	○		1									
	流れ学ⅡA(BH)	3①	1	○									兼1		
	流れ学ⅡB(BH)	3②	1	○									兼1		
	伝熱学A	3①	1	○									兼1		
	伝熱学B	3②	1	○									兼1		
	人間工学A	3③	1	○		1	1							オムニバス	
	人間工学B	3④	1	○		1	1							オムニバス	
	生体計測A	3③	1	○			1								
	生体計測B	3④	1	○			1								
	制御工学ⅡA(BH)	3①	1	○		1									
	制御工学ⅡB(BH)	3②	1	○		1									
	ロボット工学A	3①	1	○		2	2							共同	
	ロボット工学B	3②	1	○		2	2							共同	
	パターン認識A	3③	1	○						1					
	パターン認識B	3④	1	○						1					
	画像処理A	3③	1	○						1					
	画像処理B	3④	1	○						1					
	生体材料工学A	3①	1	○		1									
	生体材料工学B	3②	1	○		1									
	構造解析学A	3③	1	○									兼1		
	構造解析学B	3④	1	○									兼1		
	知的生産システムA	3③	1	○									兼1		
	知的生産システムB	3④	1	○									兼1		
	工業デザインA	4①	1	○									兼1		
	工業デザインB	4②	1	○									兼1		
	小計 (33科目)	—	6	28	0	—	5	3	0	2	0	兼12	—		
フロンティアプログラム(マテリアルデザイン)	<b>【実践科目】</b>														
	マテリアルプロセス実験	3①～②	1			○				1					
	マテリアルプロセス創成	3①～②	1			○		1							
	<b>【専門科目】</b>														
	無機材料	3①～②	2	○									兼1		
	生体材料工学A	3①	1	○		1									
	生体材料工学B	3②	1	○		1									
	プラスチック成形加工A	3①	1	○									兼1		
	プラスチック成形加工B	3②	1	○									兼1		
	反応工学A	3①	1	○				1							
	反応工学B	3②	1	○				1							
	結晶化学A	3①	1	○		1									
	結晶化学B	3②	1	○		1									
	微粒子工学A	3①	1	○		1									
	微粒子工学B	3②	1	○		1									
	マテリアルシミュレーションA	3①	1	○				1							
	マテリアルシミュレーションB	3②	1	○				1							
	環境安全工学A	3①	1	○									兼1		
	環境安全工学B	3②	1	○									兼1		
	分離工学A	3①	1	○				1							
分離工学B	3②	1	○				1								
有機化学	3①～②	2	○									兼1			
表面科学A	3③	1	○				1								
表面科学B	3④	1	○				1								
ナノ粒子工学A	3③	1	○		1										
ナノ粒子工学B	3④	1	○		1										

	高分子材料物性 A	3③		1		○			1								
	高分子材料物性 B	3④		1		○			1								
	プラズマ工学 A	3③		1		○										兼 1	
	プラズマ工学 B	3④		1		○										兼 1	
	金属材料 A	4①		1		○										兼 1	
	金属材料 B	4②		1		○										兼 1	
	小計 (30 科目)	—	2	30	0	—			4	5	0	1	0		兼 6	—	
フロンティアプログラム (計測制御システムデザイン)	【実践科目】																
	計測制御実験	3①～②	2					○	1	1	1						オムニバス
	【専門科目】																
	電気電子計測 A	3①		1		○			1								
	電気電子計測 B	3②		1		○			1								
	システム制御 A	3①		1		○				1							
	システム制御 B	3②		1		○				1							
	システム制御 C	3③		1		○			1								
	システム制御 D	3④		1		○			1								
	デジタル制御 A	3③		1		○			1								
	デジタル制御 B	3④		1		○			1								
	システム最適化 A	3①		1		○			1								
	システム最適化 B	3②		1		○			1								
	数値シミュレーション A	3①		1		○										兼 1	
	数値シミュレーション B	3②		1		○										兼 1	
	信号処理 A	3①		1		○					1						
	信号処理 B	3②		1		○					1						
	計算機アーキテクチャ A	3①		1		○					1						
	計算機アーキテクチャ B	3②		1		○					1						
	アルゴリズムとデータ構造 A	3①		1		○										兼 2	共同
	アルゴリズムとデータ構造 B	3②		1		○										兼 2	共同
	画像処理 A	3③		1		○						1					
	画像処理 B	3④		1		○						1					
	オペレーティングシステム A	3①		1		○										兼 1	
	オペレーティングシステム B	3②		1		○										兼 1	
情報ネットワーク A	3①		1		○										兼 1		
情報ネットワーク B	3②		1		○										兼 1		
小計 (25 科目)	—	2	24	0	—				2	1	1	1	0		兼 5	—	
フロンティアプログラム (ヒューマン・エコシステム)	【専門科目】																
	材料設計学 A	3①		1		○										兼 1	
	材料設計学 B	3②		1		○										兼 1	
	人間工学 A	3③		1		○			1	1							オムニバス
	人間工学 B	3④		1		○			1	1							オムニバス
	生体計測 A	3③		1		○				1							
	生体計測 B	3④		1		○				1							
	生物学 A	3③		1		○			1							兼 1	共同
	生物学 B	3④		1		○			1							兼 1	共同
	熱力学ⅡA (BH)	3①		1		○										兼 1	
	熱力学ⅡB (BH)	3②		1		○										兼 1	
	物質循環工学 A	3③		1		○										兼 1	
	物質循環工学 B	3④		1		○										兼 1	
	エネルギー・環境工学 A	3③		1		○										兼 1	
	エネルギー・環境工学 B	3④		1		○										兼 1	
	エネルギー変換工学 A	3③		1		○										兼 3	オムニバス
	エネルギー変換工学 B	3④		1		○										兼 3	オムニバス
バイオテクノロジー A	3③		1		○					1							
バイオテクノロジー B	3④		1		○					1							

	環境安全工学 A	3①		1		○								兼 1	
	環境安全工学 B	3②		1		○								兼 1	
	高分子材料物性 A	3③		1		○			1						
	高分子材料物性 B	3④		1		○			1						
	電気化学	3③～④		2		○								兼 1	
	工業デザイン A	4①		1		○								兼 1	
	工業デザイン B	4②		1		○								兼 1	
	小計 (25 科目)	—	0	26	0	—			3	2	0	0	0	兼 14	—
フロンティアプログラム (ナノセンシング)	【実践科目】 計測プログラミング及び演習	3③～④	2			○						2			※演習 オムニバス
	【専門科目】 電気電子計測 A	3①		1		○			1						
	電気電子計測 B	3②		1		○			1						
	分離工学 A	3①		1		○				1					
	分離工学 B	3②		1		○				1					
	量子物理学	3①～②		2		○								兼 1	
	計測標準学 A	3③		1		○				1					
	計測標準学 B	3④		1		○				1					
	マイクロコピー A	3③		1		○			1	1					オムニバス
	マイクロコピー B	3④		1		○			1	1					オムニバス
	スペクトロコピー A	3③		1		○			1			2			共同
	スペクトロコピー B	3④		1		○			1			2			共同
	バイオアナリシス A	3③		1		○				1					
	バイオアナリシス B	3④		1		○				1					
	ナノ粒子工学 A	3③		1		○			1						
	ナノ粒子工学 B	3④		1		○			1						
	センサ工学 A	3③		1		○				1		1			オムニバス
	センサ工学 B	3④		1		○			1			1			オムニバス
	環境計測 A	3③		1		○								兼 1	
環境計測 B	3④		1		○								兼 1		
表面科学 A	3③		1		○				1						
表面科学 B	3④		1		○				1						
小計 (22 科目)	—	2	22	0	—			4	5	0	2	0	兼 4	—	
発展科目 I	材料工学 A (ME)	2③			1	○								兼 1	
	材料工学 B (ME)	2④			1	○								兼 1	
	機構運動学 A	2③			1	○								兼 1	
	機構運動学 B	2④			1	○								兼 1	
	伝熱工学 A	3③			1	○								兼 2	共同
	伝熱工学 B	3④			1	○								兼 2	共同
	応用数理解析 A	3③			1	○								兼 2	共同
	応用数理解析 B	3④			1	○								兼 2	共同
	レーザー工学 A	3③			1	○								兼 1	
	レーザー工学 B	3④			1	○								兼 1	
	機械材料学 I A	3③			1	○								兼 1	
	機械材料学 I B	3④			1	○								兼 1	
	企業開放講義	3③～④			1	○								兼 2	オムニバス
小計 (13 科目)	—	0	0	13	—			2	1	0	0	0	兼 8	—	
発展科目 II	材料設計学 A	3①			1	○								兼 1	
	材料設計学 B	3②			1	○								兼 1	
	熱力学 II A (BH)	3①			1	○								兼 1	
	熱力学 II B (BH)	3②			1	○								兼 1	
	生物工学 A	3③			1	○			1					兼 1	共同
	生物工学 B	3④			1	○			1					兼 1	共同

	企業開放講義	3③～④			1	○							兼 2	オムニバス
	物質循環工学 A	3③			1	○							兼 1	
	物質循環工学 B	3④			1	○							兼 1	
	応用伝熱学 A	3③			1	○							兼 1	
	応用伝熱学 B	3④			1	○							兼 1	
	エネルギー・環境工学 A	3③			1	○							兼 1	
	エネルギー・環境工学 B	3④			1	○							兼 1	
	小計 (13 科目)	—	0	0	13	—		3	1	0	0	0	兼 7	—
発展科目 III	人体科学 A	3①			1	○		1					兼 1	オムニバス
	人体科学 B	3②			1	○		1					兼 1	オムニバス
	振動工学 II A (BH)	3①			1	○		1						
	振動工学 II B (BH)	3②			1	○		1						
	流れ学 II A (BH)	3①			1	○							兼 1	
	流れ学 II B (BH)	3②			1	○							兼 1	
	伝熱学 A	3①			1	○							兼 1	
	伝熱学 B	3②			1	○							兼 1	
	制御工学 II A (BH)	3①			1	○		1						
	制御工学 II B (BH)	3②			1	○		1						
	企業開放講義	3③～④			1	○							兼 2	オムニバス
	応用伝熱学 A	3③			1	○							兼 1	
	応用伝熱学 B	3④			1	○							兼 1	
	小計 (13 科目)	—	0	0	13	—		2	1	0	0	0	兼 5	—
フロンティア総合科目	【専門総合科目】													
	フロンティアプロジェクト A	3③		1		○		14	13	2	9		兼 3	
	フロンティアプロジェクト B	3④		1		○		14	13	2	9		兼 3	
	学外技術体験実習 A	3①～② ・③～④		1			○	14	13	2	9		兼 3	
	学外技術体験実習 B	3①～② ・③～④		2			○	14	13	2	9		兼 3	
	海外技術体験実習	3①～② ・③～④		2			○	14	13	2	9		兼 3	
卒業プロジェクト	4通	8				○	14	13	2	9		兼 3		
	小計 (6 科目)	—	8	7	0	—		14	13	2	9	0	兼 3	—
教職科目	工業概論	4①～②		2		○							兼 11	オムニバス
	職業指導第 1	3③～④		2		○							兼 1	
	職業指導第 2	4①～②		2		○							兼 1	
	小計 (3 科目)	—	0	6	0	—		0	0	0	0	0	兼 13	—
専門科目計 (332 科目)		—	33	307	39	—		14	13	2	9	0	兼 133	—
合計 (616 科目)		—	48	663	39	—		14	13	2	9	0	兼 750	—

学位又は称号      学士 (工学)      学位又は学科の分野      工学関係

### 設置の趣旨・必要性

#### I 設置の趣旨・必要性

##### (背景)

ロボティクス、自動運転、メカトロニクス、ナノテクノロジー・材料技術、IT など、近年、急速に発展を見せる工学分野においては、先進的かつ安全な近未来人間社会を、様々な知の結集によって切り拓く人材、すなわちイノベータの養成が切望されている (図 1)。しかし、一方で、学問の細分化や高度化が進む工学分野においては、専門性を担保しつつ、イノベータに求められる「未踏領域の開拓精神 (フロンティアスピリッツ)」を学生に意識付けさせることは困難であるといえる。すなわち、分野融合が進む先端技術に柔軟に対応できる人材を養成するには、既存学問体系に閉じた工学の積み上げ (繰り返) 式教育では対応できないことは図 1 の企業意見からも明らかである。

この問題解決には、従来の工学教育を抜本的に改革した新たな教育カリキュラムや教育システムを導入し、学生が大学初等学年から自主的・能動的に自身の専門を開拓・構築していく枠組みを構築することが必要である。そこで、近未来社会が必要とする技術革新 (イノベーション) を、工学系異分野境界の融合や統合によって開拓・実現することを「工学のフロンティア」と位置付け、絶えず進化する先端技術をいち早く身に着け、leading edge になる人材を養成することを目的に本学類を設置する。

若いうちから幅広い領域に目を向けることはこれからの企業人、特に経営管理者層にとっては重要

多様な科目を習得することは、学生本人の可能性を拓くことにも繋がる

分野専門の深みと領域融合の両立は難しいものではありませんが、次なる時代を担う世代の人材には果敢に挑戦して頂きたい。

近未来社会を切り拓くイノベーションは、多様な知の結集や技術の融合から創造される

大学時代に学んだ一分野の専門だけで企業での研究開発をずっと行うことはあり得ない

図1 企業経営層及び人事担当者等からの意見

**(本学に設置する必要性)**

金沢大学における教育改革では、「卓越した成果を基盤とし、地域や国を問わず社会の中核的なリーダーとして活躍する“金沢大学ブランド”人材の育成」を進めており、KUGS（金沢大学<グローバル>スタンダード）に立脚した教養教育改革や、金沢大学の強み・特色を活かした、社会のニーズを踏まえた教育組織、教育カリキュラム、教育方法の持続的な改善が必要不可欠となっている。

本学では、平成20年4月に学域学類制を導入し、3つの学域を設け従来の学部の壁を超えた、より大きな括りの中で、学際融合的アプローチができる体制を構築しているところであり、理工学域においては、理学的な発見から工学的な応用まで、ダイレクトに繋がった分野融合的な観点を基盤とし、高度な専門能力と高い倫理性、豊かな教養を備えた、世界に通用する理工系人材を養成してきたところである。

学域学類制導入以降、その定着に努めるとともに、学生や社会のニーズに応じた教育カリキュラムや教育方法の改善を進めてきたが、上述の通り、急速に進展する工学系分野の技術革新に柔軟に対応できる人材を育成するためには、従来の工学系教育を抜本的に変えた新たな教育システムの導入が必要不可欠となっている。

このため様々な未踏領域を切り拓いていける人材育成を目的として、工学分野において本学が卓越した強みを有する、知能ロボット、ヴィークルオートメーション、人間支援工学、プロセス工学、計測制御などに関する教育を一層充実させ、既存の「機械工学類」、「電子情報学類」、「自然システム学類」における知と技を結集した「**フロンティア工学類**」（定員110名）を新設する。

**II 教育課程編成の考え方・特色**

**(教育課程の基本的な考え方)**

既存の「機械工学類」、「電子情報学類」、「自然システム学類」の一部を再編・融合し、新たに（新）「機械工学類」、「電子情報通信学類」ならびに「フロンティア工学類」を新設する（図2）。これらの工学系3学類では、前期個別入試において一括入試を行うとともに、後期理系一括入試入学者と併せ、1年次にはGS科目、言語、基礎科目などの共通教育科目を統一的に履修する。（新）機械工学類及び電子情報通信学類においては、それぞれの分野の専門性をさらに高めるために従来の教育体制の一層の充実を図る。一方、フロンティア工学類では、近未来社会が必要とする技術革新（イノベーション）を、工学系異分野境界の融合や統合によって開拓・実現する人材育成を目指して、コースを配置せず、後述するプログラム制を導入する。

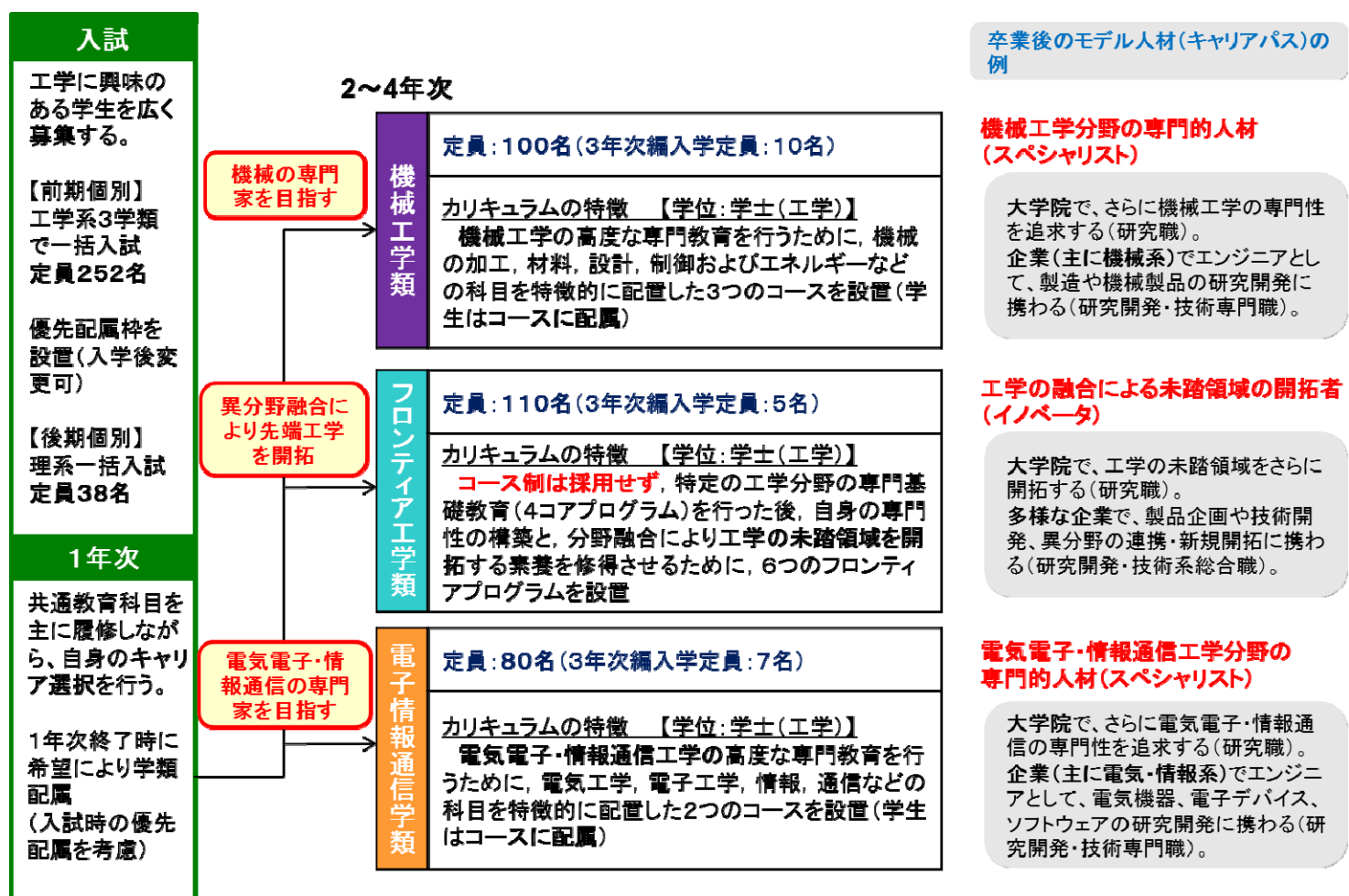


図2 工学系3学類の関係

**(教育課程の特色)**

本学類の教育課程の特色ならびに教育対象を図3に示す。フロンティア工学類の最も大きな特色は以下の2点である。

- ・コース制は採用せず、「プログラム」を導入
- ・学生が自主的に行う「卒業プロジェクト」を導入

分野融合を推進するために従来の「コース」は設置せず、学生が選択科目を組み合わせる「プログラム」を新たに導入する。プログラムは、コアプログラム(工学特定分野の基礎)ならびにフロンティアプログラム(工学分野の境界融合及び統合)からなる専門科目群である。各プログラムの開講単位数ならびに修了要件は後述の通りである。学生は履修科目を組み合わせ、いずれかのコア(電子機械、機械、化学工学、電子情報)を学んだ後、フロンティアプログラム(図3中の①~⑥)を修得する。

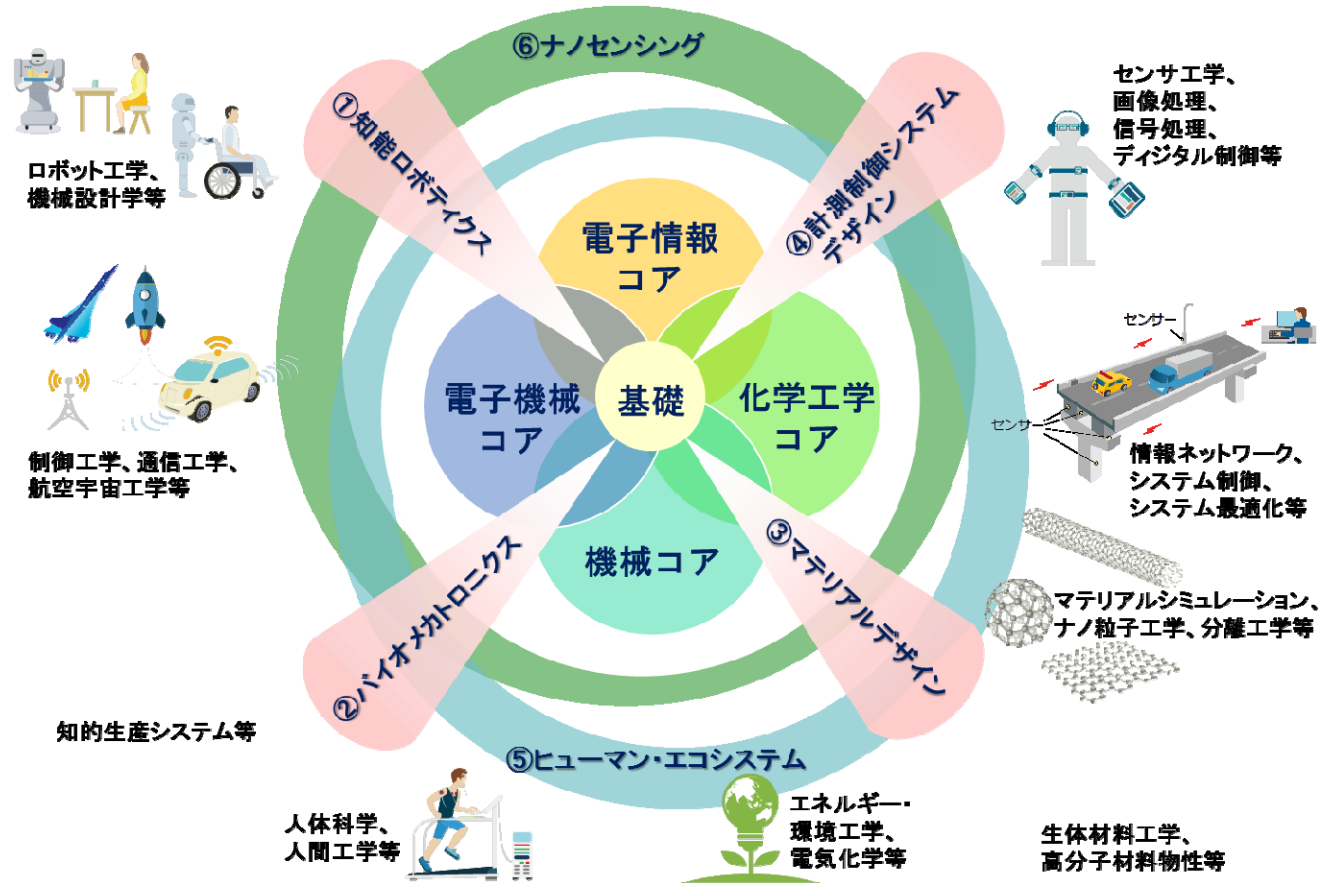


図3 フロンティア工学類のプログラムの位置づけと科目の例

プログラムにおける教育内容はそれぞれ以下のとおりである。

【コアプログラム】

・電子機械コアプログラム

ロボティクスや自動運転、航空宇宙工学などの基礎となる、制御工学、メカトロニクス、電気回路、振動工学、機械設計学などの科目を配置。

・機械コアプログラム

機械工学の基礎科目である、材料力学、流れ学、熱力学、振動工学、信頼性工学、機械工学設計などの科目を配置。

・化学工学コアプログラム

化学工学や材料工学の基礎となる、プロセス工学、伝熱工学、熱力学、物理化学、単位操作などの科目を配置。

・電子情報コアプログラム

電子情報や計測制御の基礎となる、電磁気学、電気回路、電子回路、論理回路、通信工学などの科目を配置。

【フロンティアプログラム】

①知能ロボティクス

機械工学から電子情報分野にわたる知識・スキルを駆使し、ロボットなど自律化が望まれる機械の高度知能化に取り組む能力を持つ人材を育成する。ロボティクスに関する知識と技術を身につけるために、ハードウェア、ソフトウェア、知能化に関する科目群を配置。また航空宇宙工学など、ロボティクスの応用系の科目群も配置。

②バイオメカトロニクス

安心・安全・快適・便利な生活を支える様々な人間支援技術とその社会実装プロセスを学び、人間に密着した機械工学分野に活用する応用力を持つ人材を育成する。そのために、制御工学、振動工学などの計測制御科目群、人体科学、人間工学などの医用生体工学に関する科目群及び、それらの社会実装に関する科目群を配置。

③マテリアルデザイン

新素材やナノテクノロジー分野において、物質（マテリアル）の持つ様々な性質やそれらの工業的応用等について学び、マテリアルの性質を極限まで引き出すための技術を身につけた人材を育成する。マテリアルが有する機能とそのモノづくり（＝プロセス）を学ぶために、マテリアルの性質とプロセスに関する科目である、プラスチック成形加工、反応工学、分離工学、微粒子工学などの科目を配置。

④計測制御システムデザイン

計測制御の原理や応用に関する知識を有し、それらを種々の装置と組み合わせたシステムを設計し、工業的応用や研究開発に取り組む能力を持つ人材を育成する。電気電子計測、アルゴリズムなどの計測の原理や理論を学ぶ科目群、信号処理やシステム制御・最適化などのシステム構築・設計を学ぶ科目群、およびそれらの応用や情報ネットワークに関する科目群を配置。

⑤ヒューマン・エコシステム

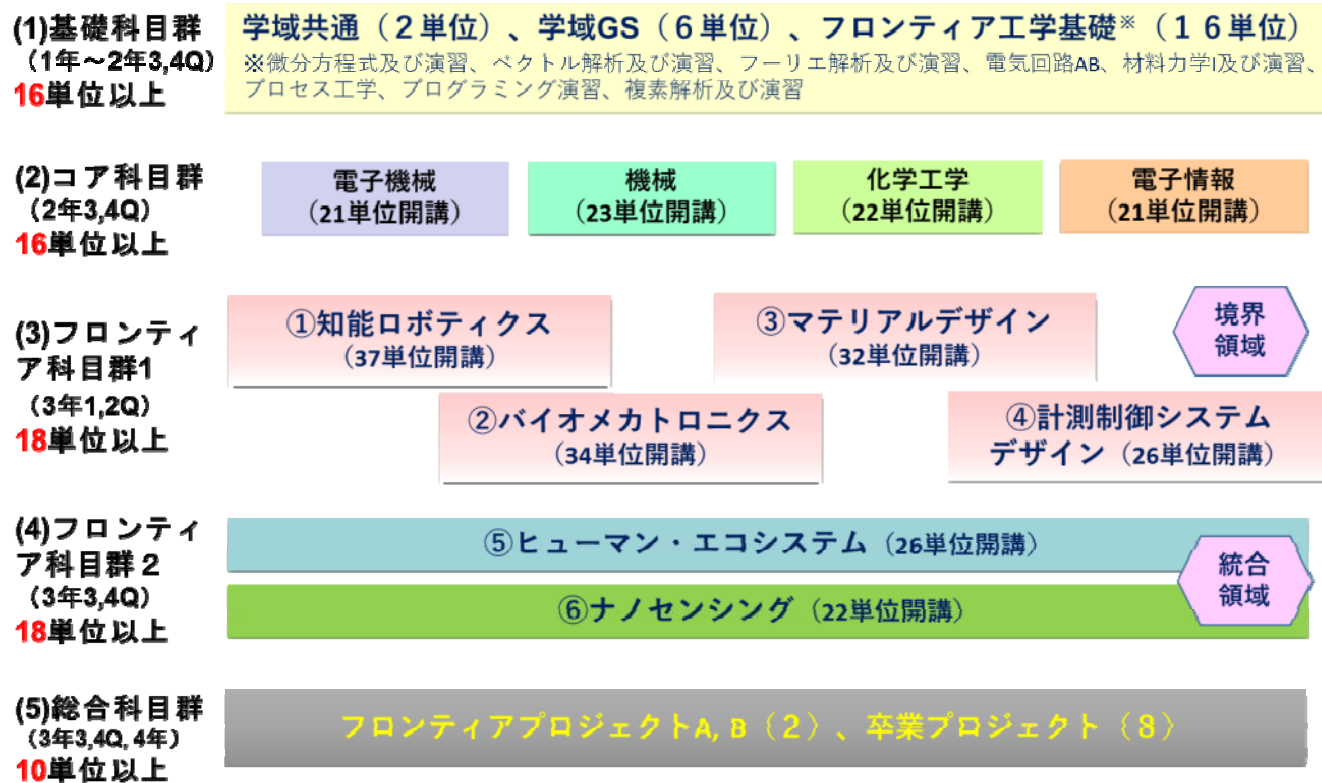
人間や生物の機能、エネルギー、環境、安全などを学び、人間や環境にやさしいモノづくり、システムづくりを実現する多面的な視野と総合的な思考力を有する人材を育成する。人や環境にやさしいモノづくり、システムづくりを学ぶために、人間工学、生体計測、バイオテクノロジーなどの人間（ヒューマン）に関する科目、電気化学、物質循環工学、エネルギー変換工学などのエコシステムに関する科目を配置。

⑥ナノセンシング

超スマート社会を実現するための「センサ工学」および「ナノ計測技術」について学び、生体計測や材料計測などの最先端の知識を身につけた人材を育成する。計測技術やナノテクノロジーに関連するスペクトロスコーピー（分光分析）、マイクロスコーピー（顕微鏡分析）、計測標準、センサ工学などの科目を配置。

典型的な学年進行ならびに各プログラムの修了要件を図4に示す。

### フロンティア工学類カリキュラム



**【卒業要件】 共通教育 46 単位 + 専門 78 単位 = 124 単位**

**コアプログラム及びフロンティアプログラムをそれぞれ1つ以上修了**

図4 フロンティア工学類における学年進行 (Q: クォーター)

各プログラムの履修方法は以下の通りである。

#### 【コアプログラム】

プログラム修了要件 16 単位以上

主に2年第3クォーター進級時に学類全体に開講されているコア科目群から学生自身が将来想定するキャリアパスを考慮して履修科目を選択する。その際、アドバイス教員等と密接に相談し、少なくとも1つのコアプログラムを修了できるように科目を組み合わせる。また、コアプログラムによる履修者の偏りが無いように教員が適宜アドバイスを行う。学生が本学類で取り扱う工学分野全体を俯瞰できるよう、2年次第1,2クォーターには、それぞれのコアプログラムの基礎となる専門基礎科目II(電気回路A/B、プログラミング演習、材料力学I及び演習、プロセス工学)を選択必修科目として学類全学生を対象として設置するとともに、学域GS科目「先端テクノロジー概論」(1年時開講)において、それぞれの分野の内容について広く学ばせる。なお、学生は3年次3,4クォーターにも再度コアプログラム科目を履修することができるようになっており、学生によっては、2つのコア(専門性)を持つことも可能である。

#### 【フロンティアプログラム】

プログラム修了要件 18 単位以上

主に3年次に学類全体に開講されている専門科目群から、自身のコアと学生自身が将来想定するキャリアパスを考慮して履修科目を選択する。その際、アドバイス教員等と密接に相談し、少なくとも1つのフロンティアプログラムを修了できるように科目を組み合わせる。第1,2クォーターには4つのフロンティアプログラム(図3の①～④)の科目が中心となって配置されており、これらのうちの、いずれかのプログラムを修了できるように履修指導を行う。また、3年次第3,4クォーターを中心として、工学系の各分野をさらに統合した2つのフロンティアプログラム(図3の⑤、⑥)の科目を配置する。

卒業要件は、6つのフロンティアプログラムのうちの少なくとも1つを修了することに設定しており、このことにより3年次(特に第3,4クォーター)には、本学が推奨する海外留学や長期企業インターンシップ参加あるいは早期卒業に向けた卒業プロジェクト(後述)を開始することが可能となっている。

#### 【卒業プロジェクト】

コアプログラム、フロンティアプログラムの修得を通じて身に付けた異分野の知識を融合・活用し、学生自らが計画・実行することを目的として、「卒業プロジェクト」を科目として設置する。4年次に卒業プロジェクト着手のための要件は、以下の通りである。

全修得単位数 108 単位以上

うち、共通教育科目 46 単位以上

専門教育科目 62 単位以上

ただし、専門教育科目については、3年後期(第4クォーター)までの必修科目の単位すべてと、学域GS科目(選択必修科目)から2単位、フロンティア工学基礎科目群から16単位以上(うち、専門基礎Iから6単位以上及び専門基礎IIからの6単位以上を含む)を修得しなければならない。また、少なくとも1つのコアプログラムを修了しなければならない。



卒業プロジェクトの履修方法は以下の通りである。

原則として異なる分野の教員からなる「ラボ」を配置する。ラボはプロジェクトベースの柔軟性の高い研究チームである。学生は、3年時第3,4クォーターに開講する「フロンティアプロジェクトA/B」において、卒業プロジェクトに先行して、先端研究の体験（「ラボ」の概要説明やラボ（ゼミ）体験）を行う。同科目A（第3クォーター開講）とB（第4クォーター開講）で「ラボ」を変えることを推奨し、学生の異分野交流を促進する。フロンティアプロジェクトA,Bのいずれか、あるいは両方を海外あるいは企業の研究室で経験することも可能とする。

学生は、分野が異なる複数の教員（主任、副主任）の指導の下で4年進級時に自らの「卒業プロジェクト」を企画・立案する。卒業プロジェクトに至るカリキュラムパスの例を図5に示す。フロンティアプロジェクトA, Bでの体験をもとに学生が「ラボ」を選択し、コアプログラム、フロンティアプログラムの修得を通じて身に着けた異分野の知識を融合・活用し、先端分野研究に関する「卒業プロジェクト」を自ら計画し、取り組む。この点で、指導教員がテーマを主導する「卒業研究」と異なる。卒業プロジェクトは原則として単独で行うものとするが、グループで連携して行うことも可能とする。ただし、その場合は、各自の分担を明確にするように指導する。教員は学生が主体的に取り組むプロジェクトの提案や結果報告（成果物としてのプロジェクトレポート；論文）を評価するとともに、一定の研究成果が出るように研究指導及びアドバイスをを行う。

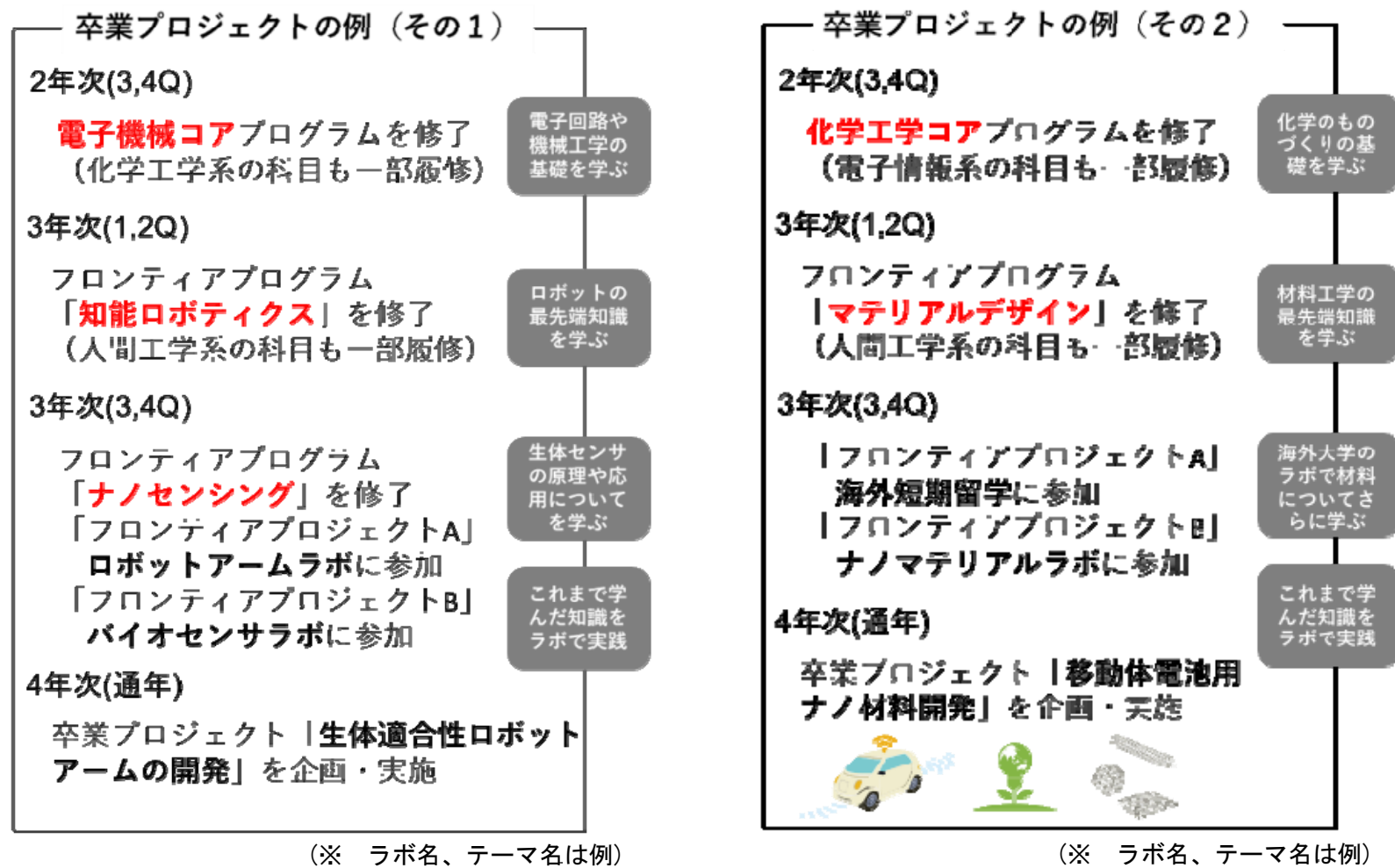


図5 「ラボ」及び卒業プロジェクトに至るカリキュラムパスの例（Q:クォーター）

**参考**

1. 人材養成目標

フロンティア工学類では、機械工学、物質工学、電子情報工学にわたる幅広い専門知識を修め、ナノの世界から宇宙空間や人間社会にわたるまでの様々な未踏領域を切り拓き、グローバルな観点（金沢大学グローバルスタンダード；KUGS）から、工学の飛躍的な発展と、近未来社会の創造を牽引していくエンジニアや研究者を養成する。

2. ディプロマポリシー（DP）

フロンティア工学類ではコース制は採用せず、学生は工学の専門分野の基礎を学ぶ4つのコアプログラムと、工学の異分野融合領域を学ぶ6つのフロンティアプログラムを組み合わせることで履修する。その課程において、金沢大学<グローバル>スタンダード（KUGS）及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士（工学）の学位を授与する。

○学修成果

- 1 工学や科学の基礎となる数学・物理学・化学の基礎的能力を身につける。
- 2 電子機械工学、機械工学、化学工学、電子情報工学のいずれか、あるいは複数の分野の基礎を理解し、応用できる幅広い能力を身につける。
- 3 課題探求・実践学習を通じた自主性、創造性、協調性、発表・報告能力及び国際的コミュニケーション能力を身につける。
- 4 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任（技術倫理）についての自覚と、グローバルな視野から工学の発展を多面的に考えることができる素養を身につける
- 5 モノづくりに関する専門知識、及びそれらを経済性・安全性・信頼性・社会及び環境への影響を考慮しながら実践できる応用能力、デザイン能力、マネジメント能力を身につける。

- 6 メカトロニクス, インテリジェントロボット, スマートビークル, ナノテクノロジー, 新素材, 計測制御システムなど, 工学における先進的な融合分野に挑戦し, 最新の工学ツールを使う能力, ならびに社会の持続的発展に貢献する意欲と創造性を身につける。
- 7 人間・生活支援機器, 医療福祉技術, 環境負荷低減 (エコシステム), 生体现象のセンシングなど, 近未来社会における生活や社会の調和と発展をささえるテクノロジーをシステムとして統合するための幅広い専門知識と問題発見・解決能力 (ソリューション) を身につける。

### 3. カリキュラムポリシー

フロンティア工学類では近未来社会を先端科学技術で切り拓く人材を育成するために、工学の未踏領域（フロンティア）を分野境界の融合及び分野統合により開拓する素養を身につけるためのカリキュラムを編成した。コース制は採用せず、学生は履修科目を組み合わせた「プログラム」を、自身のキャリア設計に基づいて複数修得する。2年次には、主に工学基礎科目群ならびにコアプログラム（電子機械、機械、化学工学、電子情報のいずれか、あるいは複数）を修得し、工学各専門分野の基礎を学ぶ。続いて、3年次において、これらの融合・統合に関する6つのフロンティアプログラムのいずれか、あるいは複数を修得する。さらに、4年次においては、「ラボ」（異分野融合を前提とした柔軟性の高い研究チーム）に配属し、コアプログラム、フロンティアプログラムの修得を通じて身につけた異分野の知識を融合・活用し、先端分野研究に関する「卒業プロジェクト」を自ら立案・計画し、教員の指導のもと取り組む。

各プログラムにおける教育内容はそれぞれ以下の通りである。いずれのプログラムにおいてもアクティブラーニングや授業の英語化を積極的に取り入れることで、DPで述べた学修成果を達成する環境を整備するとともに、金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS) に基づくカリキュラム編成を行う。

#### 【コアプログラム】

##### ・電子機械コアプログラム

DPで述べた電子機械（ロボティクスや自動運転、航空宇宙工学など）の専門基礎知識を修得するために、制御工学、メカトロニクス、電気回路、振動工学、機械設計学などの科目を配置。

##### ・機械コアプログラム

DPで述べた機械工学の専門基礎知識を修得するために、材料力学、流れ学、熱力学、振動工学、信頼性工学、機械設計工学などの科目を配置。

##### ・化学工学コアプログラム

DPで述べた化学工学の専門基礎知識を修得するために、プロセス工学、伝熱工学、熱力学、物理化学、単位操作などの科目を配置。

##### ・電子情報コアプログラム

DPで述べた電子情報の専門基礎知識を修得するために、電磁気学、電気回路、電子回路、論理回路、通信工学などの科目を配置。

#### 【フロンティアプログラム】

##### ①知能ロボティクス

機械工学から電子情報分野にわたる知識・スキルを駆使し、ロボットなど自律化が望まれる機械の高度知能化に取り組む能力を持つ人材を育成する。ロボティクスに関する知識と技術を身につけるために、ハードウェア、ソフトウェア、知能化に関する科目群を配置。また、航空宇宙工学など、ロボティクスの応用系の科目群も配置。

##### ②バイオメカトロニクス

安心・安全・快適・便利な生活を支える様々な人間支援技術とその社会実装プロセスを学び、人間に密着した機械工学分野に活用する応用力を持つ人材を育成する。そのために、制御工学、振動工学などの計測制御科目群、人体科学、人間工学などの医用生体工学に関する科目群、ならびに、それらの社会実装に関する科目群を配置。

##### ③マテリアルデザイン

新素材やナノテクノロジー分野において、物質（マテリアル）の持つ様々な性質やそれらの工業的応用等について学び、マテリアルの性質を極限まで引き出すための技術を身につけた人材を育成する。マテリアルが有する機能とそのモノづくり（＝プロセス）を学ぶために、マテリアルの性質とプロセスに関する科目である、プラスチック成形加工、反応工学、分離工学、微粒子工学などの科目を配置。

##### ④計測制御システムデザイン

計測制御の原理や応用に関する知識を有し、それらを種々の装置と組み合わせたシステムを設計し、工業的応用や研究開発に取り組む能力を持つ人材を育成する。電気電子計測、アルゴリズムなどの計測の原理や理論を学ぶ科目群、信号処理やシステム制御・最適化などのシステム構築・設計を学ぶ科目群、及びそれらの応用や情報ネットワークに関する科目群を配置。

##### ⑤ヒューマン・エコシステム

人間や生物の機能、エネルギー、環境、安全などを学び、人間や環境にやさしいモノづくり、システムづくりを実現する多面的な視野と総合的な思考力を有する人材を育成する。人や環境にやさしいモノづくり、システムづくりを学ぶために、人間工学、生体計測、バイオテクノロジーなどの人間（ヒューマン）に関する科目、電気化学、物質循環工学、エネルギー変換工学などのエコシステムに関する科目を配置。

##### ⑥ナノセンシング

超スマート社会を実現するためのセンシング技術およびナノオーダーの分解能を持つ先端計測技術について学び、生体計測や材料計測などの最先端の知識を身につけた人材を育成する。計測技術やナノテクノロジーに関連するスペクトロスコーピー（分光分析）、マイクロスコーピー（顕微鏡分析）、計測標準、センサ工学などの科目を配置。

○評価方法

共通教育科目に加え、工学基礎科目群、コアプログラムの修得状況、フロンティアプログラムの修得状況および各履修科目の成績、ならびにフロンティアプロジェクト、卒業プロジェクトにおける成績を総合して、学修成果の達成度を評価する。

4. アドミッションポリシー

フロンティア工学類では、機械工学、化学工学、電子情報工学の知と技を結集した最先端の教育及び研究を通して、ナノの世界から宇宙空間や人間社会にわたるまでの様々な未踏領域を切り拓き、グローバルな観点から、工学の飛躍的な発展と、近未来社会の創造を牽引していくエンジニアや研究者の育成を目指す。具体的には、ロボティクス、航空宇宙工学、高度センシング技術、ナノテクノロジー、新機能性材料など技術革命をもたらす先進的な分野から、医療福祉工学、生活支援機器、化学製品など生活や社会の調和と発展をささえる分野まで、広く興味を持つ人材を受け入れる。フロンティア工学類ではコース制は採用せず、電子機械、機械、化学工学、電子情報の4つのコアプログラムと、知能ロボティクス、バイオメカトロニクス、マテリアルデザイン、計測制御システムデザイン、ヒューマン・エコシステム、ナノセンシングの6つのフロンティアプログラムを組み合わせる。

求める人材

- ・ロボティクス、航空宇宙、スマートビークル、スマートセンシング、インテリジェント制御、ナノスケール計測、高分子、微粒子材料の開発など、新たな技術や学問分野の開拓に意欲を持つ人
- ・メカトロニクス、医療福祉工学、物質システムを中心とした、機械工学、電子情報工学、化学工学の分野でエンジニア、研究者、教育者の道に進みたい人
- ・グローバルな視点からの技術革新を通じて、次世代の社会を創造していく技術の構築に高い志を持つ人
- ・人間性、独創性と創造性が豊かで、自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針

(一般入試)

基礎学力に加え、前期日程では、機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行う。一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価する。各学類への配属は、2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定する。ただし、入試成績上位者で、入学時から本学類への配属を希望する場合は、学類を先決することもできる。後期日程では、理系一括入試により、数学・理科の学力を重視する。

(帰国子女入試)

工学にとっての基礎となる数学・物理・英語の学力を重視するとともに、成績証明書(調査書)により基礎学力を評価する。

(私費外国人留学生入試)

日本語の読解・筆記能力、工学にとっての基礎となる数学・物理・化学・英語の学力を重視するとともに、面接により、日本語能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価する。

【入学までに身につけて欲しい教科・科目等】

大学入試センター試験で課している科目(理系科目及び文系科目)及び一般入試の個別学力検査で課している科目(数学・理科・英語)について、十分理解しておくことが必要である。また、身の回りのモノづくりや製品の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことが望まれる。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業に必要な単位数 124 単位以上 共通教育科目 46 単位以上 (導入科目: 4 単位, GS 科目: 各群から 3 単位計 15 単位, GS 言語科目: 8 単位, 自由履修科目 3 単位以上, 基礎科目 16 単位) 専門基礎科目および専門科目あわせて 78 単位以上 コアプログラム 1 つとフロンティアプログラム 1 つ※を修得しなければならない ※コアプログラム修了要件 16 単位以上 フロンティアプログラム修了要件 18 単位以上 ※卒業プロジェクト着手要件 全修得単位数 108 単位以上 うち、共通教育科目 46 単位以上 専門教育科目 62 単位以上  履修科目の登録の上限: 12 単位 (クォーター)	1 学年の学期区分	4 学期
	1 学期の授業期間	8 週
	1 時限の授業時間	90 分

教育課程等の概要(事前伺い)

(理工学域 電子情報通信学類)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1			○								兼 73	クラス分け
	初学者ゼミ I	1①・②・③	1				○							兼 84	クラス分け
	情報処理基礎	1①	1				○							兼 61	クラス分け
	地域概論	1①・②	1			○								兼 69	クラス分け
	小計(4科目)	—	4	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼 256	—
共通教育科目 GS科目	現代世界への歴史的アプローチ	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の政治経済学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	グローバル時代の社会学	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け
	ケーススタディによる応用倫理学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	地球生物圏と人間	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	物理の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	化学の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	哲学(自我論)	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	パーソナリティ心理学	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の文学	1①・②・③・④		1		○								兼 6	クラス分け
	健康科学	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け
	細胞・分子生物学	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	エクササイズ&スポーツ実技	1①・②・③・④		1				○						兼 18	クラス分け
	プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)	1①・②	1	1			○							兼 86	クラス分け
	クリティカル・シンキング	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	価値と情動の認知科学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	論理学から見る世界	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	数学的発想法	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	芸術と自己表現	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	スポーツ科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	金沢・能登と世界の地域文化	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	日本史・日本文化	1②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	異文化間コミュニケーション	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	異文化体験	1②・④		1				○						兼 2	クラス分け
	異文化体験	1②・④		2				○						兼 4	クラス分け
	異文化体験	1②・④		3				○						兼 6	クラス分け
	異文化体験	1②・④		4				○						兼 3	クラス分け
	異文化体験	1②・④		5				○						兼 1	
	異文化体験	1②・④		6				○						兼 1	
	異文化体験	1②・④		7				○						兼 1	
	異文化体験	1②・④		8				○						兼 1	
	国際社会とボランティア	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
グローバル社会と地域の課題	1①・③・④		1		○								兼 1		
科学技術と科学方法論	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け	
統計学から未来を見る	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け	

	情報の科学	1①・②・③・④	1		○								兼 4	クラス分け
	環境学と ESD	1①・②・③・④	1		○								兼 2	クラス分け
	生活と社会保障	1③・④	1		○								兼 3	クラス分け
	人権・ジェンダー論	1①・②・③・④	1		○								兼 5	クラス分け
	小計 (39 科目)	—	1	66	0	—		0	0	0	0	0	兼 221	—
G S 言語科目 (英語)	TOEIC 準備 I	1①	1		○								兼 28	クラス分け
	TOEIC 準備 II	1②	1		○								兼 28	クラス分け
	TOEIC 準備 III	1③	1		○								兼 31	クラス分け
	TOEIC 準備 IV	1④	1		○								兼 31	クラス分け
	TOEIC 準備 (演習)	2①・②・③・④	1		○								兼 2	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) I	1①	1		○								兼 25	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) II	1①	1		○								兼 27	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) III	1③	1		○								兼 36	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) IV	1④	1		○								兼 36	クラス分け
	EAP (Retake)	1③・④・2①・②	1		○								兼 14	クラス分け
G S 言語科目 (日本語)	アカデミック基礎日本語 A	1①・③	1		○								兼 2	クラス分け
	アカデミック基礎日本語 B	1②・④	1		○								兼 2	クラス分け
	アカデミック・ライティング I A	1①・③	1		○								兼 1	
	アカデミック・ライティング I B	1②・④	1		○								兼 1	
	アカデミック・ライティング II A	1①・③	1		○								兼 1	
	アカデミック・ライティング II B	1②・④	1		○								兼 1	
	講義の聴解 A	1①・③	1		○								兼 1	
	講義の聴解 B	1②・④	1		○								兼 1	
	口頭発表 I A	1③	1		○								兼 1	
	口頭発表 I B	1④	1		○								兼 1	
	口頭発表 II A	1①	1		○								兼 1	
	口頭発表 II B	1②	1		○								兼 1	
	上級読解 I A	1①	1		○								兼 1	
	上級読解 I B	1②	1		○								兼 1	
	上級読解 II A	1③	1		○								兼 1	
	上級読解 II B	1④	1		○								兼 1	
	日本事情 A	1①・③	1		○								兼 1	
	日本事情 B	1②・④	1		○								兼 1	
	日本語で学ぶ論理 A	1③	1		○								兼 1	
	日本語で学ぶ論理 B	1④	1		○								兼 1	
小計 (30 科目)	—	10	20	0	—		0	0	0	0	0	兼 64	—	
基礎科目	微分積分学第一	1①・②	2		○								兼 9	クラス分け
	微分積分学第二	1③・④	2		○								兼 7	クラス分け
	線形代数学第一	1①・②	2		○								兼 10	クラス分け
	線形代数学第二	1③・④	2		○								兼 7	クラス分け
	統計数学	1③・④	2		○								兼 3	クラス分け
	物理学 I	1①・②	2		○								兼 16	クラス分け
	物理学 II	1①・②・③・④	2		○								兼 15	クラス分け
	物理学実験	1①・②・③・④	2			○							兼 32	クラス分け
	化学 I	1①・②	2		○								兼 11	クラス分け
	化学 II	1③・④	2		○								兼 7	クラス分け

	化学実験	1①・②・③・④	2			○							兼 15	クラス分け
	化学実験	2①	1			○							兼 11	クラス分け
	地学Ⅰ	1①・②	2		○								兼 4	クラス分け
	地学Ⅱ	1③・④	2		○								兼 1	
	小計 (14 科目)	—	0	27	0	—		0	0	0	0	0	兼 106	—
初習言語科目	ドイツ語 A1-1	1①・③	1			○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A1-2	1②・④	1			○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-1	1①・③	1			○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-2	1②・④	1			○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-1	1①・③	1			○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-2	1②・④	1			○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A4-1	1①・③	1			○							兼 7	クラス分け
	ドイツ語 A4-2	1②・④	1			○							兼 7	クラス分け
	ドイツ語 B-1	2①	1			○							兼 3	クラス分け
	ドイツ語 B-2	2②	1			○							兼 3	クラス分け
	ドイツ語 C-1	2①・③	1			○							兼 2	クラス分け
	ドイツ語 C-2	2②・④	1			○							兼 2	クラス分け
	フランス語 A1-1	1①・③	1			○							兼 4	クラス分け
	フランス語 A1-2	1②・④	1			○							兼 4	クラス分け
	フランス語 A2-1	1①・③	1			○							兼 5	クラス分け
	フランス語 A2-2	1②・④	1			○							兼 5	クラス分け
	フランス語 A3-1	1①・③	1			○							兼 4	クラス分け
	フランス語 A3-2	1②・④	1			○							兼 4	クラス分け
	フランス語 A4-1	1①・③	1			○							兼 4	クラス分け
	フランス語 A4-2	1②・④	1			○							兼 4	クラス分け
	フランス語 B-1	2①・③	1			○							兼 6	クラス分け
	フランス語 B-2	2②・④	1			○							兼 6	クラス分け
	フランス語 C-1	2①・③	1			○							兼 4	クラス分け
	フランス語 C-2	2②・④	1			○							兼 4	クラス分け
	ロシア語 A1-1	1①	1			○							兼 1	
	ロシア語 A1-2	1②	1			○							兼 1	
	ロシア語 A2-1	1①	1			○							兼 1	
	ロシア語 A2-2	1②	1			○							兼 1	
	ロシア語 A3-1	1③	1			○							兼 1	
	ロシア語 A3-2	1④	1			○							兼 1	
	ロシア語 A4-1	1③	1			○							兼 1	
	ロシア語 A4-2	1④	1			○							兼 1	
	ロシア語 B-1	2①・③	1			○							兼 1	
	ロシア語 B-2	2②・④	1			○							兼 1	
	ロシア語 C-1	2①・③	1			○							兼 1	
	ロシア語 C-2	2②・④	1			○							兼 1	
	中国語 A1-1	1①・③	1			○							兼 6	クラス分け
	中国語 A1-2	1②・④	1			○							兼 6	クラス分け
	中国語 A2-1	1①・③	1			○							兼 4	クラス分け
	中国語 A2-2	1②・④	1			○							兼 4	クラス分け
	中国語 A3-1	1①・③	1			○							兼 5	クラス分け
	中国語 A3-2	1②・④	1			○							兼 5	クラス分け
中国語 A4-1	1①・③	1			○							兼 4	クラス分け	
中国語 A4-2	1②・④	1			○							兼 4	クラス分け	
中国語 B-1	2①・③	1			○							兼 3	クラス分け	
中国語 B-2	2②・④	1			○							兼 3	クラス分け	
中国語 C-1	2①・③	1			○							兼 3	クラス分け	
中国語 C-2	2②・④	1			○							兼 3	クラス分け	
朝鮮語 A1-1	1①・③	1			○							兼 2	クラス分け	

	朝鮮語 A1-2	1②・④		1		○							兼 2	クラス分け
	朝鮮語 A2-1	1①・③		1		○							兼 2	クラス分け
	朝鮮語 A2-2	1②・④		1		○							兼 2	クラス分け
	朝鮮語 A3-1	1①・③		1		○							兼 1	
	朝鮮語 A3-2	1②・④		1		○							兼 1	
	朝鮮語 A4-1	1①・③		1		○							兼 1	
	朝鮮語 A4-2	1②・④		1		○							兼 1	
	朝鮮語 B-1	2①・③		1		○							兼 1	
	朝鮮語 B-2	2②・④		1		○							兼 1	
	朝鮮語 C-1	2①・③		1		○							兼 2	クラス分け
	朝鮮語 C-2	2②・④		1		○							兼 2	クラス分け
	ギリシャ語 A1-1	1①		1		○							兼 1	
	ギリシャ語 A1-2	1②		1		○							兼 1	
	ギリシャ語 A2-1	1③		1		○							兼 1	
	ギリシャ語 A2-2	1④		1		○							兼 1	
	ギリシャ語 A3-1	1①		1		○							兼 1	
	ギリシャ語 A3-2	1②		1		○							兼 1	
	ギリシャ語 A4-1	1③		1		○							兼 1	
	ギリシャ語 A4-2	1④		1		○							兼 1	
	ギリシャ語 B-1	1①		1		○							兼 1	
	ギリシャ語 B-2	1②		1		○							兼 1	
	ギリシャ語 C-1	1③		1		○							兼 1	
	ギリシャ語 C-2	1④		1		○							兼 1	
	ラテン語 A1-1	1①		1		○							兼 2	クラス分け
	ラテン語 A1-2	1②		1		○							兼 2	クラス分け
	ラテン語 A2-1	1③		1		○							兼 2	クラス分け
	ラテン語 A2-2	1④		1		○							兼 2	クラス分け
	ラテン語 A3-1	1①		1		○							兼 1	
	ラテン語 A3-2	1②		1		○							兼 1	
	ラテン語 A4-1	1③		1		○							兼 1	
	ラテン語 A4-2	1④		1		○							兼 1	
	ラテン語 B-1	1①		1		○							兼 1	
	ラテン語 B-2	1②		1		○							兼 1	
	ラテン語 C-1	1③		1		○							兼 1	
	ラテン語 C-2	1④		1		○							兼 1	
	スペイン語 A1-1	1①		1		○							兼 1	
	スペイン語 A1-2	1②		1		○							兼 1	
	スペイン語 A2-1	1①		1		○							兼 1	
	スペイン語 A2-2	1②		1		○							兼 1	
	スペイン語 A3-1	1③		1		○							兼 1	
	スペイン語 A3-2	1④		1		○							兼 1	
	スペイン語 A4-1	1③		1		○							兼 1	
	スペイン語 A4-2	1④		1		○							兼 1	
	スペイン語 B-1	2①		1		○							兼 1	
	スペイン語 B-2	2②		1		○							兼 1	
	スペイン語 C-1	2③		1		○							兼 1	
	スペイン語 C-2	2④		1		○							兼 1	
	小計 (96 科目)	—	0	96	0	—		0	0	0	0	0	兼 45	—
自由履修科目	ジャーナリズム論	1・2③		1		○							兼 1	
	石川県の行政	1・2③・④		2		○							兼 1	
	石川県の市町	1・2①・②		2		○							兼 1	
	キャリアディベロップメント実践	3・4①・②		2		○							兼 2	共同
	健康論実践 D	1・2③・④		1		○							兼 4	共同

	健康論実践 E	1・2③・④	1	○						兼 2	共同
	能登の世界農業遺産を学ぶスタディ・ツアー	1・2①・②	1	○						兼 8	共同
	里山体験実習 in 能登半島	1・2①・②	1	○						兼 6	共同
	里海体験実習 in 能登半島	1・2①・②	1	○						兼 6	共同
	地元学 A (地域資源調査)	1・2①	1	○						兼 1	
	地元学 B (聞き書き)	1・2②	1	○						兼 1	
	生と死を見つめて	1・2②	1	○						兼 6	オムニバス
	実践アントレプレナー学	1・2①・②	1	○						兼 8	オムニバス
	クラウド時代の「ものグラミング」概論	1・2①・②	2	○						兼 3	共同
	シェルスクリプト言語論	1・2①・②	2	○						兼 2	共同
	マスメディアと現代を読み解く	1・2②	1	○						兼 1	
	ライフキャリアデザイン	1・2③・④	2	○						兼 1	
	ダイバーシティとインクルージョン	1・2②	1	○						兼 3	共同
	キャリアディベロップメント	1・2①・②	2	○						兼 1	
	ファシリテーション入門	1・2②・④	1	○						兼 3	共同
	学生・学習論	1・2①	1	○						兼 2	共同
	コーヒーの世界	1・2③・④	2	○						兼 13	オムニバス
	画像解剖学	2・3・4③・④	1	○						兼 1	
	よくわかる健康と病気	1・2③・④	1	○						兼 1	
	国際協力と地域のグローバル化	1・2③・④	2	○						兼 1	
	心と体の健康	1・2③	1	○						兼 3	共同
	死と喪失	1・2①・②・④	1	○						兼 1	
	ひとのからだ I	1・2①・②	2	○						兼 1	
	ひとのからだ II	1・2③・④	2	○						兼 1	
	基礎病態学	1・2③・④	1	○						兼 1	
	哲学 A	2①・②	2	○						兼 1	
	宗教学 A	1・2③・④	2	○						兼 1	
	ことばと文化 J	1・2③・④	2	○						兼 1	
	基礎運動学	2①・②	1	○						兼 4	オムニバス
	地域「超」体験プログラム (能登 珠洲)	1①・②	1			○				兼 1	
	地域「超」体験プログラム (能登 小木)	1①・②	1			○				兼 1	
	地域「超」体験プログラム (白山麓)	1①・②	1			○				兼 1	
	地域「超」体験プログラム (五箇山)	1③・④	1			○				兼 1	
	地方行政	1・2③・④	2	○						兼 1	
	ボランティア入門	1・2①・②	2	○						兼 1	
	ゼミ/政治哲学入門	1・2③・④	2			○				兼 1	
	茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③・④	2	○						兼 1	
	日本の伝統芸能	1・2①・②	2	○						兼 1	
	金沢の歴史と文化	1・2③・④	2	○						兼 2	共同
	ESD 入門	1・2①・②	1	○						兼 1	
	廃棄物管理と循環型社会	1・2①・②	1	○						兼 1	
	持続可能性と福祉	1・2①・③	1	○						兼 1	



異文化間ディベート	1・2 ①・②・③・④	2	○					兼1	
日本の歴史からみた暦と時間	1・2 ①・②・③・④	2	○					兼1	
日本と金沢の建築・都市	1・2①・②	2	○					兼2	共同
コミュニケーションビジネス	1・2③・④	2	○					兼2	共同
日本国憲法概説	1・2 ①・②・③・④	2	○					兼4	クラス分け
行政学入門	1・2①・②	2	○					兼1	
公共政策入門 I	1・2①・②	2	○					兼1	
経済学入門 C	1・2③・④	2	○					兼1	
日本史要説	2③・④	2	○					兼4	オムニバス
東洋史要説	2③・④	2	○					兼3	オムニバス
法論理学入門	1・2①	2	○					兼1	
異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション	1・2③	1	○					兼1	
ビジネス入門	1・2①	1	○					兼1	
日本のオープンデータ活用	1・2②	1	○					兼1	
ビジネスと金融	1・2③	1	○					兼1	
世界のオープンデータ活用	1・2④	1	○					兼1	
ガラスとクリスタル I	1・2②	1	○					兼1	
ガラスとクリスタル II	1・2③	1	○					兼1	
英国諸島の地史 I	1・2②	1	○					兼1	
英国諸島の地史 II	1・2③	1	○					兼1	
地学実験	1・2①・②・③	2				○		兼16	クラス分け
東洋医学	3・4③・④	2	○					兼2	クラス分け
コンピュータグラフィクス演習	1・2③・④	2				○		兼1	
生物学実験	1・2①・②	2				○		兼13	共同
実践Webプログラミング実習	1・2③・④	2				○		兼1	
実践システム開発工程入門	1・2③・④	2				○		兼1	
プログラミング演習	1・2③・④	2				○		兼1	
環境動態学概説 I	1・2③	1	○					兼1	
環境動態学概説 II	1・2④	1	○					兼1	
海洋生化学演習	1・2①・②	2				○		兼4	共同
動画配信サービスを用いた情報発信演習	1・2①・②	2	○					兼1	
プレゼンテーション演習	1・2③・④	2	○					兼1	
英語セミナー	1・2②・③・④	1	○					兼7	クラス分け
英語セミナー	1・2③・④	2	○					兼2	クラス分け
ゼミ/漢文資料読解 A	1・2①・②	2				○		兼1	
ゼミ/漢文資料読解 B	1・2③・④	2				○		兼1	
ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	1・2③・④	2				○		兼1	
ゼミ/角間の里山づくり春編	1・2①	1				○		兼1	
ゼミ/角間の里山づくり秋編	1・2③	1				○		兼1	
身体・スポーツ実技/野外活動	1・2①・②	1				○		兼3	共同
身体・スポーツ実技/初心者スキー	1・2③・④	1				○		兼6	共同

	ゼミ/身体運動心理学	3・4①・②	2		○								兼1		
	ドイツ語A (充実クラスI-1)	1③	1										兼1		
	ドイツ語A (充実クラスI-2)	1④	1										兼1		
	ドイツ語A (充実クラスII-1)	1③	1										兼1		
	ドイツ語A (充実クラスII-2)	1④	1										兼1		
	フランス語A (充実クラスI-1)	1③	1										兼1		
	フランス語A (充実クラスI-2)	1④	1										兼1		
	フランス語A (充実クラスII-1)	1③	1										兼1		
	フランス語A (充実クラスII-2)	1④	1										兼1		
	中国語A (充実クラスI-1)	1③	1										兼1		
	中国語A (充実クラスI-2)	1④	1										兼1		
	中国語A (充実クラスII-1)	1③	1										兼1		
	中国語A (充実クラスII-2)	1④	1										兼1		
	小計 (101 科目)	—	0	147	0	—	0	0	0	0	0	0	兼156	—	
	共通教育科目計 (284 科目)	—	15	356	0	—	0	0	0	0	0	0	兼617	—	
専門科目	学域GS科目	数学物理学演習A	1③	1		○							兼3	オムニバス	
		数学物理学演習B	1④	1		○							兼3	オムニバス	
		物質化学序論A	2①	1		○							兼4	オムニバス	
		物質化学序論B	2②	1		○							兼4	オムニバス	
		先端テクノロジー概論	1③・④	1		○		6	1						オムニバス
		数学物理基礎リテラシー	2①～②	1		○								兼5	オムニバス
		電子情報通信工学序論	2①	1		○		3	1						オムニバス
		地球社会基盤情報処理演習A	2①	1			○							兼8	共同
		地球社会基盤情報処理演習B	2②	1			○							兼8	共同
		生命科学技術論A	1①	1		○								兼14	オムニバス
		生命科学技術論B	1②	1		○								兼7	オムニバス
	小計 (11 科目)	—	0	11	0	—	6	2	0	0	0	0	兼56	—	
	学域GS言語科目	学域GS言語科目I (理工系英語I)	2①	1			○		1						
		学域GS言語科目II (理工系英語II)	2②	1			○		1						
		小計 (2 科目)	—	2	0	0	—	0	1	0	0	0			
専門基礎科目	<b>【学域共通科目】</b>														
	情報・計算科学基礎	1③	2		○								兼3	オムニバス	
	計算科学	1④	2		○								兼2	オムニバス	
	情報処理演習	1③～④	1			○							兼2	共同	
	工業力学	2①	2		○								兼4	オムニバス	
	計算機リテラシーA	2①	1		○		1	1					兼2	オムニバス	
	計算機リテラシーB	2②	1		○		1	1					兼2	オムニバス	
	地球社会基盤学概論A	2①	1		○								兼43	オムニバス	
	地球社会基盤学概論B	2②	1		○								兼43	オムニバス	
	生命理工学概論A	1③	2		○								兼14	オムニバス	
	生命理工学概論B	1④	2		○								兼7	オムニバス	
国際研修A	1・2・3・4 ①・②・③・④	1					1								
国際研修B	1・2・3・4 ①・②・③・④	2					1								
小計 (12 科目)	—	2	16	0	—	1	1	0	0	0	0	兼122	—		
<b>【学類共通科目 (専門基礎)】</b>															
微分方程式及び演習	1③・④	2		○		1							5科目から		
フーリエ解析及び演習	2①・②	2		○			1						2科目以上		

	ベクトル解析及び演習	2①・②		2		○			1						必修
	複素解析及び演習	2③・④		2		○			1						
	確率・統計及び演習	2③・④		2		○					1				
	小計 (5 科目)	—	0	10	0		—		2	1	1	0	0		—
専門科目	<b>【学類共通科目 (専門)】</b>														
	アルゴリズムとデータ構造 A	2①	1			○				1		1			共同
	アルゴリズムとデータ構造 B	2②	1			○				1		1			共同
	Cプログラミング序論 A	2①	1			○								兼 2	共同
	Cプログラミング序論 B	2②	1			○								兼 2	共同
	電気回路及び演習 A	2①	1			○			1						
	電気回路及び演習 B	2②	1			○			1						
	電気磁気学及び演習 A	2①	1			○				2					共同
	電気磁気学及び演習 B	2②	1			○				2					共同
	論理回路 A	2①	1			○			1		1				共同
	論理回路 B	2②	1			○			1		1				共同
	情報ネットワーク A	2①		1		○			1						
	情報ネットワーク B	2②		1		○			1						
	Cプログラミング演習 A	2③	1				○				1				
	Cプログラミング演習 B	2④	1				○				1				
	情報理論 A (電気電子コース)	2③		1			○			1					
	情報理論 B (電気電子コース)	2④		1			○			1					
	情報理論 A (情報通信コース)	2③	1				○			1					
	情報理論 B (情報通信コース)	2④	1				○			1					
	計算機システム A	2③		1			○					1			
	計算機システム B	2④		1			○					1			
	数値シミュレーション A	3①		1			○				1				
	数値シミュレーション B	3②		1			○				1				
	情報通信方式 A	3①		1			○				1				
	情報通信方式 B	3②		1			○				1				
	電磁波工学 A	3①		1			○				1				
	電磁波工学 B	3②		1			○			1					
	信号処理 A	3①		1			○					1			
	信号処理 B	3②		1			○					1			
	集積回路工学 A	3①		1			○			1					
	集積回路工学 B	3②		1			○			1					
	集積回路工学 C	3③		1			○			1					
	集積回路工学 D	3④		1			○			1					
	デジタル通信 A	3③		1			○							兼 1	
	デジタル通信 B	3④		1			○							兼 1	
	無線通信システム A	3③		1			○			1					
	無線通信システム B	3④		1			○			1					
	音声音響工学 A	3③		1			○			1					
	音声音響工学 B	3④		1			○			1					
小計 (38 科目)	—	14	24	0		—			6	6	2	1	0	兼 6	—
	<b>【実践科目】</b>														
	電気電子工学実験第 1 (電気電子コース)	2③・④	2					○	2	3		1			共同
	電気電子工学実験第 2 (電気電子コース)	3①・②	2					○	2	1		1			共同
	電気電子工学実験第 3 (電気電子コース)	3③・④	2					○	2	2					共同
	情報通信工学実験第 1 (情報通信コース)	2③・④	2					○	1	2				兼 1	共同

情報通信工学実験第2 (情報通信コース)	3①・②	2					○		1		2			共同
情報通信工学実験第3 (情報通信コース)	3③・④	2					○		2		1			共同
自主課題研究 (情報通信コース)	3③・④	2					○	4	3	2			兼1	共同
小計 (7科目)	—	14	0	0			—	10	11	2	5	0	兼2	—
<b>【総合科目】</b>														
学外技術体験実習 A	3①・②・③・④	1					○	1						
学外技術体験実習 B	3①・②・③・④	2					○	1						
工学における倫理と法(電気電子コース)	3①・②	2				○							兼3	オムニバス
工学における倫理と法 (情報通信コース)	4①・②	2				○							兼3	オムニバス
卒業研究	4通	8					○	16	12	2	4		兼2	共同
工業概論	4①・②	2				○							兼11	オムニバス
職業指導第1	3③・④	2				○							兼1	
職業指導第2	4①・②	2				○							兼1	
小計 (8科目)	—	10	11	0			—	16	12	2	4	0	兼21	—
<b>《電気電子コース》</b>														
<b>【コース科目 (電気電子)】</b>														
電気回路及び演習 C	2③	1				○				1				
電気回路及び演習 D	2④	1				○				1				
電子回路及び演習 A	2③	1				○		1						
電子回路及び演習 B	2④	1				○		1						
電気磁気学及び演習 C	2③	1				○		1						
電気磁気学及び演習 D	2④	1				○		1						
半導体工学 A	2③		1			○				1				
半導体工学 B	2④		1			○				1				
電気エネルギー変換工学 A	2③		1			○				1				
電気エネルギー変換工学 B	2④		1			○				1				
システム制御基礎 A	2③		1			○							兼1	
システム制御基礎 B	2④		1			○							兼1	
電子回路及び演習 C	3①	1				○		1						
電子回路及び演習 D	3②	1				○		1						
電気エネルギー伝送工学 A	3①		1			○		1						
電気エネルギー伝送工学 B	3②		1			○		1						
電気機器学 A	3①		1			○		1						
電気機器学 B	3②		1			○		1						
量子力学 A	3①		1			○				1				
量子力学 B	3②		1			○				1				
電子デバイス A	3①		1			○		1						
電子デバイス B	3②		1			○		1						
電気電子計測 A	3①		1			○							兼1	
電気電子計測 B	3②		1			○							兼1	
システム制御 A	3①		1			○							兼1	
システム制御 B	3②		1			○							兼1	
システム制御 C	3③		1			○							兼1	
システム制御 D	3④		1			○							兼1	
伝送回路 A	3③		1			○				1				
伝送回路 B	3④		1			○				1				
光エレクトロニクス A	3③		1			○				1				
光エレクトロニクス B	3④		1			○				1				
パワーエレクトロニクス A	3③		1			○				1				
パワーエレクトロニクス B	3④		1			○				1				

高電圧プラズマ工学 A	3③		1		○		1						
高電圧プラズマ工学 B	3④		1		○		1						
電子物性 A	3③		1		○		1						
電子物性 B	3④		1		○		1						
電気電子材料 A	3③		1		○			1					
電気電子材料 B	3④		1		○			1					
熱・統計力学 A	3③		1		○		1						
熱・統計力学 B	3④		1		○		1						
小計 (42 科目)	—	8	34	0		—	7	5	0	0	0	兼 8	—
<b>《情報通信コース》</b>													
<b>【コース科目 (情報通信)】</b>													
情報基礎 A	2③		1		○		1						
情報基礎 B	2④		1		○		1						
形式言語論とオートマトン A	2③		1		○			1					
形式言語論とオートマトン B	2④		1		○			1					
電気・電子回路 A	2③		1		○		1						
電気・電子回路 B	2④		1		○		1						
電気磁気学及び演習 C	2③		1		○		1						
電気磁気学及び演習 D	2④		1		○		1						
コンパイラ A	3①		1		○		1						
コンパイラ B	3②		1		○		1						
オペレーティングシステム A	3①		1		○		1						
オペレーティングシステム B	3②		1		○		1						
オブジェクト指向プログラミング A	3①		1		○					1			
オブジェクト指向プログラミング B	3②		1		○					1			
システム最適化 A	3①		1		○							兼 1	
システム最適化 B	3②		1		○							兼 1	
情報セキュリティ A	3①		1		○		1			1			オムニバス
情報セキュリティ B	3②		1		○		1			1			オムニバス
先端情報通信技術論 A	3③	1			○		4		1				オムニバス
先端情報通信技術論 B	3④	1			○		2	4		1			オムニバス
情報セキュリティ C	3③		1		○		1			1			オムニバス
情報セキュリティ D	3④		1		○		1			1			オムニバス
機械学習 A	3③		1		○			1					
機械学習 B	3④		1		○			1					
分散システム A	3③		1		○		1						
分散システム B	3④		1		○		1						
データベース論 A	3③		1		○			1					
データベース論 B	3④		1		○			1					
画像情報処理 A	3③		1		○			1					
画像情報処理 B	3④		1		○			1					
情報解析の数理 A	3③		1		○			1					
情報解析の数理 B	3④		1		○			1					
小計 (32 科目)	—	2	30	0		—	6	6	1	2	0	兼 1	—
専門科目計 (157 科目)	—	52	136	0		—	16	12	2	4	0	兼 122	—
合計 (441 科目)	—	67	492	0		—	16	12	2	4	0	兼 739	—
学位又は称号	学士 (工学)			学位又は学科の分野				工学関係					
設置の趣旨・必要性													

## I 設置の趣旨・必要性

### (背景)

近年、電気電子や情報通信などに係る新たな技術の登場により、社会構造への大きな変革をもたらされつつある。実際に、政府が策定した第5期（平成28年から平成32年度）の科学技術基本計画では、サイバー空間と実空間が融合することにより到来する超スマート社会の形成を世界に先駆けて目指すことが述べられている。この基本計画によれば、超スマート社会とは、必要なもの・サービスを、必要な人に、必要なときに、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かく対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことのできる社会とされる。この超スマート社会に向けたサービスプラットフォームの構築に必要なサイバー空間に係る基盤技術として、サイバーセキュリティ技術、IoTシステム構築技術、ビッグデータ解析、AI技術、デバイス技術、ネットワーク技術、エッジコンピューティングなどが挙げられる。また、新たな価値創出のコアとなる強みを有する実空間に係る基盤技術として、センサ技術、アクチュエータ技術、ヒューマンインターフェース技術、素材・ナノテクノロジー、光・量子技術などが挙げられている。

一方で、エネルギー枯渇、地球温暖化や高齢化など現代社会は様々な問題に直面している。地震や火山噴火、豪雨などの自然災害や異常気象も絶えず発生しており、人々の快適で安全安心な生活を脅かしている。これらの問題の対策の例として、大規模蓄電技術や超伝導送電、ICTと連動したスマートグリッドといったエネルギー対策や次世代パワー半導体による省電力の実現、更には、ICTを活用した医療・健康管理、センサを用いた社会インフラの強度検証が有効であり、それらの重要性が益々高まっている。このように、持続可能な高度に情報化された社会を発展させていく上で、電気エネルギー技術、エレクトロニクス技術、信号処理技術、通信・ネットワーク技術、情報技術は欠かすことができないものとなっている。

### (本学に設置する必要性)

Internet of Things (IoT) による多種多様で大量なデータの収集、蓄積されたデータの解析、得られた技術・成果の社会への還元という3つのサイクルから構成されるサイバーフィジカルシステム (CPS) は、近年みられる技術革新の根幹であり、この先に目指す超スマート社会がある(図1)。サイバー空間と実空間のそれぞれの基盤技術は、電気電子技術 (EET) と情報通信技術 (ICT) であり、これらの分野の新たな技術革新と社会発展への寄与のために、将来それを担う専門家、技術者の育成が強く求められている。また、将来的な高度情報化社会の維持・発展、および、人類が直面している問題を技術的に解決できる人材の育成も期待されている。

そこで、電気電子技術 (EET) と情報通信技術 (ICT) に関する専門知識を修め、電気電子・情報通信分野の未来の課題に対する解決能力を有すると共に、技術者に必要な倫理観と地球的視点をもった、持続的発展可能で高度に情報化された未来社会の創造に貢献できる自立した技術者・研究者を養成するために電子情報通信学類を設置する。

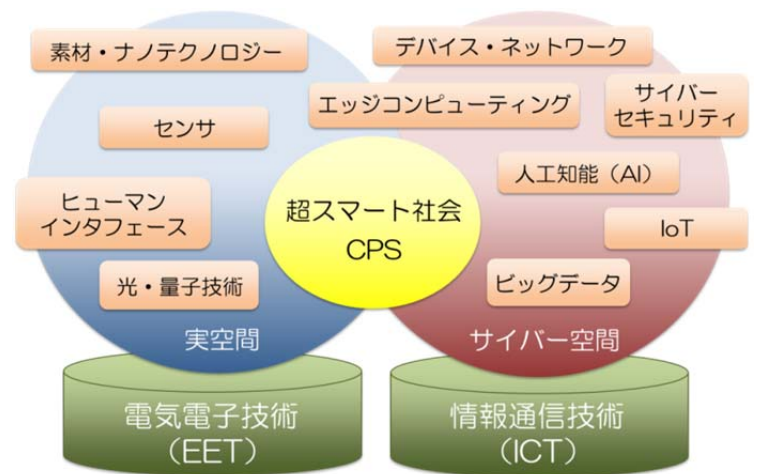


図1：超スマート社会の基礎技術としての電気電子技術 (EET) ・情報通信技術 (ICT)

## II 教育課程編成の考え方・特色

### (教育課程の基本的な考え方)

既存の「機械工学類」、「電子情報学類」、「自然システム学類」の一部を再編・融合し、(新)「機械工学類」、「電子情報通信学類」ならびに「フロンティア工学類」を新設する(図2)。これらの3学類では、前期個別入試において一括入試を行うとともに、後期理系一括入試入学者と併せ、1年次にはGS科目、言語、基礎科目などの共通教育科目を統一的に履修する。電子情報通信学類においては、分野の専門性をさらに高めるために従来の教育体制の一層の充実を図る。

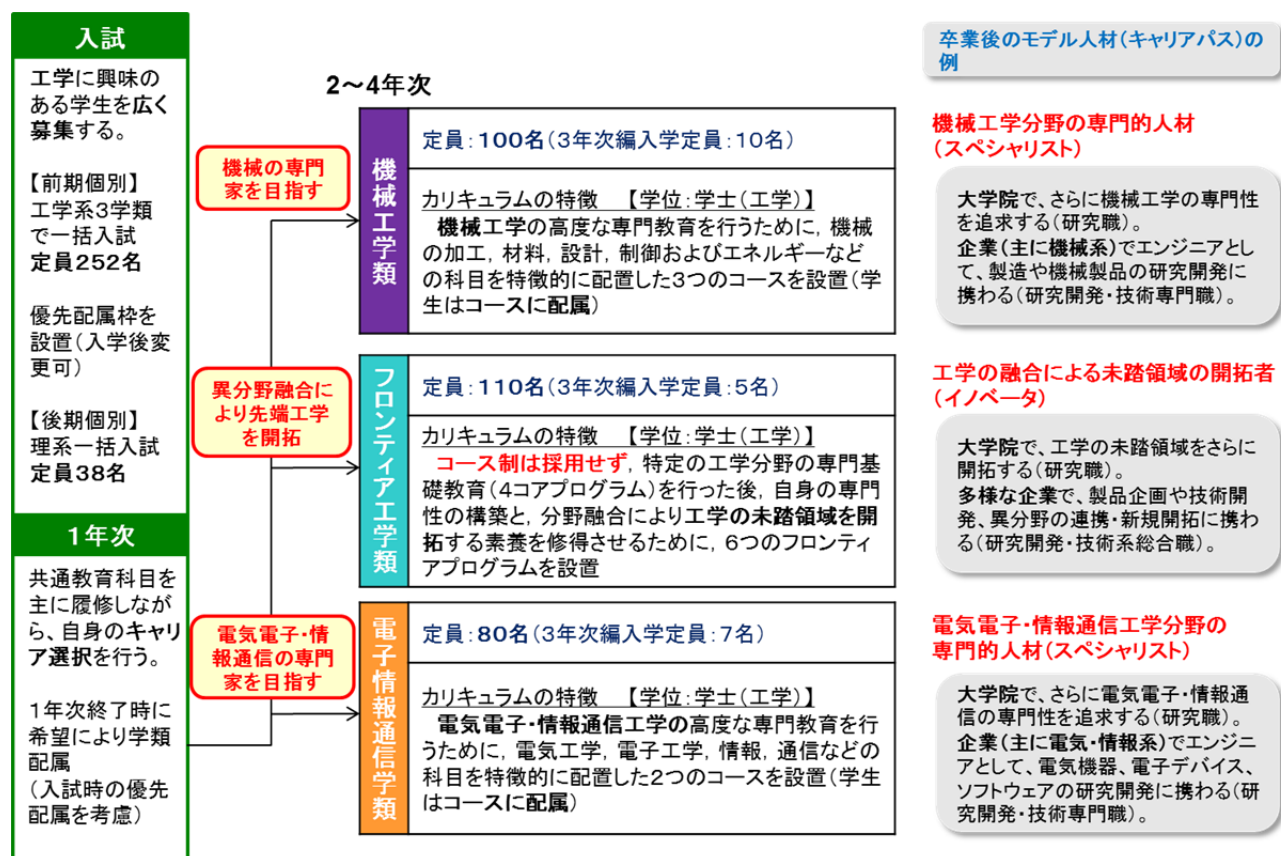


図2 工学系3学類の関係

**(教育課程の特色)**

導入として専門知識の習得に必要な基礎的な科目を学類共通科目として配置し、次に専門知識と理論の理解そして実践的な技術の習得のために、各分野の専門科目と各分野に則した実験・演習科目を配置する(図3)。そして、それに続くより高度な実験・演習科目と課題研究を配置することで、問題発見能力や未来の課題にも対応できる課題解決能力を身につけることができるように編成する。

電気電子コースでは、持続発展可能な未来社会を担う電気電子工学分野の技術者・研究者を養成するために、基礎となる電気電子科目について体系的に学び、その上で、先進的な技術革新や社会的要求の変化にも対応できる専門的能力が身につけられるよう電気エネルギー・システム科目群と先進電子材料・デバイス科目群を配置する。さらに、電気電子技術者としての実践能力を高めるための実験・演習科目と、独創性を醸成するための課題提案型の創成科目を加えてカリキュラムを編成する。

情報通信コースでは、IoT、人工知能、ビッグデータ、サイバーセキュリティ、情報通信ネットワークなどに関する情報通信工学分野において第4次産業革命と超スマート社会を担う技術者、研究者やデータサイエンティストを養成するために、導入として専門知識の習得に必要な数理情報や自然科学などの基礎的な科目を配置する。次に専門知識と理論の理解、そして実践的な技術の修得のために、人工知能・ビッグデータ科目群、IoT科目群、セキュリティ・情報通信ネットワーク科目群を3本柱として専門科目と各分野に則した実験・演習科目を配置する。そして、それに続くより高度な実験・演習科目と課題研究を配置することで、問題発見・解決能力を身につけることができるように編成する。



図3 電子情報通信学類のカリキュラム

**参考**

1. 人材養成目標

電子情報通信学類では、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に基づいた人材育成を行う上で、電気電子技術(EET)と情報通信技術(ICT)に関する専門知識を修め、技術者に必要な倫理観と地球的視点をもった、持続的発展可能で高度に情報化された未来社会の創造に貢献できる自立した技術者・研究者を養成する。

2. ディプロマポリシー

**【電気電子コース】**

電磁気学、電気回路および電子回路などの電気電子分野の基礎学問を学習した上で、最先端の電気エネルギー技術、半導体・材料技術、電子・光素子技術、集積回路技術、電波通信・信号処理技術、制御技術の基礎知識取得と実践を通じて、工学のもつ倫理的責任を理解した人材を育成する。それらの知識を生かし、創造力豊かで新分野開拓に意欲を持つ自立した電気電子技術者・研究者を養成する。

金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士(工学)の学位を授与する。

○学修成果

- 1 電気電子工学の基礎知識を幅広く修め、それを応用する能力を身につける。
- 2 電気電子工学に関する事象を科学的に分析し、的確に記述、表現する能力を身につける。
- 3 電気電子工学の実践に必要なハードウェア、ソフトウェアを適切に利用するスキルを身につける。
- 4 課題を発見する能力、およびその解決方法を提案し実行する能力を身につける。
- 5 工学の持つ社会的影響力の重要性と倫理的責任を理解する。

【情報通信コース】

先端的な情報通信に必要な知識と技術を身につけ、当該分野に関して創意工夫と新分野開拓を行い、第4次産業革命及び超スマート社会を担う技術者、研究者、データサイエンティストを養成する。

金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS) 及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士 (工学) の学位を授与する。

○学修成果

- 1 数理情報や自然科学などの情報通信工学の基礎理論を理解し、応用できる能力を身につける。
- 2 IoT, 人工知能, ビッグデータ, サイバーセキュリティ, 情報通信ネットワークなどに関する専門知識と理論を理解し、説明できる能力を身につける。
- 3 多種膨大な情報を組み合わせ解析するビッグデータ解析技術を身につける。
- 4 IoT 技術を活用して、堅牢で安全なビッグデータ収集システムを構築できる技術を身につける。
- 5 人工知能を組み込んだ情報通信システムを構築できる技術を身につける。
- 6 安全で柔軟な情報通信ネットワーク技術を身につける。
- 7 工学の持つ社会的・倫理的責任を理解する。

3. カリキュラムポリシー

電子情報通信学類では、エレクトロニクス・情報通信技術・エネルギーの各分野において必要となる専門知識を修め、技術者に必要な倫理観と地球的視点をもった、高度情報化社会の発展に寄与できる自立した技術者・研究者を育成することを目指し、専門基礎科目群、学類共通科目 (専門) 群、実践科目群、およびコース科目 (電気電子) 群とコース科目 (情報通信) 群を配置した。また各科目においては、学生の能動的な学修を積極的に促すためにアクティブラーニングの手法を取り入れている。

【電気電子コース】

本コースでは、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施する。

持続発展可能な未来社会を担う電気電子工学分野の技術者・研究者を養成するために、基礎となる電気電子科目について体系的に学ぶ (学修成果1) ことができるように専門基礎科目群と学類共通科目 (専門) 群から始め、その上で、先進的な技術革新や社会的要求の変化にも対応できる専門的能力 (学修成果2, 3, 5) が身につけられるようコース科目 (電気電子) を配置した。さらに、電気電子技術者としての実践能力を高める (学修成果3) ための実験・演習科目として実践科目等と、独創性・社会性を醸成する (学修成果4, 5) ための総合科目を加えてカリキュラムを編成した。

○評価方法

平常評価と期末評価を総合して、学修成果の達成度を評価する。平常評価は、小テスト、レポート等で行う。期末評価は、期末試験、期末レポート等で行う。卒業研究については、論文と研究発表で評価する。

【情報通信コース】

本コースでは、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施する。

IoT, 人工知能, ビッグデータ, サイバーセキュリティ, 情報通信ネットワークなどに関する情報通信工学分野において第4次産業革命及び超スマート社会を担う技術者、研究者やデータサイエンティストを養成するために、導入として専門知識の習得に必要な数理情報や自然科学などの基礎的な科目 (学修成果1) を専門基礎科目群として配置した。次に専門知識と理論の理解 (学修成果2), そして実践的な技術の習得 (学修成果3, 4, 5, 6) のために、IoT, 人工知能, ビッグデータ, サイバーセキュリティ, 情報通信ネットワークなどに関する情報通信工学の専門科目として学類共通科目 (専門) 群とコース科目 (情報通信) 群を、及び、各分野に則した実験・演習科目として実践科目群を配置した。そして、それに続くより高度な実験・演習科目と課題研究として実践科目と総合科目を配置することで、問題発見・解決能力を身につける (学修成果3, 4, 5, 6, 7) ことができるように編成した。

○評価方法

平常評価と期末評価を総合して、学修成果の達成度を評価する。平常評価は、小テスト、レポート等で行う。期末評価は、期末試験、期末レポート等で行う。卒業研究については、論文と研究発表で評価する。



#### 4. アドミッションポリシー

電子情報通信学類が対象とする分野は、持続的発展可能で高度に情報化された未来社会を創造する電気電子技術（EET）と情報通信技術（ICT）からなる。本学類は、電気エネルギー創成・変換、ナノテクノロジー、光・電子デバイス、宇宙探査、セキュリティ、IoT（Internet of Things）、ビッグデータ、クラウドコンピューティングなどに興味がある人材の入学を期待している。

本学類には電気電子及び情報通信の2つのコースがある。地球的視点や技術者としての高い倫理観を有し、電気電子・情報通信分野の未来の課題に対する解決能力を有する自立した技術者・研究者を養成する。

##### 求める人材

- ・エネルギー、エレクトロニクス、情報通信に関する技術を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人
- ・科学実験やコンピュータなどに興味があり、電気電子・情報通信分野の未来の課題を見つけて創意工夫したい人
- ・数学が得意な人、物理学、数学の応用に積極的に取り組みたい人

##### 選抜の基本方針

###### ■一般入試

基礎学力に加え、理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視する。

###### ■帰国子女入試

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視する。

###### ■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、面接により、日本語によるコミュニケーション能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価する。

##### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入試センター試験で課している科目においては、理系科目及び文系科目ともに重要であるため、確実に修得しておくことが望まれる。また、一般入試の個別学力検査で課している科目（数学、物理、英語）については、入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切であるため、しっかりと学び、身につけておくことが求められる。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【課題研究・卒業研究着手の要件】	1 学年の学期区分	4 学期
共通教育科目である導入科目、GS 科目（5 群）、GS 言語科目、自由履修科目、基礎科目、初習言語科目から 46 単位以上と、専門教育科目である学域 GS 科目、学域 GS 言語科目、専門基礎科目、専門科目から 66 単位以上を含む、合計 112 単位以上を修得しなければならない。ただし、共通教育科目は、導入科目の大学・社会生活論、初学者ゼミ I、情報処理基礎、地域概論のそれぞれ 1 単位と GS 科目 3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミ II）を必修として含む GS 科目（5 群）の各群から 3 単位の計 15 単位と GS 言語科目の TOEIC 準備コースと EAP コースのそれぞれ 4 単位と自由履修科目から 3 単位以上を含む計 30 単位以上、及び、基礎科目から 16 単位以上を含まなければならない。また、専門教育科目は、「工学における倫理と法」と「卒業研究」を除くすべての必修科目の単位と、学域 GS 科目（選択必修科目）から 2 単位以上、専門基礎科目の学類共通科目（専門基礎）から 4 単位以上を含まなければならない。	1 学期の授業期間	8 週
【卒業に必要な要件】	1 時限の授業時間	90 分
共通教育科目である導入科目、GS 科目（5 群）、GS 言語科目、自由履修科目、基礎科目、初習言語科目から 46 単位以上と、専門教育科目である学域 GS 科目、学域 GS 言語科目、専門基礎科目、専門科目から 78 単位以上を含む、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、共通教育科目は、導入科目の大学・社会生活論、初学者ゼミ I、情報処理基礎、地域概論のそれぞれ 1 単位と GS 科目 3A プレゼン・ディベート論（初学者ゼミ II）を必修として含む GS 科目（5 群）の各群から 3 単位の計 15 単位と GS 言語科目の TOEIC 準備コースと EAP コースのそれぞれ 4 単位と自由履修科目から 3 単位以上を含む計 30 単位以上、及び、基礎科目から 16 単位以上を含まなければならない。また、専門教育科目は、すべての必修科目の単位と、学域 GS 科目（選択必修科目）から 2 単位以上、専門基礎科目の学類共通科目（専門基礎）から 4 単位以上を含まなければならない。 各クォーターにおける履修登録許可単位数の上限は 12 単位を上限とする。ただし、直前 2 つのクォーターの GPA が 2.5 以上の場合、その上限は撤廃される。		

教育課程等の概要(事前伺い)

(理工学域 地球社会基盤学類)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1			○								兼 73	クラス分け
	初学者ゼミ I	1①・②・③	1				○							兼 84	クラス分け
	情報処理基礎	1①	1				○							兼 61	クラス分け
	地域概論	1①・②	1			○								兼 69	クラス分け
	小計(4科目)	—	4	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼 256	
共通教育科目 GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の政治経済学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	グローバル時代の社会学	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け
	ケーススタディによる応用倫理学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	地球生物圏と人間	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	物理の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	化学の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	哲学(自我論)	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	パーソナリティ心理学	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の文学	1①・②・③・④		1		○								兼 6	クラス分け
	健康科学	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け
	細胞・分子生物学	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	エクササイズ&スポーツ 実技	1①・②・③・④		1					○					兼 18	クラス分け
	プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)	1①・②	1				○							兼 86	クラス分け
	クリティカル・シンキング	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	価値と情動の認知科学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	論理学から見る世界	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	数学的発想法	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	芸術と自己表現	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	スポーツ科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	金沢・能登と世界の地域文化	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	日本史・日本文化	1②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	異文化間コミュニケーション	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	異文化体験	1②・④		1					○					兼 2	クラス分け
	異文化体験	1②・④		2					○					兼 4	クラス分け
	異文化体験	1②・④		3					○					兼 6	クラス分け
	異文化体験	1②・④		4					○					兼 3	クラス分け
	異文化体験	1②・④		5					○					兼 1	
	異文化体験	1②・④		6					○					兼 1	
	異文化体験	1②・④		7					○					兼 1	
	異文化体験	1②・④		8					○					兼 1	
	国際社会とボランティア	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
グローバル社会と地域の課題	1①・③・④		1		○								兼 1		
科学技術と科学方法論	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け	
統計学から未来を見る	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け	
情報の科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け	
環境学とESD	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け	

	生活と社会保障	1③・④	1		○								兼 3	クラス分け
	人権・ジェンダー論	1①・②・③・④	1		○								兼 5	クラス分け
	小計 (39 科目)	—	1	66	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 221	—
G S 言語科目 (英語)	TOEIC 準備 I	1①	1			○							兼 28	クラス分け
	TOEIC 準備 II	1②	1			○							兼 28	クラス分け
	TOEIC 準備 III	1③	1			○							兼 31	クラス分け
	TOEIC 準備 IV	1④	1			○							兼 31	クラス分け
	TOEIC 準備 (演習)	2①・②・③・④	1			○							兼 2	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) I	1①	1			○							兼 25	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) II	1①	1			○							兼 27	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) III	1③	1			○							兼 36	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) IV	1④	1			○							兼 36	クラス分け
	EAP (Retake)	1③・④・2①・②	1			○							兼 14	クラス分け
G S 言語科目 (日本語)	アカデミック基礎日本語 A	1①・③	1			○							兼 2	クラス分け
	アカデミック基礎日本語 B	1②・④	1			○							兼 2	クラス分け
	アカデミック・ライティング IA	1①・③	1			○							兼 1	
	アカデミック・ライティング IB	1②・④	1			○							兼 1	
	アカデミック・ライティング IIA	1①・③	1			○							兼 1	
	アカデミック・ライティング IIB	1②・④	1			○							兼 1	
	講義の聴解 A	1①・③	1			○							兼 1	
	講義の聴解 B	1②・④	1			○							兼 1	
	口頭発表 I A	1③	1			○							兼 1	
	口頭発表 I B	1④	1			○							兼 1	
	口頭発表 II A	1①	1			○							兼 1	
	口頭発表 II B	1②	1			○							兼 1	
	上級読解 I A	1①	1			○							兼 1	
	上級読解 I B	1②	1			○							兼 1	
	上級読解 II A	1③	1			○							兼 1	
	上級読解 II B	1④	1			○							兼 1	
	日本事情 A	1①・③	1			○							兼 1	
日本事情 B	1②・④	1			○							兼 1		
日本語で学ぶ論理 A	1③	1			○							兼 1		
日本語で学ぶ論理 B	1④	1			○							兼 1		
小計 (30 科目)	—	10	20	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 64	—	
基礎科目	微分積分学第一	1①・②	2			○							兼 9	クラス分け
	微分積分学第二	1③・④	2			○							兼 7	クラス分け
	線形代数学第一	1①・②	2			○							兼 10	クラス分け
	線形代数学第二	1③・④	2			○							兼 7	クラス分け
	統計数学	1③・④	2			○							兼 3	クラス分け
	物理学 I	1①・②	2			○							兼 16	クラス分け
	物理学 II	1①・②・③・④	2			○							兼 15	クラス分け
	物理学実験	1①・②・③・④	2					○					兼 32	クラス分け
	化学 I	1①・②	2			○							兼 11	クラス分け
	化学 II	1③・④	2			○							兼 7	クラス分け
	化学実験	1①・②・③・④	2					○					兼 15	クラス分け
	化学実験	2①	1					○					兼 11	クラス分け
	地学 I	1①・②	2			○							兼 4	クラス分け
	地学 II	1③・④	2			○							兼 1	
小計 (14 科目)	—	0	27	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 106	—	

初習言語科目	ドイツ語 A1-1	1①・③	1	○						兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A1-2	1②・④	1	○						兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-1	1①・③	1	○						兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-2	1②・④	1	○						兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-1	1①・③	1	○						兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-2	1②・④	1	○						兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A4-1	1①・③	1	○						兼 7	クラス分け
	ドイツ語 A4-2	1②・④	1	○						兼 7	クラス分け
	ドイツ語 B-1	2①	1	○						兼 3	クラス分け
	ドイツ語 B-2	2②	1	○						兼 3	クラス分け
	ドイツ語 C-1	2①・③	1	○						兼 2	クラス分け
	ドイツ語 C-2	2②・④	1	○						兼 2	クラス分け
	フランス語 A1-1	1①・③	1	○						兼 4	クラス分け
	フランス語 A1-2	1②・④	1	○						兼 4	クラス分け
	フランス語 A2-1	1①・③	1	○						兼 5	クラス分け
	フランス語 A2-2	1②・④	1	○						兼 5	クラス分け
	フランス語 A3-1	1①・③	1	○						兼 4	クラス分け
	フランス語 A3-2	1②・④	1	○						兼 4	クラス分け
	フランス語 A4-1	1①・③	1	○						兼 4	クラス分け
	フランス語 A4-2	1②・④	1	○						兼 4	クラス分け
	フランス語 B-1	2①・③	1	○						兼 6	クラス分け
	フランス語 B-2	2②・④	1	○						兼 6	クラス分け
	フランス語 C-1	2①・③	1	○						兼 4	クラス分け
	フランス語 C-2	2②・④	1	○						兼 4	クラス分け
	ロシア語 A1-1	1①	1	○						兼 1	
	ロシア語 A1-2	1②	1	○						兼 1	
	ロシア語 A2-1	1①	1	○						兼 1	
	ロシア語 A2-2	1②	1	○						兼 1	
	ロシア語 A3-1	1③	1	○						兼 1	
	ロシア語 A3-2	1④	1	○						兼 1	
	ロシア語 A4-1	1③	1	○						兼 1	
	ロシア語 A4-2	1④	1	○						兼 1	
	ロシア語 B-1	2①・③	1	○						兼 1	
	ロシア語 B-2	2②・④	1	○						兼 1	
	ロシア語 C-1	2①・③	1	○						兼 1	
	ロシア語 C-2	2②・④	1	○						兼 1	
	中国語 A1-1	1①・③	1	○						兼 6	クラス分け
	中国語 A1-2	1②・④	1	○						兼 6	クラス分け
	中国語 A2-1	1①・③	1	○						兼 4	クラス分け
	中国語 A2-2	1②・④	1	○						兼 4	クラス分け
中国語 A3-1	1①・③	1	○						兼 5	クラス分け	
中国語 A3-2	1②・④	1	○						兼 5	クラス分け	
中国語 A4-1	1①・③	1	○						兼 4	クラス分け	
中国語 A4-2	1②・④	1	○						兼 4	クラス分け	
中国語 B-1	2①・③	1	○						兼 3	クラス分け	
中国語 B-2	2②・④	1	○						兼 3	クラス分け	
中国語 C-1	2①・③	1	○						兼 3	クラス分け	
中国語 C-2	2②・④	1	○						兼 3	クラス分け	
朝鮮語 A1-1	1①・③	1	○						兼 2	クラス分け	
朝鮮語 A1-2	1②・④	1	○						兼 2	クラス分け	
朝鮮語 A2-1	1①・③	1	○						兼 2	クラス分け	
朝鮮語 A2-2	1②・④	1	○						兼 2	クラス分け	
朝鮮語 A3-1	1①・③	1	○						兼 1		

	朝鮮語 A3-2	1②・④		1		○							兼1	
	朝鮮語 A4-1	1①・③		1		○							兼1	
	朝鮮語 A4-2	1②・④		1		○							兼1	
	朝鮮語 B-1	2①・③		1		○							兼1	
	朝鮮語 B-2	2②・④		1		○							兼1	
	朝鮮語 C-1	2①・③		1		○							兼2	クラス分け
	朝鮮語 C-2	2②・④		1		○							兼2	クラス分け
	ギリシャ語 A1-1	1①		1		○							兼1	
	ギリシャ語 A1-2	1②		1		○							兼1	
	ギリシャ語 A2-1	1③		1		○							兼1	
	ギリシャ語 A2-2	1④		1		○							兼1	
	ギリシャ語 A3-1	1①		1		○							兼1	
	ギリシャ語 A3-2	1②		1		○							兼1	
	ギリシャ語 A4-1	1③		1		○							兼1	
	ギリシャ語 A4-2	1④		1		○							兼1	
	ギリシャ語 B-1	1①		1		○							兼1	
	ギリシャ語 B-2	1②		1		○							兼1	
	ギリシャ語 C-1	1③		1		○							兼1	
	ギリシャ語 C-2	1④		1		○							兼1	
	ラテン語 A1-1	1①		1		○							兼2	クラス分け
	ラテン語 A1-2	1②		1		○							兼2	クラス分け
	ラテン語 A2-1	1③		1		○							兼2	クラス分け
	ラテン語 A2-2	1④		1		○							兼2	クラス分け
	ラテン語 A3-1	1①		1		○							兼1	
	ラテン語 A3-2	1②		1		○							兼1	
	ラテン語 A4-1	1③		1		○							兼1	
	ラテン語 A4-2	1④		1		○							兼1	
	ラテン語 B-1	1①		1		○							兼1	
	ラテン語 B-2	1②		1		○							兼1	
	ラテン語 C-1	1③		1		○							兼1	
	ラテン語 C-2	1④		1		○							兼1	
	スペイン語 A1-1	1①		1		○							兼1	
	スペイン語 A1-2	1②		1		○							兼1	
	スペイン語 A2-1	1①		1		○							兼1	
	スペイン語 A2-2	1②		1		○							兼1	
	スペイン語 A3-1	1③		1		○							兼1	
	スペイン語 A3-2	1④		1		○							兼1	
	スペイン語 A4-1	1③		1		○							兼1	
	スペイン語 A4-2	1④		1		○							兼1	
	スペイン語 B-1	2①		1		○							兼1	
	スペイン語 B-2	2②		1		○							兼1	
	スペイン語 C-1	2③		1		○							兼1	
	スペイン語 C-2	2④		1		○							兼1	
	小計 (96 科目)	—	0	96	0	—	0	0	0	0	0	0	兼45	—
自由履修科目	ジャーナリズム論	1・2③		1		○							兼1	
	石川県の行政	1・2③・④		2		○							兼1	
	石川県の市町	1・2①・②		2		○							兼1	
	キャリアディベロップメント 実践	3・4①・②		2		○							兼2	共同
	健康論実践 D	1・2③・④		1		○							兼4	共同
	健康論実践 E	1・2③・④		1		○							兼2	共同
	能登の世界農業遺産を学ぶス タディ・ツアー	1・2①・②		1		○							兼8	共同

里山体験実習 in 能登半島	1・2①・②	1	○					兼6	共同
里海体験実習 in 能登半島	1・2①・②	1	○					兼6	共同
地元学 A (地域資源調査)	1・2①	1	○					兼1	
地元学 B (聞き書き)	1・2②	1	○					兼1	
生と死を見つめて	1・2②	1	○					兼6	オムニバス
実践アントレプレナー学	1・2①・②	1	○					兼8	オムニバス
クラウド時代の「ものグラミング」概論	1・2①・②	2	○					兼3	共同
シェルスクリプト言語論	1・2①・②	2	○					兼2	共同
マスメディアと現代を読み解く	1・2②	1	○					兼1	
ライフキャリアデザイン	1・2③・④	2	○					兼1	
ダイバーシティとインクルージョン	1・2②	1	○					兼3	共同
キャリアディベロップメント	1・2①・②	2	○					兼1	
ファシリテーション入門	1・2②・④	1	○					兼3	共同
学生・学習論	1・2①	1	○					兼2	共同
コーヒーの世界	1・2③・④	2	○					兼13	オムニバス
画像解剖学	2・3・4③・④	1	○					兼1	
よくわかる健康と病気	1・2③・④	1	○					兼1	
国際協力と地域のグローバル化	1・2③・④	2	○					兼1	
心と体の健康	1・2③	1	○					兼3	共同
死と喪失	1・2①・②・④	1	○					兼1	
ひとのからだ I	1・2①・②	2	○					兼1	
ひとのからだ II	1・2③・④	2	○					兼1	
基礎病態学	1・2③・④	1	○					兼1	
哲学 A	2①・②	2	○					兼1	
宗教学 A	1・2③・④	2	○					兼1	
ことばと文化 J	1・2③・④	2	○					兼1	
基礎運動学	2①・②	1	○					兼4	オムニバス
地域「超」体験プログラム(能登 珠洲)	1①・②	1			○			兼1	
地域「超」体験プログラム(能登 小木)	1①・②	1			○			兼1	
地域「超」体験プログラム(白山麓)	1①・②	1			○			兼1	
地域「超」体験プログラム(五箇山)	1③・④	1			○			兼1	
地方行政	1・2③・④	2	○					兼1	
ブランディング入門	1・2①・②	2	○					兼1	
ゼミ/政治哲学入門	1・2③・④	2			○			兼1	
茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③・④	2	○					兼1	
日本の伝統芸能	1・2①・②	2	○					兼1	
金沢の歴史と文化	1・2③・④	2	○					兼2	共同
ESD 入門	1・2①・②	1	○					兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1・2①・②	1	○					兼1	
持続可能性と福祉	1・2①・③	1	○					兼1	
異文化間ディベート	1・2①・②・③・④	2	○					兼1	
日本の歴史からみた暦と時間	1・2①・②・③・④	2	○					兼1	
日本と金沢の建築・都市	1・2①・②	2	○					兼2	共同
コミュニケーションビジネス	1・2③・④	2	○					兼2	共同
日本国憲法概説	1・2①・②・③・④	2	○					兼4	クラス分け
行政学入門	1・2①・②	2	○					兼1	
公共政策入門 I	1・2①・②	2	○					兼1	

経済学入門C	1・2③・④	2	○									兼1	
日本史要説	2③・④	2	○									兼4	オムニバス
東洋史要説	2③・④	2	○									兼3	オムニバス
法論理学入門	1・2①	2	○									兼1	
異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション	1・2③	1	○									兼1	
ビジネス入門	1・2①	1	○									兼1	
日本のオープンデータ活用	1・2②	1	○									兼1	
ビジネスと金融	1・2③	1	○									兼1	
世界のオープンデータ活用	1・2④	1	○									兼1	
ガラスとクリスタルⅠ	1・2②	1	○									兼1	
ガラスとクリスタルⅡ	1・2③	1	○									兼1	
英国諸島の地史Ⅰ	1・2②	1	○									兼1	
英国諸島の地史Ⅱ	1・2③	1	○									兼1	
地学実験	1・2①・②・③	2				○						兼16	クラス分け
東洋医学	3・4③・④	2	○									兼2	クラス分け
コンピュータグラフィクス演習	1・2③・④	2				○						兼1	
生物学実験	1・2①・②	2				○						兼13	共同
実践 Web プログラミング実習	1・2③・④	2				○						兼1	
実践システム開発工程入門	1・2③・④	2				○						兼1	
プログラミング演習	1・2③・④	2				○						兼1	
環境動態学概説Ⅰ	1・2③	1	○									兼1	
環境動態学概説Ⅱ	1・2④	1	○									兼1	
海洋生化学演習	1・2①・②	2				○						兼4	共同
動画配信サービスを用いた情報発信演習	1・2①・②	2	○									兼1	
プレゼンテーション演習	1・2③・④	2	○									兼1	
英語セミナー	1・2②・③・④	1	○									兼7	クラス分け
英語セミナー	1・2③・④	2	○									兼2	クラス分け
ゼミ/漢文資料読解A	1・2①・②	2				○						兼1	
ゼミ/漢文資料読解B	1・2③・④	2				○						兼1	
ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	1・2③・④	2				○						兼1	
ゼミ/角間の里山づくり 春編	1・2①	1				○						兼1	
ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1・2③	1				○						兼1	
身体・スポーツ実技/野外活動	1・2①・②	1						○				兼3	共同
身体・スポーツ実技/初心者スキー	1・2③・④	1						○				兼6	共同
ゼミ/身体運動心理学	3・4①・②	2	○									兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1						○				兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1						○				兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1						○				兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1						○				兼1	
フランス語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1						○				兼1	
フランス語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1						○				兼1	
フランス語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1						○				兼1	
フランス語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1						○				兼1	
中国語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1						○				兼1	
中国語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1						○				兼1	
中国語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1						○				兼1	
中国語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1						○				兼1	
小計(101科目)	—	0	147	0	—	0	0	0	0	0	0	兼156	—

共通教育科目計 (284 科目)		—	15	356	0	—			0	0	0	0	0	兼 617	—
学域GS科目	数学物理学演習 A	1③		1		○								兼 3	オムニバス
	数学物理学演習 B	1④		1		○								兼 3	オムニバス
	物質化学序論 A	2①		1		○								兼 4	オムニバス
	物質化学序論 B	2②		1		○								兼 4	オムニバス
	先端テクノロジー概論	1③・④		1		○								兼 13	オムニバス
	数学物理基礎リテラシー	2①～②		1		○								兼 5	オムニバス
	電子情報通信工学序論	2①		1		○								兼 4	オムニバス
	地球社会基盤情報処理演習 A	2①		1			○		4	2		1		兼 1	オムニバス
	地球社会基盤情報処理演習 B	2②		1			○		4	2		1		兼 1	オムニバス
	生命科学技術論 A	1①		1		○								兼 14	オムニバス
	生命科学技術論 B	1②		1		○								兼 7	オムニバス
小計 (11 科目)	—	0	11	0	—			3	1	0	2	0	兼 51		
学域GS言語科目	学域 GS 言語科目 I (理工系英語 I)	2①	1			○			1						
	学域 GS 言語科目 II (理工系英語 II)	2②	1			○			1						
	小計 (2 科目)	—	2	0	0	—			0	1	0	0	0		
専門科目	<b>【学域共通科目】</b>														
	情報・計算科学基礎	1③		2		○								兼 3	オムニバス
	計算科学	1④		2		○								兼 2	オムニバス
	情報処理演習	1③～④		1			○							兼 2	共同
	工業力学	2①～②		2		○								兼 4	オムニバス
	計算機リテラシーA	2①		1		○								兼 2	オムニバス
	計算機リテラシーB	2②		1		○								兼 2	オムニバス
	地球社会基盤学概論 A	2①	1			○		17	12	2	9			兼 3	オムニバス
	地球社会基盤学概論 B	2②	1			○		17	12	2	9			兼 3	オムニバス
	生命理工学概論 A	1③		2		○								兼 14	オムニバス
	生命理工学概論 B	1④		2		○								兼 7	オムニバス
	国際研修 A	1・2・3・4 ①・②・③・④		1						1					
	国際研修 B	1・2・3・4 ①・②・③・④		2						1					
	<b>【学類共通科目】</b>														
	基礎地質学 A	2①	1			○		2							オムニバス
	基礎地質学 B	2②	1			○		2							オムニバス
	測量学及び実習第 1	2①・②	2			○		4	4	1	2				※実習 共同
	微分方程式及び演習	1③・④		2		○								兼 1	左の 4 科目のうち、地球惑
	ベクトル解析及び演習	2①・②		2		○								兼 1	星科学コース
	フーリエ解析及び演習	2①・②		2		○								兼 1	は 2 科目以上
複素解析及び演習	2③・④		2		○								兼 1	履修、土木防	
小計 (19 科目)	—	6	24	0	—			20	12	2	10	0	兼 10	災・環境都市	
<b>【地球惑星科学コース】</b>														コースは 3 科	
基礎地球惑星物理学 A	2③	1			○		1	1						目以上履修	
基礎地球惑星物理学 B	2④	1			○		1	1						※演習	
基礎地球惑星物質学 A	2③	1			○			1		1				オムニバス	
基礎地球惑星物質学 B	2④	1			○			1		1				オムニバス	
基礎岩石学 A	2③	1			○		2			1				オムニバス	
基礎岩石学 B	2④	1			○		2			1				オムニバス	



	基礎環境変動学 A	2③	1		○					1		兼 3	オムニバス	
	基礎環境変動学 B	2④	1		○					1		兼 3	オムニバス	
	鉱物・結晶学演習 A	2③	1			○		1		1			共同	
	鉱物・結晶学演習 B	2④	1			○		1		1			共同	
	岩石学実験 A	2③	1				○	2		1			共同	
	岩石学実験 B	2④	1				○	2		1			共同	
	古生物学実験 A	2③	1				○	2		2			共同	
	古生物学実験 B	2④	1				○	2		2			共同	
	地球惑星データ解析 A	2③	1				○					兼 1		
	地球惑星データ解析 B	2④	1				○					兼 1		
	【土木防災コース及び環境都市コース】													
	測量学及び実習第 2	2③・④	4		○			4	4	1	2		※実習 共同	
	社会基盤デザイン演習第 1	2③・④	1			○		8	8		5		共同	
	流体力学 A	2③	1		○			1						
	流体力学 B	2④	1		○			1						
	構造力学 A	2③	1		○			1						
	構造力学 B	2④	1		○			1						
	環境基礎工学 A	2③	1		○			1						
	環境基礎工学 B	2④	1		○			1						
	環境反応工学 A	2③	1		○				1					
	環境反応工学 B	2④	1		○				1					
	計画数理	2③	1		○			1	1		1		オムニバス	
	施工・維持管理計画基礎	2④	1		○			1	1		1		オムニバス	
	計画プロセス	2③	1		○			1		1			オムニバス	
	地域計画基礎	2④	1		○			1		1			オムニバス	
	応用物理学	2③	1		○				1					
	建築学概論 A	2③		1	○			1	1	2			オムニバス	
	建築学概論 B	2④		1	○			1	1	2			オムニバス	
	建築設計演習 A	2③・④		1		○			1	1			オムニバス	
	小計 ( 34 科目)	—	34	3	0	—		20	12	2	10	0	兼 3	—
専 門 科 目	【地球惑星科学コース】													
	地球学野外調査法 A	3①	1				○	4			3		兼 1	共同
	地球学野外調査法 B	3②	1				○	4			3		兼 1	共同
	層位・古生物学 A	3①		1		○		2			2			12 科目のうち
	層位・古生物学 B	3②		1		○		2			2			8 科目以上必
	鉱物学 A	3①		1		○			1		1			修。ただし、
	鉱物学 B	3②		1		○			1		1			同科目名 AB は
	岩石学 A	3①		1		○		2			1			セットで履修
	岩石学 B	3②		1		○		2			1			すること。
	地球惑星物理学 A	3①		1		○		1	1		1			
	地球惑星物理学 B	3②		1		○		1	1		1			オムニバス
	地球環境学 A	3①		1		○					1		兼 1	
	地球環境学 B	3②		1		○					1		兼 1	
	環境地球化学 A	3①		1		○							兼 3	
	環境地球化学 B	3②		1		○							兼 3	
	結晶学 A	3③		1		○				1		1		※演習
														オムニバス
	結晶学 B	3④		1		○				1		1		※演習
													オムニバス	
岩石発達史 A	3③		1		○		2			1			オムニバス	
岩石発達史 B	3④		1		○		2			1			オムニバス	
同位体地球学 A	3③		1		○							兼 1		
同位体地球学 B	3④		1		○							兼 1		

数理地球惑星科学 A	3③		1	○		1	1	1		※演習 オムニバス
数理地球惑星科学 B	3④		1	○		1	1	1		※演習 オムニバス
鉱物学特論 A	3③		1	○			1	1		※演習 オムニバス
鉱物学特論 B	3④		1	○			1	1		※演習 オムニバス
生命環境進化学 A	3③		1	○		2		2		オムニバス
生命環境進化学 B	3④		1	○		2		2		オムニバス
地球学巡検 1	3①～②	1			○	5	2	5	兼 3	共同
地球物質分析実験 A	3①		1		○		1	1		8科目のうち
地球物質分析実験 B	3②		1		○		1	1		4科目以上を
地球化学実験 A	3①		1		○				兼 3	必修。ただし、
地球化学実験 B	3②		1		○				兼 3	同科目名 ABは
地球物理学実験 A	3①		1		○	1	1	1		セットで履修
地球物理学実験 B	3②		1		○	1	1	1		する。
試料解析実験 A	3①		1		○	4		3		
試料解析実験 B	3②		1		○	4		3		共同
応用地球物質分析実験 A	3③		1		○		1	1		共同
応用地球物質分析実験 B	3④		1		○		1	1		共同
応用地球物理学実験 A	3③		1		○	1	1	1		共同
応用地球物理学実験 B	3④		1		○	1	1	1		共同
応用地球化学実験 A	3③		1		○	2		1	兼 2	共同
応用地球化学実験 B	3④		1		○	2		1	兼 2	共同
応用試料解析実験 A	3③		1		○	2		2		共同
応用試料解析実験 B	3④		1		○	2		2		共同
地球学巡検 2	4③～④		2		○	5	2	5	兼 3	共同
地球学野外実習 A	3①～②		2		○	4		3		集中 共同
地球学野外実習 B	3①～②		2		○	4		3		集中 共同
特別講義	3①・②・③・④		1	○						随時開講
地球惑星科学ゼミナール (1) A	3①	1		○		5	2	5	兼 3	※演習 共同
地球惑星科学ゼミナール (1) B	3②	1		○		5	2	5	兼 3	※演習 共同
地球惑星科学ゼミナール (1) C	3③	1		○		5	2	5	兼 3	※演習 共同
地球惑星科学ゼミナール (1) D	3④	1		○		5	2	5	兼 3	※演習 共同
地球惑星科学ゼミナール (2) A	4①	1		○		5	2	5	兼 3	※演習 共同
地球惑星科学ゼミナール (2) B	4②	1		○		5	2	5	兼 3	※演習 共同
地球惑星科学ゼミナール (2) C	4③	1		○		5	2	5	兼 3	※演習 共同
地球惑星科学ゼミナール (2) D	4④	1		○		5	2	5	兼 3	※演習 共同
地球惑星科学文献演習 (1) A	4①	2			○	5	2	5	兼 3	共同
地球惑星科学文献演習 (1) B	4②	2			○	5	2	5	兼 3	共同
地球惑星科学文献演習 (2) A	4③	2			○	5	2	5	兼 3	共同
地球惑星科学文献演習 (2) B	4④	2			○	5	2	5	兼 3	共同
地球惑星科学課題研究 (1) A	4①	3			○	5	2	5	兼 3	共同
地球惑星科学課題研究 (1) B	4②	3			○	5	2	5	兼 3	共同
地球惑星科学課題研究 (2) A	4③	3			○	5	2	5	兼 3	共同
地球惑星科学課題研究 (2) B	4④	3			○	5	2	5	兼 3	共同
【土木防災コース及び環境都市コース】										
社会基盤工学実験	3①・②	2			○	6	6	1	4	共同
水理学基礎	3①	2		○		1		1		オムニバス
管水路水理学 A	3②		1	○			1			
開水路水理学 A	3②		1	○			1			
構造力学 C	3①		1	○			1			
構造力学 D	3②		1	○			1			

建設材料学 A	3①	1		○			1					
建設材料学 B	3②	1		○			1					
土質力学及び演習 A	3①	2		○			1		1			※演習 オムニバス
土質力学及び演習 B	3②	2		○			1		1			※演習 オムニバス
応用振動学 A	3①	1		○			1	1	1			オムニバス
応用振動学 B	3②	1		○			1	1	1			オムニバス
水環境工学 A	3①		1	○			1					
水環境工学 B	3②		1	○			1					
環境システム工学	3①		1	○				1				
熱力学基礎	3②		1	○				1				
都市計画 A	3①		1	○			1		1			オムニバス
都市計画 B	3②		1	○			1		1			オムニバス
交通計画	3①		1	○			1			1		オムニバス
道路政策論	3②		1	○			1			1		オムニバス
建築計画 A	3①		1	○			1	1				オムニバス
建築計画 B	3②		1	○			1	1				オムニバス
建築設計演習 B	3①		1		○			1				兼 1 オムニバス
建築設計演習 C	3②		1		○			1				兼 1 オムニバス
建築環境工学 A	3①		1	○				1	2			オムニバス
建築環境工学 B	3②		1	○			1	1				オムニバス
社会基盤特別講義	1・2・3・4 ①・②・③・④		1	○								随時開講
社会基盤デザイン演習第 2	3③・④		1		○		8	8		5		共同
プログラミング演習	3③・④		1		○		1	1		2		共同
学外技術体験実習 A	3①～② ・③～④		1			○	1					
学外技術体験実習 B	3①～② ・③～④		2			○	1					
管水路水理学 B	3③		1	○				1				
開水路水理学 B	3③		1	○				1				
海岸工学 A	3④		1	○			1					
河川工学 A	3④		1	○				1				
構造解析学 A	3③		1	○				1				
構造解析学 B	3④		1	○			1					
鉄筋コンクリート工学 A	3③		1	○			1					
鉄筋コンクリート工学 B	3④		1	○			1					
地盤工学 A	3③		1	○				1		1		オムニバス
地盤工学 B	3④		1	○				1		1		オムニバス
土木建設防災マネジメント A	3③		1	○			1		1	1		オムニバス
土木建設防災マネジメント B	3④		1	○			1		1	1		オムニバス
上下水道学 A	3③		1	○			1	1				オムニバス
上下水道学 B	3④		1	○			1	1				オムニバス
大気環境工学 A	3③		1	○			1					
大気環境工学 B	3④		1	○			1					
確率論基礎	3③		1	○			1					
実験・調査分析法	3④		1	○			1					
景観デザイン学 A	3③		1	○					1			
景観デザイン学 B	3④		1	○					1			
地質学概論	3③・④		2	○								兼 1
都市地理学第 1	3③・④		2	○								兼 1
都市地理学第 2	3③・④		2	○								兼 1
住生活学 I	3③		1	○								兼 1
住生活学 II	3④		1	○								兼 1

観光政策論Ⅰ	3③		1	○								兼1	
観光政策論Ⅱ	3④		1	○								兼1	
地域経営論Ⅰ	3①		1	○								兼1	
地域経営論Ⅱ	3②		1	○								兼1	
地域文化論Ⅰ	3①		1	○								兼1	
地域文化論Ⅱ	3②		1	○								兼1	
コミュニティ・デザイン論Ⅰ	3①		1	○								兼1	
コミュニティ・デザイン論Ⅱ	3②		1	○								兼1	
建築設計演習D	3③		1		○			1				兼1	オムニバス
建築設計演習E	3④		1		○			1				兼1	オムニバス
建築設備工学A	3③		1	○		1	2					兼1	オムニバス
建築設備工学B	3④		1	○		1	2					兼1	オムニバス
河川工学B	4①		1	○				1					
海岸工学B	4②		1	○		1			1				オムニバス
鋼構造学A	4①		1	○				1					
鋼構造学B	4②		1	○		1							
プレストレストコンクリート工学	4①		1	○		1							
コンクリート構造診断学	4②		1	○		1							
地盤解析学A	4①		1	○				1		1			オムニバス
地盤解析学B	4②		1	○				1		1			オムニバス
廃棄物工学	4①		1	○				1					
ミクロ経済学基礎	4①		1	○		1	1						オムニバス
都市経済学	4②		1	○		1	1						オムニバス
テクニカルコミュニケーション基礎A	4①		1	○								兼1	
テクニカルコミュニケーション基礎B	4②		1	○								兼1	
建築設計演習F	4①		1		○	1						兼1	
建築設計演習G	4②		1		○	1						兼1	
建築施工A	4①		1	○		1		1				兼1	オムニバス
建築施工B	4②		1	○		1		1				兼3	オムニバス
建築法規	4①		1	○					1				
工学における倫理と法	4①・②	2		○									
卒業研究・設計	4①・②・③・④	8			○	9	10	2	4				※実験・実習 共同
工業概論	4①～②		2	○								兼11	オムニバス
職業指導第1	3③～④		2	○								兼1	
職業指導第2	4①～②		2	○								兼1	
小計 ( 154 科目)	—	57	131	0	—	20	12	2	10	0	兼33	—	
専門科目計 (220 科目)	—	99	169	0	—	20	12	2	10	0	兼97	—	
合計 ( 504 科目)	—	114	525	0	—	20	12	2	10	0	兼714	—	
学位又は称号	学士 (理学又は工学) *地球惑星科学コース-学士 (理学) *土木防災・環境都市コース-学士 (工学)				学位又は学科の分野						理学関係, 工学関係		
設置の趣旨・必要性													

### I 設置の趣旨・必要性

#### (背景)

環境の世紀ともいわれる21世紀において、高度な社会活動と快適な社会生活を支え、持続可能で安全・安心な社会の発展に貢献するため、地球環境や地域の特性と調和した社会・環境基盤の創造を志向する研究者・技術者や多様な時間的・空間的視野と視点をもって複雑化する自然環境の様々な課題を論理的に説明する能力を持ち、科学的観点で対処できる研究者・技術者・教育者が求められている。このような人材を育成するためには、従来の理学・工学に囚われた教育課程では不十分であり、複雑化した課題の素因を探求できる科学的な分析力とその実用的な解決を目指す工学的な応用力を学生が習得可能な教育課程が必要であり、そのような教育課程を実現するものとして本学類を設置する。

**(本学に設置する必要性)**

本学では KUGS (金沢大学<グローバル>スタンダード) の元、「卓越した成果を基盤とし、地域や国を問わず社会の中核的なリーダーとして活躍する“金沢大学ブランド”人材の育成」を目的とした教養教育改革や本学の強み・特色に基づいた社会のニーズに合致する教育組織、教育課程、教育方法の持続的な改善が進められている。平成20年4月に導入された学域学類制においては、自然システム学類と物質化学類にて理学と工学を融合した教育が行われてきた。

また社会では、われわれ人類の生存基盤となる地球、日常の生活基盤となる社会、及びそれらを取り巻く環境を対象に、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけることの必要性は日々高くなっている。地球科学に関しては自然システム学類地球学コース、社会基盤に関しては環境デザイン学類、そして環境に関しては自然システム学類地球学コースと環境デザイン学類それぞれで高度な専門教育が行われてきた。しかしながら、学類が異なるため、自然システム学類地球学コースで習得する理学的な思考力と環境デザイン学類で習得する工学的な思考力が結びつくことがなかった。

新学類では、これら2つの学類、コースが融合し、理学と工学の両面から柔軟に人類の生存基盤となる地球、日常の生活基盤となる社会、及びそれらを取り巻く環境を対象に思考できる能力を身に着けた人材を育成する。新学類の卒業生の主な就職先となる行政(国、都道府県、市町村)からは、例えば、A市の自由意見として「近年は、大規模な地震や、ゲリラ豪雨に代表される豪雨や土砂災害などに対応するため、自治体職員の初動対応や復旧業務が重要になっている。理学分野の気象や地震学、海洋等の知識は、これらの業務に直接的に役立つと考える。」というアンケート調査への意見や「地球規模で捉えられるべき環境問題、自然災害に関する講義や演習を通して、海外との交流や研究活動を体験するなど、国際的な視野を持った人材が育成されることに期待する。自治体の業務において、採用職種にかかわらず、海外の姉妹都市との交流や海外自治体の施策を幅広く情報収集する機会は今後ますます増加すると考えられる。」というB市の意見も寄せられている。また、国の関連機関からは「柔軟に思考できる能力を有する学生はどのような組織からも求められるのではないかと思います。」という意見が寄せられており、理学系・工学系の多面的な科目を柔軟に修得できるカリキュラムに対しても非常に前向きな高い評価を受けている。土木系、建築系建設会社、計画・設計・地質調査等のコンサルタント会社などからは「物事を多角的に考えるためには他分野の知識を得ることは重要」、鉄道・道路・電力等のインフラ系会社などからは「科学技術が高度化、総合化、複雑化している現在、一つの専門技術だけではなく、幅広い知識が必要になります。専門とする技術の知識を軸として、幅広い分野での教育・研究を行う理念が重要です。」(A道路会社)、情報・IT系の企業からは「IT業界のビジネスは理学と工学の両面から物事を捉えられる人材が最も活躍すると考えます。そのような素養を持つ人材を実践的に教育することでアウトプット力まで醸成いただくとさらにありがたいです」(A情報会社)、学校教員からは「スーパーサイエンスハイスクールでは、様々な知識を統合する俯瞰的な視点を育成することが求められています。大学でもそのような資質・能力が必要とあれば、なおのこと高校でもその方向で人材育成をしていくことができます。」(A高等学校)のように、この学類創設理念に対し積極的に評価する意見が多くあり、図1・図2に示すように多くの行政、民間企業から非常に高い評価を受けている。また、図3・図4に示すように新学類の卒業生に対して「ぜひ採用したい・積極的に採用したい」との回答は、行政からは53%、民間企業からは89%であった。このように地球環境や社会基盤に関して理学と工学の両面からの教育を受け、その知識と技能を身につけた人材の社会的要請は高いといえる。そのため、自然システム学類地球学コースと環境デザイン学類を融合し、地球環境科学や土木都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行う地球社会基盤学類を設置する。地球社会基盤学類では、地球惑星科学、土木防災、環境都市の3つのコースを設けて、それぞれ専門教育を行う。

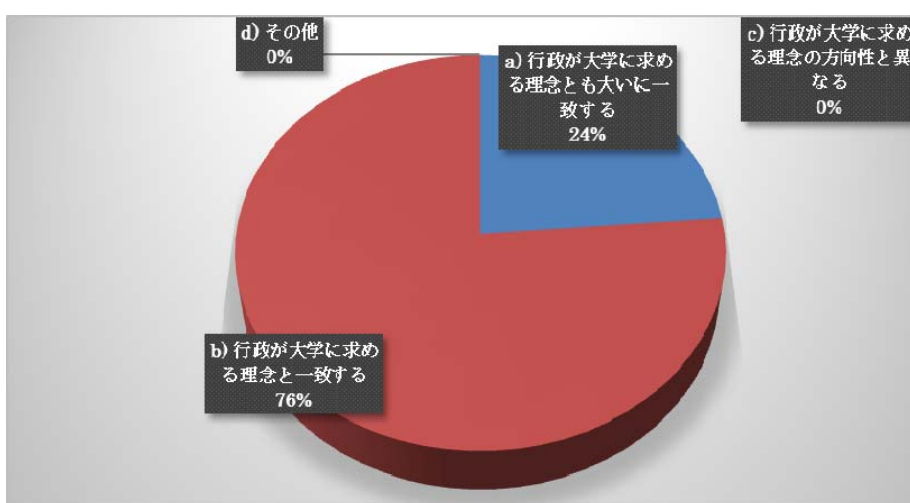


図1. 地球社会基盤学類に対する出口調査結果(教育理念に対する行政からの評価)。有効回答数38件。

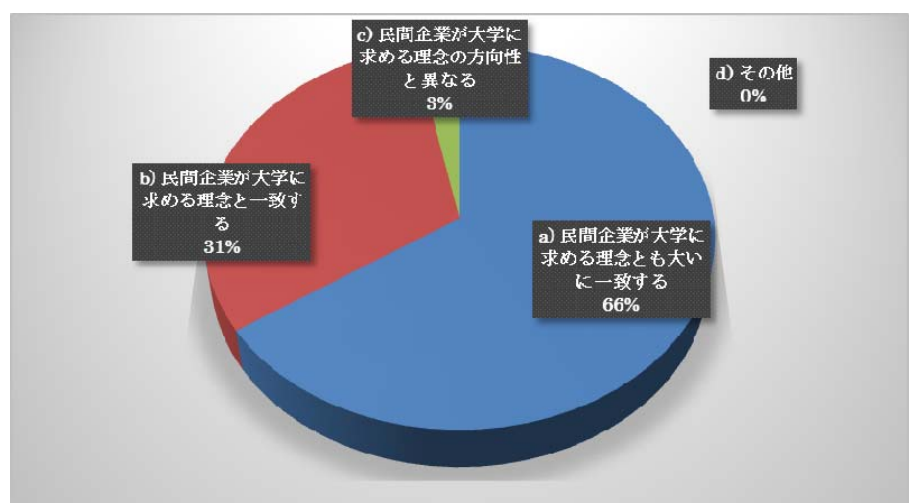


図2. 地球社会基盤学類に対する出口調査結果(教育理念に対する民間からの評価)。有効回答数32件。

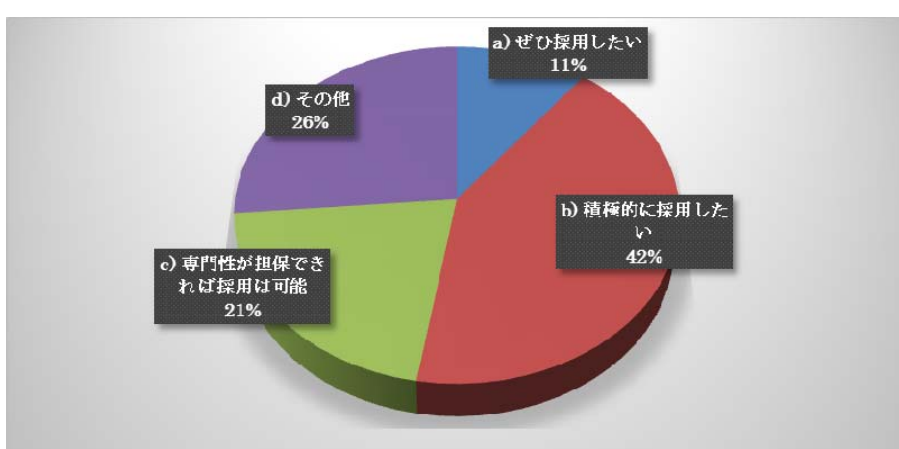


図3. 地球社会基盤学類に対する出口調査結果(行政からの採用希望)。有効回答数38件。

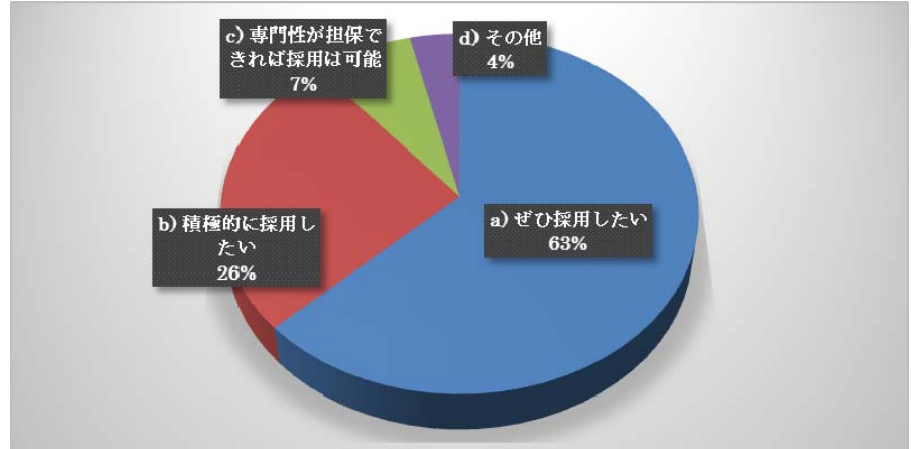


図4. 地球社会基盤学類に対する出口調査結果(民間からの採用希望)。有効回答数32件。

## II 教育課程編成の考え方・特色

### (教育課程の基本的な考え方)

地球社会基盤学類では、学類の共通認識の形成と各コースの基礎的な学識の修得のための「専門基礎科目」と高度な専門教育の達成のための「専門科目」を設ける(図5)。2年次前半(第1及び第2クォーター)の専門基礎科目を学類の共通の科目と位置付け、地球社会基盤学の共通の学識を学ぶとともに、各コースへの導入内容についても教授し、2年次第3クォーター開始前に行うコース選択をスムーズにできるようにする。コース配属後は、特色あるコース・カリキュラムを準備し、各コースの内容に対応したより高度な専門性を身に付ける。土木防災コース及び環境都市コースでは JABEE(日本技術者教育認定機構)に認定された国際基準に即したカリキュラムで、2年次第3及び第4クォーターにおいて社会基盤工学系共通科目を学んだ基礎の上で、3年次以降に各コースの専門的な教育を受ける。実験・演習を通じた総合的デザイン教育と地域創造学類2コースとも連携し、学際的教育を特長とする。地球惑星科学コースでは、講義とリンクした室内実験・実習に加えて、豊富な野外調査を通じて地球惑星科学の総合的な調査研究能力を獲得する。

### 地球社会基盤学類カリキュラムの特徴

(学年進行)

- ・学類の共通認識の形成と各コースの基礎的な学識の修得のための「専門基礎科目」
- ・各コースにおける高度な専門教育の達成のための「専門科目」
- ・地球惑星科学コース：講義とリンクした室内実験・実習に加えて、豊富な野外調査を通じて地球惑星科学の総合的な調査研究能力を獲得する。
- ・土木防災コース、環境都市コース：JABEE(日本技術者教育認定機構)に認定された国際基準に即したカリキュラムで、2年次3,4Qにおいて社会基盤工学系共通科目を学んだ基礎の上で、3年次以降に各コースの専門的な教育を受ける。実験・演習を通じた総合的デザイン教育と地域創造学類2コースとも連携し、学際的教育を特長とする。

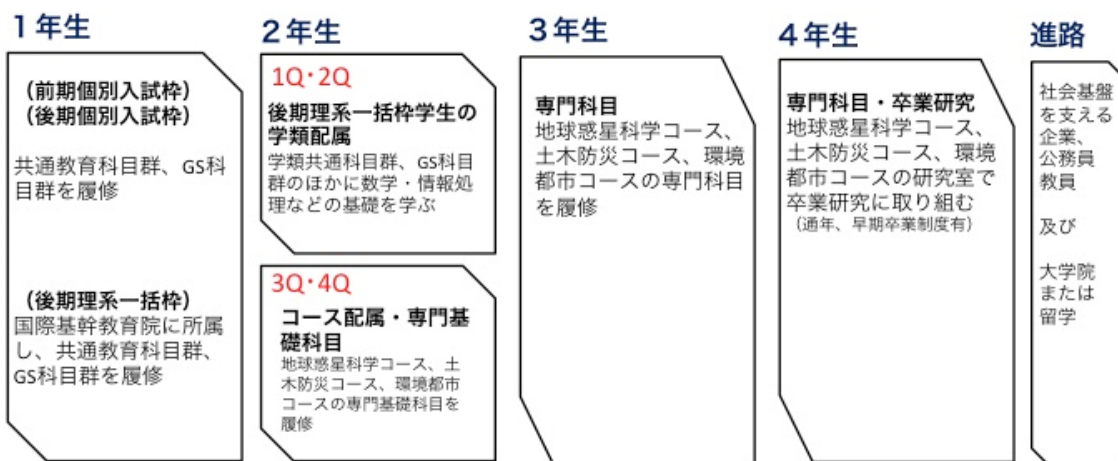


図5. 地球社会基盤学類カリキュラムの特徴

### (教育課程の特色)

2年次第2クォーターまでは「共通教育科目」及び学類共通の「専門基礎科目」を履修し、学類共通の基礎的な知識や技能を修得する(図6)。2年次第3クォーターからは各コースにおいて「専門科目」を履修し(図6)、以下の能力を修得した人材を育成する。土木防災コースでは、「高度な社会活動を支える社会基盤施設(インフラストラクチャー)の調査・設計・施工・維持管理」に必要な専門的应用能力と、土木防災及び環境都市の幅広い局面に必要な専門的学力を修得する。環境都市コースでは、「都市・地域に関わる社会活動の調査・計画」や「都市における環境の維持と廃棄物の処理・再生」に必要な専門的应用能力と環境都市及び土木防災及び環境都市の幅広い局面に必要な専門的学力を修得する。地球惑星科学コースでは、「地球や惑星を構成する物質やその循環」、「地球環境の変遷と生命の歴史」、「地震や火山などの地球・惑星内部や表層のダイナミクス」を理解するために必要となる幅広い専門的学力と多様な実験・分析方法、情報処理能力や野外調査の技能を修得する。

### 地球社会基盤学類カリキュラム

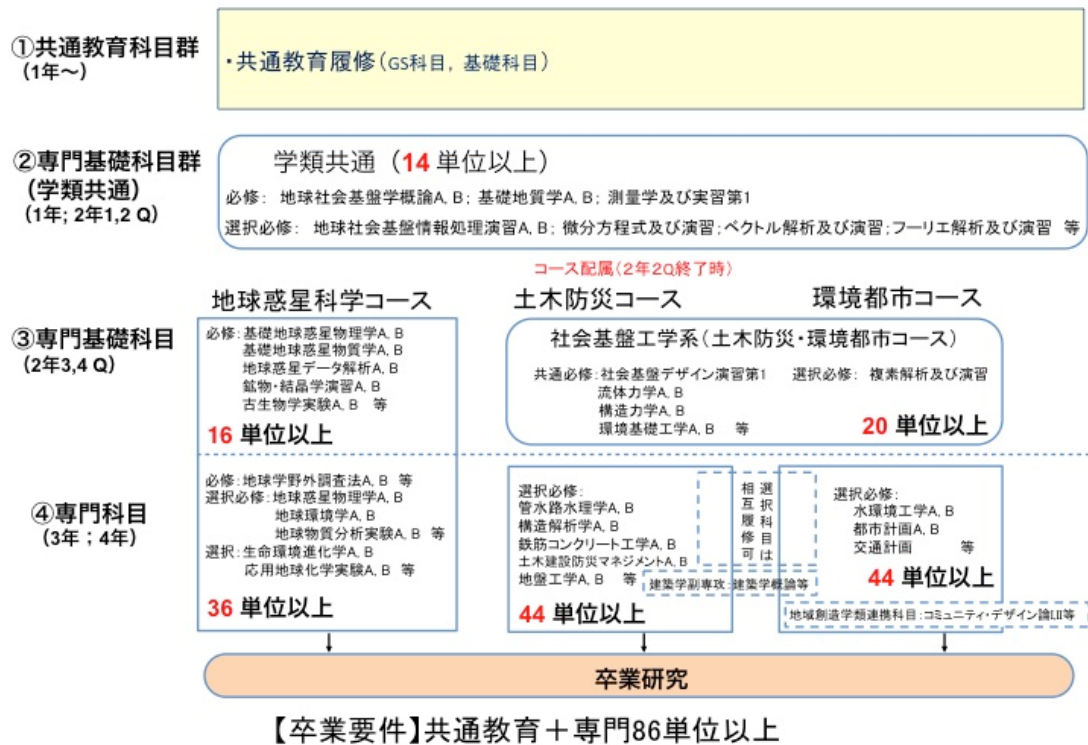


図6. 地球社会基盤学類カリキュラム

具体的には、2年次第2クォーターまでは、地球惑星科学システムと社会基盤システムをつなげるための共通の方法論や概念を共有するための基礎知識・手法を、地球社会基盤学概論、地球社会基盤情報処理演習、基礎地質学、数学関連科目などを通じて修得する。

地球社会基盤学類のそれぞれのコースにおける教育課程の特色は次のとおりである。

#### 【土木防災コース】

2年次第3・第4クォーターでは、構造力学 A/B・環境基礎工学 A/B・計画数理などの環境都市コースと共通の社会基盤工学系（土木系）の必須科目（18単位）を学び、JABEE（日本技術者教育認定機構）プログラム（土木及び関連の工学分野）の土台とする。3年次において、社会基盤工学実験・社会基盤デザイン演習等の環境都市コースと共通の実験・演習科目により、2年次第3・第4クォーターで修得した内容の実体化を図る。土木防災の内容としては、3年次以降に、構造解析学 A/B・地盤工学 A/B・管水路水理学 A/Bなどで社会基盤の構造特性やその地盤や水路のメカニズムを学ぶとともに、土木建設防災マネジメント A/Bや鉄筋コンクリート工学 A/Bなどで災害にも強い社会基盤づくりやその維持管理について修得する。上記の構造物や地盤の特性の習得の上に、建築学については副専攻で学ぶ。さらに、これらの講義・演習・実験の総括として、4年次に卒業研究・設計を行い、文献リサーチや調査結果のとりまとめ、問題発見・解決、研究成果のプレゼンテーション等の能力を修得する。

#### 【環境都市コース】

2年次第3・第4クォーターでは、構造力学 A/B・環境基礎工学 A/B・計画数理などの環境都市コースと共通の社会基盤工学系（土木系）の必須科目（18単位）を学び、JABEE（日本技術者教育認定機構）プログラム（土木及び関連の工学分野）の土台とする。3年次において、社会基盤工学実験・社会基盤デザイン演習等の環境都市コースと共通の実験・演習科目により、2年次第3・第4クォーターで修得した内容の実体化を図る。環境都市の内容としては、3年次以降に、大気環境工学 A/B・水環境工学 A/Bなど大気・水圏などのメカニズムやその環境問題について学ぶとともに、都市計画 A/B・交通計画など都市の形成・発展などを住民のモビリティや交通問題について修得する。コミュニティデザイン論 I/II や都市地理学第1/第2など地域創造学類との連携科目も設置し、環境と共生したまちづくりなどを学際的・文理融合的に学ぶことができる。さらに、これらの講義・演習・実験の総括として、4年次に卒業研究・設計を行い、文献リサーチや調査結果のとりまとめ、問題発見・解決、研究成果のプレゼンテーション等の能力を修得する。

#### 【地球惑星科学コース】

地球惑星科学を詳細にかつ広範囲に解析・調査するために必要な基礎知識を2年次第3・第4クォーターに、より高度な内容や地球惑星科学の特徴である現場での情報収集、解析手法を実験・実習・演習を3年次に履修し修得する。具体的には、「地球や惑星を構成する物質やその循環」に関しては、2年次第3・第4クォーターに、基礎地球惑星物質学、基礎岩石学、鉱物・結晶学演習、岩石学実験等を通じて、3年次に鉱物学、岩石学、地球学野外調査法、地球物質分析実験、を通じて修得する。「地球環境の変遷と生命の歴史」に関しては、2年次第3・第4クォーターに、基礎環境変動学、地球惑星データ解析、3年次に、層位・古生物学、地球環境学、環境地球化学、試料解析実験等を通じて修得する。この二つのテーマの共通項である地球化学に関する内容として、3年次に同位体地球学、地球化学実験等で修得する。「地震や火山などの地球・惑星内部や表層のダイナミクス」に関しては2年次第3・第4クォーターに、基礎地球惑星物理学、3年次に地球惑星物理学、数理地球惑星科学、地球物理実験、応用地球物理実験等で修得する。さらに、これらの知識や実験手法を実際に活用・応用するものとして4年次に課題研究（卒業論文）及び文献演習を行い、文献リサーチや調査結果のとりまとめ、課題発見・解決、研究成果のプレゼンテーション等の能力を修得する。

#### 参考

##### 1. 人材養成目標

地球社会基盤学類では、共通教育としての金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に基づき、グローバル社会をリードする人材育成のため、環境の世紀ともいわれる21世紀の高度な社会活動と快適な社会生活を支え、持続可能で安全・安心な社会の発展に土木工学・防災工学・環境工学・都市工学の観点から貢献できる人材や多様な時間的・空間的視野と視点をもって複雑化する地球惑星科学・環境科学の様々な課題を論理的に説明し、科学的観点から対処できる人材を養成する。

##### 2. ディプロマポリシー

#### 【地球惑星科学コース】

金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士(理学)の学位を授与する。

#### ○学修成果

- 1 地球惑星科学に関する知識を修得し、それらを地球環境等の様々な時間・空間スケールの課題に対して活用することができる。(知識・理解)
- 2 地球惑星科学に関連する実験技術や調査法、情報処理能力を修得し、様々な課題に対して応用することができる。(技能)
- 3 設定された課題に対し、種々の知識や技術を活用して課題を解決する能力及び継続的に課題に取り組む能力を身につける。(関心・意欲・態度)
- 4 論理的な思考力を涵養し、論理的な記述、プレゼンテーション、ディスカッション、ならびにコミュニケーションができる能力を修得する。(表現)

#### 【土木防災コース】

金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士(工学)の学位を授与する。

#### ○学修成果

- 1 (総合基礎学力)土木防災及び環境都市に関連する自然科学・社会科学の基礎を習得し、技術者としての総合的な基盤を形成する能力。
- 2 (専門基礎学力)土木防災及び環境都市に幅広い局面で必要となる専門的知識を、正しく理解できる能力。
- 3 (思考・判断)歴史や文化を含む地域の特性と調和した社会基盤の整備の重要性と責任を自覚し、専門的知識に基づいて多角的な状況分析と現在と未来の課題設定を行い、それを計画的に実践できる能力。
- 4 (関心・意欲)国内外の社会的要請や社会環境の変化に柔軟に対応し、自主的・継続的に学習できる能力。
- 5 (態度・倫理)社会基盤整備の持つ影響力の重要性を理解し、技術者倫理に則って人類の発展や福祉と地球環境との調和に貢献できる能力。
- 6 (技能・表現・行動)自己の考えの論理的な記述と効果的な説明を行うことができ、異なる専門分野や価値観の人たちと共同で仕事ができる協調性と指導力。

### 【環境都市コース】

金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士(工学)の学位を授与する。

#### ○学修成果

- 1 (総合基礎学力)環境都市及び土木防災に関連する自然科学・社会科学の基礎を習得し、技術者としての総合的な基盤を形成する能力。
- 2 (専門基礎学力)環境都市及び土木防災にの幅広い局面で必要となる専門的知識を、正しく理解できる能力。
- 3 (思考・判断)歴史や文化を含む地域の特性と調和した社会基盤の整備の重要性と責任を自覚し、専門的知識に基づいて多角的な状況分析と現在と未来の課題設定を行い、それを計画的に実践できる能力。
- 4 (関心・意欲)国内外の社会的要請や社会環境の変化に柔軟に対応し、自主的・継続的に学習できる能力。
- 5 (態度・倫理)社会基盤整備の持つ影響力の重要性を理解し、技術者倫理に則って人類の発展や福祉と地球環境との調和に貢献できる能力。
- 6 (技能・表現・行動)自己の考えの論理的な記述と効果的な説明を行うことができ、異なる専門分野や価値観の人たちと共同で仕事ができる協調性と指導力。

### 3. カリキュラムポリシー

地球社会基盤学類では、地球環境や地域の特性と調和した社会・環境基盤の創造や地球惑星科学の多様な課題に対する科学的対処を志向する研究者・技術者・教育者を育成するために、学類の共通認識の形成と各コースの基礎的な学識を修得する「専門基礎科目」と高度な専門教育の達成のための「専門科目」を設ける。1～2年次の共通教育において、グローバル化社会で活躍できる一般教養・一般基礎学力・国際コミュニケーション能力を修得する。2年次前半(第1及び第2クォーター)の専門基礎科目を学類の共通の科目と位置付け、地球社会基盤学の共通の学識を学ぶとともに、各コースへの導入内容についても教授し、2年次第3クォーター開始前に行う「地球惑星科学コース」、「土木防災コース」、「環境都市コース」へのコース選択をスムーズに行う。コース配属後は、特色あるコース・カリキュラムを準備し、各コースの内容に対応したより高度な専門性を身に付ける。

### 【地球惑星科学コース】

本コースでは、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、「地球や惑星を構成する物質やその循環」、「地球環境の変遷と生命の歴史」、「地震や火山などの地球・惑星内部や表層のダイナミクス」を理解するために必要となる幅広い専門基礎学力の涵養と多様な実験・分析方法、情報処理能力や調査の技能の習得を学習目標として、以下のとおり教育課程を編成し、実施する。

地球惑星科学を詳細にかつ広範囲に解析・調査するために必要な基礎知識を2年次第3・第4クォーターに、より高度な内容や地球惑星科学の特徴である現場での情報収集、解析手法を実験・実習・演習を3年次に履修し、学生の能動的学修を積極的に促すためのアクティブラーニングの手法を交えながら、習得する。具体的には、「地球や惑星を構成する物質やその循環」に関しては、2年次第3・第4クォーターに、基礎地球惑星物質学、基礎岩石学、鉱物・結晶学演習、岩石学実験等を通じて、3年次に鉱物学、岩石学、地球学野外調査法、地球物質分析実験、を通じて習得する。「地球環境の変遷と生命の歴史」に関しては、2年次第3・第4クォーターに、基礎環境変動学、地球惑星データ解析、3年次に、層位・古生物学、地球環境学、環境地球化学、試料解析実験等を通じて習得する。この二つのテーマの共通項である地球化学に関する内容として、3年次に同位体地球学、地球化学実験等で習得する。「地震や火山などの地球・惑星内部や表層のダイナミクス」に関しては2年次第3・第4クォーターに、基礎地球惑星物理学、3年次に地球惑星物理学、数理地球惑星科学、地球物理実験、応用地球物理実験等で習得する。さらに、これらの知識や実験手法を実際に活用・応用するものとして4年次に課題研究(卒業論文)及び文献演習を行い、文献リサーチや調査結果のとりまとめ、課題発見・解決、研究成果のプレゼンテーション、ディスカッション、ならびにコミュニケーションの能力を習得する。この学習目標に到達した者に学士(理学)の学位を授与する。

#### ○評価方法

共通教育科目に加え、地球社会基盤に関する専門科目、地球惑星科学に関する専門科目の履修状況、成績ならびに卒業研究論文を総合して、学修成果の達成度を評価する。

### 【土木防災コース】

本コースでは、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施する。

1～2年次の共通教育において『学修目標:総合基礎学力』を学修し、専門教育として、2年次第1・第2クォーターで地球社会基盤学類共通科目、2年次第3・第4クォーターで土木防災コース・環境都市コースの共通科目を配置して『学修目標:専門基礎学力』を目指し、環境・都市工学も含めて土木・防災工学の幅広い局面で必要となる専門知識の基礎を階層的に教授する。

専門基礎科目修得後の3年次及び4年次第1・第2クォーターには、環境都市コースと連携しつつ、本コースの特徴である「高度な社会活動を支える社会基盤施設(インフラストラクチャー)の調査・設計・施工・維持管理」に関わる専門的応用科目に重点を置き、専門知識をより深く学び、『学修目標:専門基礎学力』の充実を図るとともに、それらの知識の活用を志向した『学修目標:思考・判断』に関連する科目群を配置する。また、幅広い専門知識を活用し、現在と未来の課題に対して問題解決型のデザイン教育科目を設定し、共同作業によるチームワーク力を鍛えるとともに、実践的な教育を通して『学修目標:関心・意欲』の習得に取り組んでいる。さらに、特定の科目だけに留まらず、主要な専門科目やデザイン教育科目において技術者倫理の話題を取り上げ、カリキュラム内で横断的・連続的に『学修目標:態度・倫理』を身につけさせる構成となっている。

1年次から3年次にわたるさまざまな実験・実習科目における実践を通して『学修目標:技能・表現・行動』を身につけさせ、4年次の卒業研究・設計ではカリキュラムの総まとめと位置づけ、指導教員の下で特定のテーマについて理解の深化を図らせる。

なお、建築系科目群の履修により建築学の基礎を学び、建築士の受験資格を得ることが可能な学力を身につけることも可能となっている。また、本カリキュラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)の基準を満たす内容のプログラムである。



#### ○評価方法

科目ごとに対応する学修成果が定められており、関連科目群の学修状況に基づき、各学修成果を総合して、学修成果の達成度を評価する。

#### 【環境都市コース】

本コースでは、学位授与方針に掲げる学修成果を達成するため、以下のとおり教育課程を編成し、実施する。

1～2年次の共通教育において『学修目標:総合基礎学力』を学修し、専門教育として、2年次第1・第2クォーターで地球社会基盤学類共通科目、2年次第3・第4クォーターで土木防災コース・環境都市コースの共通科目を配置して『学修目標:専門基礎学力』を目指し、環境・都市工学も含めて土木・防災工学の幅広い局面で必要となる専門知識の基礎を階層的に教授する。

専門基礎科目修得後の3年次及び4年次第1・第2クォーターには、土木防災コースと連携しつつ、本コースの特徴である「都市・地域に関わる社会活動の調査・計画」、「都市などにおける環境の維持と廃棄物の処理・再生」に関わる専門的応用科目に重点を置き、専門知識をより深く学び、『学修目標:専門基礎学力』の充実を図るとともに、それらの知識の活用を志向した『学修目標:思考・判断』に関連する科目群を配置する。また、幅広い専門知識を活用し、現在と未来の課題に対して問題解決型のデザイン教育科目を設定し、共同作業によるチームワーク力を鍛えるとともに、実践的な教育を通して『学修目標:関心・意欲』の習得に取り組んでいる。さらに、特定の科目だけに留まらず、主要な専門科目やデザイン教育科目において技術者倫理の話題を取り上げ、カリキュラム内で横断的・連続的に『学修目標:態度・倫理』を身につけさせる構成となっている。

1年次から3年次にわたるさまざまな実験・実習科目における実践を通して『学修目標:技能・表現・行動』を身につけさせ、4年次の卒業研究・設計ではカリキュラムの総まとめと位置づけ、指導教員の下で特定のテーマについて理解の深化を図らせる。

なお、建築系科目群の履修により建築学の基礎を学び、建築士の受験資格を得ることが可能な学力を身につけることも可能となっている。また、本カリキュラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)の基準を満たす内容のプログラムである。

#### ○評価方法

科目ごとに対応する学修成果が定められており、関連科目群の学修状況に基づき、各学修成果を総合して、学修成果の達成度を評価する。

#### 4. アドミッションポリシー

地球社会基盤学類では、共通教育としての金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に基づき、グローバル社会をリードする人材育成のため、われわれ人類の生存基盤となる地球、日常の生活基盤となる社会、及びそれらを取り巻く環境を対象に、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため、地球惑星科学・環境科学や環境工学、土木工学、防災工学、都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い、地域からグローバルまでさまざまな局面において、社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成する。科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を生かして活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待する。地球社会基盤学類には、地球惑星科学、土木防災、環境都市の3つのコースがあり、各コースへの配属は2年次第3クォーター開始前に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定する。

#### 求める人材

- ・自然現象に対する科学的探究心のある人
- ・人文社会科学にも関心のある理系人間
- ・実験・野外調査や、ものづくり・創意工夫に興味のある人
- ・地域・我が国・世界の自然災害や防災・減災に関心のある人
- ・地球環境科学や土木都市工学の専門家や研究者になりたい人
- ・地球・環境・都市の課題に対し、科学技術を通じた社会貢献がしたい人
- ・都市や社会を支えるための科学技術に関心がある人

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

基礎学力に加え、理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視する。また、理系科目だけではなく国語や地歴・公民を含む幅広い能力も重視する。

##### ■帰国子女入試

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視する。

##### ■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、面接(口述試験)により、学類での授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価する。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目(大学入試センターで課している科目を含む)について、しっかりと身につけておくことが必要である。特に、理系科学である数学、理科、また英語については、応用能力を含め、しっかりと身につけておくことが必要である。また、総合的な学力を身に付けるために、理系のみならず、人文社会系科目の学修も勧める。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>卒業要件:共通教育科目 46 単位以上(導入科目:4 単位, GS 科目:各群から 3 単位計 15 単位, GS 言語科目 8 単位, 自由履修科目 3 単位, 基礎科目 16 単位), 専門科目 86 単位以上, 合計 132 単位以上を修得しなければならない。</p> <p>専門科目 86 単位の中には, 上記の学域 GS 言語科目から 2 単位を含まなければならない。地球惑星科学コースにおいては, 上記の地球惑星科学コースの必修科目すべてと微分方程式及び演習・ベクトル解析及び演習・フーリエ解析及び演習・複素解析及び演習から 4 単位以上, 層位・古生物学 A・層位・古生物学 B・鉱物学 A・鉱物学 B・岩石学 A・岩石学 B・地球惑星物理学 A・地球惑星物理学 B・地球環境学 A・地球環境学 B・環境地球化学 A・環境地球化学 B から同科目名 AB をセットとし, 8 単位以上, 地球物質分析実験 A・地球物質分析実験 B・地球化学実験 A・地球化学実験 B・地球物理学実験 A・地球物理学実験 B から同科目名 AB をセットとし, 4 単位以上を修得しなければならない。土木防災コースにおいては, 上記の土木防災コースの必修科目すべてと微分方程式及び演習・ベクトル解析及び演習・フーリエ解析及び演習・複素解析及び演習から 6 単位以上, 管水路水理学 A・開水路水理学 A・管水路水理学 B・開水路水理学 B・構造解析学 A・構造解析学 B・鉄筋コンクリート工学 A・鉄筋コンクリート工学 B・地盤工学 A・地盤工学 B・土木建設防災マネジメント A・土木建設防災マネジメント B から 10 単位以上, 水環境工学 A・水環境工学 B・熱力学基礎・都市計画 A・都市計画 B・交通計画・道路政策論・海岸工学 A・河川工学 A・上下水道学 A・上下水道学 B・河川工学 B・海岸工学 B・鋼構造学 A・鋼構造学 B・プレストレストコンクリート工学・コンクリート構造診断学・地盤解析学 A・地盤解析学 B・テクニカルコミュニケーション基礎 A・テクニカルコミュニケーション基礎 B から 12 単位以上, 環境システム工学・大気環境工学 A・大気環境工学 B・確率論基礎・実験・調査分析法・景観デザイン学 A・景観デザイン学 B・廃棄物工学・ミクロ経済学基礎・都市経済学・地質学概論・社会基盤特別講義から 4 単位以上を修得しなければならない。環境都市コースにおいては, 上記の環境都市コースの必修科目すべてと微分方程式及び演習・ベクトル解析及び演習・フーリエ解析及び演習・複素解析及び演習から 6 単位以上, 水環境工学 A・水環境工学 B・都市計画 A・都市計画 B・交通計画・道路政策論・上下水道学 A・上下水道学 B・大気環境工学 A・大気環境工学 B・確率論基礎・実験・調査分析法から 10 単位以上, 管水路水理学 A・開水路水理学 A・環境システム工学・熱力学基礎・管水路水理学 B・開水路水理学 B・構造解析学 A・構造解析学 B・鉄筋コンクリート工学 A・鉄筋コンクリート工学 B・地盤工学 A・地盤工学 B・土木建設防災マネジメント A・土木建設防災マネジメント B・景観デザイン学 A・景観デザイン学 B・廃棄物工学・ミクロ経済学基礎・都市経済学・テクニカルコミュニケーション基礎 A・テクニカルコミュニケーション基礎 B から 12 単位以上, 海岸工学 A・河川工学 A・河川工学 B・海岸工学 B・鋼構造学 A・鋼構造学 B・プレストレストコンクリート工学・コンクリート構造診断学・地盤解析学 A・地盤解析学 B・都市地理学第 1・都市地理学第 2・住生活学 I・住生活学 II・観光政策論 I・観光政策論 II・地域経営論 I・地域経営論 II・地域文化論 I・地域文化論 II・コミュニティ・デザイン論 I・コミュニティ・デザイン論 II・地質学概論・社会基盤特別講義から 4 単位以上を修得しなければならない。</p>	1 学年の学期区分	4 学期
	1 学期の授業期間	8 週
	1 時限の授業時間	90 分
履修科目の登録の上限: 12 単位 (クォーター)		

教育課程等の概要(事前伺い)

(理工学域 生命理工学類)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1			○								兼 73	クラス分け
	初学者ゼミ I	1①・②・③	1				○							兼 84	クラス分け
	情報処理基礎	1①	1				○							兼 61	クラス分け
	地域概論	1①・②	1			○								兼 69	クラス分け
	小計(4科目)	—	4	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼 256	—
共通教育科目 GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の政治経済学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	グローバル時代の社会学	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け
	ケーススタディによる応用倫理学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	地球生物圏と人間	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	物理の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	化学の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	哲学(自我論)	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	パーソナリティ心理学	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の文学	1①・②・③・④		1		○								兼 6	クラス分け
	健康科学	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け
	細胞・分子生物学	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	エクササイズ&スポーツ 実技	1①・②・③・④		1					○					兼 18	クラス分け
	プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)	1①・②	1				○							兼 86	クラス分け
	クリティカル・シンキング	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	価値と情動の認知科学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	論理学から見る世界	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	数学的発想法	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	芸術と自己表現	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	スポーツ科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	金沢・能登と世界の地域文化	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	日本史・日本文化	1②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	異文化間コミュニケーション	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	異文化体験	1②・④		1					○					兼 2	クラス分け
	異文化体験	1②・④		2					○					兼 4	クラス分け
	異文化体験	1②・④		3					○					兼 6	クラス分け
	異文化体験	1②・④		4					○					兼 3	クラス分け
	異文化体験	1②・④		5					○					兼 1	
	異文化体験	1②・④		6					○					兼 1	
	異文化体験	1②・④		7					○					兼 1	
	異文化体験	1②・④		8					○					兼 1	
	国際社会とボランティア	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
グローバル社会と地域の課題	1①・③・④		1		○								兼 1		
科学技術と科学方法論	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け	
統計学から未来を見る	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け	
情報の科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け	
環境学とESD	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け	
生活と社会保障	1③・④		1		○								兼 3	クラス分け	
人権・ジェンダー論	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け	

	小計 (39 科目)	—	1	66	0	—	0	0	0	0	0	兼 221	—
G S 言 語 科 目 ( 英 語)	TOEIC 準備 I	1①	1			○						兼 28	クラス分け
	TOEIC 準備 II	1②	1			○						兼 28	クラス分け
	TOEIC 準備 III	1③	1			○						兼 31	クラス分け
	TOEIC 準備 IV	1④	1			○						兼 31	クラス分け
	TOEIC 準備 (演習)	2①・②・③・④		1		○						兼 2	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) I	1①	1			○						兼 25	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) II	1①	1			○						兼 27	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) III	1③	1			○						兼 36	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) IV	1④	1			○						兼 36	クラス分け
	EAP (Retake)	1③・④・2①・②		1		○						兼 14	クラス分け
G S 言 語 科 目 ( 日 本 語)	アカデミック基礎日本語 A	1①・③	1			○						兼 2	クラス分け
	アカデミック基礎日本語 B	1②・④	1			○						兼 2	クラス分け
	アカデミック・ライティング IA	1①・③		1		○						兼 1	
	アカデミック・ライティング IB	1②・④		1		○						兼 1	
	アカデミック・ライティング IIA	1①・③		1		○						兼 1	
	アカデミック・ライティング IIB	1②・④		1		○						兼 1	
	講義の聴解 A	1①・③		1		○						兼 1	
	講義の聴解 B	1②・④		1		○						兼 1	
	口頭発表 IA	1③		1		○						兼 1	
	口頭発表 IB	1④		1		○						兼 1	
	口頭発表 IIA	1①		1		○						兼 1	
	口頭発表 IIB	1②		1		○						兼 1	
	上級読解 IA	1①		1		○						兼 1	
	上級読解 IB	1②		1		○						兼 1	
	上級読解 IIA	1③		1		○						兼 1	
	上級読解 IIB	1④		1		○						兼 1	
	日本事情 A	1①・③		1		○						兼 1	
日本事情 B	1②・④		1		○						兼 1		
日本語で学ぶ論理 A	1③		1		○						兼 1		
日本語で学ぶ論理 B	1④		1		○						兼 1		
小計 (30 科目)	—	10	20	0	—	0	0	0	0	0	兼 64	—	
基 礎 科 目	微分積分学第一	1①・②		2		○						兼 9	クラス分け
	微分積分学第二	1③・④		2		○						兼 7	クラス分け
	線形代数学第一	1①・②		2		○						兼 10	クラス分け
	線形代数学第二	1③・④		2		○						兼 7	クラス分け
	統計数学	1③・④		2		○						兼 3	クラス分け
	物理学 I	1①・②		2		○						兼 16	クラス分け
	物理学 II	1①・②・③・④		2		○						兼 15	クラス分け
	物理学実験	1①・②・③・④		2				○				兼 32	クラス分け
	化学 I	1①・②		2		○						兼 11	クラス分け
	化学 II	1③・④		2		○						兼 7	クラス分け
	化学実験	1①・②・③・④		2				○				兼 15	クラス分け
	化学実験	2①		1				○				兼 11	クラス分け
	地学 I	1①・②		2		○						兼 4	クラス分け
	地学 II	1③・④		2		○						兼 1	
小計 (14 科目)	—	0	27	0	—	0	0	0	0	0	兼 106	—	
初 習 言 語 科 目	ドイツ語 A1-1	1①・③		1		○						兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A1-2	1②・④		1		○						兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-1	1①・③		1		○						兼 8	クラス分け

ドイツ語 A2-2	1②・④	1	○						兼 8	クラス分け
ドイツ語 A3-1	1①・③	1	○						兼 8	クラス分け
ドイツ語 A3-2	1②・④	1	○						兼 8	クラス分け
ドイツ語 A4-1	1①・③	1	○						兼 7	クラス分け
ドイツ語 A4-2	1②・④	1	○						兼 7	クラス分け
ドイツ語 B-1	2①	1	○						兼 3	クラス分け
ドイツ語 B-2	2②	1	○						兼 3	クラス分け
ドイツ語 C-1	2①・③	1	○						兼 2	クラス分け
ドイツ語 C-2	2②・④	1	○						兼 2	クラス分け
フランス語 A1-1	1①・③	1	○						兼 4	クラス分け
フランス語 A1-2	1②・④	1	○						兼 4	クラス分け
フランス語 A2-1	1①・③	1	○						兼 5	クラス分け
フランス語 A2-2	1②・④	1	○						兼 5	クラス分け
フランス語 A3-1	1①・③	1	○						兼 4	クラス分け
フランス語 A3-2	1②・④	1	○						兼 4	クラス分け
フランス語 A4-1	1①・③	1	○						兼 4	クラス分け
フランス語 A4-2	1②・④	1	○						兼 4	クラス分け
フランス語 B-1	2①・③	1	○						兼 6	クラス分け
フランス語 B-2	2②・④	1	○						兼 6	クラス分け
フランス語 C-1	2①・③	1	○						兼 4	クラス分け
フランス語 C-2	2②・④	1	○						兼 4	クラス分け
ロシア語 A1-1	1①	1	○						兼 1	
ロシア語 A1-2	1②	1	○						兼 1	
ロシア語 A2-1	1①	1	○						兼 1	
ロシア語 A2-2	1②	1	○						兼 1	
ロシア語 A3-1	1③	1	○						兼 1	
ロシア語 A3-2	1④	1	○						兼 1	
ロシア語 A4-1	1③	1	○						兼 1	
ロシア語 A4-2	1④	1	○						兼 1	
ロシア語 B-1	2①・③	1	○						兼 1	
ロシア語 B-2	2②・④	1	○						兼 1	
ロシア語 C-1	2①・③	1	○						兼 1	
ロシア語 C-2	2②・④	1	○						兼 1	
中国語 A1-1	1①・③	1	○						兼 6	クラス分け
中国語 A1-2	1②・④	1	○						兼 6	クラス分け
中国語 A2-1	1①・③	1	○						兼 4	クラス分け
中国語 A2-2	1②・④	1	○						兼 4	クラス分け
中国語 A3-1	1①・③	1	○						兼 5	クラス分け
中国語 A3-2	1②・④	1	○						兼 5	クラス分け
中国語 A4-1	1①・③	1	○						兼 4	クラス分け
中国語 A4-2	1②・④	1	○						兼 4	クラス分け
中国語 B-1	2①・③	1	○						兼 3	クラス分け
中国語 B-2	2②・④	1	○						兼 3	クラス分け
中国語 C-1	2①・③	1	○						兼 3	クラス分け
中国語 C-2	2②・④	1	○						兼 3	クラス分け
朝鮮語 A1-1	1①・③	1	○						兼 2	クラス分け
朝鮮語 A1-2	1②・④	1	○						兼 2	クラス分け
朝鮮語 A2-1	1①・③	1	○						兼 2	クラス分け
朝鮮語 A2-2	1②・④	1	○						兼 2	クラス分け
朝鮮語 A3-1	1①・③	1	○						兼 1	
朝鮮語 A3-2	1②・④	1	○						兼 1	
朝鮮語 A4-1	1①・③	1	○						兼 1	
朝鮮語 A4-2	1②・④	1	○						兼 1	
朝鮮語 B-1	2①・③	1	○						兼 1	

	朝鮮語 B-2	2②・④	1	○								兼 1	
	朝鮮語 C-1	2①・③	1	○								兼 2	クラス分け
	朝鮮語 C-2	2②・④	1	○								兼 2	クラス分け
	ギリシャ語 A1-1	1①	1	○								兼 1	
	ギリシャ語 A1-2	1②	1	○								兼 1	
	ギリシャ語 A2-1	1③	1	○								兼 1	
	ギリシャ語 A2-2	1④	1	○								兼 1	
	ギリシャ語 A3-1	1①	1	○								兼 1	
	ギリシャ語 A3-2	1②	1	○								兼 1	
	ギリシャ語 A4-1	1③	1	○								兼 1	
	ギリシャ語 A4-2	1④	1	○								兼 1	
	ギリシャ語 B-1	1①	1	○								兼 1	
	ギリシャ語 B-2	1②	1	○								兼 1	
	ギリシャ語 C-1	1③	1	○								兼 1	
	ギリシャ語 C-2	1④	1	○								兼 1	
	ラテン語 A1-1	1①	1	○								兼 2	クラス分け
	ラテン語 A1-2	1②	1	○								兼 2	クラス分け
	ラテン語 A2-1	1③	1	○								兼 2	クラス分け
	ラテン語 A2-2	1④	1	○								兼 2	クラス分け
	ラテン語 A3-1	1①	1	○								兼 1	
	ラテン語 A3-2	1②	1	○								兼 1	
	ラテン語 A4-1	1③	1	○								兼 1	
	ラテン語 A4-2	1④	1	○								兼 1	
	ラテン語 B-1	1①	1	○								兼 1	
	ラテン語 B-2	1②	1	○								兼 1	
	ラテン語 C-1	1③	1	○								兼 1	
	ラテン語 C-2	1④	1	○								兼 1	
	スペイン語 A1-1	1①	1	○								兼 1	
	スペイン語 A1-2	1②	1	○								兼 1	
	スペイン語 A2-1	1①	1	○								兼 1	
	スペイン語 A2-2	1②	1	○								兼 1	
	スペイン語 A3-1	1③	1	○								兼 1	
	スペイン語 A3-2	1④	1	○								兼 1	
	スペイン語 A4-1	1③	1	○								兼 1	
	スペイン語 A4-2	1④	1	○								兼 1	
	スペイン語 B-1	2①	1	○								兼 1	
	スペイン語 B-2	2②	1	○								兼 1	
	スペイン語 C-1	2③	1	○								兼 1	
	スペイン語 C-2	2④	1	○								兼 1	
	小計 (96 科目)	—	0	96	0	—	0	0	0	0	0	兼 45	—
自由履修科目	ジャーナリズム論	1・2③	1	○								兼 1	
	石川県の行政	1・2③・④	2	○								兼 1	
	石川県の市町	1・2①・②	2	○								兼 1	
	キャリアディベロップメント 実践	3・4①・②	2	○								兼 2	共同
	健康論実践 D	1・2③・④	1	○								兼 4	共同
	健康論実践 E	1・2③・④	1	○								兼 2	共同
	能登の世界農業遺産を学ぶス タディ・ツアー	1・2①・②	1	○								兼 8	共同
	里山体験実習 in 能登半島	1・2①・②	1	○								兼 6	共同
	里海体験実習 in 能登半島	1・2①・②	1	○								兼 6	共同
	地元学 A (地域資源調査)	1・2①	1	○								兼 1	
	地元学 B (聞き書き)	1・2②	1	○								兼 1	

生と死を見つめて	1・2②	1	○						兼6	オムニバス
実践アントレプレナー学	1・2①・②	1	○						兼8	オムニバス
クラウド時代の「ものグラミング」概論	1・2①・②	2	○						兼3	共同
シェルスクリプト言語論	1・2①・②	2	○						兼2	共同
マスメディアと現代を読み解く	1・2②	1	○						兼1	
ライフキャリアデザイン	1・2③・④	2	○						兼1	
ダイバーシティとインクルージョン	1・2②	1	○						兼3	共同
キャリアディベロップメント	1・2①・②	2	○						兼1	
ファシリテーション入門	1・2②・④	1	○						兼3	共同
学生・学習論	1・2①	1	○						兼2	共同
コーヒーの世界	1・2③・④	2	○						兼13	オムニバス
画像解剖学	2・3・4③・④	1	○						兼1	
よくわかる健康と病気	1・2③・④	1	○						兼1	
国際協力と地域のグローバル化	1・2③・④	2	○						兼1	
心と体の健康	1・2③	1	○						兼3	共同
死と喪失	1・2①・②・④	1	○						兼1	
ひとのからだⅠ	1・2①・②	2	○						兼1	
ひとのからだⅡ	1・2③・④	2	○						兼1	
基礎病態学	1・2③・④	1	○						兼1	
哲学A	2①・②	2	○						兼1	
宗教学A	1・2③・④	2	○						兼1	
ことばと文化J	1・2③・④	2	○						兼1	
基礎運動学	2①・②	1	○						兼4	オムニバス
地域「超」体験プログラム(能登 珠洲)	1①・②	1			○				兼1	
地域「超」体験プログラム(能登 小木)	1①・②	1			○				兼1	
地域「超」体験プログラム(白山麓)	1①・②	1			○				兼1	
地域「超」体験プログラム(五箇山)	1③・④	1			○				兼1	
地方行政	1・2③・④	2	○						兼1	
ブランディング入門	1・2①・②	2	○						兼1	
ゼミ/政治哲学入門	1・2③・④	2			○				兼1	
茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③・④	2	○						兼1	
日本の伝統芸能	1・2①・②	2	○						兼1	
金沢の歴史と文化	1・2③・④	2	○						兼2	共同
ESD 入門	1・2①・②	1	○						兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1・2①・②	1	○						兼1	
持続可能性と福祉	1・2①・③	1	○						兼1	
異文化間ディベート	1・2①・②・③・④	2	○						兼1	
日本の歴史からみた暦と時間	1・2①・②・③・④	2	○						兼1	
日本と金沢の建築・都市	1・2①・②	2	○						兼2	共同
コミュニケーションビジネス	1・2③・④	2	○						兼2	共同
日本国憲法概説	1・2①・②・③・④	2	○						兼4	クラス分け
行政学入門	1・2①・②	2	○						兼1	
公共政策入門Ⅰ	1・2①・②	2	○						兼1	

経済学入門C	1・2③・④	2	○					兼1	
日本史要説	2③・④	2	○					兼4	オムニバス
東洋史要説	2③・④	2	○					兼3	オムニバス
法論理学入門	1・2①	2	○					兼1	
異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション	1・2③	1	○					兼1	
ビジネス入門	1・2①	1	○					兼1	
日本のオープンデータ活用	1・2②	1	○					兼1	
ビジネスと金融	1・2③	1	○					兼1	
世界のオープンデータ活用	1・2④	1	○					兼1	
ガラスとクリスタルI	1・2②	1	○					兼1	
ガラスとクリスタルII	1・2③	1	○					兼1	
英国諸島の地史I	1・2②	1	○					兼1	
英国諸島の地史II	1・2③	1	○					兼1	
地学実験	1・2①・②・③	2			○			兼16	クラス分け
東洋医学	3・4③・④	2	○					兼2	クラス分け
コンピュータグラフィクス演習	1・2③・④	2			○			兼1	
生物学実験	1・2①・②	2			○			兼13	共同
実践Webプログラミング実習	1・2③・④	2			○			兼1	
実践システム開発工程入門	1・2③・④	2			○			兼1	
プログラミング演習	1・2③・④	2			○			兼1	
環境動態学概説I	1・2③	1	○					兼1	
環境動態学概説II	1・2④	1	○					兼1	
海洋生化学演習	1・2①・②	2			○			兼4	共同
動画配信サービスを用いた情報発信演習	1・2①・②	2	○					兼1	
プレゼンテーション演習	1・2③・④	2	○					兼1	
英語セミナー	1・2②・③・④	1	○					兼7	クラス分け
英語セミナー	1・2③・④	2	○					兼2	クラス分け
ゼミ/漢文資料読解A	1・2①・②	2			○			兼1	
ゼミ/漢文資料読解B	1・2③・④	2			○			兼1	
ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	1・2③・④	2			○			兼1	
ゼミ/角間の里山づくり 春編	1・2①	1			○			兼1	
ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1・2③	1			○			兼1	
身体・スポーツ実技/野外活動	1・2①・②	1				○		兼3	共同
身体・スポーツ実技/初心者スキー	1・2③・④	1				○		兼6	共同
ゼミ/身体運動心理学	3・4①・②	2	○					兼1	
ドイツ語A(充実クラスI-1)	1③	1				○		兼1	
ドイツ語A(充実クラスI-2)	1④	1				○		兼1	
ドイツ語A(充実クラスII-1)	1③	1				○		兼1	
ドイツ語A(充実クラスII-2)	1④	1				○		兼1	
フランス語A(充実クラスI-1)	1③	1				○		兼1	
フランス語A(充実クラスI-2)	1④	1				○		兼1	
フランス語A(充実クラスII-1)	1③	1				○		兼1	
フランス語A(充実クラスII-2)	1④	1				○		兼1	
中国語A(充実クラスI-1)	1③	1				○		兼1	
中国語A(充実クラスI-2)	1④	1				○		兼1	



	中国語 A (充実クラスⅡ-1)	1③		1			○						兼 1			
	中国語 A (充実クラスⅡ-2)	1④		1			○						兼 1			
	小計 (101 科目)	—	0	147	0		—		0	0	0	0	0	兼 156	—	
	共通教育科目計 (284 科目)	—	15	356	0		—		0	0	0	0	0	兼 617	—	
専門科目	学域 G S 科目	数学物理学演習 A	1③		1		○							兼 3	選択必修科目 オムニバス	
		数学物理学演習 B	1④		1		○							兼 3	選択必修科目 オムニバス	
		物質化学序論 A	2①		1		○							兼 4	選択必修科目 オムニバス	
		物質化学序論 B	2②		1		○							兼 4	選択必修科目 オムニバス	
		先端テクノロジー概論	1③・④		1		○							兼 7	選択必修科目 オムニバス	
		数学物理基礎リテラシー	2①～②		1		○							兼 5	選択必修科目 オムニバス	
		電子情報通信工学序論	2①		1		○							兼 4	選択必修科目 オムニバス	
		地球社会基盤情報処理演習 A	2①		1			○						兼 8	選択必修科目 共同	
		地球社会基盤情報処理演習 B	2②		1			○						兼 8	選択必修科目 共同	
		生命科学技術論 A	1①		1		○			2	6	1	3	兼 2	選択必修科目 オムニバス	
		生命科学技術論 B	1②		1		○				2		3	兼 2	選択必修科目 オムニバス	
	小計 (11 科目)	—	0	11	0		—		2	8	1	6	0	兼 50		
	学域 G S 言語科目	学域 GS 言語科目 I (理工系英語 I)	2①	1				○		1	1					
		学域 GS 言語科目 II (理工系英語 II)	2②	1				○		1	1					
		小計 (2 科目)	—	2	0	0		—		1	1	0	0	0		
専門基礎科目	【学域共通科目】															
	情報・計算科学基礎	1③		2		○								兼 3	オムニバス	
	計算科学	1④		2		○								兼 2	オムニバス	
	情報処理演習	1③～④		1			○							兼 2	共同	
	工業力学	2①～②		2		○								兼 4	オムニバス	
	計算機リテラシーA	2①		1		○								兼 2	オムニバス	
	計算機リテラシーB	2②		1		○								兼 2	オムニバス	
	地球社会基盤学概論 A	2①		1		○								兼 43	オムニバス	
	地球社会基盤学概論 B	2②		1		○								兼 43	オムニバス	
	生命理工学概論 A	1③		1		○			2	6	1	3	兼 2	オムニバス		
	生命理工学概論 B	1④		1		○			3	2		1	兼 1	オムニバス		
	国際研修 A	1・2・3・4 ①・②・③・④		1				○			1					
国際研修 B	1・2・3・4 ① ②・③・④		2				○			1						
小計 (12 科目)	—	0	16	0		—		5	8	1	4	0	兼 104	—		
【学類共通科目】																
生物多様性と進化 A	2①		1		○				1		1			オムニバス		
生化学 A	2①		1		○				1	1				オムニバス		
生理学 1A	2①		1		○				1							
生理学 2A	2②		1		○								兼 2	オムニバス		
遺伝子と情報 A	2②		1		○			1	1					オムニバス		

遺伝学 A	2②		1		○			1						
基礎生態学 A	2①		1		○				1			兼 1	オムニバス	
海洋生物学 A	2②		1		○							兼 1	集中講義	
資源生物学 A	2②		1		○					1			集中講義	
保全生物学 A	2②		1		○				1			兼 1	オムニバス	
発生生物学 A	2②		1		○					1				
生物学基礎実習 1	2①		1				○	4	8	1	5	兼 6	オムニバス ・共同	
生物学基礎実習 2	2②		1				○	4	8	1	5	兼 6	オムニバス ・共同	
生物学実習 1	2②		1				○					兼 3	共同	
生物学実習 2	2②		1				○				1			
バイオデータベース演習 A	2①		1			○			1					
バイオデータベース演習 B	2②		1			○			1					
バイオ統計学演習 A	2①		2			○		1						
バイオ統計学演習 B	2②		2			○		1						
バイオプロダクション A	2①		1		○							兼 1		
バイオプロダクション B	2②		1		○							兼 1		
有機化学 A	2①		1		○						1			
有機化学 B	2②		1		○						1			
バイオ工学基礎 A	2①		1		○			2	2		2	兼 2	オムニバス	
バイオ工学基礎 B	2②		1		○			2	2		2	兼 2	オムニバス	
小計 (25 科目)	-	0	27	0		-		6	10	1	7	0	兼 8	-
<b>【生命システムコース】</b>														
生物多様性と進化 B	2③		1		○				1		1			オムニバス
生化学 B	2③		1		○				1	1				オムニバス
生理学 1B	2③		1		○				1					
生理学 2B	2④		1		○							兼 2	オムニバス	
遺伝子と情報 B	2④		1		○			1	1				オムニバス	
遺伝学 B	2④		1		○			1						
細胞学	2③		1		○							兼 10	オムニバス	
がん生物学	2④		1		○							兼 10	オムニバス	
システム生物学	2④		1		○						1			
基礎生態学 B	2③		1		○				1			兼 1	オムニバス	
保全生物学 B	2④		1		○				1			兼 1	オムニバス	
発生生物学 B	2④		1		○						1			
組織形態学実験	2③		1				○	1	1				選択必修科目A オムニバス	
生化学実験	2④		1				○		1	1			選択必修科目A オムニバス	
生態学実験	2③		1				○		2				選択必修科目A 共同	
小計 (15 科目)	-	0	15	0		-		3	7	1	3	0	兼 13	-
<b>【海洋生物資源コース】</b>														
生物多様性と進化 B	2③		1		○				1		1			オムニバス
生化学 B	2③		1		○				1	1				オムニバス
生理学 1B	2③		1		○				1					
生理学 2B	2④		1		○							兼 2	オムニバス	
遺伝子と情報 B	2④		1		○			1	1				オムニバス	
遺伝学 B	2④		1		○			1						
細胞学	2③		1		○							兼 10	オムニバス	
がん生物学	2④		1		○							兼 10	オムニバス	
システム生物学	2④		1		○						1		オムニバス	

	基礎生態学 B	2③		1		○			1				兼 1	オムニバス
	保全生物学 B	2④		1		○			1				兼 1	オムニバス
	発生生物学 B	2④		1		○					1			
	組織形態学実験	2③		1				○	1	1				選択必修科目A オムニバス
	生化学実験	2④		1				○		1	1			選択必修科目A オムニバス
	生態学実験	2③		1				○		2				選択必修科目A 共同
	小計 (15 科目)	-	0	15	0			-	3	7	1	3	0	兼 13 -
	<b>【バイオ工学コース】</b>													
	化学反応速度論 A	2③		1		○			1					
	化学反応速度論 B	2④		1		○			1					
	生物化学工学 A	2③		1		○							兼 1	
	生物化学工学 B	2④		1		○							兼 1	
	分子細胞生物学 A	2③		1		○				1				
	分子細胞生物学 B	2④		1		○				1				
	バイオプログラミング A	2③		1				○	1					
	バイオプログラミング B	2④		1				○	1					
	データサイエンス A	2③		1		○						1		
	データサイエンス B	2④		1		○						1		
	微分方程式及び演習	2③・④		2		○								兼 1
	複素解析及び演習	2③・④		2		○								兼 1
	バイオ工学基礎実験 A	2③	1					○		2				共同
	バイオ工学基礎実験 B	2④	1					○						兼 2 共同
	小計 (14 科目)	-	2	14	0			-	2	2	0	1	0	兼 3 -
	<b>【生命システムコース】</b>													
	生化学 C	3①		1		○				1	1			オムニバス
	生化学 D	3②		1		○				1	1			オムニバス
	分子生物学 A	3①		1		○			1	1				オムニバス
	分子生物学 B	3②		1		○			1	1				オムニバス
	系統分類学 A	3①		1		○				1		1		オムニバス
	系統分類学 B	3②		1		○				1		1		オムニバス
	細胞生理学 A	3①		1		○				1		1		オムニバス
	細胞生理学 B	3②		1		○				1		1		オムニバス
	生態学 A	3①		1		○				2				オムニバス
	生態学 B	3②		1		○				2				オムニバス
	海洋生物学 B	3②		1		○								兼 1 集中講義
	海洋生物学 C	3②		1		○								兼 1
	海洋生物学 D	3③		1		○								兼 1 集中講義
	発生生物学 C	3①		1		○						1		
	資源生物学 B	3①		1		○								兼 1 集中講義
	資源生物学 C	3②		1		○								兼 1
	遺伝学実験	3①		1				○	1			1		選択必修科目A オムニバス
	生理学実験	3②		1				○		2		1		選択必修科目A オムニバス
	細胞学実験	3②		1				○						兼 2 選択必修科目A オムニバス
	系統分類学実験	3②		1				○		1		1		選択必修科目A 共同
	発生学実験	3①		1				○				1		選択必修科目A
	生物学実習 3	3②		1				○		1				選択必修科目B

専門科目

生物学実習 4	3②	1				○						兼 10	選択必修科目B オムニバス	
生物学実習 5	3②	1				○						兼 1	選択必修科目B	
生物学実習 6	3①	1				○						兼 3	選択必修科目B 共同	
生物学実習 7	3②	1				○						兼 3	選択必修科目B 共同	
生物学実習 8	3③	1				○						兼 1	選択必修科目B	
微生物学 A	3③	1			○			1						
微生物学 B	3④	1			○			1						
植物生理学 A	3③	1			○			1				兼 1	オムニバス	
植物生理学 B	3④	1			○			1				兼 1	オムニバス	
生命システム演習 1	3③	1				○		2	5	1	3	兼 12	※講義 共同	
生命システム演習 2	3④	1				○		2	5	1	3	兼 12	※講義 共同	
生命システム実践実験 1	3③	2				○		2	5	1	3	兼 12	共同	
生命システム実践実験 2	3④	2				○		2	5	1	3	兼 12	共同	
海洋生物資源演習 1	3③	1				○		2	3		2	兼 4	※講義 共同	
海洋生物資源演習 2	3④	1				○		2	3		2	兼 4	※講義 共同	
海洋生物資源実践実験 1	3③	2				○		2	3		2	兼 4	共同	
海洋生物資源実践実験 2	3④	2				○		2	3		2	兼 4	共同	
生命システム課題演習 A	4①	3				○		2	5	1	3	兼 12	※講義 共同	
生命システム課題演習 B	4②	3				○		2	5	1	3	兼 12	※講義 共同	
生命システム課題演習 C	4③	3				○		2	5	1	3	兼 12	※講義 共同	
生命システム課題演習 D	4④	3				○		2	5	1	3	兼 12	※講義 共同	
生命システム課題研究 A	4①	3				○		2	5	1	3	兼 12	共同	
生命システム課題研究 B	4②	3				○		2	5	1	3	兼 12	共同	
生命システム課題研究 C	4③	3				○		2	5	1	3	兼 12	共同	
生命システム課題研究 D	4④	3				○		2	5	1	3	兼 12	共同	
教職物理学※1	2②	1			○						1			
教職化学※1	2①	1			○						1			
教職地学※1	2①	1			○						1			
小計 (50 科目)	—	24	46	0		—		5	9	1	6	0	兼 16	—
<b>【海洋生物資源コース】</b>														
生化学 C	3①	1			○				1	1				オムニバス
生化学 D	3②	1			○				1	1				オムニバス
分子生物学 A	3①	1			○			1	1					オムニバス
分子生物学 B	3②	1			○			1	1					オムニバス
系統分類学 A	3①	1			○				1		1			オムニバス
系統分類学 B	3②	1			○				1		1			オムニバス
細胞生理学 A	3①	1			○				1		1			オムニバス
細胞生理学 B	3②	1			○				1		1			オムニバス
生態学 A	3①	1			○				2					オムニバス
生態学 B	3②	1			○				2					オムニバス
海洋生物学 B	3②	1			○							兼 1	集中講義	
海洋生物学 C	3②	1			○							兼 1		
海洋生物学 D	3③	1			○							兼 1	集中講義	
発生生物学 C	3①	1			○						1			
資源生物学 B	3①	1			○							兼 1	集中講義	
資源生物学 C	3②	1			○							兼 1		
遺伝学実験	3①	1				○		1			1			選択必修科目A オムニバス
生理学実験	3②	1				○			2		1			選択必修科目A オムニバス

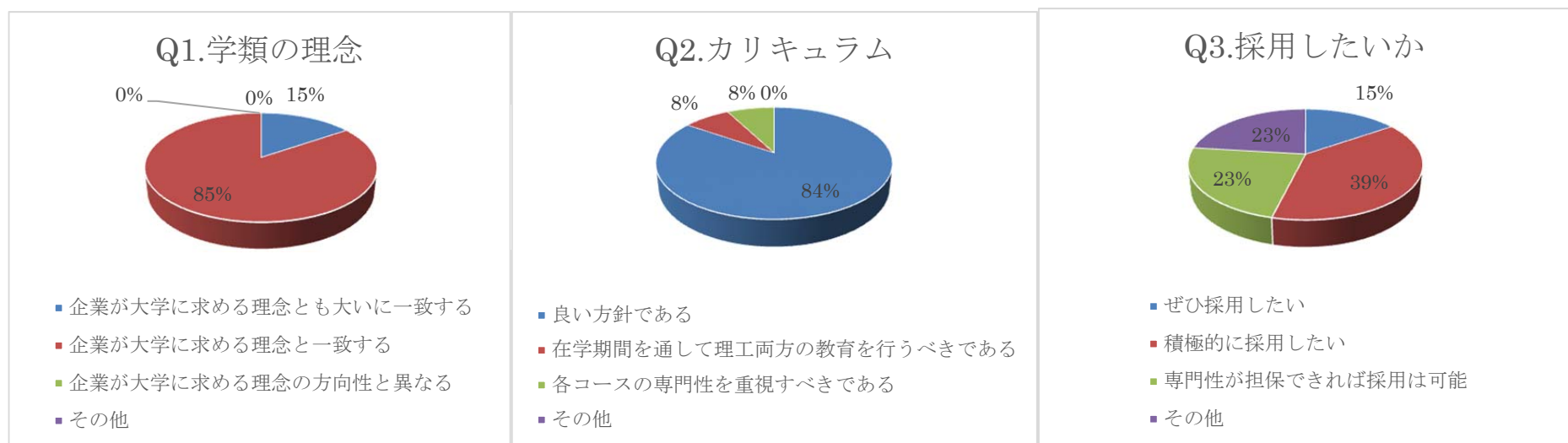
細胞学実験	3②		1				○						兼 2	選択必修科目A オムニバス
系統分類学実験	3②		1				○		1		1			選択必修科目A 共同
発生学実験	3①		1				○				1			選択必修科目A
生物学実習 3	3②		1				○		1					選択必修科目B
生物学実習 4	3②		1				○						兼 10	選択必修科目B オムニバス
生物学実習 5	3②		1				○						兼 1	選択必修科目B
生物学実習 6	3①		1				○						兼 3	選択必修科目B 共同
生物学実習 7	3②		1				○						兼 3	選択必修科目B 共同
生物学実習 8	3③		1				○						兼 1	選択必修科目B
生態学特論 A	3③		1		○				2				兼 1	オムニバス
生態学特論 B	3④		1		○				2				兼 1	オムニバス
生命システム演習 1	3③		1			○		2	5	1	3		兼 12	※講義 共同
生命システム演習 2	3④		1			○		2	5	1	3		兼 12	※講義 共同
生命システム実践実験 1	3③		2				○	2	5	1	3		兼 12	共同
生命システム実践実験 2	3④		2				○	2	5	1	3		兼 12	共同
海洋生物資源演習 1	3③		1			○		2	3		2		兼 4	※講義 共同
海洋生物資源演習 2	3④		1			○		2	3		2		兼 4	※講義 共同
海洋生物資源実践実験 1	3③		2				○	2	3		2		兼 4	共同
海洋生物資源実践実験 2	3④		2				○	2	3		2		兼 4	共同
海洋生物資源課題演習 A	4①	3				○		2	3		2		兼 4	※講義 共同
海洋生物資源課題演習 B	4②	3				○		2	3		2		兼 4	※講義 共同
海洋生物資源課題演習 C	4③	3				○		2	3		2		兼 4	※講義 共同
海洋生物資源課題演習 D	4④	3				○		2	3		2		兼 4	※講義 共同
海洋生物資源課題研究 A	4①	3					○	2	3		2		兼 4	共同
海洋生物資源課題研究 B	4②	3					○	2	3		2		兼 4	共同
海洋生物資源課題研究 C	4③	3					○	2	3		2		兼 4	共同
海洋生物資源課題研究 D	4④	3					○	2	3		2		兼 4	共同
教職物理学※1	2②		1		○					1				
教職化学※1	2①		1		○					1				
教職地学※1	2①		1		○					1				
小計 (48 科目)	-	24	44	0		-		3	8	1	5	0	兼 16	-
<b>【バイオ工学コース】</b>														
プロセス工学量論 A	3①		1		○								兼 3	オムニバス
プロセス工学量論 B	3②		1		○								兼 3	オムニバス
バイオ機器分析化学 A	3①		1		○								兼 2	オムニバス
バイオ機器分析化学 B	3②		1		○								兼 2	オムニバス
バイオインフォマティクス A	3①		1		○			1			1			オムニバス
バイオインフォマティクス B	3②		1		○			1			1			オムニバス
バイオリファイナリー A	3①		1		○			1						
バイオリファイナリー B	3②		1		○			1						
遺伝子工学 A	3①		1		○				1					
遺伝子工学 B	3②		1		○								兼 1	
ゲノム科学 A	3①		1		○								兼 1	
ゲノム科学 B	3②		1		○				1					
ベクトル解析及び演習	3①・②		2		○								兼 1	
フーリエ解析及び演習	3①・②		2		○								兼 1	
バイオ工学実験 A	3①	1					○				1		兼 2	共同
バイオ工学実験 B	3②	1					○				1		兼 2	共同

バイオ専門英語 IA	3①	1	○									兼 1	
バイオ専門英語 IB	3②	1	○									兼 1	
バイオプログラミング C	3③	1		○						1			
バイオプログラミング D	3④	1		○						1			
バイオインフォマティクス C	3③	1	○				1			1			オムニバス
バイオインフォマティクス D	3④	1	○				1			1			オムニバス
微生物工学 A	3③	1	○									兼 1	
微生物工学 B	3④	1	○									兼 1	
バイオテクノロジーA	3③	1	○									兼 1	
バイオテクノロジーB	3④	1	○									兼 1	
高分子化学 A	3③	1	○							1			
高分子化学 B	3④	1	○							1			
単位操作 A	3③	1	○									兼 2	オムニバス
単位操作 B	3④	1	○									兼 2	オムニバス
流体力学 A	3③	1	○									兼 1	
流体力学 B	3④	1	○									兼 1	
物理化学 A	3③	1	○									兼 1	
物理化学 B	3④	1	○									兼 1	
バイオ工学研究概論	3④	1	○			2	2		2			兼 4	オムニバス
バイオ専門英語ⅡA	4③	1	○			2	2		2			兼 2	オムニバス
バイオ専門英語ⅡB	4④	1	○			2	2		2			兼 2	オムニバス
バイオ工学課題演習 A	4①	3		○		2	2		2			兼 4	※講義 共同
バイオ工学課題演習 B	4②	3		○		2	2		2			兼 4	※講義 共同
バイオ工学課題演習 C	4③	3		○		2	2		2			兼 4	※講義 共同
バイオ工学課題演習 D	4④	3		○		2	2		2			兼 4	※講義 共同
バイオ工学課題研究 A	4①	3			○	2	2		2			兼 4	共同
バイオ工学課題研究 B	4②	3			○	2	2		2			兼 4	共同
バイオ工学課題研究 C	4③	3			○	2	2		2			兼 4	共同
バイオ工学課題研究 D	4④	3			○	2	2		2			兼 4	共同
小計 (45 科目)	—	26	37	0	—	2	2	0	2	0	兼 12	—	
専門科目計 (237 科目)	—	78	225	0	—	8	11	1	7	0	兼 101	—	
合計 (521 科目)	—	93	581	0	—	8	11	1	7	0	兼 718	※1 の科目は卒業に必要な単位数には含めない。	
学位又は称号	学士 (理学) または学士 (工学) *生命システムコース, 海洋生物資源コース→学士 (理学) *バイオ工学コース→学士 (工学)	学位又は学科の分野			理学関係または工学関係								
設置の趣旨・必要性													
<b>I 設置の趣旨・必要性</b>													
<b>(背景)</b>													
分子レベルにおける生命現象の理解と制御技術が飛躍的に進展している現代において、持続的社会的な実現と人類の幸福に貢献するために、生命に関する真理の探求という学理的な価値観と、生物の産業応用と技術開発という工学的な目的意識を併せ持ち、莫大なバイオデータを自由に解析する能力を備えた研究者、技術者、および教育者を養成することが求められている。さらに、将来的な食料問題解決のため、年々減少しつつある水産資源の保護と育成を目指す研究者、技術者、および教育者を養成することも喫緊の課題である。このような背景に基づき、「生命の探究と利用」に特化した教育を実現するため、本学類を設置する。													

**(本学に設置する必要性)**

前述の背景に鑑み、今回の理工学域改組に際して生物学コース、バイオ工学コース、生命情報学コースを包含し、臨海実験施設とも高度に連携した、「生命の探究と利用」を主題とする生命理工学類を新たに設置することには、高い重要性と緊急性があると考えます。1つの主題に統一された学類を設置することにより、3つのコースが1つの学類として高度に連携することが可能になり、以前よりも高いレベルで生命科学と生命工学を融合した教育研究を行うことができる。近年の世界情勢を見ても、ライフサイエンスとエンジニアリングが高度に結びつくことで、次世代シーケンサやゲノム編集技術などの革命的なツールが生まれ、今後の医療や食糧生産を含む生命関連の科学技術に全く新しい展開をもたらしつつある。最新の知識と技術に基づいてこれを牽引する研究者、技術者、教育者を育成することは、金沢大学理工研究域の重要な使命の1つである。さらに、臨海実験施設と高度に連携した海洋生物資源コースを生命理工学類に設置することは、周囲を海に囲まれた海洋国家である我が国において、高い重要性があると考えます。地球温暖化に伴う気候変動の影響で、将来においても海洋生物資源を持続的に確保することが不安視されている現在、これを主題として実際に魚類や海底生物の採取や飼育を伴う実践的教育研究を行うことで、将来の海洋生物資源確保に貢献できる人材を供給できると考えます。

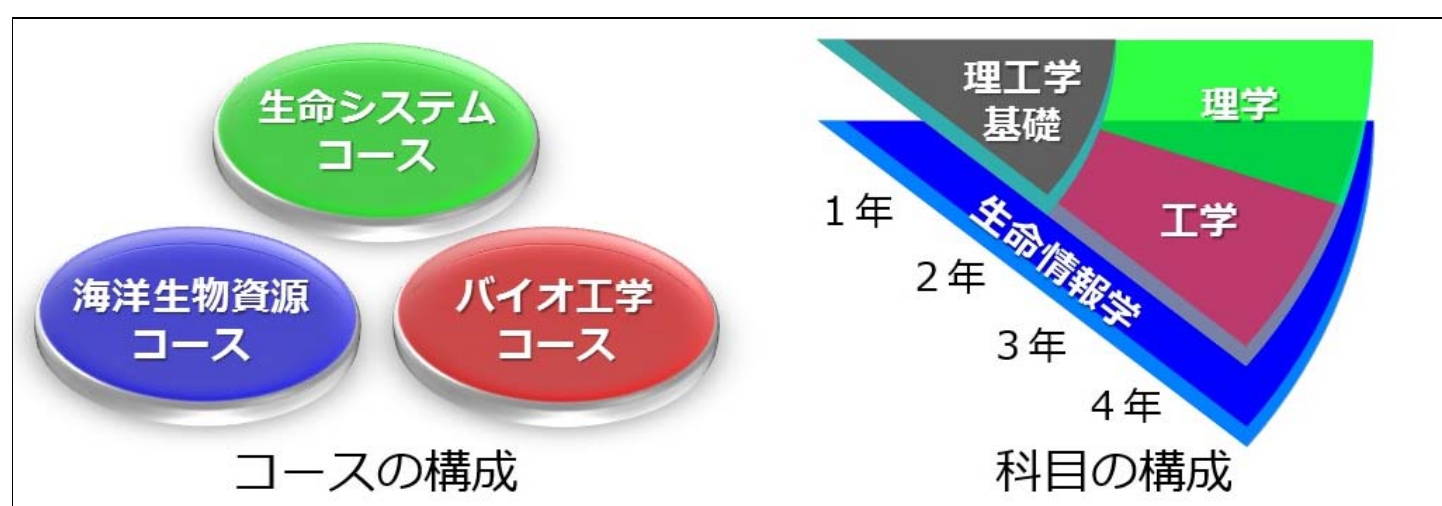
このような学類を設置し、後述するカリキュラムに沿って教育を行うことについてアンケートを行った結果を以下に示す(有効回答数13社)。この結果から、全ての企業において本学類の理念は企業が求める理念と一致しており、カリキュラムの方針についても概ね良い方針と評価されていて、多くの企業が採用に前向きであることが分かる。



**II 教育課程編成の考え方・特色**

**(教育課程の基本的な考え方)**

生命理工学類では、生命に関する真理の探求を目指す生命科学、産業応用と技術開発を目指すバイオ工学、それらをコンピュータの力で拡張し加速する生命情報学の観点から、グローバル社会を牽引する研究者、技術者、さらには生命に関する最先端の知識を備えた人材の育成に貢献できる教育者を養成する。具体的には、まず1年次に共通教育課程の各科目を通して自然科学分野全般と英語に関する知識を学ぶ。2年次に学類に配属された後は専門科目を学ぶが、最初の半年はコースの別なく共通に生命理工学の基礎的な科目を学ぶ。2年次の後半からは各コースに分かれて専門科目を学ぶが、生命システムコースと海洋生物資源コースはどちらも理学の学士を目指すため、多くの科目を共有しており、「理科」の教員免許も取れるよう配慮されている。一方、バイオ工学コースでは、生物学関連の専門科目に加えて、生物の産業利用に欠かせない化学関連の専門科目も多く設けられている。3年次にはより専門的な科目を通して、生命のメカニズムと利用法に関する方法論、分析法、および思考法を身に着ける。最終学年では各自が興味を持つ研究テーマに従って研究室に所属し、卒業研究に取り組む。



**(教育課程の特色)**

カリキュラムの特色として、生命の教育研究に特化した学類にふさわしい科目構成であること、2年次の前半で理工両方の基礎的な科目を全員が履修すること、多くの実験科目を設けることで各コースの専門性に沿った必須の知識とスキルを体得できること、生命情報系の科目の大部分を全コースで履修できるよう配置することで高度なデータ解析能力を備えた学生を学類全体で育成すること、などが挙げられる。

- (1) 初年度は、通用性の高い英語とグローバル社会をリードする人材育成に必要な科目を学ぶとともに、グローバル社会で生きていくために必要な人間力を身につける。2年春夏学期には、生命現象をシステムとして理解する科目群、海洋の生物資源に関する科目群、生命現象を工学的に応用する科目群、生命が持つ情報を解析する科目群を通して、生命理工学の基礎について学ぶ。

(2) 机上の知識にとどまらず、実践的な課題解決型教育手法として、多くの実験や野外実習を通して、生きた細胞や個体にふれながら生命科学の面白さと奥深さ、生命を利用する技術の多様さと応用の広さを体験することに重点を置いた教育を行う。2年春夏学期には生物分野全般を対象とした実習と生物情報に関する演習が組まれている。

#### <生命システムコース>

分子や細胞から個体に至る各レベルにおいて、生命を構成する基礎理論と、それを解析し利活用する技術を幅広く学ぶための教育を行う。2年次秋冬学期開始時のコース配属後、生命現象をシステムとして理解する科目群を中心に学ぶ。より専門的な実験科目群と生物環境に関する実習科目群を通して、生命科学を理解する方法論、分析法、思考法を身につける。3年次秋以降はコースに特化した専門的な科目群が用意され、各自が興味を持つ研究テーマに従って研究室に所属し、卒業研究に取り組む。

#### <海洋生物資源コース>

2年次秋冬学期開始時のコース配属後、生命現象をシステムとして理解する科目群と並行して生物多様性、海洋生物、生物資源に関する科目群を学ぶ。これらの科目群のそれぞれに対応した実習科目群を通して、生命科学および環境科学を理解する方法論、分析法、思考法を身につける。3年次秋以降はコースに特化した専門的な科目群が用意され、各自が興味を持つ研究テーマに従って研究室に所属し、卒業研究に取り組む。

#### <バイオ工学コース>

21世紀の社会における生命・福祉、地球環境（資源、環境保全、エネルギー）、物質生産、材料などの課題を化学的および生物学的分野を含む幅広い視野を持った立場から解決できる研究者・技術者の要請が期待されている。バイオ工学コースではバイオテクノロジーに関する幅広い知識と高い問題解決能力を併せ持ち、生物工学や生命情報に関する幅広い専門的知識と応用展開能力、人間性豊かなコミュニケーション・デザイン能力を有するバイオ工学研究者・技術者の育成に重点を置いた教育を行う。初年度には、自然科学分野全般を概観するため、「化学」、「物理学」、「生物学」、「地学」、「微分積分学」、「線形代数学」を学ぶ。2年次から生物工学的考え方の基礎となる「化学工学基礎」、「移動現象論」、「化学反応速度論」、「単位操作」、「有機化学」などを学び、その上で「バイオ工学」、「生物反応工学」、「微生物工学」、「バイオメディカル工学」、「バイオプロセス設計」、「バイオインフォマティクス」、「ゲノム科学」、「遺伝子工学」、「バイオプログラミング」といった科目で応用に関する理解を深める。また「演習」や「学生実験」により、上記内容についての応用能力の修練やデザイン能力の養成を行う。最終学年では、各自が興味を持つ研究テーマに従って研究室に所属し、より専門的な研究を行う。

	生命システム コース（理学）	海洋生物資源 コース（理学）	バイオ工学 コース（工学）
共通教育 科目等(1年)	共通教育科目（物理、化学、数学、英語、他） 学域GS科目（生命科学技術論）		
専門基礎科目 (1~2年)	学域共通科目（生命理工学概論）、学類共通科目		
	遺伝学、細胞学、基礎生物学、 資源生物学、保全生物学、生物 多様性と進化、生化学実験、他	化学反応速度論、 生物化学工学、 バイオ工学基礎 実験、他	
専門科目 (3~4年)	分子生物学、 生命システム演習、 卒業研究、他	海洋生物学、 海洋生物資源演習、 卒業研究、他	バイオ工学実験、 バイオリファイナリー、 卒業研究、他
卒業要件：共通教育科目38単位＋専門(基礎)科目86単位＝124単位 学位：2コースが学士（理学）、1コースが学士（工学）を授与			

#### 参考

##### 1. 人材養成目標

生命理工学類では、金沢大学<グローバル>スタンダード(KUGS)に基づきグローバル社会をリードする人材育成のため、生物学、バイオ工学及びそれらを支援する生命情報学の観点から教育を行うことで、生命と生態系システムの構築と作動原理を解き明かす研究者と、水産業を含む様々なバイオ関連産業に貢献する新技術を開発する技術者、及び次世代の人材を育成する教育者を養成する。

##### 2. ディプロマポリシー

###### 【生命システムコース】

金沢大学<グローバル>スタンダード（KUGS）及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した者に、学士（理学）の学位を授与する。

###### ○学修成果

- 1 生命科学全般にわたる基礎知識を身につける。



- 2 生命現象を遺伝子・分子・細胞レベルで理解する方法論，分析法，思考法を身につける。
- 3 陸上生物や海洋生物の個体・集団に見られる生物多様性の実像を把握し理解する方法論，分析法，思考法を身につける。
- 4 遺伝子やタンパク質の構造といった生命が持っている「情報」を分析し，生命をシステムとして理解し，生命の機能とダイナミクスを解明できる。
- 5 生命科学の知識を，社会で必要とされる技術に応用する能力を身につける。
- 6 21世紀の社会における地球環境，海洋資源などの課題を解決できる研究者，技術者としての基礎的な能力を身につける。
- 7 グローバルな視点を持ち，日本語と英語による論述，発表，討論の能力を身につける。
- 8 意欲的に学修し，問題を発見，解決できる自己成長能力を身につける。

#### 【海洋生物資源コース】

金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS) 及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ，以下に掲げる学修成果を達成した者に，学士 (理学) の学位を授与する。

##### ○学修成果

- 1 生命科学全般にわたる基礎知識を身につける。
- 2 生命現象を遺伝子・分子・細胞レベルで理解する方法論，分析法，思考法を身につける。
- 3 陸上生物や海洋生物の個体・集団に見られる生物多様性の実像を把握し理解する方法論，分析法，思考法を身につける。
- 4 遺伝子やタンパク質の構造といった生命が持っている「情報」を分析し，生命をシステムとして理解し，生命の機能とダイナミクスを解明できる。
- 5 生命科学の知識を，社会で必要とされる技術に応用する能力を身につける。
- 6 21世紀の社会における地球環境，海洋資源などの課題を解決できる研究者，技術者としての基礎的な能力を身につける。
- 7 グローバルな視点を持ち，日本語と英語による論述，発表，討論の能力を身につける。
- 8 意欲的に学修し，問題を発見，解決できる自己成長能力を身につける。
- 9 海洋生物，生物資源，環境科学の知識を，社会で必要とされる技術に応用する能力を身につける。

#### 【バイオ工学コース】

金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS) 及び本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ，以下に掲げる学修成果を達成した者に，学士 (工学) の学位を授与する。

##### ○学修成果

- 1 21世紀の社会における生命・福祉，地球環境 (資源，環境保全，エネルギー)，物質生産，材料，生命情報などの課題を生物工学的立場から解決できる研究者・技術者としての基礎的な知識を身につける。
- 2 数学及び自然科学 (物理学・化学・生物学) の基礎知識を身につける。
- 3 自然科学と幅広い応用科学の特徴を理解するとともに，技術が人間社会に及ぼす影響を身につける。
- 4 生物工学や生命情報に関連する幅広い科学技術分野の研究動向と今後の展望についてその概要を身につける。
- 5 実験やプログラミングを通して，生命情報の解析に関連する技術を体験的知識として身につけ，専門技術に関連する基礎知識とそれらを応用する能力を身につける。
- 6 生物工学や生命情報に関連した種々の課題を解決するためのデザイン能力を身につける。
- 7 日本語と英語の論述力，研究発表やグループ討論のコミュニケーションの基礎的な能力を身につける。
- 8 自己研鑽意欲を持ち自主的・継続的に学習する能力を身につける。また，何事も自ら進んで決断する能力を身につける。
- 9 様々な要因を勘案した計画を立案し，計画的に仕事を進める能力を身につける。

### 3. カリキュラムポリシー

生命理工学類では，生命に関する真理の探求を目指す生命科学，産業応用と技術開発を目指すバイオ工学，それらをコンピュータの力で拡張し加速する生命情報学の観点から，グローバル社会を牽引する研究者，技術者，さらには生命に関する最先端の知識を備えた人材の育成に貢献できる教育者を養成する。まず，グローバル社会をリードする理系人材に必要な科目群を学ぶ。次に，生命についての基礎的な知識とデータ解析能力を養うために，理学と工学に共通な基礎科目群と、各コースに特化した基礎科目群を学ぶ。次に，生命のメカニズムと利用法に関する方法論，分析法，および思考法を身に着けるために，より専門的な科目群を学ぶ。これらの各科目群においては，生命に関する生きた知識と技術を体得するために，実験や演習を通じた体験的学習や，アクティブラーニングの手法を取り入れている。最後に，各自が興味を持つ研究テーマに従って研究室に所属し，卒業研究に取り組むことで，現実問題への応用力と課題解決力を養う。

#### 【生命システムコース】

分子や細胞から個体に至る各レベルにおいて，生命を構成する基礎理論と，それを解析し利活用する技術を幅広く学ぶための教育を行う。2年次秋冬学期開始時のコース配属後，生命現象をシステムとして理解する科目群を中心に学ぶ。より専門的な実験科目群と生物環境に関する実習科目群を通して，生命科学を理解する方法論，分析法，思考法を身につける。3年次秋以降はコースに特化した専門的な科目群が用意され，各自が興味を持つ研究テーマに従って研究室に所属し，卒業研究に取り組む。

##### ○評価方法

平常評価と期末評価を総合して，学修成果の達成度を評価する。平常評価には，小テスト，レポート，演習，中間報告での発表等の評価が含まれる。期末評価には，定期試験，期末レポート，最終報告での発表等での評価が含まれる。

#### 【海洋生物資源コース】

2年次秋冬学期開始時のコース配属後，生命現象をシステムとして理解する科目群と並行して生物多様性，海洋生物，生物資源に関する科目群を学ぶ。こ

これらの科目群のそれぞれに対応した実習科目群を通して、生命科学および環境科学を理解する方法論、分析法、思考法を身につける。3年次秋以降はコースに特化した専門的な科目群が用意され、各自が興味を持つ研究テーマに従って研究室に所属し、卒業研究に取り組む。

#### ○評価方法

平常評価と期末評価を総合して、学修成果の達成度を評価する。平常評価には、小テスト、レポート、演習、中間報告での発表等の評価が含まれる。期末評価には、定期試験、期末レポート、最終報告での発表等での評価が含まれる。

#### 【バイオ工学コース】

21世紀の社会における生命・福祉、地球環境（資源、環境保全、エネルギー）、物質生産、材料などの課題を化学的および生物学的分野を含む幅広い視野を持った立場から解決できる研究者・技術者の要請が期待されている。バイオ工学コースではバイオテクノロジーに関する幅広い知識と高い問題解決能力を併せ持ち、生物工学や生命情報に関する幅広い専門的知識と応用展開能力、人間性豊かなコミュニケーション・デザイン能力を有するバイオ工学研究者・技術者の育成に重点を置いた教育を行う。初年度には、自然科学分野全般を概観するため、「化学」、「物理学」、「生物学」、「地学」、「微分積分学」、「線形代数学」を学ぶ。2年次から生物工学的考え方の基礎となる「化学工学基礎」、「移動現象論」、「化学反応速度論」、「単位操作」、「有機化学」などを学び、その上で「バイオ工学」、「生物反応工学」、「微生物工学」、「バイオメディカル工学」、「バイオプロセス設計」「バイオインフォマティクス」「ゲノム科学」「遺伝子工学」「バイオプログラミング」といった科目で応用に関する理解を深める。また「演習」や「学生実験」により、上記内容についての応用能力の修練やデザイン能力の養成を行う。最終学年では、各自が興味を持つ研究テーマに従って研究室に所属し、より専門的な研究を行う。

#### ○評価方法

平常評価と期末評価を総合して、学修成果の達成度を評価する。平常評価には、小テスト、レポート、演習、中間報告での発表等の評価が含まれる。期末評価には、定期試験、期末レポート、最終報告での発表等での評価が含まれる。

#### 4. アドミッションポリシー

「生命」は21世紀の最重要キーワードといわれており、様々な生物についてシステムとしての理解が急速に進みつつある。生命理工学類では、生命に関する真理の探求を目指す生命科学、産業応用と技術開発を目指すバイオ工学、それらをコンピュータの力で拡張し加速する生命情報学の観点から、グローバル社会を牽引する研究者、技術者、さらには生命に関する最先端の知識を備えた人材の育成に貢献できる教育者を養成する。本学類では、新分野を切り開く学術的探究心に富み、理学と工学の専門知識を活かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待する。

生命理工学類には生命システム、海洋生物資源、バイオ工学の3つのコースがある。また、各コースへの所属は、2年後期開始時に本人の希望と学業成績等を考慮のうえ決定する。

#### 求める人材

- ・生命現象に対して興味を持ち、理科系科目が得意で、実験や野外調査が好きな人
- ・日本海の海洋生物資源の持続的な有効利用と増養殖に興味がある人
- ・基礎生物学、分子生物学、進化生物学、生態学、システム生物学、遺伝子工学、バイオ工学、バイオリファイナリー、生命情報学、環境科学、多様性生物学、海洋生物学、保全生物学などの分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- ・生命科学やバイオ工学の分野で、新しい価値の創造や技術革新を目指したい人
- ・理学と工学の基礎知識を備えて、グローバル社会をリードし、生命・バイオ・海洋資源・環境分野で活躍したい人

#### 選抜の基本方針

##### ■一般入試

基礎学力に加え、生命科学の基本的科目である数学、理科、外国語（特に英語）の学力を評価する。これらに加え、前期日程では国語や地歴・公民を含む幅広い能力を重視し、後期日程では金沢大学グローバルスタンダード（KUGS）が目指す人材像に応じた優れた資質・能力・意欲を重視する。

##### ■帰国子女入試

基礎学力に加え、数学、理科、英語の学力を評価する。加えて、成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して評価する。

##### ■私費外国人留学生入試

数学、理科、英語の学力を評価する。日常生活に必要な日本語の読解・筆記能力も重視する。口述試験では、学類での授業を理解するための基礎知識や勉強意欲、コミュニケーション能力などを評価する。

#### 入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入試センターで課している科目を含む）について、しっかりと身につけておくこと。生命科学の基本的科目である数学、理科、英語については、応用能力を含め特にしっかりと身につけておくこと。また、自然科学全般に広く興味を持って勉強しておくこと。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p><b>【生命システムコース】</b>            共通教育科目 38 単位以上（導入科目：4 単位，GS 科目：各群から 3 単位計 15 単位，GS 言語科目 8 単位，自由履修科目 3 単位，基礎科目 8 単位）及び専門教育科目 86 単位以上を含む、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、専門科目については、必修科目と選択必修科目 A の単位すべてと、選択必修科目 B から 2 単位以上、学域 GS 科目（選択必修科目）から 2 単位以上を修得しなければならない。</p> <p><b>【海洋生物資源コース】</b>            共通教育科目 38 単位以上（導入科目：4 単位，GS 科目：各群から 3 単位計 15 単位，GS 言語科目 8 単位，自由履修科目 3 単位，基礎科目 8 単位）及び専門教育科目 86 単位以上を含む、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、専門科目については、必修科目の単位すべてと、選択必修科目 A から 7 単位以上、選択必修科目 B から 3 単位以上、学域 GS 科目（選択必修科目）から 2 単位以上を修得しなければならない。</p> <p><b>【バイオ工学コース】</b>            共通教育科目 38 単位以上（導入科目：4 単位，GS 科目：各群から 3 単位計 15 単位，GS 言語科目 8 単位，自由履修科目 3 単位，基礎科目 8 単位）及び専門教育科目 86 単位以上を含む、合計 124 単位以上を修得しなければならない。ただし、専門科目については、必修科目の単位すべてと、学域 GS 科目（選択必修科目）から 2 単位以上を修得しなければならない。</p> <p>履修科目の登録の上限：12 単位（クォーター）</p>	1 学年の学期区分	4 学期
	1 学期の授業期間	8 週
	1 時限の授業時間	90 分

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設:理工学域 数物科学類)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
導入科目	大学・社会生活論	1①	1			○									兼 73	クラス分け
	初学者ゼミ I	1①・②・③	1				○								兼 84	クラス分け
	情報処理基礎	1①	1				○								兼 61	クラス分け
	地域概論	1①・②	1			○									兼 69	クラス分け
	小計(4科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	0	兼 256	—
共通教育科目 GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①・②・③・④		1		○									兼 3	クラス分け
	グローバル時代の政治経済学	1①・②・③・④		1		○									兼 5	クラス分け
	グローバル時代の社会学	1①・②・③・④		1		○									兼 2	クラス分け
	ケーススタディによる応用倫理学	1①・②・③・④		1		○									兼 5	クラス分け
	地球生物圏と人間	1①・②・③・④		1		○									兼 1	
	物理の世界	1①・②・③・④		1		○									兼 3	クラス分け
	化学の世界	1①・②・③・④		1		○									兼 10	クラス分け
	哲学(自我論)	1①・②・③・④		1		○									兼 3	クラス分け
	パーソナリティ心理学	1①・②・③・④		1		○									兼 3	クラス分け
	グローバル時代の文学	1①・②・③・④		1		○									兼 6	クラス分け
	健康科学	1①・②・③・④		1		○									兼 7	クラス分け
	細胞・分子生物学	1①・②・③・④		1		○									兼 9	クラス分け
	エクササイズ&スポーツ実技	1①・②・③・④		1				○							兼 18	クラス分け
	プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)	1①・②	1	1			○								兼 86	クラス分け
	クリティカル・シンキング	1①・②・③・④		1		○									兼 4	クラス分け
	価値と情動の認知科学	1①・②・③・④		1		○									兼 5	クラス分け
	論理学から見る世界	1①・②・③・④		1		○									兼 1	
	数学的発想法	1①・②・③・④		1		○									兼 4	クラス分け
	芸術と自己表現	1①・②・③・④		1		○									兼 9	クラス分け
	スポーツ科学	1①・②・③・④		1		○									兼 4	クラス分け
	金沢・能登と世界の地域文化	1①・②・③・④		1		○									兼 5	クラス分け
日本史・日本文化	1②・③・④		1		○									兼 9	クラス分け	
異文化間コミュニケーション	1①・②・③・④		1		○									兼 10	クラス分け	
異文化体験	1②・④		1				○							兼 2	クラス分け	
異文化体験	1②・④		2				○							兼 4	クラス分け	
異文化体験	1②・④		3				○							兼 6	クラス分け	

	異文化体験	1②・④		4									兼3	クラス分け	
	異文化体験	1②・④		5									兼1		
	異文化体験	1②・④		6									兼1		
	異文化体験	1②・④		7									兼1		
	異文化体験	1②・④		8									兼1		
	国際社会とボランティア	1①・②・③・④		1		○							兼3	クラス分け	
	グローバル社会と地域の課題	1①・③・④		1		○							兼1		
	科学技術と科学方法論	1①・②・③・④		1		○							兼7	クラス分け	
	統計学から未来を見る	1①・②・③・④		1		○							兼2	クラス分け	
	情報の科学	1①・②・③・④		1		○							兼4	クラス分け	
	環境学とESD	1①・②・③・④		1		○							兼2	クラス分け	
	生活と社会保障	1③・④		1		○							兼3	クラス分け	
	人権・ジェンダー論	1①・②・③・④		1		○							兼5	クラス分け	
	小計 (39 科目)	—		1	66	0	—		0	0	0	0	0	兼221	—
G S 言 語 科 目 ( 英 語)	TOEIC 準備 I	1①		1		○							兼28	クラス分け	
	TOEIC 準備 II	1②		1		○							兼28	クラス分け	
	TOEIC 準備 III	1③		1		○							兼31	クラス分け	
	TOEIC 準備 IV	1④		1		○							兼31	クラス分け	
	TOEIC 準備 (演習)	2①・②・③・④		1		○							兼2	クラス分け	
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) I	1①		1		○							兼25	クラス分け	
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) II	1①		1		○							兼27	クラス分け	
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) III	1③		1		○							兼36	クラス分け	
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) IV	1④		1		○							兼36	クラス分け	
	EAP (Retake)	1①・②・③・④		1		○							兼14	クラス分け	
G S 言 語 科 目 ( 日 本 語)	アカデミック基礎日本語 A	1①・③		1		○							兼2	クラス分け	
	アカデミック基礎日本語 B	1②・④		1		○							兼2	クラス分け	
	アカデミック・ライティング I A	1①・③		1		○							兼1		
	アカデミック・ライティング I B	1②・④		1		○							兼1		
	アカデミック・ライティング II A	1①・③		1		○							兼1		
	アカデミック・ライティング II B	1②・④		1		○							兼1		
	講義の聴解 A	1①・③		1		○							兼1		
	講義の聴解 B	1②・④		1		○							兼1		
	口頭発表 I A	1③		1		○							兼1		

	口頭発表 I B	1④		1		○								兼 1	
	口頭発表 II A	1①		1		○								兼 1	
	口頭発表 II B	1②		1		○								兼 1	
	上級読解 I A	1①		1		○								兼 1	
	上級読解 I B	1②		1		○								兼 1	
	上級読解 II A	1③		1		○								兼 1	
	上級読解 II B	1④		1		○								兼 1	
	日本事情 A	1①・③		1		○								兼 1	
	日本事情 B	1②・④		1		○								兼 1	
	日本語で学ぶ論理 A	1③		1		○								兼 1	
	日本語で学ぶ論理 B	1④		1		○								兼 1	
	小計 (30 科目)	—	10	20	0	—		0	0	0	0	0	0	兼 64	—
基礎科目	微分積分学第一	1①・②		2		○								兼 9	クラス分け
	微分積分学第二	1③・④		2		○								兼 7	クラス分け
	線形代数学第一	1①・②		2		○								兼 10	クラス分け
	線形代数学第二	1③・④		2		○								兼 7	クラス分け
	統計数学	1③・④		2		○								兼 3	クラス分け
	物理学 I	1①・②		2		○								兼 16	クラス分け
	物理学 II	1①・②・③・④		2		○								兼 15	クラス分け
	物理学実験	1①・②・③・④		2				○						兼 32	クラス分け
	化学 I	1①・②		2		○								兼 11	クラス分け
	化学 II	1③・④		2		○								兼 7	クラス分け
	化学実験	1①・②・③・④		2				○						兼 15	クラス分け
	化学実験	2①		1				○						兼 11	クラス分け
	地学 I	1①・②		2		○								兼 4	クラス分け
	地学 II	1③・④		2		○								兼 1	
	小計 (14 科目)	—	0	27	0	—		0	0	0	0	0	0	兼 106	—
初習言語科目	ドイツ語 A1-1	1①・③		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A1-2	1②・④		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-1	1①・③		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-2	1②・④		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-1	1①・③		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-2	1②・④		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A4-1	1①・③		1		○								兼 7	クラス分け
	ドイツ語 A4-2	1②・④		1		○								兼 7	クラス分け
	ドイツ語 B-1	2①		1		○								兼 3	クラス分け
	ドイツ語 B-2	2②		1		○								兼 3	クラス分け
	ドイツ語 C-1	2①・③		1		○								兼 2	クラス分け
	ドイツ語 C-2	2②・④		1		○								兼 2	クラス分け
	フランス語 A1-1	1①・③		1		○								兼 4	クラス分け
	フランス語 A1-2	1②・④		1		○								兼 4	クラス分け

フランス語 A2-1	1①・③	1	○						兼5	クラス分け
フランス語 A2-2	1②・④	1	○						兼5	クラス分け
フランス語 A3-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A3-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A4-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A4-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 B-1	2①・③	1	○						兼6	クラス分け
フランス語 B-2	2②・④	1	○						兼6	クラス分け
フランス語 C-1	2①・③	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 C-2	2②・④	1	○						兼4	クラス分け
ロシア語 A1-1	1①	1	○						兼1	
ロシア語 A1-2	1②	1	○						兼1	
ロシア語 A2-1	1①	1	○						兼1	
ロシア語 A2-2	1②	1	○						兼1	
ロシア語 A3-1	1③	1	○						兼1	
ロシア語 A3-2	1④	1	○						兼1	
ロシア語 A4-1	1③	1	○						兼1	
ロシア語 A4-2	1④	1	○						兼1	
ロシア語 B-1	2①・③	1	○						兼1	
ロシア語 B-2	2②・④	1	○						兼1	
ロシア語 C-1	2①・③	1	○						兼1	
ロシア語 C-2	2②・④	1	○						兼1	
中国語 A1-1	1①・③	1	○						兼6	クラス分け
中国語 A1-2	1②・④	1	○						兼6	クラス分け
中国語 A2-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
中国語 A2-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
中国語 A3-1	1①・③	1	○						兼5	クラス分け
中国語 A3-2	1②・④	1	○						兼5	クラス分け
中国語 A4-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
中国語 A4-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
中国語 B-1	2①・③	1	○						兼3	クラス分け
中国語 B-2	2②・④	1	○						兼3	クラス分け
中国語 C-1	2①・③	1	○						兼3	クラス分け
中国語 C-2	2②・④	1	○						兼3	クラス分け
朝鮮語 A1-1	1①・③	1	○						兼2	クラス分け
朝鮮語 A1-2	1②・④	1	○						兼2	クラス分け
朝鮮語 A2-1	1①・③	1	○						兼2	クラス分け
朝鮮語 A2-2	1②・④	1	○						兼2	クラス分け
朝鮮語 A3-1	1①・③	1	○						兼1	
朝鮮語 A3-2	1②・④	1	○						兼1	
朝鮮語 A4-1	1①・③	1	○						兼1	

朝鮮語 A4-2	1②・④	1	○						兼1	
朝鮮語 B-1	2①・③	1	○						兼1	
朝鮮語 B-2	2②・④	1	○						兼1	
朝鮮語 C-1	2①・③	1	○						兼2	クラス分け
朝鮮語 C-2	2②・④	1	○						兼2	クラス分け
ギリシャ語 A1-1	1①	1	○						兼1	
ギリシャ語 A1-2	1②	1	○						兼1	
ギリシャ語 A2-1	1③	1	○						兼1	
ギリシャ語 A2-2	1④	1	○						兼1	
ギリシャ語 A3-1	1①	1	○						兼1	
ギリシャ語 A3-2	1②	1	○						兼1	
ギリシャ語 A4-1	1③	1	○						兼1	
ギリシャ語 A4-2	1④	1	○						兼1	
ギリシャ語 B-1	1①	1	○						兼1	
ギリシャ語 B-2	1②	1	○						兼1	
ギリシャ語 C-1	1③	1	○						兼1	
ギリシャ語 C-2	1④	1	○						兼1	
ラテン語 A1-1	1①	1	○						兼2	クラス分け
ラテン語 A1-2	1②	1	○						兼2	クラス分け
ラテン語 A2-1	1③	1	○						兼2	クラス分け
ラテン語 A2-2	1④	1	○						兼2	クラス分け
ラテン語 A3-1	1①	1	○						兼1	
ラテン語 A3-2	1②	1	○						兼1	
ラテン語 A4-1	1③	1	○						兼1	
ラテン語 A4-2	1④	1	○						兼1	
ラテン語 B-1	1①	1	○						兼1	
ラテン語 B-2	1②	1	○						兼1	
ラテン語 C-1	1③	1	○						兼1	
ラテン語 C-2	1④	1	○						兼1	
スペイン語 A1-1	1①	1	○						兼1	
スペイン語 A1-2	1②	1	○						兼1	
スペイン語 A2-1	1①	1	○						兼1	
スペイン語 A2-2	1②	1	○						兼1	
スペイン語 A3-1	1③	1	○						兼1	
スペイン語 A3-2	1④	1	○						兼1	
スペイン語 A4-1	1③	1	○						兼1	
スペイン語 A4-2	1④	1	○						兼1	
スペイン語 B-1	2①	1	○						兼1	
スペイン語 B-2	2②	1	○						兼1	
スペイン語 C-1	2③	1	○						兼1	
スペイン語 C-2	2④	1	○						兼1	



小計 (96 科目)	—	0	96	0	—	0	0	0	0	0	兼 45	—
ジャーナリズム論	1・2③		1		○						兼 1	
石川県の行政	1・2③・④		2		○						兼 1	
石川県の市町	1・2①・②		2		○						兼 1	
キャリアディベロップメント 実践	3・4①・②		2		○						兼 2	共同
健康論実践 D	1・2③・④		1		○						兼 4	共同
健康論実践 E	1・2③・④		1		○						兼 2	共同
能登の世界農業遺産を学ぶス タディ・ツアー	1・2①・②		1		○						兼 8	共同
里山体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1		○						兼 6	共同
里海体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1		○						兼 6	共同
地元学 A (地域資源調査)	1・2①		1		○						兼 1	
地元学 B (聞き書き)	1・2②		1		○						兼 1	
生と死を見つめて	1・2②		1		○						兼 6	オムニバス
実践アントレプレナー学	1・2①・②		1		○						兼 8	オムニバス
クラウド時代の「ものグラミン グ」概論	1・2①・②		2		○						兼 3	共同
シェルスクリプト言語論	1・2①・②		2		○						兼 2	共同
マスメディアと現代を読み解 く	1・2②		1		○						兼 1	
ライフキャリアデザイン	1・2③・④		2		○						兼 1	
ダイバーシティとインクルー ジョン	1・2②		1		○						兼 3	共同
キャリアディベロップメント	1・2①・②		2		○						兼 1	
ファシリテーション入門	1・2②・④		1		○						兼 3	共同
学生・学習論	1・2①		1		○						兼 2	共同
コーヒーの世界	1・2③・④		2		○						兼 13	オムニバス
画像解剖学	2・3・4③・④		1		○						兼 1	
よくわかる健康と病気	1・2③・④		1		○						兼 1	
国際協力と地域のグローバル 化	1・2③・④		2		○						兼 1	
心と体の健康	1・2③		1		○						兼 3	共同
死と喪失	1・2①・②・④		1		○						兼 1	
ひとのからだ I	1・2①・②		2		○						兼 1	
ひとのからだ II	1・2③・④		2		○						兼 1	
基礎病態学	1・2③・④		1		○						兼 1	
哲学 A	2①・②		2		○						兼 1	
宗教学 A	1・2③・④		2		○						兼 1	
ことばと文化 J	1・2③・④		2		○						兼 1	
基礎運動学	2①・②		1		○						兼 4	オムニバス

地域「超」体験プログラム（能登珠洲）	1①・②	1			○				兼1	
地域「超」体験プログラム（能登小木）	1①・②	1			○				兼1	
地域「超」体験プログラム（白山麓）	1①・②	1			○				兼1	
地域「超」体験プログラム（五箇山）	1③・④	1			○				兼1	
地方行政	1・2③・④	2		○					兼1	
ボランティア入門	1・2①・②	2		○					兼1	
ゼミ／政治哲学入門	1・2③・④	2			○				兼1	
茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③・④	2		○					兼1	
日本の伝統芸能	1・2①・②	2		○					兼1	
金沢の歴史と文化	1・2③・④	2		○					兼2	共同
ESD 入門	1・2①・②	1		○					兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1・2①・②	1		○					兼1	
持続可能性と福祉	1・2①・③	1		○					兼1	
異文化間ディベート	1・2	2		○					兼1	
	①・②・③・④									
日本の歴史からみた暦と時間	1・2	2		○					兼1	
	①・②・③・④									
日本と金沢の建築・都市	1・2①・②	2		○					兼2	共同
コミュニケーションビジネス	1・2③・④	2		○					兼2	共同
日本国憲法概説	1・2	2		○					兼4	クラス分け
	①・②・③・④									
行政学入門	1・2①・②	2		○					兼1	
公共政策入門 I	1・2①・②	2		○					兼1	
経済学入門 C	1・2③・④	2		○					兼1	
日本史要説	2③・④	2		○					兼4	オムニバス
東洋史要説	2③・④	2		○					兼3	オムニバス
法論理学入門	1・2①	2		○					兼1	
異文化理解のためのビデオ会議ディスカッション	1・2③	1		○					兼1	
ビジネス入門	1・2①	1		○					兼1	
日本のオープンデータ活用	1・2②	1		○					兼1	
ビジネスと金融	1・2③	1		○					兼1	
世界のオープンデータ活用	1・2④	1		○					兼1	
ガラスとクリスタル I	1・2②	1		○					兼1	
ガラスとクリスタル II	1・2③	1		○					兼1	
英国諸島の地史 I	1・2②	1		○					兼1	
英国諸島の地史 II	1・2③	1		○					兼1	

地学実験	1・2①・②・③	2			○						兼 16	クラス分け
東洋医学	3・4③・④	2		○							兼 2	クラス分け
コンピュータグラフィクス演習	1・2③・④	2			○						兼 1	
生物学実験	1・2①・②	2			○						兼 13	共同
実践 Web プログラミング実習	1・2③・④	2			○						兼 1	
実践システム開発工程入門	1・2③・④	2			○						兼 1	
プログラミング演習	1・2③・④	2			○						兼 1	
環境動態学概説 I	1・2③	1		○							兼 1	
環境動態学概説 II	1・2④	1		○							兼 1	
海洋生化学演習	1・2①・②	2			○						兼 4	共同
動画配信サービスを用いた情報発信演習	1・2①・②	2		○							兼 1	
プレゼンテーション演習	1・2③・④	2		○							兼 1	
英語セミナー	1・2②・③・④	1		○							兼 7	クラス分け
英語セミナー	1・2③・④	2		○							兼 2	クラス分け
ゼミ/漢文資料読解 A	1・2①・②	2			○						兼 1	
ゼミ/漢文資料読解 B	1・2③・④	2			○						兼 1	
ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	1・2③・④	2			○						兼 1	
ゼミ/角間の里山づくり春編	1・2①	1			○						兼 1	
ゼミ/角間の里山づくり秋編	1・2③	1			○						兼 1	
身体・スポーツ実技/野外活動	1・2①・②	1				○					兼 3	共同
身体・スポーツ実技/初心者スキー	1・2③・④	1				○					兼 6	共同
ゼミ/身体運動心理学	3・4①・②	2		○							兼 1	
ドイツ語 A (充実クラス I-1)	1③	1				○					兼 1	
ドイツ語 A (充実クラス I-2)	1④	1				○					兼 1	
ドイツ語 A (充実クラス II-1)	1③	1				○					兼 1	
ドイツ語 A (充実クラス II-2)	1④	1				○					兼 1	
フランス語 A(充実クラス I-1)	1③	1				○					兼 1	
フランス語 A(充実クラス I-2)	1④	1				○					兼 1	
フランス語 A(充実クラス II-1)	1③	1				○					兼 1	
フランス語 A(充実クラス II-2)	1④	1				○					兼 1	
中国語 A (充実クラス I-1)	1③	1				○					兼 1	
中国語 A (充実クラス I-2)	1④	1				○					兼 1	
中国語 A (充実クラス II-1)	1③	1				○					兼 1	
中国語 A (充実クラス II-2)	1④	1				○					兼 1	
小計 (101 科目)	—	0	147	0	—	0	0	0	0	0	兼 156	—
共通教育科目計 (284 科目)	—	15	356	0	—	0	0	0	0	0	兼 617	—

専門科目	専門基礎科目	【学域GS科目】														
		数学物理学演習A	1③	1			○			1	2				オムニバス	
		数学物理学演習B	1④	1			○			1	2				オムニバス	
		物質化学序論A	2①	1			○							兼4	オムニバス	
		物質化学序論B	2②	1			○							兼4	オムニバス	
		機械工学序論A	1③	1			○							兼4	オムニバス	
		機械工学序論B	1④	1			○							兼4	オムニバス	
		電子情報生命工学序論A	1③	1			○							兼4	オムニバス	
		電子情報生命工学序論B	1④	1			○							兼4	オムニバス	
		土木情報処理演習A	1③	1				○						兼3	オムニバス	
		土木情報処理演習B	1④	1				○						兼3	オムニバス	
		自然システム序論A	1①	1			○							兼7	オムニバス	
	自然システム序論B	1②	1			○							兼7	オムニバス		
	小計(12科目)	—	12	0	0			—		1	2	0	0	0	兼22	—
	【学域GS言語科目】															
	学域GS言語科目Ⅰ(理工系英語Ⅰ)	2①	1						○		3	1				オムニバス
	学域GS言語科目Ⅱ(理工系英語Ⅱ)	2②	1						○		3	1				オムニバス
	小計(2科目)	—	2	0	0			—		3	1	0	0	0		—
	【学域共通科目】															
	情報・計算科学基礎	1③	2						○			2	1			オムニバス
	計算科学	1④		2					○			2				オムニバス
	情報処理演習	1③～④		1					○		1			1		オムニバス
	工業力学	1③～④		2					○		1			1		オムニバス
	計算機リテラシー	2①～②		2					○		1	1				オムニバス
	応用物理学	3①～②		2					○						兼1	
	生命・地球学概論	1③～④		2					○						兼16	オムニバス
	バイオ・物質循環工学概論	1③～④		2					○						兼19	オムニバス
	国際研修A	1・2・3・4 ①・②・③・④		1					○		1					
国際研修B	1・2・3・4 ①・②・③・④		2					○		1						
小計(10科目)	—	2	16	0			—		4	5	1	2	0	兼36	—	
【数学コース】																
線形空間A	2①		2					○			1					
線形空間B	2②		2					○			1					
基礎解析1A	2①		2					○		1						
基礎解析1B	2②		2					○		1						
数理論理A	2①		2					○		1						

数理論理B	2②	2		○		1					
数値解析序論1a	2①		1	○			1				
数値解析序論1b	2②		1	○			1				
計算実験序論1A	2①		1	○		1					
計算実験序論1B	2②		1	○		1					
力学1	2①～②		2	○		1					
力学演習1	2①～②		2		○	1	1				
電磁気学1	2①～②		2	○		1					
電磁気学演習1	2①～②		2		○			2			オムニバス
物理数学1	2①～②		2	○				1			
熱統計力学序論	2①～②		2	○		1					
基礎解析2A	2③	2		○		1					
基礎解析2B	2④	2		○		1					
基礎解析3A	2③	2		○		1					
基礎解析3B	2④	2		○		1					
数学通論A	2③	2		○				1			
数学通論B	2④	2		○				1			
計算数学a	2③		1	○					1		
計算数学b	2④		1	○					1		
離散数学入門a	2③		1	○				1			
離散数学入門b	2④		1	○				1			
数値解析序論2a	2③		1	○				1			
数値解析序論2b	2④		1	○				1			
数理統計a	2③		1	○				1			
数理統計b	2④		1	○				1			
計算実験序論2A	2③		1	○		1					
計算実験序論2B	2④		1	○		1					
力学2	2③～④		2	○		1					
力学演習2	2③～④		2		○			1	1		オムニバス
電磁気学2	2③～④		2	○		1					
電磁気学演習2	2③～④		2		○				2		オムニバス
物理数学2	2③～④		2	○		1					
量子力学序論	2③～④		2	○		1					
物理実験学A	2③		1				○	1			
物理実験学B	2④		1				○	1			
計算物理学A	2③		1	○				2		1	オムニバス
計算物理学B	2④		1	○				2		1	オムニバス
エレクトロニクスA	2③		1	○					1		
エレクトロニクスB	2④		1	○					1		
計算実験基盤A	3①		1				○	1			

計算実験基盤B	3②	1				○	1					
熱統計力学1	3①～②	2		○				1				
熱統計力学演習1	3①～②	2			○			1		1		オムニバス
量子力学1	3①～②	2		○			1					
量子力学演習1	3①～②	2			○		1			1		オムニバス
数理解析概論a	3③	1		○				1				
数理解析概論b	3④	1		○				1				
計算機言語A	3③	1		○				1				
計算機言語B	3④	1		○				1				
量子力学2A	3③	1		○			1					
量子力学2B	3④	1		○			1					
量子力学演習2A	3③	1			○			1		1		オムニバス
量子力学演習2B	3④	1			○			1		1		オムニバス
熱統計力学2A	3③	1		○			1					
熱統計力学2B	3④	1		○			1					
熱統計力学演習2A	3③	1			○		2			1		オムニバス
熱統計力学演習2B	3④	1			○		2			1		オムニバス
計算実験1	3①～②	2				○	3	2				共同
物理実験1	3①～②	4				○	1	4		1		共同
計算実験2	3③～④	4				○	2	1		2		共同
物理実験2	3③～④	4				○	1	4		1		共同
小計(66科目)	—	24	80	0	—		5	6	1	1	0	—
【計算科学コース】												
【計算数理プログラム】												
線形空間A	2①	2		○				1				
線形空間B	2②	2		○				1				
基礎解析1A	2①	2		○			1					
基礎解析1B	2②	2		○			1					
数理論理A	2①	2		○			1					
数理論理B	2②	2		○			1					
数値解析序論1a	2①	1		○				1				
数値解析序論1b	2②	1		○				1				
計算実験序論1A	2①	1		○			1					
計算実験序論1B	2②	1		○			1					
力学1	2①～②	2		○			1					
力学演習1	2①～②	2			○		1	1				オムニバス
電磁気学1	2①～②	2		○			1					
電磁気学演習1	2①～②	2			○			2				オムニバス
物理数学1	2①～②	2		○				1				
熱統計力学序論	2①～②	2		○			1					

基礎解析2A	2③	2		○		1					
基礎解析2B	2④	2		○		1					
基礎解析3A	2③	2		○		1					
基礎解析3B	2④	2		○		1					
数学通論A	2③	2		○			1				
数学通論B	2④	2		○			1				
計算数学a	2③		1	○					1		
計算数学b	2④		1	○						1	
離散数学入門a	2③	1		○				1			
離散数学入門b	2④	1		○				1			
数値解析序論2a	2③	1		○				1			
数値解析序論2b	2④	1		○				1			
数理統計a	2③	1		○				1			
数理統計b	2④	1		○				1			
計算実験序論2A	2③	1		○		1					
計算実験序論2B	2④	1		○		1					
力学2	2③～④		2	○		1					
力学演習2	2③～④		2		○			1		1	オムニバス
電磁気学2	2③～④		2	○		1					
電磁気学演習2	2③～④		2		○					2	オムニバス
物理数学2	2③～④		2	○		1					
量子力学序論	2③～④		2	○		1					
物理実験学A	2③		1			○	1				
物理実験学B	2④		1			○	1				
計算物理学A	2③		1	○			2			1	オムニバス
計算物理学B	2④		1	○			2			1	オムニバス
エレクトロニクスA	2③		1	○				1			
エレクトロニクスB	2④		1	○				1			
計算実験基盤A	3①		1			○	1				
計算実験基盤B	3②		1			○	1				
熱統計力学1	3①～②		2	○				1			
熱統計力学演習1	3①～②		2		○			1		1	オムニバス
量子力学1	3①～②		2	○			1				
量子力学演習1	3①～②		2		○		1			1	オムニバス
数理解析概論a	3③		1	○				1			
数理解析概論b	3④		1	○				1			
計算機言語A	3③		1	○				1			
計算機言語B	3④		1	○				1			
量子力学2A	3③		1	○			1				
量子力学2B	3④		1	○			1				

量子力学演習2A	3③		1			○			1		1		オムニバス
量子力学演習2B	3④		1			○			1		1		オムニバス
熱統計力学2A	3③		1			○		1					
熱統計力学2B	3④		1			○		1					
熱統計力学演習2A	3③		1			○		2			1		オムニバス
熱統計力学演習2B	3④		1			○		2			1		オムニバス
計算実験1	3①～②		2				○	3	2				共同
物理実験1	3①～②		4				○	1	4		1		共同
計算実験2	3③～④		4				○	2	1		2		共同
物理実験2	3③～④		4				○	1	4		1		共同
小計(66科目)	—	42	62	0		—		7	5	1	3	0	—
<b>【計算科学コース】</b>													
<b>【計算実験プログラム】</b>													
線形空間A	2①		2			○			1				
線形空間B	2②		2			○			1				
基礎解析1A	2①		2			○		1					
基礎解析1B	2②		2			○		1					
数理論理A	2①		2			○		1					
数理論理B	2②		2			○		1					
数値解析序論1a	2①	1				○			1				
数値解析序論1b	2②	1				○			1				
計算実験序論1A	2①	1				○		1					
計算実験序論1B	2②	1				○		1					
力学1	2①～②	2				○		1					
力学演習1	2①～②	2					○	1	1				オムニバス
電磁気学1	2①～②	2				○		1					
電磁気学演習1	2①～②	2					○		2				オムニバス
物理数学1	2①～②	2				○			1				
熱統計力学序論	2①～②	2				○		1					
基礎解析2A	2③		2			○		1					
基礎解析2B	2④		2			○		1					
基礎解析3A	2③		2			○		1					
基礎解析3B	2④		2			○		1					
数学通論A	2③		2			○			1				
数学通論B	2④		2			○			1				
計算数学a	2③		1			○					1		
計算数学b	2④		1			○					1		
離散数学入門a	2③		1			○			1				
離散数学入門b	2④		1			○			1				
数値解析序論2a	2③	1				○			1				



数値解析序論2b	2④	1			○				1				
数理統計a	2③	1			○				1				
数理統計b	2④	1			○				1				
計算実験序論2A	2③	1			○			1					
計算実験序論2B	2④	1			○			1					
力学2	2③～④	2			○			1					
力学演習2	2③～④	2				○			1		1		オムニバス
電磁気学2	2③～④	2			○			1					
電磁気学演習2	2③～④	2				○					2		オムニバス
物理数学2	2③～④	2			○			1					
量子力学序論	2③～④	2			○			1					
物理実験学A	2③	1					○	1					
物理実験学B	2④	1					○	1					
計算物理学A	2③	1			○			2			1		オムニバス
計算物理学B	2④	1			○			2			1		オムニバス
エレクトロニクスA	2③	1			○				1				
エレクトロニクスB	2④	1			○				1				
計算実験基盤A	3①	1					○	1					
計算実験基盤B	3②	1					○	1					
熱統計力学1	3①～②	2			○				1				
熱統計力学演習1	3①～②	2				○			1		1		オムニバス
量子力学1	3①～②	2			○			1					
量子力学演習1	3①～②	2				○		1			1		オムニバス
数理解析概論a	3③	1			○				1				
数理解析概論b	3④	1			○				1				
計算機言語A	3③	1			○				1				
計算機言語B	3④	1			○				1				
量子力学2A	3③	1			○			1					
量子力学2B	3④	1			○			1					
量子力学演習2A	3③	1				○			1		1		オムニバス
量子力学演習2B	3④	1				○			1		1		オムニバス
熱統計力学2A	3③	1			○			1					
熱統計力学2B	3④	1			○			1					
熱統計力学演習2A	3③	1				○		2			1		オムニバス
熱統計力学演習2B	3④	1				○		2			1		オムニバス
計算実験1	3①～②	2					○	3	2				共同
物理実験1	3①～②	4					○	1	4		1		共同
計算実験2	3③～④	4					○	2	1		2		共同
物理実験2	3③～④	4					○	1	4		1		共同
小計(66科目)	—	64	40	0	—			7	5	1	3	0	—

【物理学コース】													
線形空間 A	2①	2	○							1			
線形空間 B	2②	2	○						1				
基礎解析1A	2①	2	○					1					
基礎解析1B	2②	2	○					1					
数理論理A	2①	2	○					1					
数理論理B	2②	2	○					1					
数値解析序論1a	2①	1	○							1			
数値解析序論1b	2②	1	○							1			
計算実験序論1A	2①	1	○					1					
計算実験序論11B	2②	1	○					1					
力学1	2①～②	2	○					1					
力学演習1	2①～②	2		○				1	1				オムニバス
電磁気学1	2①～②	2	○					1					
電磁気学演習1	2①～②	2		○						2			オムニバス
物理数学1	2①～②	2	○							1			
熱統計力学序論	2①～②	2	○					1					
基礎解析2A	2③	2	○					1					
基礎解析2B	2④	2	○					1					
基礎解析3A	2③	2	○					1					
基礎解析3B	2④	2	○					1					
数学通論A	2③	2	○							1			
数学通論B	2④	2	○							1			
計算数学a	2③	1	○								1		
計算数学b	2④	1	○								1		
離散数学入門a	2③	1	○							1			
離散数学入門b	2④	1	○							1			
数値解析序論2a	2③	1	○							1			
数値解析序論2b	2④	1	○							1			
数理統計a	2③	1	○							1			
数理統計b	2④	1	○							1			
計算実験序論2A	2③	1	○					1					
計算実験序論2B	2④	1	○					1					
力学2	2③～④	2	○					1					
力学演習2	2③～④	2		○						1	1		オムニバス
電磁気学2	2③～④	2	○					1					
電磁気学演習2	2③～④	2		○							2		オムニバス
物理数学2	2③～④	2	○					1					
量子力学序論	2③～④	2	○					1					
物理実験学A	2③	1				○		1					

物理実験学B	2④	1					○	1						
計算物理学A	2③	1				○		2		1				オムニバス
計算物理学B	2④	1				○		2		1				オムニバス
エレクトロニクスA	2③	1				○			1					
エレクトロニクスB	2④	1				○			1					
計算実験基盤A	3①	1						○	1					
計算実験基盤B	3②	1						○	1					
熱統計力学1	3①～②	2				○				1				
熱統計力学演習1	3①～②	2					○			1	1			オムニバス
量子力学1	3①～②	2				○			1					
量子力学演習1	3①～②	2					○		1		1			オムニバス
数理解析概論a	3③	1				○			1					
数理解析概論b	3④	1				○			1					
計算機言語A	3③	1				○			1					
計算機言語B	3④	1				○			1					
量子力学2A	3③	1				○			1					
量子力学2B	3④	1				○			1					
量子力学演習2A	3③	1					○			1	1			オムニバス
量子力学演習2B	3④	1					○			1	1			オムニバス
熱統計力学2A	3③	1				○			1					
熱統計力学2B	3④	1				○			1					
熱統計力学演習2A	3③	1					○		2		1			オムニバス
熱統計力学演習2B	3④	1					○		2		1			オムニバス
計算実験1	3①～②	2						○	3	2				共同
物理実験1	3①～②	4						○	1	4	1			共同
計算実験2	3③～④	4						○	2	1	2			共同
物理実験2	3③～④	4						○	1	4	1			共同
小計(66科目)	—	52	52	0	—	—	—	9	7	5	1	0		—
<b>【数学コース】</b>														
代数学1A	3①	2				○				1				
代数学1B	3②	2				○			1					
幾何学1A	3①	2				○			1					
幾何学1B	3②	2				○			1					
解析学1A	3①	2				○				1				
解析学1B	3②	2				○				1				
数値解析a	3①	1				○			1	1				オムニバス
数値解析b	3②	1				○			1	1				オムニバス
流体力学A	3①	1				○				1				
流体力学B	3②	1				○				1				
情報基礎論A	3①・②・③・④	1				○								兼1

情報基礎論B	3①・②・③・④	1	○					兼1
計算科学特論A	3①・②・③・④	1	○					兼1
計算科学特論B	3①・②・③・④	1	○					兼1
代数学2A	3③	2	○		1			
代数学2B	3④	2	○		1			
幾何学2A	3③	2	○		1			
幾何学2B	3④	2	○		1			
解析学2A	3③	2	○		1			
解析学2B	3④	2	○		1			
解析学3A	3③	2	○		1			
解析学3B	3④	2	○		1			
離散数学a	3③	1	○		1			
離散数学b	3④	1	○		1			
計算分子科学A	3③	1	○		1			
計算分子科学B	3④	1	○		1			
計算物性論A	3③	1	○		1			
計算物性論B	3④	1	○		1			
相対論と幾何学A	3③	1	○		1			
相対論と幾何学B	3④	1	○		1			
物理光学A	3③	1	○			1		
物理光学B	3④	1	○			1		
物性物理学序論A	3③	1	○		1			
物性物理学序論B	3④	1	○		1			
化学物理学	4①～② ・③～④	2	○		1			
シミュレーション科学	4①～② ・③～④	2	○		1			
ナノ科学	4①～② ・③～④	2	○		1			
バイオ科学	4①～② ・③～④	2	○		1			
生物物理学	4①～②	2	○			2		オムニバス
分子物理学	4①～②	2	○			1		
統計力学	4①～②	2	○		1			
素粒子物理学	4①～②	2	○		1			
宇宙物理学	4①～②	2	○			1		
プラズマ物理学	4①～②	2	○			1		
物性物理学	4①～②	2	○		3		1	オムニバス
群論	4①～②	2	○		1			
量子力学特論	4①～②	2	○		1			

代数学3	4①～② ・③～④	2			○			1					
幾何学3	4①～② ・③～④	2			○				1				
解析学1C	4①～② ・③～④	2			○						兼1		
解析学2C	4①～② ・③～④	2			○		1						
解析学3C	4①～② ・③～④	2			○			1					
解析学4	4①～② ・③～④	2			○		1						
数理科学1	4①～② ・③～④	2			○		1		1			オムニバス	
数理科学2	4①～② ・③～④	2			○			1					
数学特論	4④	2			○		1						
理学英語A	3①・②・③・④	1			○						兼1		
理学英語B	3①・②・③・④	1			○						兼1		
特別講義	1・2・3・4 ①・②・③・④	1			○						兼7	オムニバス	
インターンシップ実習	3①～② ・③～④	1				○	1						
数学課題研究	4通	12				○	21	18	2	9		クラス分け	
数学特別課題研究	4①～②	12				○	21	18	2	9		クラス分け	
教職化学	2①～②	1			○		1				兼4	クラス分け	
教職生物学	2①～②	1			○		1				兼4	クラス分け	
教職地学	2①～②	1			○		1				兼5	クラス分け	
小計 (65科目)	—	70	53	0	—		21	18	2	9	0	兼22	—
【計算科学コース】													
【計算数理プログラム】													
代数学1A	3①	2			○		1						
代数学1B	3②	2			○		1						
幾何学1A	3①	2			○			1					
幾何学1B	3②	2			○			1					
解析学1A	3①	2			○			1					
解析学1B	3②	2			○			1					
数値解析a	3①	1			○		1	1				オムニバス	
数値解析b	3②	1			○		1	1				オムニバス	
流体力学A	3①		1		○			1					
流体力学B	3②		1		○			1					

情報基礎論A	3①・②・③・④	1	○					兼1
情報基礎論B	3①・②・③・④	1	○					兼1
計算科学特論A	3①・②・③・④	1	○					兼1
計算科学特論B	3①・②・③・④	1	○					兼1
代数学2A	3③	2	○		1			
代数学2B	3④	2	○		1			
幾何学2A	3③	2	○		1			
幾何学2B	3④	2	○		1			
解析学2A	3③	2	○		1			
解析学2B	3④	2	○		1			
解析学3A	3③	2	○		1			
解析学3B	3④	2	○		1			
離散数学a	3③	1	○		1			
離散数学b	3④	1	○		1			
計算分子科学A	3③	1	○		1			
計算分子科学B	3④	1	○		1			
計算物性論A	3③	1	○		1			
計算物性論B	3④	1	○		1			
相対論と幾何学A	3③	1	○		1			
相対論と幾何学B	3④	1	○		1			
物理光学A	3③	1	○			1		
物理光学B	3④	1	○			1		
物性物理学序論A	3③	1	○		1			
物性物理学序論B	3④	1	○		1			
化学物理学	4①～② ・③～④	2	○		1			
シミュレーション科学	4①～② ・③～④	2	○		1			
ナノ科学	4①～② ・③～④	2	○		1			
バイオ科学	4①～② ・③～④	2	○		1			
生物物理学	4①～②	2	○			2		オムニバス
分子物理学	4①～②	2	○			1		
統計力学	4①～②	2	○		1			
素粒子物理学	4①～②	2	○		1			
宇宙物理学	4①～②	2	○			1		
プラズマ物理学	4①～②	2	○			1		
物性物理学	4①～②	2	○		3		1	オムニバス
群論	4①～②	2	○		1			

量子力学特論	4①～②		2		○		1						
代数学3	4①～② ・③～④		2		○			1					
幾何学3	4①～② ・③～④		2		○				1				
解析学1C	4①～② ・③～④		2		○							兼1	
解析学2C	4①～② ・③～④		2		○		1						
解析学3C	4①～② ・③～④		2		○			1					
解析学4	4①～② ・③～④		2		○		1						
数理学1	4①～② ・③～④	2			○		1		1				オムニバス
数理学2	4①～② ・③～④	2			○			1					
数学特論	4④	2			○		1						
理学英語A	3①・②・③・④	1			○		1					兼1	オムニバス
理学英語B	3①・②・③・④	1			○							兼1	
特別講義	1・2・3・4 ①・②・③・④	1			○							兼7	オムニバス
インターンシップ実習	3①～② ・③～④	1				○	1						
計算数理課題研究	4通	12				○	21	18	2	9			クラス分け
計算数理特別課題研究	4①～②	12				○	21	18	2	9			クラス分け
教職化学	2①～②		1		○		1					兼4	クラス分け
教職生物学	2①～②		1		○		1					兼4	クラス分け
教職地学	2①～②		1		○		1					兼5	クラス分け
小計 (65科目)	—	62	61	0	—	—	21	18	2	9		兼27	—
【計算科学コース】 【計算実験プログラム】													
代数学1A	3①		2		○		1						
代数学1B	3②		2		○		1						
幾何学1A	3①		2		○			1					
幾何学1B	3②		2		○			1					
解析学1A	3①		2		○			1					
解析学1B	3②		2		○			1					
数値解析a	3①	1			○		1	1					オムニバス
数値解析b	3②	1			○		1	1					オムニバス
流体力学A	3①		1		○			1					

流体力学B	3②		1	○		1			
情報基礎論A	3①・②・③・④		1	○					兼1
情報基礎論B	3①・②・③・④		1	○					兼1
計算科学特論A	3①・②・③・④		1	○					兼1
計算科学特論B	3①・②・③・④		1	○					兼1
代数学2A	3③		2	○		1			
代数学2B	3④		2	○		1			
幾何学2A	3③		2	○		1			
幾何学2B	3④		2	○		1			
解析学2A	3③		2	○		1			
解析学2B	3④		2	○		1			
解析学3A	3③		2	○		1			
解析学3B	3④		2	○		1			
離散数学a	3③		1	○		1			
離散数学b	3④		1	○		1			
計算分子科学A	3③	1		○		1			
計算分子科学B	3④	1		○		1			
計算物性論A	3③	1		○		1			
計算物性論B	3④	1		○		1			
相対論と幾何学A	3③		1	○		1			
相対論と幾何学B	3④		1	○		1			
物理光学A	3③		1	○			1		
物理光学B	3④		1	○			1		
物性物理学序論A	3③		1	○		1			
物性物理学序論B	3④		1	○		1			
化学物理学	4①～② ・③～④	2		○		1			
シミュレーション科学	4①～② ・③～④	2		○		1			
ナノ科学	4①～② ・③～④	2		○		1			
バイオ科学	4①～② ・③～④	2		○		1			
生物物理学	4①～②		2	○			2		オムニバス
分子物理学	4①～②		2	○			1		
統計力学	4①～②		2	○		1			
素粒子物理学	4①～②		2	○		1			
宇宙物理学	4①～②		2	○			1		
プラズマ物理学	4①～②		2	○			1		
物性物理学	4①～②		2	○		3		1	オムニバス



群論	4①～②		2		○		1						
量子力学特論	4①～②		2		○		1						
代数学3	4①～② ・③～④		2		○				1				
幾何学3	4①～② ・③～④		2		○					1			
解析学1B	4①～② ・③～④		2		○							兼1	
解析学2C	4①～② ・③～④		2		○		1						
解析学3C	4①～② ・③～④		2		○				1				
解析学4	4①～② ・③～④		2		○		1						
数理科学1	4①～② ・③～④		2		○		1			1			
数理科学2	4①～② ・③～④		2		○				1				
数学特論	4④		2		○		1						
理学英語A	3①・②・③・④		1		○		1					兼1	オムニバス
理学英語B	3①・②・③・④		1		○							兼1	
特別講義	1・2・3・4 ①・②・③・④		1		○							兼7	オムニバス
インターンシップ実習	3①～② ・③～④		1			○	1						
計算実験課題研究	4通	12				○	3	2		1			クラス分け
計算実験特別課題研究	4①～②	12				○	3	2		1			クラス分け
教職化学	2①～②		1		○		1					兼4	クラス分け
教職生物学	2①～②		1		○		1					兼4	クラス分け
教職地学	2①～②		1		○		1					兼5	クラス分け
小計 (65科目)	—	38	85	0	—		7	5	1	3	0	兼27	—
<b>【物理学コース】</b>													
代数学1A	3①		2		○		1						
代数学1B	3②		2		○		1						
幾何学1A	3①		2		○				1				
幾何学1B	3②		2		○				1				
解析学1A	3①		2		○				1				
解析学1B	3②		2		○				1				
数値解析a	3①		1		○		1	1					オムニバス
数値解析b	3②		1		○		1	1					オムニバス
流体力学A	3①		1		○				1				

流体力学B	3②	1	○		1			
情報基礎論A	3①・②・③・④	1	○				兼1	
情報基礎論B	3①・②・③・④	1	○				兼1	
計算科学特論A	3①・②・③・④	1	○				兼1	
計算科学特論B	3①・②・③・④	1	○				兼1	
代数学2A	3③	2	○		1			
代数学2B	3④	2	○		1			
幾何学2A	3③	2	○		1			
幾何学2B	3④	2	○		1			
解析学2A	3③	2	○		1			
解析学2B	3④	2	○		1			
解析学3A	3③	2	○		1			
解析学3B	3④	2	○		1			
離散数学a	3③	1	○		1			
離散数学b	3④	1	○		1			
計算分子科学A	3③	1	○		1			
計算分子科学B	3④	1	○		1			
計算物性論A	3③	1	○		1			
計算物性論B	3④	1	○		1			
相対論と幾何学A	3③	1	○		1			
相対論と幾何学B	3④	1	○		1			
物理光学A	3③	1	○			1		
物理光学B	3④	1	○			1		
物性物理学序論A	3③	1	○		1			
物性物理学序論B	3④	1	○		1			
化学物理学	4①～② ・③～④	2	○		1			
シミュレーション科学	4①～② ・③～④	2	○		1			
ナノ科学	4①～② ・③～④	2	○		1			
バイオ科学	4①～② ・③～④	2	○		1			
生物物理学	4①～②	2	○			2		オムニバス
分子物理学	4①～②	2	○			1		
統計力学	4①～②	2	○		1			
素粒子物理学	4①～②	2	○		1			
宇宙物理学	4①～②	2	○			1		
プラズマ物理学	4①～②	2	○			1		
物性物理学	4①～②	2	○		3			オムニバス

群論	4①～②		2		○		1						
量子力学特論	4①～②		2		○		1						
代数学3	4①～② ・③～④		2		○				1				
幾何学3	4①～② ・③～④		2		○					1			
解析学1C	4①～② ・③～④		2		○							兼1	
解析学2C	4①～② ・③～④		2		○		1						
解析学3C	4①～② ・③～④		2		○				1				
解析学4	4①～② ・③～④		2		○		1						
数理科学1	4①～② ・③～④		2		○		1			1			オムニバス
数理科学2	4①～② ・③～④		2		○				1				
数学特論	4④		2		○		1						
理学英語A	3①・②・③・④		1		○		1					兼1	オムニバス
理学英語B	3①・②・③・④		1		○							兼1	
特別講義	1・2・3・4 ①・②・③・④		1		○							兼7	オムニバス
インターンシップ実習	3①～② ・③～④		1				○	1					
物理学課題研究	4通	12					○	21	18	2	9		クラス分け
物理学特別課題研究	4①～②	12					○	21	18	2	9		クラス分け
教職化学	2①～②		1		○			1				兼4	クラス分け
教職生物学	2①～②		1		○			1				兼4	クラス分け
教職地学	2①～②		1		○			1				兼5	クラス分け
小計 (65科目)	—	24	99	0	—		21	18	2	9	0	兼27	—
専門科目計 (549科目)	—	392	548	0	—		21	18	2	9	0	兼139	—
合計 (833科目)	—	407	904	0	—		21	18	2	9	0	兼756	—

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設:理工学域 物質化学類)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1			○								兼 73	クラス分け
	初学者ゼミ I	1①・②・③	1				○							兼 84	クラス分け
	情報処理基礎	1①	1				○							兼 61	クラス分け
	地域概論	1①・②	1				○							兼 69	クラス分け
	小計(4科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼 256	—
共通教育科目 GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の政治経済学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	グローバル時代の社会学	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け
	ケーススタディによる応用倫理学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	地球生物圏と人間	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	物理の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	化学の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	哲学(自我論)	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	パーソナリティ心理学	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の文学	1①・②・③・④		1		○								兼 6	クラス分け
	健康科学	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け
	細胞・分子生物学	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	エクササイズ&スポーツ実技	1①・②・③・④		1				○						兼 18	クラス分け
	プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)	1①・②		1				○						兼 86	クラス分け
	クリティカル・シンキング	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	価値と情動の認知科学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	論理学から見る世界	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	数学的発想法	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	芸術と自己表現	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	スポーツ科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
金沢・能登と世界の地域文化	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け	
日本史・日本文化	1②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け	
異文化間コミュニケーション	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け	

	異文化体験	1②・④	1										兼2	クラス分け
	異文化体験	1②・④	2										兼4	クラス分け
	異文化体験	1②・④	3										兼6	クラス分け
	異文化体験	1②・④	4										兼3	クラス分け
	異文化体験	1②・④	5										兼1	
	異文化体験	1②・④	6										兼1	
	異文化体験	1②・④	7										兼1	
	異文化体験	1②・④	8										兼1	
	国際社会とボランティア	1①・②・③・④	1			○							兼3	クラス分け
	グローバル社会と地域の課題	1①・③・④	1			○							兼1	
	科学技術と科学方法論	1①・②・③・④	1			○							兼7	クラス分け
	統計学から未来を見る	1①・②・③・④	1			○							兼2	クラス分け
	情報の科学	1①・②・③・④	1			○							兼4	クラス分け
	環境学とESD	1①・②・③・④	1			○							兼2	クラス分け
	生活と社会保障	1③・④	1			○							兼3	クラス分け
	人権・ジェンダー論	1①・②・③・④	1			○							兼5	クラス分け
	小計 (39 科目)	—	1	66	0	—	0	0	0	0	0	0	兼221	—
G S 言 語 科 目 ( 英 語)	TOEIC 準備 I	1①	1			○							兼28	クラス分け
	TOEIC 準備 II	1②	1			○							兼28	クラス分け
	TOEIC 準備 III	1③	1			○							兼31	クラス分け
	TOEIC 準備 IV	1④	1			○							兼31	クラス分け
	TOEIC 準備 (演習)	2①・②・③・④	1			○							兼2	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) I	1①	1			○							兼25	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) II	1①	1			○							兼27	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) III	1③	1			○							兼36	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) IV	1④	1			○							兼36	クラス分け
	EAP (Retake)	1①・②・③・④	1			○							兼14	クラス分け
G S 言 語 科 目 ( 日 本 語)	アカデミック基礎日本語 A	1①・③	1			○							兼2	クラス分け
	アカデミック基礎日本語 B	1②・④	1			○							兼2	クラス分け
	アカデミック・ライティング I A	1①・③	1			○							兼1	
	アカデミック・ライティング I B	1②・④	1			○							兼1	
	アカデミック・ライティング II A	1①・③	1			○							兼1	
	アカデミック・ライティング	1②・④	1			○							兼1	

	II B													
	講義の聴解 A	1①・③		1		○							兼 1	
	講義の聴解 B	1②・④		1		○							兼 1	
	口頭発表 I A	1③		1		○							兼 1	
	口頭発表 I B	1④		1		○							兼 1	
	口頭発表 II A	1①		1		○							兼 1	
	口頭発表 II B	1②		1		○							兼 1	
	上級読解 I A	1①		1		○							兼 1	
	上級読解 I B	1②		1		○							兼 1	
	上級読解 II A	1③		1		○							兼 1	
	上級読解 II B	1④		1		○							兼 1	
	日本事情 A	1①・③		1		○							兼 1	
	日本事情 B	1②・④		1		○							兼 1	
	日本語で学ぶ論理 A	1③		1		○							兼 1	
	日本語で学ぶ論理 B	1④		1		○							兼 1	
	小計 (30 科目)	—	10	20	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 64	—
基礎科目	微分積分学第一	1①・②		2		○							兼 9	クラス分け
	微分積分学第二	1③・④		2		○							兼 7	クラス分け
	線形代数学第一	1①・②		2		○							兼 10	クラス分け
	線形代数学第二	1③・④		2		○							兼 7	クラス分け
	統計数学	1③・④		2		○							兼 3	クラス分け
	物理学 I	1①・②		2		○							兼 16	クラス分け
	物理学 II	1①・②・③・④		2		○							兼 15	クラス分け
	物理学実験	1①・②・③・④		2			○						兼 32	クラス分け
	化学 I	1①・②		2		○							兼 11	クラス分け
	化学 II	1③・④		2		○							兼 7	クラス分け
	化学実験	1①・②・③・④		2			○						兼 15	クラス分け
	化学実験	2①		1			○						兼 11	クラス分け
	地学 I	1①・②		2		○							兼 4	クラス分け
	地学 II	1③・④		2		○							兼 1	
	小計 (14 科目)	—	0	27	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 106	—
初習言語科目	ドイツ語 A1-1	1①・③		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A1-2	1②・④		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-1	1①・③		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-2	1②・④		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-1	1①・③		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-2	1②・④		1		○							兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A4-1	1①・③		1		○							兼 7	クラス分け
	ドイツ語 A4-2	1②・④		1		○							兼 7	クラス分け
	ドイツ語 B-1	2①		1		○							兼 3	クラス分け
	ドイツ語 B-2	2②		1		○							兼 3	クラス分け

ドイツ語 C-1	2①・③	1	○					兼2	クラス分け
ドイツ語 C-2	2②・④	1	○					兼2	クラス分け
フランス語 A1-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A1-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A2-1	1①・③	1	○					兼5	クラス分け
フランス語 A2-2	1②・④	1	○					兼5	クラス分け
フランス語 A3-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A3-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A4-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A4-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 B-1	2①・③	1	○					兼6	クラス分け
フランス語 B-2	2②・④	1	○					兼6	クラス分け
フランス語 C-1	2①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 C-2	2②・④	1	○					兼4	クラス分け
ロシア語 A1-1	1①	1	○					兼1	
ロシア語 A1-2	1②	1	○					兼1	
ロシア語 A2-1	1①	1	○					兼1	
ロシア語 A2-2	1②	1	○					兼1	
ロシア語 A3-1	1③	1	○					兼1	
ロシア語 A3-2	1④	1	○					兼1	
ロシア語 A4-1	1③	1	○					兼1	
ロシア語 A4-2	1④	1	○					兼1	
ロシア語 B-1	2①・③	1	○					兼1	
ロシア語 B-2	2②・④	1	○					兼1	
ロシア語 C-1	2①・③	1	○					兼1	
ロシア語 C-2	2②・④	1	○					兼1	
中国語 A1-1	1①・③	1	○					兼6	クラス分け
中国語 A1-2	1②・④	1	○					兼6	クラス分け
中国語 A2-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
中国語 A2-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
中国語 A3-1	1①・③	1	○					兼5	クラス分け
中国語 A3-2	1②・④	1	○					兼5	クラス分け
中国語 A4-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
中国語 A4-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
中国語 B-1	2①・③	1	○					兼3	クラス分け
中国語 B-2	2②・④	1	○					兼3	クラス分け
中国語 C-1	2①・③	1	○					兼3	クラス分け
中国語 C-2	2②・④	1	○					兼3	クラス分け
朝鮮語 A1-1	1①・③	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A1-2	1②・④	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A2-1	1①・③	1	○					兼2	クラス分け

朝鮮語 A2-2	1②・④	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A3-1	1①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 A3-2	1②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 A4-1	1①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 A4-2	1②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 B-1	2①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 B-2	2②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 C-1	2①・③	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 C-2	2②・④	1	○					兼2	クラス分け
ギリシャ語 A1-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 A1-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 A2-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 A2-2	1④	1	○					兼1	
ギリシャ語 A3-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 A3-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 A4-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 A4-2	1④	1	○					兼1	
ギリシャ語 B-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 B-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 C-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 C-2	1④	1	○					兼1	
ラテン語 A1-1	1①	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A1-2	1②	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A2-1	1③	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A2-2	1④	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A3-1	1①	1	○					兼1	
ラテン語 A3-2	1②	1	○					兼1	
ラテン語 A4-1	1③	1	○					兼1	
ラテン語 A4-2	1④	1	○					兼1	
ラテン語 B-1	1①	1	○					兼1	
ラテン語 B-2	1②	1	○					兼1	
ラテン語 C-1	1③	1	○					兼1	
ラテン語 C-2	1④	1	○					兼1	
スペイン語 A1-1	1①	1	○					兼1	
スペイン語 A1-2	1②	1	○					兼1	
スペイン語 A2-1	1①	1	○					兼1	
スペイン語 A2-2	1②	1	○					兼1	
スペイン語 A3-1	1③	1	○					兼1	
スペイン語 A3-2	1④	1	○					兼1	
スペイン語 A4-1	1③	1	○					兼1	
スペイン語 A4-2	1④	1	○					兼1	



	スペイン語 B-1	2①		1	○							兼 1	
	スペイン語 B-2	2②		1	○							兼 1	
	スペイン語 C-1	2③		1	○							兼 1	
	スペイン語 C-2	2④		1	○							兼 1	
	小計 (96 科目)	—	0	96	0	—	0	0	0	0	0	兼 45	—
自由履修科目	ジャーナリズム論	1・2③		1	○							兼 1	
	石川県の行政	1・2③・④		2	○							兼 1	
	石川県の市町	1・2①・②		2	○							兼 1	
	キャリアディベロップメント実践	3・4①・②		2	○							兼 2	共同
	健康論実践 D	1・2③・④		1	○							兼 4	共同
	健康論実践 E	1・2③・④		1	○							兼 2	共同
	能登の世界農業遺産を学ぶ スタディ・ツアー	1・2①・②		1	○							兼 8	共同
	里山体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1	○							兼 6	共同
	里海体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1	○							兼 6	共同
	地元学 A (地域資源調査)	1・2①		1	○							兼 1	
	地元学 B (聞き書き)	1・2②		1	○							兼 1	
	生と死を見つめて	1・2②		1	○							兼 6	オムニバス
	実践アントレプレナー学	1・2①・②		1	○							兼 8	オムニバス
	クラウド時代の「ものグラミング」概論	1・2①・②		2	○							兼 3	共同
	シェルスクリプト言語論	1・2①・②		2	○							兼 2	共同
	マスメディアと現代を読み解く	1・2②		1	○							兼 1	
	ライフキャリアデザイン	1・2③・④		2	○							兼 1	
	ダイバーシティとインクルージョン	1・2②		1	○							兼 3	共同
	キャリアディベロップメント	1・2①・②		2	○							兼 1	
	ファシリテーション入門	1・2②・④		1	○							兼 3	共同
	学生・学習論	1・2①		1	○							兼 2	共同
	コーヒーの世界	1・2③・④		2	○							兼 13	オムニバス
	画像解剖学	2・3・4③・④		1	○							兼 1	
	よくわかる健康と病気	1・2③・④		1	○							兼 1	
国際協力と地域のグローバル化	1・2③・④		2	○							兼 1		
心と体の健康	1・2③		1	○							兼 3	共同	
死と喪失	1・2①・②・④		1	○							兼 1		
ひとのからだ I	1・2①・②		2	○							兼 1		
ひとのからだ II	1・2③・④		2	○							兼 1		

基礎病態学	1・2③・④	1	○					兼1	
哲学A	2①・②	2	○					兼1	
宗教学A	1・2③・④	2	○					兼1	
ことばと文化J	1・2③・④	2	○					兼1	
基礎運動学	2①・②	1	○					兼4	オムニバス
地域「超」体験プログラム(能登珠洲)	1①・②	1		○				兼1	
地域「超」体験プログラム(能登小木)	1①・②	1		○				兼1	
地域「超」体験プログラム(白山麓)	1①・②	1		○				兼1	
地域「超」体験プログラム(五箇山)	1③・④	1		○				兼1	
地方行政	1・2③・④	2	○					兼1	
ボランティア入門	1・2①・②	2	○					兼1	
ゼミ/政治哲学入門	1・2③・④	2		○				兼1	
茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③・④	2	○					兼1	
日本の伝統芸能	1・2①・②	2	○					兼1	
金沢の歴史と文化	1・2③・④	2	○					兼2	共同
ESD 入門	1・2①・②	1	○					兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1・2①・②	1	○					兼1	
持続可能性と福祉	1・2①・③	1	○					兼1	
異文化間ディベート	1・2	2	○					兼1	
	①・②・③・④								
日本の歴史からみた暦と時間	1・2	2	○					兼1	
	①・②・③・④								
日本と金沢の建築・都市	1・2①・②	2	○					兼2	共同
コミュニケーションビジネス	1・2③・④	2	○					兼2	共同
日本国憲法概説	1・2	2	○					兼4	クラス分け
	①・②・③・④								
行政学入門	1・2①・②	2	○					兼1	
公共政策入門 I	1・2①・②	2	○					兼1	
経済学入門 C	1・2③・④	2	○					兼1	
日本史要説	2③・④	2	○					兼4	オムニバス
東洋史要説	2③・④	2	○					兼3	オムニバス
法論理学入門	1・2①	2	○					兼1	
異文化理解のためのビデオ	1・2③	1	○					兼1	
会議ディスカッション									
ビジネス入門	1・2①	1	○					兼1	
日本のオープンデータ活用	1・2②	1	○					兼1	

ビジネスと金融	1・2③	1	○					兼1	
世界のオープンデータ活用	1・2④	1	○					兼1	
ガラスとクリスタルⅠ	1・2②	1	○					兼1	
ガラスとクリスタルⅡ	1・2③	1	○					兼1	
英国諸島の地史Ⅰ	1・2②	1	○					兼1	
英国諸島の地史Ⅱ	1・2③	1	○					兼1	
地学実験	1・2①・②・③	2			○			兼16	クラス分け
東洋医学	3・4③・④	2	○					兼2	クラス分け
コンピュータグラフィクス 演習	1・2③・④	2			○			兼1	
生物学実験	1・2①・②	2			○			兼13	共同
実践Webプログラミング実習	1・2③・④	2			○			兼1	
実践システム開発工程入門	1・2③・④	2			○			兼1	
プログラミング演習	1・2③・④	2			○			兼1	
環境動態学概説Ⅰ	1・2③	1	○					兼1	
環境動態学概説Ⅱ	1・2④	1	○					兼1	
海洋生化学演習	1・2①・②	2		○				兼4	共同
動画配信サービスを用いた 情報発信演習	1・2①・②	2	○					兼1	
プレゼンテーション演習	1・2③・④	2	○					兼1	
英語セミナー	1・2②・③・④	1	○					兼7	クラス分け
英語セミナー	1・2③・④	2	○					兼2	クラス分け
ゼミ／漢文資料読解A	1・2①・②	2		○				兼1	
ゼミ／漢文資料読解B	1・2③・④	2		○				兼1	
ゼミ／アフリカ系人の音楽 を通じて知る現代の世界	1・2③・④	2		○				兼1	
ゼミ／角間の里山づくり春 編	1・2①	1		○				兼1	
ゼミ／角間の里山づくり秋 編	1・2③	1		○				兼1	
身体・スポーツ実技／野外活 動	1・2①・②	1			○			兼3	共同
身体・スポーツ実技／初心者 スキー	1・2③・④	1			○			兼6	共同
ゼミ／身体運動心理学	3・4①・②	2	○					兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1			○			兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1			○			兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1			○			兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1			○			兼1	
フランス語A(充実クラスⅠ)	1③	1			○			兼1	

		-1) フランス語 A (充実クラス I	1④	1				○						兼 1		
		-2) フランス語 A (充実クラス II	1③	1				○						兼 1		
		-1) フランス語 A (充実クラス II	1④	1				○						兼 1		
		-2) 中国語 A (充実クラス I-1)	1③	1				○						兼 1		
		中国語 A (充実クラス I-2)	1④	1				○						兼 1		
		中国語 A (充実クラス II-1)	1③	1				○						兼 1		
		中国語 A (充実クラス II-2)	1④	1				○						兼 1		
		小計 (101 科目)	—	0	147	0	—		0	0	0	0	0	兼 156	—	
共通教育科目計 (284 科目)			—	15	356	0	—		0	0	0	0	0	兼 617	—	
専門科目	専門基礎科目	【学域 GS 科目】														
		数学物理学演習A	1③	1				○							兼 3	
		数学物理学演習B	1④	1				○							兼 3	
		物質化学序論A	2①	1				○		2	2					
		物質化学序論B	2②	1				○		2	2					
		機械工学序論A	1③	1				○							兼 4	2 単位以上必修
		機械工学序論B	1④	1				○							兼 4	オムニバス
		電子情報生命工学序論A	1③	1				○							兼 4	
		電子情報生命工学序論B	1④	1				○							兼 4	
		土木情報処理演習A	1③	1					○						兼 3	
		土木情報処理演習B	1④	1					○						兼 3	
		自然システム序論A	1①	1				○							兼 7	
		自然システム序論B	1②	1				○							兼 7	
		小計 (12 科目)	—	12	0	0	—			2	2	0	0	0	兼 21	—
				【学域 GS 言語科目】												
		学域GS言語科目 I (理工系英語 I)	2①	1				○		2						
		学域GS言語科目 II (理工系英語 II)	2②	1				○		2						
		小計 (2 科目)	—	2	0	0	—		0	2	0	0	0		—	
		【学域共通科目】														
		情報・計算科学基礎	1③	2				○		2	1				オムニバス	
		計算科学	1④	2				○		2					オムニバス	
		情報処理演習	1③~④	1				○	1			1			オムニバス	
		工業力学	1③~④	2				○	1			1			オムニバス	
		計算機リテラシー	2①~②	2				○	1	1					オムニバス	
		応用物理学	3①~②	2				○						兼 1		

生命・地球学概論	1③～④	2	○									兼 16	オムニバス
バイオ・物質循環工学概論	1③～④	2	○									兼 19	オムニバス
国際研修A	1・2・3・4 ①・②・③・④	1		○		1							
国際研修B	1・2・3・4 ①・②・③・④	2		○		1							
小計(10科目)	—	1	17	0	—	4	5	1	2	0		兼 36	—
<b>【化学コース】</b>													
物理化学基礎	1③～④	2		○		1							
有機化学基礎	1③～④	2		○		1							
無機化学基礎	2①～②	2		○		2							オムニバス
有機化学 I	2①～②	2		○		2							オムニバス
分析化学 I	2①～②	2		○		1							
理論化学 I	2①～②	2		○		1							
生物化学 I	2①～②	2		○		1							
放射化学 I	2③～④	2		○		1							
無機化学 I	2③～④	2		○		1							
化学熱力学	2①～②	2		○		1							
分析化学基礎	2③～④	2		○		1							
応用物理化学 I	2③～④	2		○			1						
無機材料化学	2③～④	2		○		1							
高分子化学 I	2③～④	2		○		2			1				オムニバス
有機化学 II	2③～④	2		○		1	1						オムニバス
無機化学 II	2③～④	2		○		1							
理論化学 II	2③～④	2		○		1							
分析化学 II	2③～④	2		○		1							
生物化学 II	2③～④	2		○			1						
放射化学 II	3①～②	2		○			1						
分析化学 III	3①～②	2		○			1						
無機化学 III	3①～②	2		○		1							
理論化学 III	3①～②	2		○			1						
有機化学 III	3①～②	2		○			1						
生物化学 III	3①～②	2		○		1							
放射化学 III	3③～④	2		○						1			
物質化学実験A	2③～④	4			○	2	2		2				共同
物質化学実験B	3①～②	4			○	3	1		2				共同
物質化学実験C	3③～④	4			○	2	2		2				共同
小計(29科目)	—	54	10	0	—	17	15	0	8	0			—
<b>【応用化学コース】</b>													
物理化学基礎	1③～④	2		○		1							

有機化学基礎	1③～④	2		○		1					
無機化学基礎	2①～②	2		○		2					オムニバス
有機化学 I	2①～②	2		○		2					オムニバス
分析化学 I	2①～②		2	○		1					
理論化学 I	2①～②		2	○		1					
生物化学 I	2①～②		2	○		1					
放射化学 I	2③～④		2	○		1					
無機化学 I	2③～④		2	○		1					
化学熱力学	2①～②	2		○		1					
分析化学基礎	2③～④	2		○		1					
応用物理化学 I	2③～④	2		○			1				
無機材料化学	2③～④	2		○		1					
高分子化学 I	2③～④	2		○		2		1			オムニバス
有機化学 II	2③～④	2		○		1	1				オムニバス
無機化学 II	2③～④		2	○		1					
理論化学 II	2③～④		2	○		1					
分析化学 II	2③～④		2	○		1					
生物化学 II	2③～④		2	○			1				
放射化学 II	3①～②		2	○			1				
分析化学 III	3①～②		2	○			1				
無機化学 III	3①～②		2	○		1					
理論化学 III	3①～②		2	○			1				
有機化学 III	3①～②		2	○			1				
生物化学 III	3①～②		2	○		1					
放射化学 III	3③～④		2	○				1			
応用化学演習 I	2②	1			○	2					オムニバス
応用化学演習 II	2③	1			○	1	1				オムニバス
応用化学演習 III	2④	1			○	3					オムニバス
応用化学基礎実験	2③～④	1				○	1	4			共同
課題探究ゼミナール I	2③～④	1		○		10	11		1		オムニバス
応用化学実験 I	3①～②	1				○	1	2			共同
	・③～④										
応用化学実験 II	3①～②	1				○	1	2			共同
	・③～④										
応用化学実験 III	3①～②	1				○	2		1		共同
	・③～④										
課題探究ゼミナール II	3①～②	1		○		10	11		1		オムニバス
	・③～④										
応用化学実験 IV	3①～②	1				○	2	1			共同
	・③～④										

応用化学実験Ⅴ	3①～② ・③～④	1				○	1	2				共同
応用化学実験Ⅵ	3①～② ・③～④	1				○	1	1				共同
課題探究ゼミナールⅢ	3①～② ・③～④	1			○		10	11		1		オムニバス
微分方程式及び演習	2③～④	2				○						兼1
ベクトル解析及び演習	2①～②	2				○						兼1
フーリエ解析及び演習	2①～②	2				○						兼1
複素解析及び演習	2③～④	2				○						兼1
応用力学	3①～②	2			○							兼1
量子物理学	2①～②	2			○							兼1
化学工学量論	2①～②	2			○							兼1
移動現象論基礎	2③～④	2			○							兼2 オムニバス
単位操作基礎	2③～④	2			○							兼2 オムニバス
小計(48科目)	—	51	32	0	—	—	17	15	0	8	0	兼11 —
<b>【化学コース】</b>												
合成無機化学A	3①	1			○			1				
合成無機化学B	3②	1			○			1				
応用物理化学Ⅱ	3①	1			○			1				
化学反応速度論	3②	1			○		1					
応用分析化学	3①～②	2			○			1				
有機構造解析	3①～②	2			○			1				
高分子有機化学	3①～②	2			○		1					
高分子化学Ⅱ	3①～②	2			○		1					
情報化学	3①	1			○		1	2				オムニバス
分子軌道計算法	3②	1			○			1				
錯体構造論A	3③	1			○		1	1				オムニバス
錯体構造論B	3④	1			○		1	1				オムニバス
構造無機化学A	3③	1			○		1					
構造無機化学B	3④	1			○		1					
化学英語A	3①～② ・③～④	1			○							兼1
化学英語B	3①～② ・③～④	1			○							兼1
安全化学	2③	1			○		3	1				兼1 オムニバス
電気化学	3③～④	2			○			1				
機器分析化学	3③～④	2			○		1					
有機反応論	3③～④	2			○		1					
有機材料化学	3③	1			○		1					

生体高分子材料	3④		1	○		1							
応用生物化学Ⅰ	3③		1	○			1						
応用生物化学Ⅱ	3④		1	○			1						
地球化学A	3①		1	○							兼1		
地球化学B	3②		1	○							兼1		
有機合成化学A	3③		1	○			1						
有機合成化学B	3④		1	○			1						
磁気共鳴A	3・4③		1	○		1							
磁気共鳴B	3・4④		1	○		1							
超分子化学	3③		1	○		1							
分光分析化学	3③		1	○			1						
学外技術体験実習A	3①・②・③・④		1			○		2				共同	
学外技術体験実習B	3①・②・③・④		2			○		2				共同	
化学文献指導	4①・②・③・④	2				○	10	11	1			共同	
化学特別講義	1・2・3・4 ①・②・③・④		1	○							兼2	オムニバス	
化学課題研究	4通	14			○		8	8	8			クラス分け	
応用化学特別講義	1・2・3・4 ①・②・③・④		1	○				1					
教職物理学	2②		1	○				1			兼3	オムニバス	
教職生物学	2②		1	○				1			兼4	オムニバス	
教職地学	2①		1	○				1			兼5	オムニバス	
小計(41科目)	—	16	47	0	—	17	15	0	8	0	兼18	—	
<b>【応用化学コース】</b>													
合成無機化学A	3①		1	○			1						
合成無機化学B	3②		1	○			1						
応用物理化学Ⅱ	3①	1		○			1						
化学反応速度論	3②	1		○		1							
応用分析化学	3①～②	2		○			1						
有機構造解析	3①～②	2		○			1						
高分子有機化学	3①～②	2		○		1							
高分子化学Ⅱ	3①～②	2		○		1							
情報化学	3①	1		○		1	2					オムニバス	
分子軌道計算法	3②	1		○			1						
錯体構造論A	3③	1		○		1	1					オムニバス	
錯体構造論B	3④	1		○		1	1					オムニバス	
構造無機化学A	3③	1		○		1							
構造無機化学B	3④	1		○		1							
化学英語A	3①～② ・③～④	1		○							兼1		



化学英語B	3①～② ・③～④		1	○								兼1	
安全化学	2③		1	○		3	1					兼1	オムニバス
電気化学	3③～④	2		○			1						
機器分析化学	3③～④	2		○		1							
有機反応論	3③～④	2		○		1							
有機材料化学	3③	1		○		1							
生体高分子材料	3④	1		○		1							
応用生物化学Ⅰ	3③	1		○			1						
応用生物化学Ⅱ	3④	1		○			1						
地球化学A	3①		1	○								兼1	
地球化学B	3②		1	○								兼1	
有機合成化学A	3③		1	○			1						
有機合成化学B	3④		1	○			1						
磁気共鳴A	3・4③		1	○		1							
磁気共鳴B	3・4④		1	○		1							
超分子化学	3③		1	○		1							
分光分析化学	3③		1	○			1						
学外技術体験実習A	3①・②・③・④		1			○		2					共同
学外技術体験実習B	3①・②・③・④		2			○		2					共同
化学文献指導	4①～② ・③～④	2				○	10	11		1			共同
化学特別講義	1・2・3・4 ①・②・③・④		1	○								兼2	オムニバス
専門英語Ⅰ	3③		1	○				2					オムニバス
専門英語Ⅱ	3④		1	○				2					オムニバス
安全工学	3③～④	2		○				1					
応用化学特別講義	1・2・3・4 ①・②・③・④		1	○				1					
工学における倫理と法	4①～②		2	○								兼4	
応用化学課題研究	4通	10		○			10	11		1			クラス分け
工業概論	4①～②		2	○			1	1				兼4	オムニバス
職業指導第1	3③～④		2			○						兼3	共同
職業指導第2	4①～②		2			○						兼3	共同
教職物理学	2②		1	○				1				兼3	オムニバス
教職生物学	2②		1	○				1				兼4	オムニバス
教職地学	2①		1	○				1				兼5	オムニバス
小計 (49科目)	—	38	33	0	—	17	15	0	8	0	兼28	—	
専門科目計 (191科目)	—	174	139	0	—	17	15	0	8	0	兼114	—	
合計 (475科目)	—	189	495	0	—	17	15	0	8	0	兼270	—	

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設：理工学域 機械工学類)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1			○								兼 73	クラス分け
	初学者ゼミ I	1①・②・③	1				○							兼 84	クラス分け
	情報処理基礎	1①	1				○							兼 61	クラス分け
	地域概論	1①・②	1			○								兼 69	クラス分け
	小計(4科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼 256	—
共通教育科目 GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の政治経済学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	グローバル時代の社会学	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け
	ケーススタディによる応用倫理学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	地球生物圏と人間	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	物理の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	化学の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	哲学(自我論)	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	パーソナリティ心理学	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の文学	1①・②・③・④		1		○								兼 6	クラス分け
	健康科学	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け
	細胞・分子生物学	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	エクササイズ&スポーツ実技	1①・②・③・④		1				○						兼 18	クラス分け
	プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)	1①・②	1				○							兼 86	クラス分け
	クリティカル・シンキング	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	価値と情動の認知科学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	論理学から見る世界	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	数学的発想法	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	芸術と自己表現	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	スポーツ科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
金沢・能登と世界の地域文化	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け	
日本史・日本文化	1②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け	
異文化間コミュニケーション	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け	

	ン																						
	異文化体験	1②・④	1																		兼2	クラス分け	
	異文化体験	1②・④	2																			兼4	クラス分け
	異文化体験	1②・④	3																			兼6	クラス分け
	異文化体験	1②・④	4																			兼3	クラス分け
	異文化体験	1②・④	5																			兼1	
	異文化体験	1②・④	6																			兼1	
	異文化体験	1②・④	7																			兼1	
	異文化体験	1②・④	8																			兼1	
	国際社会とボランティア	1①・②・③・④	1					○														兼3	クラス分け
	グローバル社会と地域の課題	1①・③・④	1					○														兼1	
	科学技術と科学方法論	1①・②・③・④	1					○														兼7	クラス分け
	統計学から未来を見る	1①・②・③・④	1					○														兼2	クラス分け
	情報の科学	1①・②・③・④	1					○														兼4	クラス分け
	環境学とESD	1①・②・③・④	1					○														兼2	クラス分け
	生活と社会保障	1③・④	1					○														兼3	クラス分け
	人権・ジェンダー論	1①・②・③・④	1					○														兼5	クラス分け
	小計 (39科目)	—	1	66	0	—				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼221	—
GS言語科目(英語)	TOEIC 準備 I	1①	1					○														兼28	クラス分け
	TOEIC 準備 II	1②	1					○														兼28	クラス分け
	TOEIC 準備 III	1③	1					○														兼31	クラス分け
	TOEIC 準備 IV	1④	1					○														兼31	クラス分け
	TOEIC 準備 (演習)	2①・②・③・④	1					○														兼2	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes(EAP) I	1①	1					○														兼25	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes(EAP) II	1①	1					○														兼27	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes(EAP) III	1③	1					○														兼36	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes(EAP) IV	1④	1					○														兼36	クラス分け
	EAP(Retake)	1①・②・③・④	1					○														兼14	クラス分け
GS言語科目(日本語)	アカデミック基礎日本語A	1①・③	1					○														兼2	クラス分け
	アカデミック基礎日本語B	1②・④	1					○														兼2	クラス分け
	アカデミック・ライティング I A	1①・③	1					○														兼1	
	アカデミック・ライティング I B	1②・④	1					○														兼1	
	アカデミック・ライティング II A	1①・③	1					○														兼1	

	アカデミック・ライティン グⅡB	1②・④		1		○								兼1	
	講義の聴解A	1①・③		1		○								兼1	
	講義の聴解B	1②・④		1		○								兼1	
	口頭発表ⅠA	1③		1		○								兼1	
	口頭発表ⅠB	1④		1		○								兼1	
	口頭発表ⅡA	1①		1		○								兼1	
	口頭発表ⅡB	1②		1		○								兼1	
	上級読解ⅠA	1①		1		○								兼1	
	上級読解ⅠB	1②		1		○								兼1	
	上級読解ⅡA	1③		1		○								兼1	
	上級読解ⅡB	1④		1		○								兼1	
	日本事情A	1①・③		1		○								兼1	
	日本事情B	1②・④		1		○								兼1	
	日本語で学ぶ論理A	1③		1		○								兼1	
	日本語で学ぶ論理B	1④		1		○								兼1	
	小計(30科目)	—	10	20	0	—		0	0	0	0	0	0	兼64	—
基礎科目	微分積分学第一	1①・②		2		○								兼9	クラス分け
	微分積分学第二	1③・④		2		○								兼7	クラス分け
	線形代数学第一	1①・②		2		○								兼10	クラス分け
	線形代数学第二	1③・④		2		○								兼7	クラス分け
	統計数学	1③・④		2		○								兼3	クラス分け
	物理学Ⅰ	1①・②		2		○								兼16	クラス分け
	物理学Ⅱ	1①・②・③・④		2		○								兼15	クラス分け
	物理学実験	1①・②・③・④		2				○						兼32	クラス分け
	化学Ⅰ	1①・②		2		○								兼11	クラス分け
	化学Ⅱ	1③・④		2		○								兼7	クラス分け
	化学実験	1①・②・③・④		2				○						兼15	クラス分け
	化学実験	2①		1				○						兼11	クラス分け
	地学Ⅰ	1①・②		2		○								兼4	クラス分け
	地学Ⅱ	1③・④		2		○								兼1	
	小計(14科目)	—	0	27	0	—		0	0	0	0	0	0	兼106	—
初習言語科目	ドイツ語A1-1	1①・③		1		○								兼8	クラス分け
	ドイツ語A1-2	1②・④		1		○								兼8	クラス分け
	ドイツ語A2-1	1①・③		1		○								兼8	クラス分け
	ドイツ語A2-2	1②・④		1		○								兼8	クラス分け
	ドイツ語A3-1	1①・③		1		○								兼8	クラス分け
	ドイツ語A3-2	1②・④		1		○								兼8	クラス分け
	ドイツ語A4-1	1①・③		1		○								兼7	クラス分け
	ドイツ語A4-2	1②・④		1		○								兼7	クラス分け
	ドイツ語B-1	2①		1		○								兼3	クラス分け

ドイツ語 B-2	2②	1	○					兼3	クラス分け
ドイツ語 C-1	2①・③	1	○					兼2	クラス分け
ドイツ語 C-2	2②・④	1	○					兼2	クラス分け
フランス語 A1-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A1-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A2-1	1①・③	1	○					兼5	クラス分け
フランス語 A2-2	1②・④	1	○					兼5	クラス分け
フランス語 A3-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A3-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A4-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 A4-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 B-1	2①・③	1	○					兼6	クラス分け
フランス語 B-2	2②・④	1	○					兼6	クラス分け
フランス語 C-1	2①・③	1	○					兼4	クラス分け
フランス語 C-2	2②・④	1	○					兼4	クラス分け
ロシア語 A1-1	1①	1	○					兼1	
ロシア語 A1-2	1②	1	○					兼1	
ロシア語 A2-1	1①	1	○					兼1	
ロシア語 A2-2	1②	1	○					兼1	
ロシア語 A3-1	1③	1	○					兼1	
ロシア語 A3-2	1④	1	○					兼1	
ロシア語 A4-1	1③	1	○					兼1	
ロシア語 A4-2	1④	1	○					兼1	
ロシア語 B-1	2①・③	1	○					兼1	
ロシア語 B-2	2②・④	1	○					兼1	
ロシア語 C-1	2①・③	1	○					兼1	
ロシア語 C-2	2②・④	1	○					兼1	
中国語 A1-1	1①・③	1	○					兼6	クラス分け
中国語 A1-2	1②・④	1	○					兼6	クラス分け
中国語 A2-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
中国語 A2-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
中国語 A3-1	1①・③	1	○					兼5	クラス分け
中国語 A3-2	1②・④	1	○					兼5	クラス分け
中国語 A4-1	1①・③	1	○					兼4	クラス分け
中国語 A4-2	1②・④	1	○					兼4	クラス分け
中国語 B-1	2①・③	1	○					兼3	クラス分け
中国語 B-2	2②・④	1	○					兼3	クラス分け
中国語 C-1	2①・③	1	○					兼3	クラス分け
中国語 C-2	2②・④	1	○					兼3	クラス分け
朝鮮語 A1-1	1①・③	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A1-2	1②・④	1	○					兼2	クラス分け

朝鮮語 A2-1	1①・③	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A2-2	1②・④	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A3-1	1①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 A3-2	1②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 A4-1	1①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 A4-2	1②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 B-1	2①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 B-2	2②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 C-1	2①・③	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 C-2	2②・④	1	○					兼2	クラス分け
ギリシャ語 A1-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 A1-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 A2-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 A2-2	1④	1	○					兼1	
ギリシャ語 A3-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 A3-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 A4-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 A4-2	1④	1	○					兼1	
ギリシャ語 B-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 B-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 C-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 C-2	1④	1	○					兼1	
ラテン語 A1-1	1①	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A1-2	1②	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A2-1	1③	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A2-2	1④	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A3-1	1①	1	○					兼1	
ラテン語 A3-2	1②	1	○					兼1	
ラテン語 A4-1	1③	1	○					兼1	
ラテン語 A4-2	1④	1	○					兼1	
ラテン語 B-1	1①	1	○					兼1	
ラテン語 B-2	1②	1	○					兼1	
ラテン語 C-1	1③	1	○					兼1	
ラテン語 C-2	1④	1	○					兼1	
スペイン語 A1-1	1①	1	○					兼1	
スペイン語 A1-2	1②	1	○					兼1	
スペイン語 A2-1	1①	1	○					兼1	
スペイン語 A2-2	1②	1	○					兼1	
スペイン語 A3-1	1③	1	○					兼1	
スペイン語 A3-2	1④	1	○					兼1	
スペイン語 A4-1	1③	1	○					兼1	

	スペイン語 A4-2	1④		1		○									兼 1	
	スペイン語 B-1	2①		1		○									兼 1	
	スペイン語 B-2	2②		1		○									兼 1	
	スペイン語 C-1	2③		1		○									兼 1	
	スペイン語 C-2	2④		1		○									兼 1	
	小計 (96 科目)	—	0	96	0	—		0	0	0	0	0	0	0	兼 45	—
自由履修科目	ジャーナリズム論	1・2③		1		○									兼 1	
	石川県の行政	1・2③・④		2		○									兼 1	
	石川県の市町	1・2①・②		2		○									兼 1	
	キャリアディベロップメント実践	3・4①・②		2		○									兼 2	共同
	健康論実践 D	1・2③・④		1		○									兼 4	共同
	健康論実践 E	1・2③・④		1		○									兼 2	共同
	能登の世界農業遺産を学ぶ スタディ・ツアー	1・2①・②		1		○									兼 8	共同
	里山体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1		○									兼 6	共同
	里海体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1		○									兼 6	共同
	地元学 A (地域資源調査)	1・2①		1		○									兼 1	
	地元学 B (聞き書き)	1・2②		1		○									兼 1	
	生と死を見つめて	1・2②		1		○									兼 6	オムニバス
	実践アントレプレナー学	1・2①・②		1		○									兼 8	オムニバス
	クラウド時代の「もの ミンク」概論	1・2①・②		2		○									兼 3	共同
	シェルスクリプト言語論	1・2①・②		2		○									兼 2	共同
	マスメディアと現代を読み 解く	1・2②		1		○									兼 1	
	ライフキャリアデザイン	1・2③・④		2		○									兼 1	
	ダイバーシティとインクル ージョン	1・2②		1		○									兼 3	共同
	キャリアディベロップメン ト	1・2①・②		2		○									兼 1	
	ファシリテーション入門	1・2②・④		1		○									兼 3	共同
	学生・学習論	1・2①		1		○									兼 2	共同
	コーヒーの世界	1・2③・④		2		○									兼 13	オムニバス
	画像解剖学	2・3・4③・④		1		○									兼 1	
	よくわかる健康と病気	1・2③・④		1		○									兼 1	
	国際協力と地域のグローバ ル化	1・2③・④		2		○									兼 1	
	心と体の健康	1・2③		1		○									兼 3	共同
死と喪失	1・2①・②・④		1		○									兼 1		
ひとのからだ I	1・2①・②		2		○									兼 1		

ひとのからだⅡ	1・2③・④	2	○					兼1	
基礎病態学	1・2③・④	1	○					兼1	
哲学A	2①・②	2	○					兼1	
宗教学A	1・2③・④	2	○					兼1	
ことばと文化J	1・2③・④	2	○					兼1	
基礎運動学	2①・②	1	○					兼4	オムニバス
地域「超」体験プログラム (能登珠洲)	1①・②	1			○			兼1	
地域「超」体験プログラム (能登小木)	1①・②	1			○			兼1	
地域「超」体験プログラム (白山麓)	1①・②	1			○			兼1	
地域「超」体験プログラム (五箇山)	1③・④	1			○			兼1	
地方行政	1・2③・④	2	○					兼1	
ボランティア入門	1・2①・②	2	○					兼1	
ゼミ／政治哲学入門	1・2③・④	2			○			兼1	
茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③・④	2	○					兼1	
日本の伝統芸能	1・2①・②	2	○					兼1	
金沢の歴史と文化	1・2③・④	2	○					兼2	共同
ESD 入門	1・2①・②	1	○					兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1・2①・②	1	○					兼1	
持続可能性と福祉	1・2①・③	1	○					兼1	
異文化間ディベート	1・2 ①・②・③・④	2	○					兼1	
日本の歴史からみた暦と時 間	1・2 ①・②・③・④	2	○					兼1	
日本と金沢の建築・都市	1・2①・②	2	○					兼2	共同
コミュニケーションビジネ ス	1・2③・④	2	○					兼2	共同
日本国憲法概説	1・2 ①・②・③・④	2	○					兼4	クラス分け
行政学入門	1・2①・②	2	○					兼1	
公共政策入門Ⅰ	1・2①・②	2	○					兼1	
経済学入門C	1・2③・④	2	○					兼1	
日本史要説	2③・④	2	○					兼4	オムニバス
東洋史要説	2③・④	2	○					兼3	オムニバス
法論理学入門	1・2①	2	○					兼1	
異文化理解のためのビデオ 会議ディスカッション	1・2③	1	○					兼1	
ビジネス入門	1・2①	1	○					兼1	



日本のオープンデータ活用	1・2②	1	○						兼1	
ビジネスと金融	1・2③	1	○						兼1	
世界のオープンデータ活用	1・2④	1	○						兼1	
ガラスとクリスタルⅠ	1・2②	1	○						兼1	
ガラスとクリスタルⅡ	1・2③	1	○						兼1	
英国諸島の地史Ⅰ	1・2②	1	○						兼1	
英国諸島の地史Ⅱ	1・2③	1	○						兼1	
地学実験	1・2①・②・③	2				○			兼16	クラス分け
東洋医学	3・4③・④	2	○						兼2	クラス分け
コンピュータグラフィクス 演習	1・2③・④	2				○			兼1	
生物学実験	1・2①・②	2				○			兼13	共同
実践 Web プログラミング実 習	1・2③・④	2				○			兼1	
実践システム開発工程入門	1・2③・④	2				○			兼1	
プログラミング演習	1・2③・④	2				○			兼1	
環境動態学概説Ⅰ	1・2③	1	○						兼1	
環境動態学概説Ⅱ	1・2④	1	○						兼1	
海洋生化学演習	1・2①・②	2				○			兼4	共同
動画配信サービスを用いた 情報発信演習	1・2①・②	2	○						兼1	
プレゼンテーション演習	1・2③・④	2	○						兼1	
英語セミナー	1・2②・③・④	1	○						兼7	クラス分け
英語セミナー	1・2③・④	2	○						兼2	クラス分け
ゼミ／漢文資料読解 A	1・2①・②	2				○			兼1	
ゼミ／漢文資料読解 B	1・2③・④	2				○			兼1	
ゼミ／アフリカ系人の音楽 を通じて知る現代の世界	1・2③・④	2				○			兼1	
ゼミ／角間の里山づくり春 編	1・2①	1				○			兼1	
ゼミ／角間の里山づくり秋 編	1・2③	1				○			兼1	
身体・スポーツ実技／野外 活動	1・2①・②	1				○			兼3	共同
身体・スポーツ実技／初心 者スキー	1・2③・④	1				○			兼6	共同
ゼミ／身体運動心理学	3・4①・②	2	○						兼1	
ドイツ語 A (充実クラスⅠ -1)	1③	1				○			兼1	
ドイツ語 A (充実クラスⅠ -2)	1④	1				○			兼1	

	ドイツ語 A (充実クラス II-1)	1③		1				○						兼 1		
	ドイツ語 A (充実クラス II-2)	1④		1				○						兼 1		
	フランス語 A (充実クラス I-1)	1③		1				○						兼 1		
	フランス語 A (充実クラス I-2)	1④		1				○						兼 1		
	フランス語 A (充実クラス II-1)	1③		1				○						兼 1		
	フランス語 A (充実クラス II-2)	1④		1				○						兼 1		
	中国語 A (充実クラス I-1)	1③		1				○						兼 1		
	中国語 A (充実クラス I-2)	1④		1				○						兼 1		
	中国語 A (充実クラス II-1)	1③		1				○						兼 1		
	中国語 A (充実クラス II-2)	1④		1				○						兼 1		
	小計 (101 科目)	—	0	147	0	—	0	0	0	0	0	0	0	兼 156	—	
共通教育科目計 (284 科目)		—	15	356	0	—	0	0	0	0	0	0	0	兼 617	—	
専門科目	専門基礎科目	【学域 GS 科目】														
		数学物理学演習A	1③	1			○								兼 3	2 単位以上必修 オムニバス
		数学物理学演習B	1④	1			○								兼 3	
		物質化学序論A	2①	1			○								兼 4	
		物質化学序論B	2②	1			○								兼 4	
		機械工学序論A	1③	1			○			2	1		1			
		機械工学序論B	1④	1			○			2	1		1			
		電子情報生命工学序論A	1③	1			○								兼 4	
		電子情報生命工学序論B	1④	1			○								兼 4	
		土木情報処理演習A	1③	1				○							兼 3	
		土木情報処理演習B	1④	1				○							兼 3	
		自然システム序論A	1①	1			○								兼 7	
		自然システム序論B	1②	1			○								兼 7	
		小計 (12 科目)	—	12	0	0	—	2	1	0	1	0			兼 21	—
【学域 GS 言語科目】																
学域GS言語科目 I (理工系英語 I)	2①	1			○			1	1					オムニバス		
学域GS言語科目 II (理工系英語 II)	2②	1			○			1	1					オムニバス		
小計 (2 科目)	—	2	0	0	—	1	1	0	0	0				—		
【学域共通科目】																
情報・計算科学基礎	1③		2		○			2	1					オムニバス		

計算科学	1④		2		○			2					オムニバス	
情報処理演習	1③～④		1			○		1		1			オムニバス	
工業力学	1③～④	2			○			1		1			オムニバス	
計算機リテラシー	2①～②		2		○			1	1				オムニバス	
応用物理学	3①～②		2		○							兼 1		
生命・地球学概論	1③～④		2		○							兼 16	オムニバス	
バイオ・物質循環工学概論	1③～④		2		○							兼 19	オムニバス	
国際研修A	1・2・3・4 ①・②・③・④		1			○				1				
国際研修B	1・2・3・4 ①・②・③・④		2			○				1				
小計(10科目)	—	2	16	0		—		3	6	1	2	0	兼 36	—
<b>【機械システムコース】</b>														
機械解析入門A	1③		1		○					1		2		オムニバス
機械解析入門B	1④		1		○							2		オムニバス
微分方程式及び演習	1③～④		2			○							兼 2	オムニバス
ベクトル解析及び演習	2①～②		2			○		1						オムニバス
フーリエ解析及び演習	2①～②		2			○			2					オムニバス
複素解析及び演習	2③～④		2			○		1					兼 2	オムニバス
確率・統計解析A	3③	1			○			1						
確率・統計解析B	3④	1			○			1						
材料力学Ⅰ及び演習	2①～②	2				○		3	1					オムニバス
振動工学Ⅰ及び演習	2①～②	2				○		1	1					オムニバス
流れ学Ⅰ及び演習	2③～④	2				○		1	1		1			オムニバス
材料工学A	2①		1		○			1						
材料工学B	2②		1		○			1						
基礎加工学A	2①		1		○			1						
基礎加工学B	2②		1		○			1						
熱力学Ⅰ及び演習	2③～④	2				○		1	3					オムニバス
制御工学ⅠA	2③		1		○				1					
制御工学ⅠB	2④		1		○				1					
材料力学ⅡA	2③		1		○			2	1					オムニバス
材料力学ⅡB	2④		1		○			2	1					オムニバス
小計(20科目)	—	10	18	0		—		13	11	0	3	0	兼 4	—
<b>【知能機械コース】</b>														
機械解析入門A	1③		1		○					1		2		オムニバス
機械解析入門B	1④		1		○							2		オムニバス
微分方程式及び演習	1③～④		2			○							兼 2	オムニバス
ベクトル解析及び演習	2①～②		2			○		1						オムニバス
フーリエ解析及び演習	2①～②		2			○				2				オムニバス

複素解析及び演習	2③～④		2			○		1					兼2	オムニバス
確率・統計解析A	3③	1				○		1						
確率・統計解析B	3④	1				○		1						
材料力学Ⅰ及び演習	2①～②	2				○		3	1					オムニバス
振動工学Ⅰ及び演習	2①～②	2				○		1	1					オムニバス
流れ学Ⅰ及び演習	2③～④	2				○		1	1		1			オムニバス
材料工学A	2①		1			○		1						
材料工学B	2②		1			○		1						
基礎加工学A	2①		1			○		1						
基礎加工学B	2②		1			○		1						
熱力学Ⅰ及び演習	2③～④	2				○		1	3					オムニバス
制御工学ⅠA	2③		1			○			1					
制御工学ⅠB	2④		1			○			1					
材料力学ⅡA	2③		1			○		2	1					オムニバス
材料力学ⅡB	2④		1			○		2	1					オムニバス
小計(20科目)	—	10	18	0		—		13	11	0	3	0	兼4	—
<b>【人間機械コース】</b>														
機械解析入門A	1③		1			○			1		2			オムニバス
機械解析入門B	1④		1			○					2			オムニバス
微分方程式及び演習	1③～④		2			○							兼2	オムニバス
ベクトル解析及び演習	2①～②		2			○		1						オムニバス
フーリエ解析及び演習	2①～②		2			○			2					オムニバス
複素解析及び演習	2③～④		2			○		1					兼2	オムニバス
確率・統計解析A	3③	1				○		1						
確率・統計解析B	3④	1				○		1						
信頼性工学A	3①	1				○					1			
信頼性工学B	3②	1				○					1			
材料力学Ⅰ及び演習	2①～②	2				○		3	1					オムニバス
振動工学Ⅰ及び演習	2③～④	2				○		2						オムニバス
流れ学Ⅰ及び演習	2①～②	2				○		2	1		1			オムニバス
材料工学A	2③		1			○		1						
材料工学B	2④		1			○		1						
加工学A	2①		1			○		1			1			オムニバス
加工学B	2②		1			○		1			1			オムニバス
熱力学Ⅰ及び演習	2③～④	2				○		1	3					オムニバス
制御工学ⅠA	3①		1			○			1					
制御工学ⅠB	3②		1			○			1					
材料力学ⅡA	2③		1			○		2	1					オムニバス
小計(21科目)	—	12	17	0		—		15	10	1	4	0	兼4	—
<b>【エネルギー環境コース】</b>														

機械解析入門A	1③		1		○			1		2			オムニバス	
機械解析入門B	1④		1		○					2			オムニバス	
微分方程式及び演習	1③～④		2			○						兼2	オムニバス	
ベクトル解析及び演習	2①～②		2			○		1					オムニバス	
フーリエ解析及び演習	2①～②		2			○			2				オムニバス	
複素解析及び演習	2③～④		2			○		1				兼2	オムニバス	
信頼性工学A	3①	1			○					1				
信頼性工学B	3②	1			○					1				
材料力学Ⅰ及び演習	2①～②	2				○		3	1				オムニバス	
振動工学Ⅰ及び演習	2③～④	2				○		2					オムニバス	
流れ学Ⅰ及び演習	2①～②	2				○		2	1		1		オムニバス	
材料工学A	2③		1		○			1						
材料工学B	2④		1		○			1						
加工学A	2①		1		○			1			1		オムニバス	
加工学B	2②		1		○			1			1		オムニバス	
熱力学Ⅰ及び演習	2③～④	2				○		1	3				オムニバス	
制御工学ⅠA	3①		1		○				1					
制御工学ⅠB	3②		1		○				1					
材料力学ⅡA	2③		1		○			2	1				オムニバス	
材料力学ⅡB	2④		1		○			2	1				オムニバス	
小計(20科目)	—	10	18	0	—			14	10	1	4	0	兼4	—
<b>【機械システムコース】</b>														
数学物理基礎リテラシー	1①～②	1			○								兼4	オムニバス
機械工学設計製図基礎	2③～④	2			○					1	4	1		オムニバス
計算機概論A	3③		1		○								兼1	
計算機概論B	3④		1		○								兼1	
応用プログラミング技術	3③～④		2		○			1	2		2			オムニバス
計算機プログラミング演習	3①～②	1				○					2			オムニバス
機械工学設計製図	3①～②	2			○			3	1		2			オムニバス
機械工学実験Ⅰ	3①～②	1					○	25	15	2	17	2		共同
機械工作実習	3①～②	1					○	2			3			共同
数値解析及びプログラミング演習A	3①		1			○		1						
数値解析及びプログラミング演習B	3②		1			○		1						
機械技術英語	3③～④	2			○			1	1				兼1	オムニバス
機械工学実験Ⅱ	3③～④	1					○	25	15	2	17	2		共同
技術発展史A	2①		1		○			1						
技術発展史B	2②		1		○			1						

技術と倫理A	2③	1			○		1						
技術と倫理B	2④	1			○		1						
振動工学ⅡA	2③		1		○		1						
振動工学ⅡB	2④		1		○		1						
数値解析A	2③		1		○						1		
数値解析B	2④		1		○						1		
機械材料学ⅠA	2③		1		○		1						
機械材料学ⅠB	2④		1		○		1						
流れ学ⅡA	3①		1		○		1						
流れ学ⅡB	3②		1		○		1						
機械設計学A	3①		1		○		1						
機械設計学B	3②		1		○		1						
制御工学ⅡA	3①		1		○				1				
制御工学ⅡB	3②		1		○				1				
機械材料学ⅡA	3①		1		○		1						
機械材料学ⅡB	3②		1		○		1						
熱力学ⅡA	3①		1		○				1				
熱力学ⅡB	3②		1		○				1				
エレクトロニクスA	3①		1		○				1	1			オムニバス
エレクトロニクスB	3②		1		○				1	1			オムニバス
生産システム工学A	3③		1		○		2						オムニバス
生産システム工学B	3④		1		○		2						オムニバス
計測工学A	3③		1		○				1				
計測工学B	3④		1		○				1				
構造解析学A	3③		1		○		1						
構造解析学B	3④		1		○		1						
人体科学A	2①		1		○		2						オムニバス
人体科学B	2②		1		○		2						オムニバス
環境学A	2①		1		○		1						
環境学B	2②		1		○		1						
人間工学A	2③		1		○		1	1					オムニバス
人間工学B	2④		1		○		1	1					オムニバス
物質循環工学A	2③		1		○		1						
物質循環工学B	2④		1		○		1						
応用数理解析A	2③		1		○				2				オムニバス
応用数理解析B	2④		1		○				2				オムニバス
生産工学A	2③		1		○		1			1			オムニバス
生産工学B	2④		1		○		1			1			オムニバス
ロボット工学A	3①		1		○				1	1			兼1 オムニバス
ロボット工学B	3②		1		○				1	1			オムニバス

航空宇宙工学A	3①		1	○		1	2											オムニバス
航空宇宙工学B	3②		1	○		1	2											オムニバス
レーザー工学A	3①		1	○		1												
レーザー工学B	3②		1	○		1												
バイオロボティクスA	3①		1	○									1					
バイオロボティクスB	3②		1	○									1					
環境計測学A	3①		1	○								2						オムニバス
環境計測学B	3②		1	○								2						オムニバス
メカトロニクスA	3③		1	○									1				1	オムニバス
メカトロニクスB	3④		1	○									1				1	オムニバス
伝熱工学A	3③		1	○									2					オムニバス
伝熱工学B	3④		1	○									2					オムニバス
エネルギー変換工学A	3③		1	○								1	1					オムニバス
エネルギー変換工学B	3④		1	○								1	1					オムニバス
マイクロ・ナノメカニクス A	3③		1	○								2						オムニバス
マイクロ・ナノメカニクス B	3④		1	○								2						オムニバス
トライボロジーA	3③		1	○													1	
トライボロジーB	3④		1	○													1	
生体計測A	3③		1	○									1					
生体計測B	3④		1	○									1					
生物工学A	3③		1	○								2						オムニバス
生物工学B	3④		1	○								2						オムニバス
スポーツ科学A	3③		1	○													1	
スポーツ科学B	3④		1	○													1	
エコマテリアルA	3③		1	○								1						
エコマテリアルB	3④		1	○								1						
応用伝熱学A	3③		1	○								1						
応用伝熱学B	3④		1	○								1						
エネルギー・環境工学A	3③		1	○								1						
エネルギー・環境工学B	3④		1	○								1						
機構運動学A	3③		1	○								1						
機構運動学B	3④		1	○								1						
福祉機器A	4①		1	○								1	1					兼4
福祉機器B	4②		1	○								1	1					兼4
機械機能発見	2①～②	1		○													1	1
学外技術体験実習A	3①・②・③・④		1							○	1							
学外技術体験実習B	3①・②・③・④		2							○	1							
機械機能探求	3③～④	2		○								25	15	2	17	2		オムニバス

企業開放講義	3③～④		1		○		1								
卒業研究	4通	8			○		25	15	2	17	2			クラス分け	
機械工学輪講	4①～②	1			○		25	15	2	17	2			オムニバス	
機械工学特別講義	4①～②		1		○		3							オムニバス	
工業概論	4①～②		2		○		1	1	1				兼3	オムニバス	
職業指導第1	3③～④		2		○								兼1		
職業指導第2	4①～②		2		○								兼1		
小計(100科目)	—	25	91	0	—		25	15	2	17	2		兼15	—	
<b>【知能機械コース】</b>														オムニバス	
数学物理基礎リテラシー	1①～②	1			○								兼4	オムニバス	
機械工学設計製図基礎	2③～④	2			○				1	4	1				
計算機概論A	3③		1		○								兼1		
計算機概論B	3④		1		○								兼1		
応用プログラミング技術	3③～④		2		○		1	2		2				オムニバス	
計算機プログラミング演習	3①～②	1				○				2				オムニバス	
機械工学設計製図	3①～②	2			○		3	1		2				オムニバス	
機械工学実験Ⅰ	3①～②	1				○	25	15	2	17	2			共同	
機械工作実習	3①～②	1				○	2			3				共同	
機械技術英語	3③～④	2			○		1	1					兼1	オムニバス	
機械工学実験Ⅱ	3③～④	1				○	25	15	2	17	2			共同	
技術発展史A	2①		1		○		1								
技術発展史B	2②		1		○		1								
技術と倫理A	2③	1			○		1								
技術と倫理B	2④	1			○		1								
振動工学ⅡA	2③		1		○		1								
振動工学ⅡB	2④		1		○		1								
数値解析A	2③		1		○					1					
数値解析B	2④		1		○					1					
機械材料学ⅠA	2③		1		○		1								
機械材料学ⅠB	2④		1		○		1								
流れ学ⅡA	3①		1		○		1								
流れ学ⅡB	3②		1		○		1								
機械設計学A	3①		1		○		1								
機械設計学B	3②		1		○		1								
制御工学ⅡA	3①		1		○				1						
制御工学ⅡB	3②		1		○				1						
機械材料学ⅡA	3①		1		○		1								
機械材料学ⅡB	3②		1		○		1								
熱力学ⅡA	3①		1		○				1						



熱力学ⅡB	3②	1	○	1							
エレクトロニクスA	3①	1	○	1	1						オムニバス
エレクトロニクスB	3②	1	○	1	1						オムニバス
生産システム工学A	3③	1	○	2							オムニバス
生産システム工学B	3④	1	○	2							オムニバス
計測工学A	3③	1	○	1							
計測工学B	3④	1	○	1							
構造解析学A	3③	1	○	1							
構造解析学B	3④	1	○	1							
人体科学A	2①	1	○	2							
人体科学B	2②	1	○	2							
環境学A	2①	1	○	1							
環境学B	2②	1	○	1							
人間工学A	2③	1	○	1	1						オムニバス
人間工学B	2④	1	○	1	1						オムニバス
物質循環工学A	2③	1	○	1							
物質循環工学B	2④	1	○	1							
応用数理解析A	2③	1	○	2							オムニバス
応用数理解析B	2④	1	○	2							オムニバス
生産工学A	2③	1	○	1		1				1	オムニバス
生産工学B	2④	1	○	1		1				1	オムニバス
ロボット工学A	3①	1	○	1		1				1	兼1 オムニバス
ロボット工学B	3②	1	○	1		1				1	オムニバス
航空宇宙工学A	3①	1	○	1	2						オムニバス
航空宇宙工学B	3②	1	○	1	2						オムニバス
レーザー工学A	3①	1	○	1							
レーザー工学B	3②	1	○	1							
バイオロボティクスA	3①	1	○	1						1	
バイオロボティクスB	3②	1	○	1						1	
環境計測学A	3①	1	○	2							オムニバス
環境計測学B	3②	1	○	2							オムニバス
メカトロニクスA	3③	1	○	1						1	オムニバス
メカトロニクスB	3④	1	○	1						1	オムニバス
伝熱工学A	3③	1	○	2							オムニバス
伝熱工学B	3④	1	○	2							オムニバス
エネルギー変換工学A	3③	1	○	1	1						オムニバス
エネルギー変換工学B	3④	1	○	1	1						オムニバス
マイクロ・ナノメカニクス A	3③	1	○	2							オムニバス
マイクロ・ナノメカニクス	3④	1	○	2							オムニバス

B														
トライボロジーA	3③	1		○					1					
トライボロジーB	3④	1		○					1					
生体計測A	3③	1		○				1						
生体計測B	3④	1		○				1						
生物工学A	3③	1		○			2							オムニバス
生物工学B	3④	1		○			2							オムニバス
スポーツ科学A	3③	1		○					1					
スポーツ科学B	3④	1		○					1					
エコマテリアルA	3③	1		○			1							
エコマテリアルB	3④	1		○			1							
応用伝熱学A	3③	1		○			1							
応用伝熱学B	3④	1		○			1							
エネルギー・環境工学A	3③	1		○			1							
エネルギー・環境工学B	3④	1		○			1							
機構運動学A	3③	1		○			1							
機構運動学B	3④	1		○			1							
福祉機器A	4①	1		○			1	1					兼 4	オムニバス
福祉機器B	4②	1		○			1	1					兼 4	オムニバス
機械機能発見	2①～②	1		○						1	1			オムニバス
学外技術体験実習A	3①・②・③・④	1				○	1							
学外技術体験実習B	3①・②・③・④	2				○	1							
機械機能探求	3③～④	2		○			25	15	2	17	2			オムニバス
企業開放講義	3③～④	1		○			1							オムニバス
卒業研究	4通	8		○			25	15	2	17	2			クラス分け
機械工学輪講	4①～②	1		○			25	15	2	17	2			オムニバス
機械工学特別講義	4①～②	1		○			3							オムニバス
工業概論	4①～②	2		○			1	1	1				兼 3	オムニバス
職業指導第1	3③～④	2		○									兼 1	
職業指導第2	4①～②	2		○									兼 1	
小計(98科目)	—	25	89	0	—		25	15	2	17	2		兼 15	—
<b>【人間機械コース】</b>														
数学物理基礎リテラシー	1①～②	1		○									兼 4	オムニバス
機械工学設計製図基礎	2③～④	2		○					1	4	1			オムニバス
計算機概論A	3③	1		○									兼 1	
計算機概論B	3④	1		○									兼 1	
応用プログラミング技術	3③～④	2		○			1	2		2				オムニバス
計算機プログラミング演習	3①～②	1			○					2				
機械工学設計製図	3①～②	2		○			3	1		2				オムニバス

機械工学実験Ⅰ	3①～②	1				○	25	15	2	17	2		共同
機械工作実習	3①～②	1				○	2			3			共同
数値解析及びプログラミング演習A	3①		1			○	1						
数値解析及びプログラミング演習B	3②		1			○	1						
機械技術英語	3①～②	2				○	1	1				兼1	オムニバス
機械工学実験Ⅱ	3③～④	1				○	25	15	2	17	2		共同
技術発展史A	2①		1			○	1						
技術発展史B	2②		1			○	1						
技術と倫理A	2③	1				○	1						
技術と倫理B	2④	1				○	1						
振動工学ⅡA	3①		1			○	1						
振動工学ⅡB	3②		1			○	1						
数値解析A	2③		1			○				1			
数値解析B	2④		1			○				1			
機械材料学ⅠA	2③		1			○	1						
機械材料学ⅠB	2④		1			○	1						
機械要素A	2③		1			○	1						
機械要素B	2④		1			○	1						
流れ学ⅡA	2③		1			○	1						
流れ学ⅡB	2④		1			○	1						
制御工学ⅡA	3③		1			○			1				
制御工学ⅡB	3④		1			○			1				
機械材料学ⅡA	3①		1			○	1						
機械材料学ⅡB	3②		1			○	1						
エレクトロニクスA	3①		1			○			1	1			オムニバス
エレクトロニクスB	3②		1			○			1	1			オムニバス
機械創造学A	3①		1			○	1						
機械創造学B	3②		1			○	1						
材料設計学A	3①		1			○	1						
材料設計学B	3②		1			○	1						
伝熱学A	3①		1			○	1						
伝熱学B	3②		1			○	1						
計測工学A	3③		1			○			1				
計測工学B	3④		1			○			1				
構造解析学A	3③		1			○	1						
構造解析学B	3④		1			○	1						
知的生産システムA	3③		1			○	1						
知的生産システムB	3④		1			○	1						

人体科学A	2①	1		○		2				オムニバス
人体科学B	2②	1		○		2				オムニバス
環境学A	2①		1	○		1				
環境学B	2②		1	○		1				
人間工学A	2③		1	○		1	1			オムニバス
人間工学B	2④		1	○		1	1			オムニバス
物質循環工学A	2③		1	○		1				
物質循環工学B	2④		1	○		1				
応用数理解析A	2③		1	○				2		オムニバス
応用数理解析B	2④		1	○				2		オムニバス
航空宇宙工学A	3①		1	○		1	2			オムニバス
航空宇宙工学B	3②		1	○		1	2			オムニバス
レーザー工学A	3①		1	○		1				
レーザー工学B	3②		1	○		1				
バイオロボティクスA	3①		1	○				1		
バイオロボティクスB	3②		1	○				1		
環境計測学A	3①		1	○		2				オムニバス
環境計測学B	3②		1	○		2				オムニバス
エネルギー変換工学A	3③		1	○		1	1			オムニバス
エネルギー変換工学B	3④		1	○		1	1			オムニバス
マイクロ・ナノメカニクス A	3③		1	○		2				オムニバス
マイクロ・ナノメカニクス B	3④		1	○		2				オムニバス
トライボロジーA	3③		1	○				1		
トライボロジーB	3④		1	○				1		
生体計測A	3③		1	○			1			
生体計測B	3④		1	○			1			
生物工学A	3③		1	○		2				オムニバス
生物工学B	3④		1	○		2				オムニバス
スポーツ科学A	3③		1	○				1		
スポーツ科学B	3④		1	○				1		
エコマテリアルA	3③		1	○		1				
エコマテリアルB	3④		1	○		1				
応用伝熱学A	3③		1	○		1				
応用伝熱学B	3④		1	○		1				
エネルギー・環境工学A	3③		1	○		1				
エネルギー・環境工学B	3④		1	○		1				
機構運動学A	3③		1	○		1				
機構運動学B	3④		1	○		1				

福祉機器A	4①		1	○		1	1				兼4	オムニバス
福祉機器B	4②		1	○		1	1				兼4	オムニバス
工業デザインA	4①		1	○		1					兼4	オムニバス
工業デザインB	4②		1	○		1					兼4	オムニバス
機械解剖実習	2①～②	1				○	1		1			共同
創造デザイン実習	3①～②	2				○	2	1	1			共同
学外技術体験実習A	3①・②・③・④		1			○	1					
学外技術体験実習B	3①・②・③・④		2			○	1					
機械工学ゼミナール	3③～④	1		○		25	15	2	17	2		オムニバス
企業開放講義	3③～④		1	○		1						
卒業研究	4通	8		○		25	15	2	17	2		クラス分け
機械工学輪講	4①～②	1		○		25	15	2	17	2		オムニバス
機械工学特別講義	4①～②	1		○		3						オムニバス
工業概論	4①～②	2		○		1	1	1			兼3	オムニバス
職業指導第1	3③～④	2		○							兼1	
職業指導第2	4①～②	2		○							兼1	
小計(99科目)	—	28	87	0	—	25	15	2	17	2	兼18	—
<b>【エネルギー環境コース】</b>												
数学物理基礎リテラシー	1①～②	1		○							兼4	オムニバス
機械工学設計製図基礎	2③～④	2		○				1	4	1		オムニバス
計算機概論A	3③		1	○							兼1	
計算機概論B	3④		1	○							兼1	
応用プログラミング技術	3③～④	2		○		1	2		2			オムニバス
計算機プログラミング演習	2③～④	1			○				2			オムニバス
機械工学実験Ⅰ	3①～②	1				○	25	15	2	17	2	共同
機械工作実習	3①～②	1				○	2		3			共同
数値解析及びプログラミング演習A	3①		1			○	1					
数値解析及びプログラミング演習B	3②		1			○	1					
機械技術英語	3①～②	2		○		1	1				兼1	オムニバス
機械工学実験Ⅱ	3③～④	1				○	25	15	2	17	2	共同
技術発展史A	2①		1	○		1						
技術発展史B	2②		1	○		1						
技術と倫理A	2③		1	○		1						
技術と倫理B	2④		1	○		1						
振動工学ⅡA	3①		1	○		1						
振動工学ⅡB	3②		1	○		1						
機械要素A	2③		1	○		1						

機械要素B	2④		1	○		1					
流れ学ⅡA	2③		1	○		1					
流れ学ⅡB	2④		1	○		1					
制御工学ⅡA	3③		1	○			1				
制御工学ⅡB	3④		1	○			1				
機械材料学ⅡA	3①		1	○		1					
機械材料学ⅡB	3②		1	○		1					
エレクトロニクスA	3①		1	○			1	1			オムニバス
エレクトロニクスB	3②		1	○			1	1			オムニバス
機械創造学A	3①		1	○		1					
機械創造学B	3②		1	○		1					
材料設計学A	3①		1	○		1					
材料設計学B	3②		1	○		1					
伝熱学A	3①		1	○		1					
伝熱学B	3②		1	○		1					
計測工学A	3③		1	○			1				
計測工学B	3④		1	○			1				
構造解析学A	3③		1	○		1					
構造解析学B	3④		1	○		1					
知的生産システムA	3③		1	○		1					
知的生産システムB	3④		1	○		1					
人体科学A	2①		1	○		2					オムニバス
人体科学B	2②		1	○		2					オムニバス
環境学A	2①	1		○		1					
環境学B	2②	1		○		1					
人間工学A	2③		1	○		1	1				オムニバス
人間工学B	2④		1	○		1	1				オムニバス
物質循環工学A	2③		1	○		1					
物質循環工学B	2④		1	○		1					
応用数理解析A	2③		1	○			2				オムニバス
応用数理解析B	2④		1	○			2				オムニバス
航空宇宙工学A	3①		1	○		1	2				オムニバス
航空宇宙工学B	3②		1	○		1	2				オムニバス
レーザー工学A	3①		1	○		1					
レーザー工学B	3②		1	○		1					
バイオリボティクスA	3①		1	○			1				
バイオリボティクスB	3②		1	○			1				
環境計測学A	3①		1	○		2					オムニバス
環境計測学B	3②		1	○		2					オムニバス
エネルギー変換工学A	3③		1	○		1	1				オムニバス

エネルギー変換工学B	3④		1		○		1	1						オムニバス
マイクロ・ナノメカニクス A	3③		1		○		2							オムニバス
マイクロ・ナノメカニクス B	3④		1		○		2							オムニバス
トライボロジーA	3③		1		○					1				
トライボロジーB	3④		1		○					1				
生体計測A	3③		1		○					1				
生体計測B	3④		1		○					1				
生物工学A	3③		1		○		2							オムニバス
生物工学B	3④		1		○		2							オムニバス
スポーツ科学A	3③		1		○						1			
スポーツ科学B	3④		1		○						1			
エコマテリアルA	3③		1		○		1							
エコマテリアルB	3④		1		○		1							
応用伝熱学A	3③		1		○		1							
応用伝熱学B	3④		1		○		1							
エネルギー・環境工学A	3③		1		○		1							
エネルギー・環境工学B	3④		1		○		1							
機構運動学A	3③		1		○		1							
機構運動学B	3④		1		○		1							
福祉機器A	4①		1		○		1	1					兼 4	オムニバス
福祉機器B	4②		1		○		1	1					兼 4	オムニバス
工業デザインA	4①		1		○		1						兼 4	オムニバス
工業デザインB	4②		1		○		1						兼 4	オムニバス
機械解剖実習	2①～②	1					○	1			1			共同
創造デザイン実習	3①～②	2					○	2	1		1			共同
学外技術体験実習A	3①・②・③・④	1					○	1						
学外技術体験実習B	3①・②・③・④	2					○	1						
機械工学ゼミナール	3③～④	1			○		25	15	2	17	2			オムニバス
企業開放講義	3③～④	1			○		1							
卒業研究	4通	8			○		25	15	2	17	2			クラス分け
機械工学輪講	4①～②	1			○		25	15	2	17	2			オムニバス
機械工学特別講義	4①～②	1			○		3							オムニバス
工業概論	4①～②	2			○		1	1	1				兼 3	オムニバス
職業指導第1	3③～④	2			○								兼 1	
職業指導第2	4①～②	2			○								兼 1	
小計(94科目)	—	26	83	0	—		25	15	2	17	2	兼 18	—	
専門科目計(496科目)	—	162	437	0	—		25	15	2	17	2	兼 139	—	
合計(780科目)	—	177	793	0	—		25	15	2	17	2	兼 756	—	

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設:理工学域 電子情報学類)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1			○								兼 73	クラス分け
	初学者ゼミ I	1①・②・③	1				○							兼 84	クラス分け
	情報処理基礎	1①	1				○							兼 61	クラス分け
	地域概論	1①・②	1				○							兼 69	クラス分け
	小計(4科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼 256	—
共通教育科目 GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の政治経済学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	グローバル時代の社会学	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け
	ケーススタディによる応用倫理学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	地球生物圏と人間	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	物理の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	化学の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	哲学(自我論)	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	パーソナリティ心理学	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の文学	1①・②・③・④		1		○								兼 6	クラス分け
	健康科学	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け
	細胞・分子生物学	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	エクササイズ&スポーツ実技	1①・②・③・④		1				○						兼 18	クラス分け
	プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)	1①・②	1				○							兼 86	クラス分け
	クリティカル・シンキング	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	価値と情動の認知科学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	論理学から見る世界	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	数学的発想法	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	芸術と自己表現	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	スポーツ科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
金沢・能登と世界の地域文化	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け	
日本史・日本文化	1②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け	
異文化間コミュニケーション	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け	



	異文化体験	1②・④	1			○							兼2	クラス分け
	異文化体験	1②・④	2			○							兼4	クラス分け
	異文化体験	1②・④	3			○							兼6	クラス分け
	異文化体験	1②・④	4			○							兼3	クラス分け
	異文化体験	1②・④	5			○							兼1	
	異文化体験	1②・④	6			○							兼1	
	異文化体験	1②・④	7			○							兼1	
	異文化体験	1②・④	8			○							兼1	
	国際社会とボランティア	1①・②・③・④	1		○								兼3	クラス分け
	グローバル社会と地域の課題	1①・③・④	1		○								兼1	
	科学技術と科学方法論	1①・②・③・④	1		○								兼7	クラス分け
	統計学から未来を見る	1①・②・③・④	1		○								兼2	クラス分け
	情報の科学	1①・②・③・④	1		○								兼4	クラス分け
	環境学とESD	1①・②・③・④	1		○								兼2	クラス分け
	生活と社会保障	1③・④	1		○								兼3	クラス分け
	人権・ジェンダー論	1①・②・③・④	1		○								兼5	クラス分け
	小計 (39 科目)	—	1	66	0	—	0	0	0	0	0		兼221	—
G S 言 語 科 目 ( 英 語)	TOEIC 準備 I	1①	1			○							兼28	クラス分け
	TOEIC 準備 II	1②	1			○							兼28	クラス分け
	TOEIC 準備 III	1③	1			○							兼31	クラス分け
	TOEIC 準備 IV	1④	1			○							兼31	クラス分け
	TOEIC 準備 (演習)	2①・②・③・④	1			○							兼2	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) I	1①	1			○							兼25	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) II	1①	1			○							兼27	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) III	1③	1			○							兼36	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) IV	1④	1			○							兼36	クラス分け
	EAP (Retake)	1①・②・③・④	1			○							兼14	クラス分け
G S 言 語 科 目 ( 日 本 語)	アカデミック基礎日本語 A	1①・③	1			○							兼2	クラス分け
	アカデミック基礎日本語 B	1②・④	1			○							兼2	クラス分け
	アカデミック・ライティング I A	1①・③	1			○							兼1	
	アカデミック・ライティング I B	1②・④	1			○							兼1	
	アカデミック・ライティング II A	1①・③	1			○							兼1	
	アカデミック・ライティング II B	1②・④	1			○							兼1	

	講義の聴解 A	1①・③		1		○								兼 1	
	講義の聴解 B	1②・④		1		○								兼 1	
	口頭発表 I A	1③		1		○								兼 1	
	口頭発表 I B	1④		1		○								兼 1	
	口頭発表 II A	1①		1		○								兼 1	
	口頭発表 II B	1②		1		○								兼 1	
	上級読解 I A	1①		1		○								兼 1	
	上級読解 I B	1②		1		○								兼 1	
	上級読解 II A	1③		1		○								兼 1	
	上級読解 II B	1④		1		○								兼 1	
	日本事情 A	1①・③		1		○								兼 1	
	日本事情 B	1②・④		1		○								兼 1	
	日本語で学ぶ論理 A	1③		1		○								兼 1	
	日本語で学ぶ論理 B	1④		1		○								兼 1	
	小計 (30 科目)	—	10	20	0	—			0	0	0	0	0	兼 64	—
基礎科目	微分積分学第一	1①・②		2		○								兼 9	クラス分け
	微分積分学第二	1③・④		2		○								兼 7	クラス分け
	線形代数学第一	1①・②		2		○								兼 10	クラス分け
	線形代数学第二	1③・④		2		○								兼 7	クラス分け
	統計数学	1③・④		2		○								兼 3	クラス分け
	物理学 I	1①・②		2		○								兼 16	クラス分け
	物理学 II	1①・②・③・④		2		○								兼 15	クラス分け
	物理学実験	1①・②・③・④		2				○						兼 32	クラス分け
	化学 I	1①・②		2		○								兼 11	クラス分け
	化学 II	1③・④		2		○								兼 7	クラス分け
	化学実験	1①・②・③・④		2				○						兼 15	クラス分け
	化学実験	2①		1				○						兼 11	クラス分け
	地学 I	1①・②		2		○								兼 4	クラス分け
	地学 II	1③・④		2		○								兼 1	
	小計 (14 科目)	—	0	27	0	—			0	0	0	0	0	兼 106	—
初習言語科目	ドイツ語 A1-1	1①・③		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A1-2	1②・④		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-1	1①・③		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-2	1②・④		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-1	1①・③		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-2	1②・④		1		○								兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A4-1	1①・③		1		○								兼 7	クラス分け
	ドイツ語 A4-2	1②・④		1		○								兼 7	クラス分け
	ドイツ語 B-1	2①		1		○								兼 3	クラス分け
	ドイツ語 B-2	2②		1		○								兼 3	クラス分け
	ドイツ語 C-1	2①・③		1		○								兼 2	クラス分け

ドイツ語 C-2	2②・④	1	○						兼2	クラス分け
フランス語 A1-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A1-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A2-1	1①・③	1	○						兼5	クラス分け
フランス語 A2-2	1②・④	1	○						兼5	クラス分け
フランス語 A3-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A3-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A4-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A4-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 B-1	2①・③	1	○						兼6	クラス分け
フランス語 B-2	2②・④	1	○						兼6	クラス分け
フランス語 C-1	2①・③	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 C-2	2②・④	1	○						兼4	クラス分け
ロシア語 A1-1	1①	1	○						兼1	
ロシア語 A1-2	1②	1	○						兼1	
ロシア語 A2-1	1①	1	○						兼1	
ロシア語 A2-2	1②	1	○						兼1	
ロシア語 A3-1	1③	1	○						兼1	
ロシア語 A3-2	1④	1	○						兼1	
ロシア語 A4-1	1③	1	○						兼1	
ロシア語 A4-2	1④	1	○						兼1	
ロシア語 B-1	2①・③	1	○						兼1	
ロシア語 B-2	2②・④	1	○						兼1	
ロシア語 C-1	2①・③	1	○						兼1	
ロシア語 C-2	2②・④	1	○						兼1	
中国語 A1-1	1①・③	1	○						兼6	クラス分け
中国語 A1-2	1②・④	1	○						兼6	クラス分け
中国語 A2-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
中国語 A2-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
中国語 A3-1	1①・③	1	○						兼5	クラス分け
中国語 A3-2	1②・④	1	○						兼5	クラス分け
中国語 A4-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
中国語 A4-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
中国語 B-1	2①・③	1	○						兼3	クラス分け
中国語 B-2	2②・④	1	○						兼3	クラス分け
中国語 C-1	2①・③	1	○						兼3	クラス分け
中国語 C-2	2②・④	1	○						兼3	クラス分け
朝鮮語 A1-1	1①・③	1	○						兼2	クラス分け
朝鮮語 A1-2	1②・④	1	○						兼2	クラス分け
朝鮮語 A2-1	1①・③	1	○						兼2	クラス分け
朝鮮語 A2-2	1②・④	1	○						兼2	クラス分け
朝鮮語 A3-1	1①・③	1	○						兼1	

朝鮮語 A3-2	1②・④	1	○						兼1	
朝鮮語 A4-1	1①・③	1	○						兼1	
朝鮮語 A4-2	1②・④	1	○						兼1	
朝鮮語 B-1	2①・③	1	○						兼1	
朝鮮語 B-2	2②・④	1	○						兼1	
朝鮮語 C-1	2①・③	1	○						兼2	クラス分け
朝鮮語 C-2	2②・④	1	○						兼2	クラス分け
ギリシャ語 A1-1	1①	1	○						兼1	
ギリシャ語 A1-2	1②	1	○						兼1	
ギリシャ語 A2-1	1③	1	○						兼1	
ギリシャ語 A2-2	1④	1	○						兼1	
ギリシャ語 A3-1	1①	1	○						兼1	
ギリシャ語 A3-2	1②	1	○						兼1	
ギリシャ語 A4-1	1③	1	○						兼1	
ギリシャ語 A4-2	1④	1	○						兼1	
ギリシャ語 B-1	1①	1	○						兼1	
ギリシャ語 B-2	1②	1	○						兼1	
ギリシャ語 C-1	1③	1	○						兼1	
ギリシャ語 C-2	1④	1	○						兼1	
ラテン語 A1-1	1①	1	○						兼2	クラス分け
ラテン語 A1-2	1②	1	○						兼2	クラス分け
ラテン語 A2-1	1③	1	○						兼2	クラス分け
ラテン語 A2-2	1④	1	○						兼2	クラス分け
ラテン語 A3-1	1①	1	○						兼1	
ラテン語 A3-2	1②	1	○						兼1	
ラテン語 A4-1	1③	1	○						兼1	
ラテン語 A4-2	1④	1	○						兼1	
ラテン語 B-1	1①	1	○						兼1	
ラテン語 B-2	1②	1	○						兼1	
ラテン語 C-1	1③	1	○						兼1	
ラテン語 C-2	1④	1	○						兼1	
スペイン語 A1-1	1①	1	○						兼1	
スペイン語 A1-2	1②	1	○						兼1	
スペイン語 A2-1	1①	1	○						兼1	
スペイン語 A2-2	1②	1	○						兼1	
スペイン語 A3-1	1③	1	○						兼1	
スペイン語 A3-2	1④	1	○						兼1	
スペイン語 A4-1	1③	1	○						兼1	
スペイン語 A4-2	1④	1	○						兼1	
スペイン語 B-1	2①	1	○						兼1	
スペイン語 B-2	2②	1	○						兼1	

	スペイン語 C-1	2③		1		○							兼 1	
	スペイン語 C-2	2④		1		○							兼 1	
	小計 (96 科目)	—	0	96	0	—		0	0	0	0	0	兼 45	—
自由履修科目	ジャーナリズム論	1・2③		1		○							兼 1	
	石川県の行政	1・2③・④		2		○							兼 1	
	石川県の市町	1・2①・②		2		○							兼 1	
	キャリアディベロップメント実践	3・4①・②		2		○							兼 2	共同
	健康論実践 D	1・2③・④		1		○							兼 4	共同
	健康論実践 E	1・2③・④		1		○							兼 2	共同
	能登の世界農業遺産を学ぶ スタディ・ツアー	1・2①・②		1		○							兼 8	共同
	里山体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1		○							兼 6	共同
	里海体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1		○							兼 6	共同
	地元学 A (地域資源調査)	1・2①		1		○							兼 1	
	地元学 B (聞き書き)	1・2②		1		○							兼 1	
	生と死を見つめて	1・2②		1		○							兼 6	オムニバス
	実践アントレプレナー学	1・2①・②		1		○							兼 8	オムニバス
	クラウド時代の「ものグラミング」概論	1・2①・②		2		○							兼 3	共同
	シェルスクリプト言語論	1・2①・②		2		○							兼 2	共同
	マスメディアと現代を読み解く	1・2②		1		○							兼 1	
	ライフキャリアデザイン	1・2③・④		2		○							兼 1	
	ダイバーシティとインクルージョン	1・2②		1		○							兼 3	共同
	キャリアディベロップメント	1・2①・②		2		○							兼 1	
	ファシリテーション入門	1・2②・④		1		○							兼 3	共同
	学生・学習論	1・2①		1		○							兼 2	共同
	コーヒーの世界	1・2③・④		2		○							兼 13	オムニバス
	画像解剖学	2・3・4③・④		1		○							兼 1	
	よくわかる健康と病気	1・2③・④		1		○							兼 1	
	国際協力と地域のグローバル化	1・2③・④		2		○							兼 1	
	心と体の健康	1・2③		1		○							兼 3	共同
	死と喪失	1・2①・②・④		1		○							兼 1	
	ひとのからだ I	1・2①・②		2		○							兼 1	
	ひとのからだ II	1・2③・④		2		○							兼 1	
	基礎病態学	1・2③・④		1		○							兼 1	
哲学 A	2①・②		2		○							兼 1		

宗教学 A	1・2③・④	2	○				兼1	
ことばと文化 J	1・2③・④	2	○				兼1	
基礎運動学	2①・②	1	○				兼4	オムニバス
地域「超」体験プログラム(能登珠洲)	1①・②	1			○		兼1	
地域「超」体験プログラム(能登小木)	1①・②	1			○		兼1	
地域「超」体験プログラム(白山麓)	1①・②	1			○		兼1	
地域「超」体験プログラム(五箇山)	1③・④	1			○		兼1	
地方行政	1・2③・④	2	○				兼1	
ボランティア入門	1・2①・②	2	○				兼1	
ゼミ/政治哲学入門	1・2③・④	2			○		兼1	
茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③・④	2	○				兼1	
日本の伝統芸能	1・2①・②	2	○				兼1	
金沢の歴史と文化	1・2③・④	2	○				兼2	共同
ESD 入門	1・2①・②	1	○				兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1・2①・②	1	○				兼1	
持続可能性と福祉	1・2①・③	1	○				兼1	
異文化間ディベート	1・2	2	○				兼1	
	①・②・③・④							
日本の歴史からみた暦と時間	1・2	2	○				兼1	
	①・②・③・④							
日本と金沢の建築・都市	1・2①・②	2	○				兼2	共同
コミュニケーションビジネス	1・2③・④	2	○				兼2	共同
日本国憲法概説	1・2	2	○				兼4	クラス分け
	①・②・③・④							
行政学入門	1・2①・②	2	○				兼1	
公共政策入門 I	1・2①・②	2	○				兼1	
経済学入門 C	1・2③・④	2	○				兼1	
日本史要説	2③・④	2	○				兼4	オムニバス
東洋史要説	2③・④	2	○				兼3	オムニバス
法論理学入門	1・2①	2	○				兼1	
異文化理解のためのビデオ	1・2③	1	○				兼1	
会議ディスカッション								
ビジネス入門	1・2①	1	○				兼1	
日本のオープンデータ活用	1・2②	1	○				兼1	
ビジネスと金融	1・2③	1	○				兼1	
世界のオープンデータ活用	1・2④	1	○				兼1	
ガラスとクリスタル I	1・2②	1	○				兼1	

ガラスとクリスタルⅡ	1・2③	1	○					兼1	
英国諸島の地史Ⅰ	1・2②	1	○					兼1	
英国諸島の地史Ⅱ	1・2③	1	○					兼1	
地学実験	1・2①・②・③	2			○			兼16	クラス分け
東洋医学	3・4③・④	2	○					兼2	クラス分け
コンピュータグラフィクス 演習	1・2③・④	2			○			兼1	
生物学実験	1・2①・②	2			○			兼13	共同
実践Webプログラミング実習	1・2③・④	2			○			兼1	
実践システム開発工程入門	1・2③・④	2			○			兼1	
プログラミング演習	1・2③・④	2			○			兼1	
環境動態学概説Ⅰ	1・2③	1	○					兼1	
環境動態学概説Ⅱ	1・2④	1	○					兼1	
海洋生化学演習	1・2①・②	2			○			兼4	共同
動画配信サービスを用いた 情報発信演習	1・2①・②	2	○					兼1	
プレゼンテーション演習	1・2③・④	2	○					兼1	
英語セミナー	1・2②・③・④	1	○					兼7	クラス分け
英語セミナー	1・2③・④	2	○					兼2	クラス分け
ゼミ／漢文資料読解A	1・2①・②	2			○			兼1	
ゼミ／漢文資料読解B	1・2③・④	2			○			兼1	
ゼミ／アフリカ系人の音楽 を通じて知る現代の世界	1・2③・④	2			○			兼1	
ゼミ／角間の里山づくり春 編	1・2①	1			○			兼1	
ゼミ／角間の里山づくり秋 編	1・2③	1			○			兼1	
身体・スポーツ実技／野外活 動	1・2①・②	1			○			兼3	共同
身体・スポーツ実技／初心者 スキー	1・2③・④	1			○			兼6	共同
ゼミ／身体運動心理学	3・4①・②	2	○					兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1			○			兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1			○			兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1			○			兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1			○			兼1	
フランス語A(充実クラスⅠ -1)	1③	1			○			兼1	
フランス語A(充実クラスⅠ -2)	1④	1			○			兼1	
フランス語A(充実クラスⅡ	1③	1			○			兼1	

		-1) フランス語 A (充実クラス II)	1④	1										兼 1		
		-2) 中国語 A (充実クラス I-1)	1③	1										兼 1		
		中国語 A (充実クラス I-2)	1④	1										兼 1		
		中国語 A (充実クラス II-1)	1③	1										兼 1		
		中国語 A (充実クラス II-2)	1④	1										兼 1		
		小計 (101 科目)	—	0	147	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 156	—	
共通教育科目計 (284 科目)			—	15	356	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 617	—	
専 門 科 目	専 門 基 礎 科 目	【学域 GS 科目】														
		数学物理学演習A	1③	1				○							兼 3	2単位以上必修 オムニバス
		数学物理学演習B	1④	1				○							兼 3	
		物質化学序論A	2①	1				○							兼 4	
		物質化学序論B	2②	1				○							兼 4	
		機械工学序論A	1③	1				○							兼 4	
		機械工学序論B	1④	1				○							兼 4	
		電子情報生命工学序論A	1③	1				○			4					
		電子情報生命工学序論B	1④	1				○			4					
		土木情報処理演習A	1③	1					○						兼 3	
		土木情報処理演習B	1④	1					○						兼 3	
		自然システム序論A	1①	1					○						兼 7	
		自然システム序論B	1②	1					○						兼 7	
		小計 (12 科目)	—	12	0	0	—	4	0	0	0	0	0	0	兼 21	—
				【学域 GS 言語科目】												
		学域GS言語科目 I (理工系英語 I)	2①	1								2			オムニバス	
		学域GS言語科目 II (理工系英語 II)	2②	1								2			オムニバス	
		小計 (2 科目)	—	2	0	0	—	0	0	0	2				—	
		【学域共通科目】														
		情報・計算科学基礎	1③	2						2	1				オムニバス	
		計算科学	1④	2						2					オムニバス	
		情報処理演習	1③～④	1				○		1		1			オムニバス	
		工業力学	1③～④	2				○		1		1			オムニバス	
		計算機リテラシー	2①～②	2				○		1	1				オムニバス	
		応用物理学	3①～②	2				○						兼 1		
		生命・地球学概論	1③～④	2				○						兼 16	オムニバス	
		バイオ・物質循環工学概論	1③～④	2				○						兼 19	オムニバス	
		国際研修A	1・2・3・4 ①・②・③・④	1					○	1						



国際研修B	1・2・3・4 ①・②・③・④		2			○		1						
小計(10科目)	—	2	16	0	—			4	5	1	2	0	兼36	—
<b>【電気電子コース】</b>														
微分方程式及び演習	1③～④		2			○		1						
フーリエ解析及び演習	2①～②		2			○			1					
ベクトル解析及び演習	2①～②		2			○		1						
力学	2①～②		2		○				1					
熱・統計力学	2①～②		2		○			1						
データセット解析及び演習	2①～②		2			○		1						
離散系数学	2①～②		2		○						1			
複素解析及び演習	2③～④		2			○		1						
確率及び演習	2③～④		2			○							兼1	
プログラミング序論	2①～②	2			○			1		1				オムニバス
電気回路第1及び演習	2①～②	2				○		1						
電気回路第2及び演習	2③～④	2				○		1						
電子回路第1及び演習	2③～④	2				○		1						
電気磁気学第1及び演習	2①～②	2				○			1					
論理回路	2①～②	2				○				1				
電気磁気学第2及び演習	2③～④	2				○		1						
アルゴリズム論	2③～④	2			○				1					
分子生物情報学	2①～②	2			○				1					
バイオインフォマティクス	2③～④	2			○			1						
電子回路第2及び演習	3①～②	2				○		1						
ゲノム情報処理	3①～②	2			○						1			
小計(21科目)	—	16	26	0	—			10	5	2	2	0	兼1	—
<b>【情報システムコース】</b>														
微分方程式及び演習	1③～④		2			○		1						
フーリエ解析及び演習	2①～②		2			○			1					
ベクトル解析及び演習	2①～②		2			○		1						
力学	2①～②		2		○				1					
熱・統計力学	2①～②		2		○			1						
データセット解析及び演習	2①～②		2			○		1						
離散系数学	2①～②		2		○						1			
複素解析及び演習	2③～④		2			○		1						
確率及び演習	2③～④		2			○							兼1	
プログラミング序論	2①～②	2			○			1		1				オムニバス
電気回路第1及び演習	2①～②	2				○		1						
電気回路第2及び演習	2③～④	2				○		1						
電子回路第1及び演習	2①～②	2				○		1						

論理回路	2①～②	2			○			1							
信号とシステム	2③～④	2			○				1						
計算機システム	2③～④	2			○		1								
情報理論	2③～④	2			○		1	1							オムニバス
アルゴリズム論	2③～④	2			○			1							
分子生物情報学	2①～②	2			○			1							
バイオインフォマティクス	2③～④	2			○		1								
ゲノム情報処理	3①～②	2			○						1				
小計(21科目)	—	18	24	0	—		11	6	2	2	0	兼1	—		
<b>【生命情報コース】</b>															
微分方程式及び演習	1③～④	2			○		1								
フーリエ解析及び演習	2①～②	2			○			1							
ベクトル解析及び演習	2①～②	2			○		1								
力学	2①～②	2			○			1							
熱・統計力学	2①～②	2			○		1								
データセット解析及び演習	2①～②	2			○		1								
離散系数学	2①～②	2			○					1					
複素解析及び演習	2③～④	2			○		1								
確率及び演習	2③～④	2			○									兼1	
プログラミング序論	2①～②	2			○		1		1						オムニバス
電気回路第1及び演習	2①～②	2			○		1								
電気回路第2及び演習	2③～④	2			○		1								
電子回路第1及び演習	2①～②	2			○		1								
論理回路	2①～②	2			○			1							
信号とシステム	2③～④	2			○				1						
計算機システム	2③～④	2			○		1								
情報理論	2③～④	2			○		1	1							オムニバス
アルゴリズム論	2③～④	2			○			1							
分子生物情報学	2①～②	2			○			1							
バイオインフォマティクス	2③～④	2			○		1								
ゲノム情報処理	3①～②	2			○					1					
小計(21科目)	—	18	24	0	—		11	6	2	2	0	兼1	—		
<b>【電気電子コース】</b>															
プログラミング演習	2③～④	1			○				1						
電気電子工学実験第1	2③～④	2				○	2	4							共同
電気電子工学実験第2	3①～②	2				○	1	1	1	1					共同
電気電子工学実験第3	3③～④	2				○		2	2						共同
自主課題研究	3③～④	1			○		3	3							オムニバス
計算機システム	2③～④	2			○		1								
システム制御基礎	2③～④	2			○			1							

数値解析	2③～④	2	○			1			
電気エネルギー変換工学	2③～④	2	○				1		
半導体工学	2③～④	2	○		1	1			オムニバス
形式言語論とオートマトン	2③～④	2	○		1				
集積回路工学第1	3①～②	2	○		1				
通信工学	3①～②	2	○		1				
信号処理	3①～②	2	○			2			オムニバス
量子力学	3①～②	2	○		1				
電気エネルギー伝送工学	3①～②	2	○		1			兼1	オムニバス
電気機器学	3①～②	2	○		1				
電子デバイス	3①～②	2	○		1				
電磁波論	3①～②	2	○			1			
伝送回路	3①～②	2	○		1				
システム制御 I	3①～②	2	○			1			
システム最適化	3①～②	2	○		1				
コンパイラ	3①～②	2	○		1				
計算機アーキテクチャ	3①～②	2	○		1				
情報基礎数理	3①～②	2	○		1				
パターン認識	3①～②	2	○				1		
情報セキュリティ	3①～②	2	○		1		1		オムニバス
自動設計・製図A	3③	1	○			1			
自動設計・製図B	3④	1	○			1			
集積回路工学第2A	3③	1	○		2				オムニバス
集積回路工学第2B	3④	1	○		2				オムニバス
情報理論A	3③	1	○		1	1			オムニバス
情報理論B	3④	1	○		1	1			オムニバス
パワーエレクトロニクスA	3③	1	○			1			
パワーエレクトロニクスB	3④	1	○			1			
計測工学A	3③	1	○		1				
計測工学B	3④	1	○		1				
高電圧プラズマ工学A	3③	1	○		1				
高電圧プラズマ工学B	3④	1	○		1				
電子物性A	3③	1	○		1				
電子物性B	3④	1	○		1				
光エレクトロニクスA	3③	1	○			1			
光エレクトロニクスB	3④	1	○			1			
電気エネルギー発生工学A	3③	1	○		1				
電気エネルギー発生工学B	3④	1	○		1				
電気電子材料A	3③	1	○			1			
電気電子材料B	3④	1	○			1			

システム制御ⅡA	3③	1	○		1													
システム制御ⅡB	3④	1	○		1													
デジタル通信A	3③	1	○		1													
デジタル通信B	3④	1	○		1													
データベース論A	3③	1	○								1							
データベース論B	3④	1	○								1							
デジタル電子回路A	3③	1	○		1													
デジタル電子回路B	3④	1	○		1													
オペレーティングシステム A	3③	1	○		1													
オペレーティングシステム B	3④	1	○		1													
画像情報処理A	3③	1	○											1				
画像情報処理B	3④	1	○											1				
無線工学A	3③	1	○		1													
無線工学B	3④	1	○		1													
力学系入門A	3③	1	○											1				
力学系入門B	3④	1	○											1				
音声音響情報処理A	3③	1	○		1													
音声音響情報処理B	3④	1	○		1													
集積回路設計及び演習A	4①	1		○	1						1							
集積回路設計及び演習B	4②	1		○	1						1							
計算機システム管理論A	4①	1	○											1				
計算機システム管理論B	4②	1	○											1				
情報ネットワークA	4①	1	○		1													
情報ネットワークB	4②	1	○		1													
人工知能A	4①	1	○		1													
人工知能B	4②	1	○		1													
電波応用システムA	4①	1	○		1													
電波応用システムB	4②	1	○		1													
分散コンピューティングA	4①	1	○		1									1				オムニバス
分散コンピューティングB	4②	1	○		1									1				オムニバス
電気法令	4③	1	○		1												兼1	オムニバス
学外技術体験実習A	3①・②・③・④	1						○		2								共同
学外技術体験実習B	3①・②・③・④	2						○		2								共同
科学技術英語A	4①	1	○											1				
科学技術英語B	4②	1	○											1				
工学における倫理と法	4①～②	2	○		1												兼3	オムニバス
安全と倫理	4①～②	2	○		1												兼4	オムニバス
卒業研究	4通	8	○		20	16	4	6										オムニバス

工業概論	4①～②		2		○								兼6	オムニバス
職業指導第1	3③～④		2		○								兼1	
職業指導第2	4①～②		2		○								兼1	
小計(88科目)	—	18	110	0	—		20	16	4	6	0	兼17	—	
<b>【情報システムコース】</b>						○								
プログラミング演習	2③～④	1					○				1			
情報システム工学実験第1	2③～④	2					○		3	1	2		共同	
情報システム工学実験第2	3①～②	2					○		2		2		共同	
情報システム工学実験第3	3③～④	2				○		1	1		1		オムニバス	
自主課題研究	3③～④	2				○			1					
電気エネルギー変換工学	2③～④	2				○				1				
半導体工学	2③～④	2				○		1						
電子回路第2及び演習	2③～④	2				○		1						
電気磁気学第1及び演習	2③～④	2				○			1					
形式言語論とオートマトン	2③～④	2				○		1						
量子力学	3①～②	2				○		1						
電気エネルギー伝送工学	3①～②	2				○		1				兼1	オムニバス	
電気機器学	3①～②	2				○		1						
電子デバイス	3①～②	2				○		1						
電磁波論	3①～②	2				○			1					
伝送回路	3①～②	2				○		1						
システム制御 I	3①～②	2				○			1					
システム最適化	3①～②	2				○		1						
電気磁気学第2及び演習	3①～②	2				○		1						
数値シミュレーション	3①～②	2				○			1					
集積回路工学第1	3①～②	2				○		1						
情報通信方式	3①～②	2				○			1					
信号処理	3①～②	2				○		1						
コンパイラ	3①～②	2				○		1						
計算機アーキテクチャ	3①～②	2				○		1						
情報基礎数理	3①～②	2				○		1						
パターン認識	3①～②	2				○					1			
情報セキュリティ	3①～②	2				○		1			1		オムニバス	
自動設計・製図A	3③	1				○			1					
自動設計・製図B	3④	1				○			1					
パワーエレクトロニクスA	3③	1				○			1					
パワーエレクトロニクスB	3④	1				○			1					
計測工学A	3③	1				○		1						
計測工学B	3④	1				○		1						
高電圧プラズマ工学A	3③	1				○		1						

高電圧プラズマ工学B	3④	1	○	1					
電子物性A	3③	1	○	1					
電子物性B	3④	1	○	1					
光エレクトロニクスA	3③	1	○			1			
光エレクトロニクスB	3④	1	○			1			
電気エネルギー発生工学A	3③	1	○	1					
電気エネルギー発生工学B	3④	1	○	1					
電気電子材料A	3③	1	○			1			
電気電子材料B	3④	1	○			1			
システム制御ⅡA	3③	1	○	1					
システム制御ⅡB	3④	1	○	1					
デジタル通信A	3③	1	○	1					
デジタル通信B	3④	1	○	1					
集積回路工学第2A	3③	1	○	1					
集積回路工学第2B	3④	1	○	1					
データベース論A	3③	1	○			1			
データベース論B	3④	1	○			1			
デジタル電子回路A	3③	1	○	1					
デジタル電子回路B	3④	1	○	1					
オペレーティングシステム A	3③	1	○	1					
オペレーティングシステム B	3④	1	○	1					
画像情報処理A	3③	1	○				1		
画像情報処理B	3④	1	○				1		
無線工学A	3③	1	○	1					
無線工学B	3④	1	○	1					
力学系入門A	3③	1	○			1			
力学系入門B	3④	1	○			1			
音声音響情報処理A	3③	1	○	1					
音声音響情報処理B	3④	1		○	1				
集積回路設計及び演習A	4①	1		○	1		1		オムニバス
集積回路設計及び演習B	4②	1	○		1		1		オムニバス
計算機システム管理論A	4①	1	○				1		
計算機システム管理論B	4②	1	○				1		
情報ネットワークA	4①	1	○		1				
情報ネットワークB	4②	1	○		1				
人工知能A	4①	1	○		1				
人工知能B	4②	1	○		1				
電波応用システムA	4①	1	○		1				

電波応用システムB	4②	1		○		1							
分散コンピューティングA	4①	1		○		1		1				オムニバス	
分散コンピューティングB	4②	1		○		1		1				オムニバス	
電気法令	4③	1			○	1				兼1		共同	
学外技術体験実習A	3①・②・③・④	1			○	2						共同	
学外技術体験実習B	3①・②・③・④	2		○		2						オムニバス	
科学技術英語A	4①	1		○				1					
科学技術英語B	4②	1		○				1					
工学における倫理と法	4①～②	2		○		1				兼3		オムニバス	
安全と倫理	4①～②	2		○		1				兼4		オムニバス	
卒業研究	4通	8		○		20	16	4	6			オムニバス	
工業概論	4①～②	2		○						兼6		オムニバス	
職業指導第1	3③～④	2		○						兼1			
職業指導第2	4①～②	2								兼1			
小計(87科目)	—	17	120	0	—	20	16	4	6	0	兼17	—	
<b>【情報システムコース】</b>													
プログラミング演習	2③～④	1		○					1				
情報システム工学実験第1	2③～④	2			○	3	1	2				共同	
情報システム工学実験第2	3①～②	2			○	2		2				共同	
生命情報システム設計	3③～④	2		○		1	2					オムニバス	
自主課題研究	3③～④	2		○			1						
バイオ工学	2①～②	2		○						兼1			
細胞学	2③～④	2		○						兼2		オムニバス	
電気エネルギー変換工学	2③～④	2		○				1					
半導体工学	2③～④	2		○		1							
電子回路第2及び演習	2③～④	2		○		1							
電気磁気学第1及び演習	2③～④	2		○				1					
形式言語論とオートマトン	2③～④	2		○		1							
バイオメディカル工学	2③～④	2		○						兼3		オムニバス	
量子力学	3①～②	2		○		1							
電気エネルギー伝送工学	3①～②	2		○		1				兼1		オムニバス	
電気機器学	3①～②	2		○		1							
電子デバイス	3①～②	2		○		1							
電磁波論	3①～②	2		○				1					
伝送回路	3①～②	2		○		1							
システム制御 I	3①～②	2		○				1					
システム最適化	3①～②	2		○		1							
電気磁気学第2及び演習	3①～②	2		○		1							
数値シミュレーション	3①～②	2		○				1					
集積回路工学第1	3①～②	2		○		1							

情報通信方式	3①～②	2	○			1			
信号処理	3①～②	2	○		1				
コンパイラ	3①～②	2	○		1				
計算機アーキテクチャ	3①～②	2	○		1				
情報基礎数理	3①～②	2	○		1				
パターン認識	3①～②	2	○					1	
情報セキュリティ	3①～②	2	○		1			1	
自動設計・製図A	3③	1	○				1		
自動設計・製図B	3④	1	○				1		
パワーエレクトロニクスA	3③	1	○				1		
パワーエレクトロニクスB	3④	1	○				1		
計測工学A	3③	1	○		1				
計測工学B	3④	1	○		1				
高電圧プラズマ工学A	3③	1	○		1				
高電圧プラズマ工学B	3④	1	○		1				
電子物性A	3③	1	○		1				
電子物性B	3④	1	○		1				
光エレクトロニクスA	3③	1	○				1		
光エレクトロニクスB	3④	1	○				1		
電気エネルギー発生工学A	3③	1	○		1				
電気エネルギー発生工学B	3④	1	○		1				
電気電子材料A	3③	1	○				1		
電気電子材料B	3④	1	○				1		
システム制御ⅡA	3③	1	○		1				
システム制御ⅡB	3④	1	○		1				
デジタル通信A	3③	1	○		1				
デジタル通信B	3④	1	○		1				
集積回路工学第2A	3③	1	○		1				
集積回路工学第2B	3④	1	○		1				
データベース論A	3③	1	○				1		
データベース論B	3④	1	○				1		
デジタル電子回路A	3③	1	○		1				
デジタル電子回路B	3④	1	○		1				
オペレーティングシステム A	3③	1	○		1				
オペレーティングシステム B	3④	1	○		1				
画像情報処理A	3③	1	○					1	
画像情報処理B	3④	1	○					1	
無線工学A	3③	1	○		1				



無線工学B	3④	1	○			1							
力学系入門A	3③	1	○				1						
力学系入門B	3④	1	○				1						
音声音響情報処理A	3③	1	○			1							
音声音響情報処理B	3④	1	○			1							
集積回路設計及び演習A	4①	1		○		1		1					オムニバス
集積回路設計及び演習B	4②	1		○		1		1					オムニバス
計算機システム管理論A	4①	1	○						1				
計算機システム管理論B	4②	1	○						1				
情報ネットワークA	4①	1	○			1							
情報ネットワークB	4②	1	○			1							
人工知能A	4①	1	○			1							
人工知能B	4②	1	○			1							
電波応用システムA	4①	1	○			1							
電波応用システムB	4②	1	○			1							
分散コンピューティングA	4①	1	○			1			1				オムニバス
分散コンピューティングB	4②	1	○			1			1				オムニバス
電気法令	4③	1	○			1						兼1	オムニバス
学外技術体験実習A	3①・②・③・④	1			○	2							共同
学外技術体験実習B	3①・②・③・④	2			○	2							共同
科学技術英語A	4①	1	○					1					
科学技術英語B	4②	1	○					1					
工学における倫理と法	4①～②	2	○			1						兼3	オムニバス
安全と倫理	4①～②	2	○			1						兼4	オムニバス
卒業研究	4通	8	○			20	16	4	6				オムニバス
工業概論	4①～②	2	○									兼6	オムニバス
職業指導第1	3③～④	2	○									兼1	
職業指導第2	4①～②	2	○									兼1	
小計(90科目)	—	17	116	0	—	20	16	4	6	0	兼23		
専門科目計(352科目)	—	120	436	0	—	20	16	4	6	0	兼117	—	
合計(636科目)	—	135	792	0	—	20	16	4	6	0	兼734	—	

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設:理工学域 環境デザイン学類)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1			○								兼 73	クラス分け
	初学者ゼミ I	1①・②・③	1				○							兼 84	クラス分け
	情報処理基礎	1①	1				○							兼 61	クラス分け
	地域概論	1①・②	1				○							兼 69	クラス分け
	小計(4科目)	—	4	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼 256	—
共通教育科目 GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の政治経済学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	グローバル時代の社会学	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け
	ケーススタディによる応用倫理学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	地球生物圏と人間	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	物理の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	化学の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	哲学(自我論)	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	パーソナリティ心理学	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の文学	1①・②・③・④		1		○								兼 6	クラス分け
	健康科学	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け
	細胞・分子生物学	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	エクササイズ&スポーツ実技	1①・②・③・④		1				○						兼 18	クラス分け
	プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)	1①・②	1					○						兼 86	クラス分け
	クリティカル・シンキング	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	価値と情動の認知科学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	論理学から見る世界	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	数学的発想法	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	芸術と自己表現	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	スポーツ科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
金沢・能登と世界の地域文化	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け	
日本史・日本文化	1②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け	
異文化間コミュニケーション	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け	

	ン														
	異文化体験	1②・④	1										兼2	クラス分け	
	異文化体験	1②・④	2										兼4	クラス分け	
	異文化体験	1②・④	3										兼6	クラス分け	
	異文化体験	1②・④	4										兼3	クラス分け	
	異文化体験	1②・④	5										兼1		
	異文化体験	1②・④	6										兼1		
	異文化体験	1②・④	7										兼1		
	異文化体験	1②・④	8										兼1		
	国際社会とボランティア	1①・②・③・④	1			○							兼3	クラス分け	
	グローバル社会と地域の課題	1①・③・④	1			○							兼1		
	科学技術と科学方法論	1①・②・③・④	1			○							兼7	クラス分け	
	統計学から未来を見る	1①・②・③・④	1			○							兼2	クラス分け	
	情報の科学	1①・②・③・④	1			○							兼4	クラス分け	
	環境学とESD	1①・②・③・④	1			○							兼2	クラス分け	
	生活と社会保障	1③・④	1			○							兼3	クラス分け	
	人権・ジェンダー論	1①・②・③・④	1			○							兼5	クラス分け	
	小計 (39科目)	—	1	66	0	—			0	0	0	0	0	兼221	—
GS 言語科目 (英語)	TOEIC 準備 I	1①	1			○								兼28	クラス分け
	TOEIC 準備 II	1②	1			○								兼28	クラス分け
	TOEIC 準備 III	1③	1			○								兼31	クラス分け
	TOEIC 準備 IV	1④	1			○								兼31	クラス分け
	TOEIC 準備 (演習)	2①・②・③・④	1			○								兼2	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) I	1①	1			○								兼25	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) II	1①	1			○								兼27	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) III	1③	1			○								兼36	クラス分け
	EnglishforAcademicPurposes (EAP) IV	1④	1			○								兼36	クラス分け
	EAP (Retake)	1①・②・③・④	1			○								兼14	クラス分け
GS 言語科目 (日本語)	アカデミック基礎日本語 A	1①・③	1			○								兼2	クラス分け
	アカデミック基礎日本語 B	1②・④	1			○								兼2	クラス分け
	アカデミック・ライティング I A	1①・③	1			○								兼1	
	アカデミック・ライティング I B	1②・④	1			○								兼1	
	アカデミック・ライティング	1①・③	1			○								兼1	

	II A アカデミック・ライティング	1②・④		1		○									兼 1	
	II B 講義の聴解 A	1①・③		1		○									兼 1	
	講義の聴解 B	1②・④		1		○									兼 1	
	口頭発表 I A	1③		1		○									兼 1	
	口頭発表 I B	1④		1		○									兼 1	
	口頭発表 II A	1①		1		○									兼 1	
	口頭発表 II B	1②		1		○									兼 1	
	上級読解 I A	1①		1		○									兼 1	
	上級読解 I B	1②		1		○									兼 1	
	上級読解 II A	1③		1		○									兼 1	
	上級読解 II B	1④		1		○									兼 1	
	日本事情 A	1①・③		1		○									兼 1	
	日本事情 B	1②・④		1		○									兼 1	
	日本語で学ぶ論理 A	1③		1		○									兼 1	
	日本語で学ぶ論理 B	1④		1		○									兼 1	
	小計 (30 科目)	—	10	20	0	—			0	0	0	0	0	0	兼 64	—
基礎科目	微分積分学第一	1①・②		2		○									兼 9	クラス分け
	微分積分学第二	1③・④		2		○									兼 7	クラス分け
	線形代数学第一	1①・②		2		○									兼 10	クラス分け
	線形代数学第二	1③・④		2		○									兼 7	クラス分け
	統計数学	1③・④		2		○									兼 3	クラス分け
	物理学 I	1①・②		2		○									兼 16	クラス分け
	物理学 II	1①・②・③・④		2		○									兼 15	クラス分け
	物理学実験	1①・②・③・④		2				○							兼 32	クラス分け
	化学 I	1①・②		2		○									兼 11	クラス分け
	化学 II	1③・④		2		○									兼 7	クラス分け
	化学実験	1①・②・③・④		2				○							兼 15	クラス分け
	化学実験	2①		1				○							兼 11	クラス分け
	地学 I	1①・②		2		○									兼 4	クラス分け
	地学 II	1③・④		2		○									兼 1	
	小計 (14 科目)	—	0	27	0	—			0	0	0	0	0	0	兼 106	—
初習言語科目	ドイツ語 A1-1	1①・③		1		○									兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A1-2	1②・④		1		○									兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-1	1①・③		1		○									兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A2-2	1②・④		1		○									兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-1	1①・③		1		○									兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A3-2	1②・④		1		○									兼 8	クラス分け
	ドイツ語 A4-1	1①・③		1		○									兼 7	クラス分け

ドイツ語 A4-2	1②・④	1	○						兼7	クラス分け
ドイツ語 B-1	2①	1	○						兼3	クラス分け
ドイツ語 B-2	2②	1	○						兼3	クラス分け
ドイツ語 C-1	2①・③	1	○						兼2	クラス分け
ドイツ語 C-2	2②・④	1	○						兼2	クラス分け
フランス語 A1-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A1-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A2-1	1①・③	1	○						兼5	クラス分け
フランス語 A2-2	1②・④	1	○						兼5	クラス分け
フランス語 A3-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A3-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A4-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 A4-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 B-1	2①・③	1	○						兼6	クラス分け
フランス語 B-2	2②・④	1	○						兼6	クラス分け
フランス語 C-1	2①・③	1	○						兼4	クラス分け
フランス語 C-2	2②・④	1	○						兼4	クラス分け
ロシア語 A1-1	1①	1	○						兼1	
ロシア語 A1-2	1②	1	○						兼1	
ロシア語 A2-1	1①	1	○						兼1	
ロシア語 A2-2	1②	1	○						兼1	
ロシア語 A3-1	1③	1	○						兼1	
ロシア語 A3-2	1④	1	○						兼1	
ロシア語 A4-1	1③	1	○						兼1	
ロシア語 A4-2	1④	1	○						兼1	
ロシア語 B-1	2①・③	1	○						兼1	
ロシア語 B-2	2②・④	1	○						兼1	
ロシア語 C-1	2①・③	1	○						兼1	
ロシア語 C-2	2②・④	1	○						兼1	
中国語 A1-1	1①・③	1	○						兼6	クラス分け
中国語 A1-2	1②・④	1	○						兼6	クラス分け
中国語 A2-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
中国語 A2-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
中国語 A3-1	1①・③	1	○						兼5	クラス分け
中国語 A3-2	1②・④	1	○						兼5	クラス分け
中国語 A4-1	1①・③	1	○						兼4	クラス分け
中国語 A4-2	1②・④	1	○						兼4	クラス分け
中国語 B-1	2①・③	1	○						兼3	クラス分け
中国語 B-2	2②・④	1	○						兼3	クラス分け
中国語 C-1	2①・③	1	○						兼3	クラス分け

中国語 C-2	2②・④	1	○					兼3	クラス分け
朝鮮語 A1-1	1①・③	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A1-2	1②・④	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A2-1	1①・③	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A2-2	1②・④	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A3-1	1①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 A3-2	1②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 A4-1	1①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 A4-2	1②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 B-1	2①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 B-2	2②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 C-1	2①・③	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 C-2	2②・④	1	○					兼2	クラス分け
ギリシャ語 A1-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 A1-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 A2-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 A2-2	1④	1	○					兼1	
ギリシャ語 A3-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 A3-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 A4-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 A4-2	1④	1	○					兼1	
ギリシャ語 B-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 B-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 C-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 C-2	1④	1	○					兼1	
ラテン語 A1-1	1①	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A1-2	1②	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A2-1	1③	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A2-2	1④	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A3-1	1①	1	○					兼1	
ラテン語 A3-2	1②	1	○					兼1	
ラテン語 A4-1	1③	1	○					兼1	
ラテン語 A4-2	1④	1	○					兼1	
ラテン語 B-1	1①	1	○					兼1	
ラテン語 B-2	1②	1	○					兼1	
ラテン語 C-1	1③	1	○					兼1	
ラテン語 C-2	1④	1	○					兼1	
スペイン語 A1-1	1①	1	○					兼1	
スペイン語 A1-2	1②	1	○					兼1	
スペイン語 A2-1	1①	1	○					兼1	

	スペイン語 A2-2	1②		1	○								兼 1	
	スペイン語 A3-1	1③		1	○								兼 1	
	スペイン語 A3-2	1④		1	○								兼 1	
	スペイン語 A4-1	1③		1	○								兼 1	
	スペイン語 A4-2	1④		1	○								兼 1	
	スペイン語 B-1	2①		1	○								兼 1	
	スペイン語 B-2	2②		1	○								兼 1	
	スペイン語 C-1	2③		1	○								兼 1	
	スペイン語 C-2	2④		1	○								兼 1	
	小計 (96 科目)	—	0	96	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 45	—
自由履修科目	ジャーナリズム論	1・2③		1	○								兼 1	
	石川県の行政	1・2③・④		2	○								兼 1	
	石川県の市町	1・2①・②		2	○								兼 1	
	キャリアディベロップメント実践	3・4①・②		2	○								兼 2	共同
	健康論実践 D	1・2③・④		1	○								兼 4	共同
	健康論実践 E	1・2③・④		1	○								兼 2	共同
	能登の世界農業遺産を学ぶ スタディ・ツアー	1・2①・②		1	○								兼 8	共同
	里山体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1	○								兼 6	共同
	里海体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1	○								兼 6	共同
	地元学 A (地域資源調査)	1・2①		1	○								兼 1	
	地元学 B (聞き書き)	1・2②		1	○								兼 1	
	生と死を見つめて	1・2②		1	○								兼 6	オムニバス
	実践アントレプレナー学	1・2①・②		1	○								兼 8	オムニバス
	クラウド時代の「ものグラミング」概論	1・2①・②		2	○								兼 3	共同
	シェルスク립ト言語論	1・2①・②		2	○								兼 2	共同
	マスメディアと現代を読み解く	1・2②		1	○								兼 1	
	ライフキャリアデザイン	1・2③・④		2	○								兼 1	
	ダイバーシティとインクルージョン	1・2②		1	○								兼 3	共同
	キャリアディベロップメント	1・2①・②		2	○								兼 1	
	ファシリテーション入門	1・2②・④		1	○								兼 3	共同
学生・学習論	1・2①		1	○								兼 2	共同	
コーヒーの世界	1・2③・④		2	○								兼 13	オムニバス	
画像解剖学	2・3・4③・④		1	○								兼 1		
よくわかる健康と病気	1・2③・④		1	○								兼 1		

国際協力と地域のグローバル化	1・2③・④	2	○						兼1	
心と体の健康	1・2③	1	○						兼3	共同
死と喪失	1・2①・②・④	1	○						兼1	
ひとのからだⅠ	1・2①・②	2	○						兼1	
ひとのからだⅡ	1・2③・④	2	○						兼1	
基礎病態学	1・2③・④	1	○						兼1	
哲学A	2①・②	2	○						兼1	
宗教学A	1・2③・④	2	○						兼1	
ことばと文化J	1・2③・④	2	○						兼1	
基礎運動学	2①・②	1	○						兼4	オムニバス
地域「超」体験プログラム(能登珠洲)	1①・②	1			○				兼1	
地域「超」体験プログラム(能登小木)	1①・②	1			○				兼1	
地域「超」体験プログラム(白山麓)	1①・②	1			○				兼1	
地域「超」体験プログラム(五箇山)	1③・④	1			○				兼1	
地方行政	1・2③・④	2	○						兼1	
ブランディング入門	1・2①・②	2	○						兼1	
ゼミ/政治哲学入門	1・2③・④	2			○				兼1	
茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③・④	2	○						兼1	
日本の伝統芸能	1・2①・②	2	○						兼1	
金沢の歴史と文化	1・2③・④	2	○						兼2	共同
ESD 入門	1・2①・②	1	○						兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1・2①・②	1	○						兼1	
持続可能性と福祉	1・2①・③	1	○						兼1	
異文化間ディベート	1・2	2	○						兼1	
	①・②・③・④									
日本の歴史からみた暦と時間	1・2	2	○						兼1	
	①・②・③・④									
日本と金沢の建築・都市	1・2①・②	2	○						兼2	共同
コミュニケーションビジネス	1・2③・④	2	○						兼2	共同
日本国憲法概説	1・2	2	○						兼4	クラス分け
	①・②・③・④									
行政学入門	1・2①・②	2	○						兼1	
公共政策入門Ⅰ	1・2①・②	2	○						兼1	
経済学入門C	1・2③・④	2	○						兼1	



日本史要説	2③・④	2	○					兼4	オムニバス
東洋史要説	2③・④	2	○					兼3	オムニバス
法論理学入門	1・2①	2	○					兼1	
異文化理解のためのビデオ 会議ディスカッション	1・2③	1	○					兼1	
ビジネス入門	1・2①	1	○					兼1	
日本のオープンデータ活用	1・2②	1	○					兼1	
ビジネスと金融	1・2③	1	○					兼1	
世界のオープンデータ活用	1・2④	1	○					兼1	
ガラスとクリスタル I	1・2②	1	○					兼1	
ガラスとクリスタル II	1・2③	1	○					兼1	
英国諸島の地史 I	1・2②	1	○					兼1	
英国諸島の地史 II	1・2③	1	○					兼1	
地学実験	1・2①・②・③	2			○			兼16	クラス分け
東洋医学	3・4③・④	2	○					兼2	クラス分け
コンピュータグラフィクス 演習	1・2③・④	2			○			兼1	
生物学実験	1・2①・②	2			○			兼13	共同
実践 Web プログラミング実習	1・2③・④	2			○			兼1	
実践システム開発工程入門	1・2③・④	2			○			兼1	
プログラミング演習	1・2③・④	2			○			兼1	
環境動態学概説 I	1・2③	1	○					兼1	
環境動態学概説 II	1・2④	1	○					兼1	
海洋生化学演習	1・2①・②	2			○			兼4	共同
動画配信サービスを用いた 情報発信演習	1・2①・②	2	○					兼1	
プレゼンテーション演習	1・2③・④	2	○					兼1	
英語セミナー	1・2②・③・④	1	○					兼7	クラス分け
英語セミナー	1・2③・④	2	○					兼2	クラス分け
ゼミ/漢文資料読解 A	1・2①・②	2			○			兼1	
ゼミ/漢文資料読解 B	1・2③・④	2			○			兼1	
ゼミ/アフリカ系人の音楽 を通じて知る現代の世界	1・2③・④	2			○			兼1	
ゼミ/角間の里山づくり春 編	1・2①	1			○			兼1	
ゼミ/角間の里山づくり秋 編	1・2③	1			○			兼1	
身体・スポーツ実技/野外活 動	1・2①・②	1			○			兼3	共同
身体・スポーツ実技/初心者	1・2③・④	1			○			兼6	共同



小計(2科目)	—	2	0	0	—	—	0	1	0	0	0	—	—
<b>【学域共通科目】</b>													
情報・計算科学基礎	1③	2			○			2	1				オムニバス
計算科学	1④	2			○			2					オムニバス
情報処理演習	1③～④	1				○		1			1		オムニバス
工業力学	1③～④	2			○			1			1		オムニバス
計算機リテラシー	2①～②	2			○			1	1				オムニバス
応用物理学	3①～②	2			○				1				
生命・地球学概論	1③～④	2			○								兼16
バイオ・物質循環工学概論	1③～④	2			○								兼19
国際研修A	1・2・3・4	1				○		1					
	①・②・③・④												
国際研修B	1・2・3・4	2				○		1					
	①・②・③・④												
小計(10科目)	—	2	16	0	—	—	4	6	1	2	0	兼35	—
<b>【土木建設コース】</b>													
微分方程式及び演習	1③～④	2				○						兼1	
ベクトル解析及び演習	2①～②	2				○						兼1	
フーリエ解析及び演習	2①～②	2				○						兼1	
確率統計学及び演習	2③～④	2				○		2					オムニバス
複素解析及び演習	2③～④	2				○						兼1	
小計(5科目)	—	4	6	0	—	—	2	0	0	0	0	兼4	—
<b>【環境・防災コース】</b>													
微分方程式及び演習	1③～④	2				○						兼1	
ベクトル解析及び演習	2①～②	2				○						兼1	
フーリエ解析及び演習	2①～②	2				○						兼1	
確率統計学及び演習	2③～④	2				○		2					オムニバス
複素解析及び演習	2③～④	2				○						兼1	
小計(5科目)	—	4	6	0	—	—	2	0	0	0	0	兼4	—
<b>【都市デザインコース】</b>													
微分方程式及び演習	1③～④	2				○						兼1	
ベクトル解析及び演習	2①～②	2				○						兼1	
フーリエ解析及び演習	2①～②	2				○						兼1	
確率統計学及び演習	2③～④	2				○		2					オムニバス
複素解析及び演習	2③～④	2				○						兼1	
小計(5科目)	—	4	6	0	—	—	2	0	0	0	0	兼4	—
<b>【土木建設コース】</b>													
環境デザイン基礎演習	1①	1				○		2					オムニバス
測量学及び実習第1	2①～②	2					○	3	2	1			共同

測量学及び実習第2	2③～④	4				○	2	3	1			共同
土木建設工学実験	3①～②	1				○	4	2				共同
環境・防災工学実験	3①～②	1				○	5	1				共同
都市デザイン演習	3①～②	1			○		4	1	1			オムニバス
プログラミング演習	3③～④	1			○		2	1		1		オムニバス
環境デザイン演習	3③～④	1			○		3	2	1			オムニバス
建築設計演習基礎	3①～②		1			○		1	1			オムニバス
建築設計演習1A	3③		1			○	1	1				オムニバス
建築設計演習1B	3④		1			○	1	1				オムニバス
建築設計演習2A	4①		1			○		1			兼1	オムニバス
建築設計演習2B	4②		1			○		1			兼1	オムニバス
建築設計演習3A	4③		1			○	1	1			兼1	オムニバス
建築設計演習3B	4④		1			○	1	1			兼1	オムニバス
構造力学第1	1③～④	2			○		1					
流体力学及び演習	1③～④	2				○	1					
環境工学概論	1③	1			○		2	2				オムニバス
構造力学第2	2①～②	2				○		1				
水理学基礎及び演習	2①～②	2				○	1	1				オムニバス
土質力学第1	2①～②	2				○	1	1				オムニバス
建設材料学第1	2①～②	2				○	1	1				オムニバス
環境基礎工学第1	2①～②	2				○	1					
計画理論	2①～②	2				○	1			1		オムニバス
構造解析学第1	2③～④		2			○	1					
管水路水理学及び演習	2③～④		2			○	1					
開水路水理学及び演習	2③～④		2			○		1				
土質力学第2及び演習	2③～④		2			○	1	1				オムニバス
応用振動学A	2③		1			○	1			1		オムニバス
応用振動学B	2④		1			○	1			1		オムニバス
環境基礎工学第2	2③～④		2			○		1				
水環境工学	2③～④		2			○	1				兼1	オムニバス
建築学概論	2③～④		2			○	1	1	2			オムニバス
建設材料学第2	2③～④		2			○	1	1				オムニバス
計画プロセス	2③～④		2			○	1			1		オムニバス
構造解析学第2	3①～②		2			○	1					
コンクリート構造学第1及 び演習	3①～②		2			○	1					
海岸工学	3①～②		2			○	2			1		オムニバス
地盤基礎工学	3①～②		2			○	1	1				オムニバス
構造・地盤動力学A	3①		1			○	1			1		オムニバス

構造・地盤動力学B	3②	1	○		1		1	オムニバス
上下水道学	3①～②	2	○		1	1		オムニバス
大気環境工学	3①～②	2	○		1			
都市計画	3①～②	2	○		1		1	兼1 オムニバス
交通計画	3①～②	2	○		1	1		オムニバス
景観デザイン学	3①～②	2	○		1	1	1	オムニバス
都市経済学A	3①	1	○		1	1		オムニバス
都市経済学B	3②	1	○		1	1		オムニバス
建設行政及び技術者倫理	3①～②	2	○		1			兼2 オムニバス
建築計画	3①～②	2	○		1	1		オムニバス
建築環境工学	3①～②	2	○		1	1	2	オムニバス
建築設備工学	3③～④	2	○		1	2		オムニバス
コンクリート構造学第2及 び演習	3③～④	2		○	1			
河川工学	3③～④	2	○			1		
信頼性設計概論	3③～④	2	○		1			
環境・防災水工学	3③～④	2	○		1	1		オムニバス
土木建設防災マネジメント A	3③	2	○		1		1	オムニバス
土木建設防災マネジメント B	3④	2	○		1		1	オムニバス
地質学概論	3③～④	2	○		1			
廃棄物工学	3③～④	2	○			2		オムニバス
都市地理学	3③～④	2	○					兼1
テクニカルコミュニケーション基礎	3③～④	2	○		1			兼1
建築構造学A	3③	1	○		1		1	オムニバス
建築構造学B	3④	1	○		1		1	オムニバス
住生活学Ⅰ	3③	1	○		1			
住生活学Ⅱ	3④	1	○		1			
鋼構造学	4①～②	2	○		1			
環境地盤工学	4①～②	2	○		2			オムニバス
交通・運輸マネジメント工 学	4①～②	2	○		1			兼1 オムニバス
工学における倫理と法	4①～②	2	○		1			兼3 オムニバス
建築法規	4①	1	○				1	
建築施工	4①～②	2	○		1		1	オムニバス
学外技術体験実習A	3①～② ・③～④	1		○	2			共同

学外技術体験実習B	3①～② ・③～④	2			○	2						共同
卒業研究・設計	4通	8			○	2	1	2	1			オムニバス
工業概論	4①～②	2			○						兼6	オムニバス
職業指導第1	3③～④	2			○						兼1	オムニバス
職業指導第2	4①～②	2			○						兼1	オムニバス
小計(78科目)	—	37	101	0	—	14	10	2	5	0	兼22	—
<b>【環境・防災コース】</b>												
環境デザイン基礎演習	1①	1			○	2						オムニバス
測量学及び実習第1	2①～②	2			○	3	2	1				共同
測量学及び実習第2	2③～④	4			○	2	3	1				共同
土木建設工学実験	3①～②	1			○	4	2					共同
環境・防災工学実験	3①～②	1			○	5	1					共同
都市デザイン演習	3①～②	1			○	4	1	1				オムニバス
プログラミング演習	3③～④	1			○	2	1		1			オムニバス
環境デザイン演習	3③～④	1			○	3	2	1				オムニバス
建築設計演習基礎	3①～②	1			○		1	1				オムニバス
建築設計演習1A	3③	1			○	1	1					オムニバス
建築設計演習1B	3④	1			○	1	1					オムニバス
建築設計演習2A	4①	1			○		1				兼1	
建築設計演習2B	4②	1			○		1				兼1	オムニバス
建築設計演習3A	4③	1			○	1	1				兼1	オムニバス
建築設計演習3B	4④	1			○	1	1				兼1	オムニバス
構造力学第1	1③～④	2			○	1						
流体力学及び演習	1③～④	2			○	1						
環境工学概論	1③	1			○	2	2					オムニバス
構造力学第2	2①～②	2			○		1					
水理学基礎及び演習	2①～②	2			○	1	1					オムニバス
土質力学第1	2①～②	2			○	1	1					オムニバス
建設材料学第1	2①～②	2			○	1	1					オムニバス
環境基礎工学第1	2①～②	2			○	1						
計画理論	2①～②	2			○	1			1			
構造解析学第1	2③～④	2			○	1						
管水路水理学及び演習	2③～④	2			○	1						
開水路水理学及び演習	2③～④	2			○		1					
土質力学第2及び演習	2③～④	2			○	1	1					
応用振動学A	2③	1			○	1			1			オムニバス
応用振動学B	2④	1			○	1			1			オムニバス
環境基礎工学第2	2③～④	2			○		1					

水環境工学	2③～④	2	○		1				兼1	オムニバス
建築学概論	2③～④	2	○		1	1	2			オムニバス
建設材料学第2	2③～④	2	○		1	1				オムニバス
計画プロセス	2③～④	2	○		1		1			オムニバス
構造解析学第2	3①～②	2	○		1					
コンクリート構造学第1及 び演習	3①～②	2		○	1					
海岸工学	3①～②	2	○		2			1		オムニバス
地盤基礎工学	3①～②	2	○		1	1				オムニバス
構造・地盤動力学A	3①	1	○		1			1		オムニバス
構造・地盤動力学B	3②	1	○		1			1		オムニバス
上下水道学	3①～②	2	○		1	1				オムニバス
大気環境工学	3①～②	2	○		1					
都市計画	3①～②	2	○		1			1	兼1	オムニバス
交通計画	3①～②	2	○		1	1				オムニバス
景観デザイン学	3①～②	2	○		1	1	1			オムニバス
都市経済学A	3①	1	○		1	1				オムニバス
都市経済学B	3②	1	○		1	1				オムニバス
建設行政及び技術者倫理	3①～②	2	○		1				兼2	オムニバス
建築計画	3①～②	2	○		1	1				オムニバス
建築環境工学	3①～②	2	○		1	1	2			オムニバス
建築設備工学	3③～④	2	○		1	2				オムニバス
コンクリート構造学第2及 び演習	3③～④	2			1					
河川工学	3③～④	2	○				1			
信頼性設計概論	3③～④	2	○		1					
環境・防災水工学	3③～④	2	○		1	1				オムニバス
土木建設防災マネジメント A	3③	2	○		1			1		オムニバス
土木建設防災マネジメント B	3④	2	○		1			1		オムニバス
地質学概論	3③～④	2	○		1					
廃棄物工学	3③～④	2	○				2			オムニバス
都市地理学	3③～④	2	○						兼1	
テクニカルコミュニケーション基礎	3③～④	2	○		1				兼1	オムニバス
建築構造学A	3③	1	○		1			1		オムニバス
建築構造学B	3④	1	○		1			1		オムニバス
住生活学 I	3③	1	○		1					

住生活学Ⅱ	3④	1		○		1							
鋼構造学	4①～②	2		○		1							
環境地盤工学	4①～②	2		○		2						オムニバス	
交通・運輸マネジメント工 学	4①～②	2		○		1						兼1	オムニバス
工学における倫理と法	4①～②	2		○		1						兼3	オムニバス
建築法規	4①	1		○				1					
建築施工	4①～②	2		○		1		1					オムニバス
学外技術体験実習A	3①～② ・③～④	1				○	2						共同
学外技術体験実習B	3①～② ・③～④	2				○	2						共同
卒業研究・設計	4通	8		○		2	1	2	1				オムニバス
工業概論	4①～②	2		○								兼6	オムニバス
職業指導第1	3③～④	2		○								兼1	
職業指導第2	4①～②	2		○								兼1	
小計(78科目)	—	37	101	0	—	14	10	2	5	0	兼22	—	
<b>【都市デザインコース】</b>													
環境デザイン基礎演習	1①	1			○	2							オムニバス
測量学及び実習第1	2①～②	2				○	3	2	1				共同
測量学及び実習第2	2③～④	4				○	2	3	1				共同
土木建設工学実験	3①～②	1				○	4	2					共同
環境・防災工学実験	3①～②	1				○	5	1					共同
都市デザイン演習	3①～②	1			○	4	1	1					オムニバス
プログラミング演習	3③～④	1			○	2	1		1				オムニバス
環境デザイン演習	3③～④	1			○	3	2	1					オムニバス
建築設計演習基礎	3①～②	1			○		1	1					オムニバス
建築設計演習1A	3③	1			○	1	1						オムニバス
建築設計演習1B	3④	1			○	1	1						オムニバス
建築設計演習2A	4①	1			○		1					兼1	オムニバス
建築設計演習2B	4②	1			○		1					兼1	オムニバス
建築設計演習3A	4③	1			○	1	1					兼1	オムニバス
建築設計演習3B	4④	1			○	1	1					兼1	オムニバス
構造力学第1	1③～④	2		○		1							
流体力学及び演習	1③～④	2			○	1							
環境工学概論	1③	1		○		2	2						オムニバス
構造力学第2	2①～②	2		○			1						
水理学基礎及び演習	2①～②	2			○	1	1						オムニバス
土質力学第1	2①～②	2		○		1	1						オムニバス



建設材料学第1	2①～②	2		○		1	1					オムニバス
環境基礎工学第1	2①～②	2		○		1						
計画理論	2①～②	2		○		1			1			オムニバス
構造解析学第1	2③～④	2		○		1						
管水路水理学及び演習	2③～④	2			○	1						
開水路水理学及び演習	2③～④	2			○			1				
土質力学第2及び演習	2③～④	2			○	1	1					オムニバス
応用振動学A	2③	1		○		1				1		
応用振動学B	2④	1		○		1				1		
環境基礎工学第2	2③～④	2		○				1				
水環境工学	2③～④	2		○		1					兼1	オムニバス
建築学概論	2③～④	2		○		1	1	2				オムニバス
建設材料学第2	2③～④	2		○		1	1					オムニバス
計画プロセス	2③～④	2		○		1			1			オムニバス
構造解析学第2	3①～②	2		○		1						
コンクリート構造学第1及び演習	3①～②	2			○	1						
海岸工学	3①～②	2		○		2				1		オムニバス
地盤基礎工学	3①～②	2		○		1	1					オムニバス
構造・地盤動力学A	3①	1		○		1				1		オムニバス
構造・地盤動力学B	3②	1		○		1				1		オムニバス
上下水道学	3①～②	2		○		1	1					オムニバス
大気環境工学	3①～②	2		○		1						
都市計画	3①～②	2		○		1			1		兼1	オムニバス
交通計画	3①～②	2		○		1	1					オムニバス
景観デザイン学	3①～②	2		○		1	1	1				オムニバス
都市経済学A	3①	1		○		1	1					オムニバス
都市経済学B	3②	1		○		1	1					オムニバス
建設行政及び技術者倫理	3①～②	2		○		1					兼2	オムニバス
建築計画	3①～②	2		○		1	1					オムニバス
建築環境工学	3①～②	2		○		1	1	2				オムニバス
建築設備工学	3③～④	2		○		1	2					オムニバス
コンクリート構造学第2及び演習	3③～④	2			○	1						
河川工学	3③～④	2		○					1			
信頼性設計概論	3③～④	2		○		1						
環境・防災水工学	3③～④	2		○		1	1					オムニバス
土木建設防災マネジメントA	3③	2		○		1			1			オムニバス

土木建設防災マネジメント B	3④	2	○			1	1					オムニバス
地質学概論	3③～④	2	○			1						
廃棄物工学	3③～④	2	○				2					オムニバス
都市地理学	3③～④	2	○								兼1	
テクニカルコミュニケーション基礎	3③～④	2	○			1					兼1	オムニバス
建築構造学A	3③	1	○			1		1				オムニバス
建築構造学B	3④	1	○			1		1				オムニバス
住生活学Ⅰ	3③	1	○			1						
住生活学Ⅱ	3④	1	○			1						
鋼構造学	4①～②	2	○			1						
環境地盤工学	4①～②	2	○			2						オムニバス
交通・運輸マネジメント工学	4①～②	2	○			1					兼1	オムニバス
工学における倫理と法	4①～②	2	○			1					兼3	オムニバス
建築法規	4①	1	○					1				
建築施工	4①～②	2	○			1		1				オムニバス
学外技術体験実習A	3①～② ・③～④	1			○	2						共同
学外技術体験実習B	3①～② ・③～④	2			○	2						共同
卒業研究・設計	4通	8	○			2	1	2	1			オムニバス
工業概論	4①～②	2	○								兼6	オムニバス
職業指導第1	3③～④	2	○								兼1	
職業指導第2	4①～②	2	○								兼1	
小計 (78科目)	—	37	101	0	—	14	10	2	5	0	兼22	—
専門科目計 (191科目)	—	139	337	0	—	14	10	2	5	0	兼149	—
合計 (475科目)	—	154	693	0	—	14	10	2	5	0	兼766	—

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(既設:理工学域 自然システム学類)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1			○								兼 73	クラス分け
	初学者ゼミ I	1①・②・③	1				○							兼 84	クラス分け
	情報処理基礎	1①	1				○							兼 61	クラス分け
	地域概論	1①・②	1				○							兼 69	クラス分け
	小計(4科目)	—	4	0	0	—			0	0	0	0	0	兼 256	—
共通教育科目 GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の政治経済学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	グローバル時代の社会学	1①・②・③・④		1		○								兼 2	クラス分け
	ケーススタディによる応用倫理学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	地球生物圏と人間	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	物理の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	化学の世界	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け
	哲学(自我論)	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	パーソナリティ心理学	1①・②・③・④		1		○								兼 3	クラス分け
	グローバル時代の文学	1①・②・③・④		1		○								兼 6	クラス分け
	健康科学	1①・②・③・④		1		○								兼 7	クラス分け
	細胞・分子生物学	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	エクササイズ&スポーツ実技	1①・②・③・④		1				○						兼 18	クラス分け
	プレゼン・ディベート論(初学者ゼミⅡ)	1①・②	1				○							兼 86	クラス分け
	クリティカル・シンキング	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	価値と情動の認知科学	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け
	論理学から見る世界	1①・②・③・④		1		○								兼 1	
	数学的発想法	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
	芸術と自己表現	1①・②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け
	スポーツ科学	1①・②・③・④		1		○								兼 4	クラス分け
金沢・能登と世界の地域文化	1①・②・③・④		1		○								兼 5	クラス分け	
日本史・日本文化	1②・③・④		1		○								兼 9	クラス分け	
異文化間コミュニケーション	1①・②・③・④		1		○								兼 10	クラス分け	

	異文化体験	1②・④	1				○						兼2	クラス分け
	異文化体験	1②・④	2				○						兼4	クラス分け
	異文化体験	1②・④	3				○						兼6	クラス分け
	異文化体験	1②・④	4				○						兼3	クラス分け
	異文化体験	1②・④	5				○						兼1	
	異文化体験	1②・④	6				○						兼1	
	異文化体験	1②・④	7				○						兼1	
	異文化体験	1②・④	8				○						兼1	
	国際社会とボランティア	1①・②・③・④	1			○							兼3	クラス分け
	グローバル社会と地域の課題	1①・③・④	1			○							兼1	
	科学技術と科学方法論	1①・②・③・④	1			○							兼7	クラス分け
	統計学から未来を見る	1①・②・③・④	1			○							兼2	クラス分け
	情報の科学	1①・②・③・④	1			○							兼4	クラス分け
	環境学とESD	1①・②・③・④	1			○							兼2	クラス分け
	生活と社会保障	1③・④	1			○							兼3	クラス分け
	人権・ジェンダー論	1①・②・③・④	1			○							兼5	クラス分け
	小計 (39 科目)	—	1	66	0	—		0	0	0	0	0	兼221	—
G S 言 語 科 目 ( 英 語 )	TOEIC 準備 I	1①	1			○							兼28	クラス分け
	TOEIC 準備 II	1②	1			○							兼28	クラス分け
	TOEIC 準備 III	1③	1			○							兼31	クラス分け
	TOEIC 準備 IV	1④	1			○							兼31	クラス分け
	TOEIC 準備 (演習)	2①・②・③・④	1			○							兼2	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) I	1①	1			○							兼25	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) II	1①	1			○							兼27	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) III	1③	1			○							兼36	クラス分け
	English for Academic Purposes (EAP) IV	1④	1			○							兼36	クラス分け
	EAP (Retake)	1①・②・③・④	1			○							兼14	クラス分け
G S 言 語 科 目 ( 日 本 語 )	アカデミック基礎日本語 A	1①・③	1			○							兼2	クラス分け
	アカデミック基礎日本語 B	1②・④	1			○							兼2	クラス分け
	アカデミック・ライティング I A	1①・③	1			○							兼1	
	アカデミック・ライティング I B	1②・④	1			○							兼1	
	アカデミック・ライティング II A	1①・③	1			○							兼1	
	アカデミック・ライティング II B	1②・④	1			○							兼1	

	II B													
	講義の聴解 A	1①・③		1		○								兼 1
	講義の聴解 B	1②・④		1		○								兼 1
	口頭発表 I A	1③		1		○								兼 1
	口頭発表 I B	1④		1		○								兼 1
	口頭発表 II A	1①		1		○								兼 1
	口頭発表 II B	1②		1		○								兼 1
	上級読解 I A	1①		1		○								兼 1
	上級読解 I B	1②		1		○								兼 1
	上級読解 II A	1③		1		○								兼 1
	上級読解 II B	1④		1		○								兼 1
	日本事情 A	1①・③		1		○								兼 1
	日本事情 B	1②・④		1		○								兼 1
	日本語で学ぶ論理 A	1③		1		○								兼 1
	日本語で学ぶ論理 B	1④		1		○								兼 1
小計 (30 科目)	—	10	20	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 64	—	
基礎科目	微分積分学第一	1①・②		2		○								兼 9 クラス分け
	微分積分学第二	1③・④		2		○								兼 7 クラス分け
	線形代数学第一	1①・②		2		○								兼 10 クラス分け
	線形代数学第二	1③・④		2		○								兼 7 クラス分け
	統計数学	1③・④		2		○								兼 3 クラス分け
	物理学 I	1①・②		2		○								兼 16 クラス分け
	物理学 II	1①・②・③・④		2		○								兼 15 クラス分け
	物理学実験	1①・②・③・④		2					○					兼 32 クラス分け
	化学 I	1①・②		2		○								兼 11 クラス分け
	化学 II	1③・④		2		○								兼 7 クラス分け
	化学実験	1①・②・③・④		2					○					兼 15 クラス分け
	化学実験	2①		1					○					兼 11 クラス分け
	地学 I	1①・②		2		○								兼 4 クラス分け
	地学 II	1③・④		2		○								兼 1
	小計 (14 科目)	—	0	27	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 106	—
初習言語科目	ドイツ語 A1-1	1①・③		1		○								兼 8 クラス分け
	ドイツ語 A1-2	1②・④		1		○								兼 8 クラス分け
	ドイツ語 A2-1	1①・③		1		○								兼 8 クラス分け
	ドイツ語 A2-2	1②・④		1		○								兼 8 クラス分け
	ドイツ語 A3-1	1①・③		1		○								兼 8 クラス分け
	ドイツ語 A3-2	1②・④		1		○								兼 8 クラス分け
	ドイツ語 A4-1	1①・③		1		○								兼 7 クラス分け
	ドイツ語 A4-2	1②・④		1		○								兼 7 クラス分け
	ドイツ語 B-1	2①		1		○								兼 3 クラス分け
	ドイツ語 B-2	2②		1		○								兼 3 クラス分け

ドイツ語 C-1	2①・③	1	○	兼2	クラス分け
ドイツ語 C-2	2②・④	1	○	兼2	クラス分け
フランス語 A1-1	1①・③	1	○	兼4	クラス分け
フランス語 A1-2	1②・④	1	○	兼4	クラス分け
フランス語 A2-1	1①・③	1	○	兼5	クラス分け
フランス語 A2-2	1②・④	1	○	兼5	クラス分け
フランス語 A3-1	1①・③	1	○	兼4	クラス分け
フランス語 A3-2	1②・④	1	○	兼4	クラス分け
フランス語 A4-1	1①・③	1	○	兼4	クラス分け
フランス語 A4-2	1②・④	1	○	兼4	クラス分け
フランス語 B-1	2①・③	1	○	兼6	クラス分け
フランス語 B-2	2②・④	1	○	兼6	クラス分け
フランス語 C-1	2①・③	1	○	兼4	クラス分け
フランス語 C-2	2②・④	1	○	兼4	クラス分け
ロシア語 A1-1	1①	1	○	兼1	
ロシア語 A1-2	1②	1	○	兼1	
ロシア語 A2-1	1①	1	○	兼1	
ロシア語 A2-2	1②	1	○	兼1	
ロシア語 A3-1	1③	1	○	兼1	
ロシア語 A3-2	1④	1	○	兼1	
ロシア語 A4-1	1③	1	○	兼1	
ロシア語 A4-2	1④	1	○	兼1	
ロシア語 B-1	2①・③	1	○	兼1	
ロシア語 B-2	2②・④	1	○	兼1	
ロシア語 C-1	2①・③	1	○	兼1	
ロシア語 C-2	2②・④	1	○	兼1	
中国語 A1-1	1①・③	1	○	兼6	クラス分け
中国語 A1-2	1②・④	1	○	兼6	クラス分け
中国語 A2-1	1①・③	1	○	兼4	クラス分け
中国語 A2-2	1②・④	1	○	兼4	クラス分け
中国語 A3-1	1①・③	1	○	兼5	クラス分け
中国語 A3-2	1②・④	1	○	兼5	クラス分け
中国語 A4-1	1①・③	1	○	兼4	クラス分け
中国語 A4-2	1②・④	1	○	兼4	クラス分け
中国語 B-1	2①・③	1	○	兼3	クラス分け
中国語 B-2	2②・④	1	○	兼3	クラス分け
中国語 C-1	2①・③	1	○	兼3	クラス分け
中国語 C-2	2②・④	1	○	兼3	クラス分け
朝鮮語 A1-1	1①・③	1	○	兼2	クラス分け
朝鮮語 A1-2	1②・④	1	○	兼2	クラス分け
朝鮮語 A2-1	1①・③	1	○	兼2	クラス分け

朝鮮語 A2-2	1②・④	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 A3-1	1①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 A3-2	1②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 A4-1	1①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 A4-2	1②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 B-1	2①・③	1	○					兼1	
朝鮮語 B-2	2②・④	1	○					兼1	
朝鮮語 C-1	2①・③	1	○					兼2	クラス分け
朝鮮語 C-2	2②・④	1	○					兼2	クラス分け
ギリシャ語 A1-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 A1-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 A2-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 A2-2	1④	1	○					兼1	
ギリシャ語 A3-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 A3-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 A4-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 A4-2	1④	1	○					兼1	
ギリシャ語 B-1	1①	1	○					兼1	
ギリシャ語 B-2	1②	1	○					兼1	
ギリシャ語 C-1	1③	1	○					兼1	
ギリシャ語 C-2	1④	1	○					兼1	
ラテン語 A1-1	1①	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A1-2	1②	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A2-1	1③	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A2-2	1④	1	○					兼2	クラス分け
ラテン語 A3-1	1①	1	○					兼1	
ラテン語 A3-2	1②	1	○					兼1	
ラテン語 A4-1	1③	1	○					兼1	
ラテン語 A4-2	1④	1	○					兼1	
ラテン語 B-1	1①	1	○					兼1	
ラテン語 B-2	1②	1	○					兼1	
ラテン語 C-1	1③	1	○					兼1	
ラテン語 C-2	1④	1	○					兼1	
スペイン語 A1-1	1①	1	○					兼1	
スペイン語 A1-2	1②	1	○					兼1	
スペイン語 A2-1	1①	1	○					兼1	
スペイン語 A2-2	1②	1	○					兼1	
スペイン語 A3-1	1③	1	○					兼1	
スペイン語 A3-2	1④	1	○					兼1	
スペイン語 A4-1	1③	1	○					兼1	
スペイン語 A4-2	1④	1	○					兼1	

	スペイン語 B-1	2①		1		○							兼 1	
	スペイン語 B-2	2②		1		○							兼 1	
	スペイン語 C-1	2③		1		○							兼 1	
	スペイン語 C-2	2④		1		○							兼 1	
	小計 (96 科目)	—	0	96	0	—	0	0	0	0	0	0	兼 45	—
自由履修科目	ジャーナリズム論	1・2③		1		○							兼 1	
	石川県の行政	1・2③・④		2		○							兼 1	
	石川県の市町	1・2①・②		2		○							兼 1	
	キャリアディベロップメント実践	3・4①・②		2		○							兼 2	共同
	健康論実践 D	1・2③・④		1		○							兼 4	共同
	健康論実践 E	1・2③・④		1		○							兼 2	共同
	能登の世界農業遺産を学ぶスタディ・ツアー	1・2①・②		1		○							兼 8	共同
	里山体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1		○							兼 6	共同
	里海体験実習 in 能登半島	1・2①・②		1		○							兼 6	共同
	地元学 A (地域資源調査)	1・2①		1		○							兼 1	
	地元学 B (聞き書き)	1・2②		1		○							兼 1	
	生と死を見つめて	1・2②		1		○							兼 6	オムニバス
	実践アントレプレナー学	1・2①・②		1		○							兼 8	オムニバス
	クラウド時代の「ものグラミング」概論	1・2①・②		2		○							兼 3	共同
	シェルスクリプト言語論	1・2①・②		2		○							兼 2	共同
	マスメディアと現代を読み解く	1・2②		1		○							兼 1	
	ライフキャリアデザイン	1・2③・④		2		○							兼 1	
	ダイバーシティとインクルージョン	1・2②		1		○							兼 3	共同
	キャリアディベロップメント	1・2①・②		2		○							兼 1	
	ファシリテーション入門	1・2②・④		1		○							兼 3	共同
	学生・学習論	1・2①		1		○							兼 2	共同
	コーヒーの世界	1・2③・④		2		○							兼 13	オムニバス
	画像解剖学	2・3・4③・④		1		○							兼 1	
	よくわかる健康と病気	1・2③・④		1		○							兼 1	
	国際協力と地域のグローバル化	1・2③・④		2		○							兼 1	
	心と体の健康	1・2③		1		○							兼 3	共同
死と喪失	1・2①・②・④		1		○							兼 1		
ひとのからだ I	1・2①・②		2		○							兼 1		
ひとのからだ II	1・2③・④		2		○							兼 1		



基礎病態学	1・2③・④	1	○				兼1	
哲学A	2①・②	2	○				兼1	
宗教学A	1・2③・④	2	○				兼1	
ことばと文化J	1・2③・④	2	○				兼1	
基礎運動学	2①・②	1	○				兼4	オムニバス
地域「超」体験プログラム(能登珠洲)	1①・②	1		○			兼1	
地域「超」体験プログラム(能登小木)	1①・②	1		○			兼1	
地域「超」体験プログラム(白山麓)	1①・②	1		○			兼1	
地域「超」体験プログラム(五箇山)	1③・④	1		○			兼1	
地方行政	1・2③・④	2	○				兼1	
ボランティア入門	1・2①・②	2	○				兼1	
ゼミ/政治哲学入門	1・2③・④	2		○			兼1	
茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③・④	2	○				兼1	
日本の伝統芸能	1・2①・②	2	○				兼1	
金沢の歴史と文化	1・2③・④	2	○				兼2	共同
ESD 入門	1・2①・②	1	○				兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1・2①・②	1	○				兼1	
持続可能性と福祉	1・2①・③	1	○				兼1	
異文化間ディベート	1・2	2	○				兼1	
	①・②・③・④							
日本の歴史からみた暦と時間	1・2	2	○				兼1	
	①・②・③・④							
日本と金沢の建築・都市	1・2①・②	2	○				兼2	共同
コミュニケーションビジネス	1・2③・④	2	○				兼2	共同
日本国憲法概説	1・2	2	○				兼4	クラス分け
	①・②・③・④							
行政学入門	1・2①・②	2	○				兼1	
公共政策入門 I	1・2①・②	2	○				兼1	
経済学入門 C	1・2③・④	2	○				兼1	
日本史要説	2③・④	2	○				兼4	オムニバス
東洋史要説	2③・④	2	○				兼3	オムニバス
法論理学入門	1・2①	2	○				兼1	
異文化理解のためのビデオ	1・2③	1	○				兼1	
会議ディスカッション								
ビジネス入門	1・2①	1	○				兼1	
日本のオープンデータ活用	1・2②	1	○				兼1	

ビジネスと金融	1・2③	1	○						兼1	
世界のオープンデータ活用	1・2④	1	○						兼1	
ガラスとクリスタルⅠ	1・2②	1	○						兼1	
ガラスとクリスタルⅡ	1・2③	1	○						兼1	
英国諸島の地史Ⅰ	1・2②	1	○						兼1	
英国諸島の地史Ⅱ	1・2③	1	○						兼1	
地学実験	1・2①・②・③	2			○				兼16	クラス分け
東洋医学	3・4③・④	2	○						兼2	クラス分け
コンピュータグラフィクス 演習	1・2③・④	2			○				兼1	
生物学実験	1・2①・②	2			○				兼13	共同
実践Webプログラミング実習	1・2③・④	2			○				兼1	
実践システム開発工程入門	1・2③・④	2			○				兼1	
プログラミング演習	1・2③・④	2			○				兼1	
環境動態学概説Ⅰ	1・2③	1	○						兼1	
環境動態学概説Ⅱ	1・2④	1	○						兼1	
海洋生化学演習	1・2①・②	2			○				兼4	共同
動画配信サービスを用いた 情報発信演習	1・2①・②	2	○						兼1	
プレゼンテーション演習	1・2③・④	2	○						兼1	
英語セミナー	1・2②・③・④	1	○						兼7	クラス分け
英語セミナー	1・2③・④	2	○						兼2	クラス分け
ゼミ／漢文資料読解A	1・2①・②	2			○				兼1	
ゼミ／漢文資料読解B	1・2③・④	2			○				兼1	
ゼミ／アフリカ系人の音楽 を通じて知る現代の世界	1・2③・④	2			○				兼1	
ゼミ／角間の里山づくり春 編	1・2①	1			○				兼1	
ゼミ／角間の里山づくり秋 編	1・2③	1			○				兼1	
身体・スポーツ実技／野外活 動	1・2①・②	1			○				兼3	共同
身体・スポーツ実技／初心者 スキー	1・2③・④	1			○				兼6	共同
ゼミ／身体運動心理学	3・4①・②	2	○						兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1			○				兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1			○				兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1			○				兼1	
ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1			○				兼1	
フランス語A(充実クラスⅠ -1)	1③	1			○				兼1	

		フランス語 A (充実クラス I -2)	1④	1				○						兼 1		
		フランス語 A (充実クラス II -1)	1③	1				○						兼 1		
		フランス語 A (充実クラス II -2)	1④	1				○						兼 1		
		中国語 A (充実クラス I -1)	1③	1				○						兼 1		
		中国語 A (充実クラス I -2)	1④	1				○						兼 1		
		中国語 A (充実クラス II -1)	1③	1				○						兼 1		
		中国語 A (充実クラス II -2)	1④	1				○						兼 1		
		小計 (101 科目)	—	0	147	0	—		0	0	0	0	0	兼 156	—	
共通教育科目計 (284 科目)			—	15	356	0	—		0	0	0	0	0	兼 617	—	
専門科目	専門基礎科目	【学域 GS 科目】														
		数学物理学演習A	1③	1				○							兼 3	2 単位以上必修
		数学物理学演習B	1④	1				○							兼 3	
		物質化学序論A	2①	1				○							兼 4	
		物質化学序論B	2②	1				○							兼 4	
		機械工学序論A	1③	1				○							兼 4	
		機械工学序論B	1④	1				○							兼 4	
		電子情報生命工学序論A	1③	1				○							兼 4	
		電子情報生命工学序論B	1④	1				○							兼 4	
		土木情報処理演習A	1③	1					○						兼 3	
		土木情報処理演習B	1④	1					○						兼 3	
		自然システム序論A	1①	1					○		4	3				
	自然システム序論B	1②	1					○		4	3					
			小計 (12 科目)	—	12			—		4	3	0	0	0	兼 18	—
			【学域 GS 言語科目】													
			学域GS言語科目 I (理工系英語 I)	2①	1				○		1	3				クラス分け
		学域GS言語科目 II (理工系英語 II)	2②	1				○		1	3				クラス分け	
		小計 (2 科目)	—	2	0	0	—		1	3	0	0	0		—	
		【学域共通科目】														
		情報・計算科学基礎	1③	2				○			2	1			オムニバス	
		計算科学	1④	2				○			2				オムニバス	
		情報処理演習	1③~④	1					○	1		1			オムニバス	
		工業力学	1③~④	2				○		1		1			オムニバス	
		計算機リテラシー	2①~②	2				○		1	1				オムニバス	
		応用物理学	3①~②	2				○						兼 1		
		生命・地球学概論	1③~④	2				○		7	4		5		オムニバス	

バイオ・物質循環工学概論	1③～④	2		○		7	7		5			オムニバス
国際研修A	1・2・3・4	1			○			1				
国際研修B	①・②・③・④	2			○			1				
小計(10科目)	—	2	16	0	—	17	16	1	12	0	兼1	—
<b>【生物学コース】</b>												
特別講義A	2①～② ・③～④	1		○							兼1	
個体・集団・生態系	2①～②	2		○			1					
遺伝子と情報	2③～④	2		○		1						
生物多様性と進化	2①～②	2		○			2					オムニバス
生化学1	2①～②	2		○		1	1					オムニバス
細胞学	2③～④	2		○		1					兼1	オムニバス
遺伝学	2③～④	2		○			1					
発生学	2③～④	2		○		1						
生理学1A	2①	2		○			1		1			オムニバス
生理学1B	2②	1		○			1				兼2	オムニバス
生理学2	2③～④	1		○		1						
生態学1	2③～④	2		○			1					
基礎生物学実験	2①～②	2			○	6	10	1	8	} *4科目 以上履修		共同
生物学実践実験	3③～④	2			○	6	10	1	8		共同	
生物学実習1	2①～②	1			○	1	1				共同	
生物学実習2	2①～②	1			○	1			1		共同	
生物学グループ演習	3③～④	2			○	6	10	1				共同
小計(17科目)	—	24	5	0	—	18	16	1	14		兼4	
<b>【バイオ工学コース】</b>												
特別講義A	2①～② ・③～④	1		○							兼1	
遺伝子と情報	2③～④	2		○		1						
生化学1	2①～②	2		○			1	1				オムニバス
細胞学	2③～④	2		○		1					兼1	オムニバス
微分方程式及び演習	2③～④	2			○						兼1	
化学工学情報処理演習	2①～②	1			○	1						
ベクトル解析及び演習	2①～②	2			○						兼1	
バイオ工学概論1	2①	1		○		2	2		2			オムニバス
バイオ工学概論2	2②	1		○		2	2		2			オムニバス
化学工学量論1	2①	1		○		1						
化学工学量論2	2②	1		○		1						
物理化学基礎	2①～②	2		○							兼1	

熱力学基礎1	2③	1			○		2						オムニバス
熱力学基礎2	2④	1			○		2						オムニバス
移動現象論基礎1	2①	1			○			1					
移動現象論基礎2	2②	1			○			1					
化学反応速度論1	2③	1			○		1						
化学反応速度論2	2④	1			○		1						
化学工学計算法基礎1	2①		1		○				1				
化学工学計算法基礎2	2②		1		○				1				
有機化学1A	2①	1			○		1			1			
有機化学1B	2②	1			○		1			1			
有機化学2A	2③	1			○		1			1			
有機化学2B	2④	1			○		1			1			
力学	2①～②		1		○								兼 1
統計解析1	2①		1		○				1				
統計解析2	2②		2		○				1				
無機化学	2③～④		1		○								兼 1
機器分析化学1	2③		1		○		2	1		2			兼 1 オムニバス
機器分析化学2	2④		1		○		2	1		2			兼 1 オムニバス
人体科学A	2①		1		○		2						オムニバス
人体科学B	2②		1		○		2						オムニバス
食品化学1	2③	1			○		1						
食品化学2	2④	1			○		1						
生物工学A	3③		1		○				1				
生物工学B	3④		1		○				1				
バイオ・物質循環工学基礎 実験	2③～④	1							○	2		4	共同
バイオ・物質循環工学演習A	2③～④	1				○				2		4	共同
小計(38科目)	—	25	20	0	—	—	18	16	1	14	0	兼 9	—
<b>【物質循環工学コース】</b>													
特別講義A	2①～② ・③～④		1		○								兼 1
微分方程式及び演習	2③～④	2				○							兼 1
化学工学情報処理演習	2①～②	1				○	1						
複素解析及び演習	2③～④	2				○							兼 1
ベクトル解析及び演習	2①～②	2				○							兼 1
フーリエ解析及び演習	2①～②	2				○							兼 1
化学工学量論1	2①	1			○		1						
化学工学量論2	2②	1			○		1						
物理化学基礎	2①～②	2			○								兼 1
熱力学基礎1	2③	1			○		2						オムニバス

熱力学基礎2	2④	1			○		2							オムニバス
移動現象論基礎1	2①	1			○			1						
移動現象論基礎2	2②	1			○			1						
化学反応速度論1	2③	1			○		1							
化学反応速度論2	2④	1			○		1							
化学工学計算法基礎1	2①		1		○				1					
化学工学計算法基礎2	2②		1		○				1					
有機化学1A	2①	1			○		1			1				オムニバス
有機化学1B	2②	1			○		1			1				オムニバス
有機化学2A	2③	1			○		1			1				オムニバス
有機化学2B	2④	1			○		1			1				オムニバス
力学	2①～②	2			○								兼1	
統計解析1	2①	1			○				1					
統計解析2	2②	1			○				1					
無機化学	2③～④	2			○								兼1	
機器分析化学1	2③	1			○		2	1		2			兼1	オムニバス
機器分析化学2	2④	1			○		2	1		2			兼1	オムニバス
量子物理学	3③～④	2			○								兼1	
高分子材料物性1	3①	1			○		1							
高分子材料物性2	3②	1			○		1							
バイオ・物質循環工学基礎 実験	2③～④	1				○			2		4			共同
物質循環工学概論1	2①	1			○		1	1		2				オムニバス
物質循環工学概論2	2②	1			○		1	1		2				オムニバス
材料力学1	3①	1			○		1							
材料力学2	3②	1			○		1							
物質循環工学演習A	2③～④	1				○					2			オムニバス
小計(36科目)	—	41	3	0	—	—	18	12	1	14	0		兼11	—
<b>【地球学コース】</b>														
特別講義A	2①～② ・③～④		1		○								兼1	
個体・集団・生態系	2①～②		2		○			1						
生物多様性と進化	2①～②		2		○			2						オムニバス
熱力学基礎1	2③		1		○		2							オムニバス
熱力学基礎2	2④		1		○		2							オムニバス
機器分析化学1	2③		1		○		2	1		2			兼1	オムニバス
機器分析化学2	2④		1		○		2	1		2			兼1	オムニバス
地球構造学概論	2③～④		2		○								兼1	
地球物質学概論	2①～②		2		○		1	1						
地球変動学概論	2①～②		2		○		2							オムニバス

地球循環学概論	2③～④	2			○			2		1			オムニバス
数理地球学1	2①～②	2			○					1			
数理地球学2	2③～④	2			○		1						
鉱物・結晶学実験	2③～④	1				○	1	1		1			共同
岩石学実験	2③～④	1				○	2			1			共同
古生物学実験	2③～④	1				○	1			1			共同
地球データ解析実験	2③～④	1				○		1					
地球学野外調査法	2①～②	2				○	4			2			共同
小計(18科目)	—	18	9	0	—		18	10	0	14	0	兼4	—
<b>【生物学コース】</b>													
特別講義B	3①～② ・③～④	1			○							兼1	
インターンシップ実習	3①～② ・③～④	1				○	3	3					共同
生体機能学	3①～②	2			○		1						
植物自然史科学1	3①～②	2			○		1						
生化学2	3③～④	2			○				1				
植物科学概論A	3③	1			○			1					
植物科学概論B	3④	1			○			1					
細胞生理学A	3①	1			○		1						
細胞生理学B	3②	1			○		1						
進化発生学A	3①	1			○		1			1			オムニバス
進化発生学B	3②	1			○		1			1			オムニバス
バイオテクノロジー	3①～②	2			○		1						
微生物学1A	3①	1			○			1					
微生物学1B	3②	1			○			1					
生物統計学A	3③	1			○			1					
生物統計学B	3④	1			○			1					
地球環境と生物多様性A	3③	1			○			1					
地球環境と生物多様性B	3④	1			○			1					
生態学2A	3③	1			○			2					オムニバス
生態学2B	3④	1			○			2					オムニバス
分子生物学A	3①	1			○					1		兼1	
分子生物学B	3②	1			○					1		兼1	
生化学演習A	3①	1				○		1					
生化学演習B	3②	1				○		1					
遺伝学実験	2③～④	1				○	1					兼2	共同
発生学実験	3①～② ・③～④	1				○	1			1			共同
分類学実験	3①～②	1				○		1		1			共同

	・③～④														
生態学実験	2③～④	1					○		1						
動物生理学実験	3①～②	1					○	1		1				共同	
	・③～④														
進化系統学実験	3①～②	1					○			1					
	・③～④														
生化学実験	2③～④	1					○		1	1				共同	
遺伝子組換え実験	2③～④	1					○	1		1				共同	
植物生理学実験	3①～②	1					○		2	1				共同	
	・③～④														
組織形態学実験	2③～④	1					○	1	1						
生物学実習3	3①～②	1					○		3					共同	
生物学実習4	3①～②	1					○	1		1				共同	
生物学実習5	3①～②	1					○		1					共同	
特別講義C1	1・2・3・4 ①・②・③・④	1			○			1					兼1	オムニバス	
生物学課題演習 (1) A	4①	1				○		6	10	1	8			オムニバス	
生物学課題演習 (1) B	4②	1				○		6	10	1	8			オムニバス	
生物学課題演習 (2) A	4③	1				○		6	10	1	8			オムニバス	
生物学課題演習 (2) B	4④	1				○		6	10	1	8			オムニバス	
生物学課題研究 (1) A	4①	3				○		6	10	1	8			オムニバス	
生物学課題研究 (1) B	4②	3				○		6	10	1	8			オムニバス	
生物学課題研究 (2) A	4③	3				○		6	10	1	8			オムニバス	
生物学課題研究 (2) B	4④	3				○		6	10	1	8			オムニバス	
分子生物情報学	2①～②				○								兼1		
教職物理学	2②	1			○				1				兼3	オムニバス	
教職化学	2①	1			○								兼5	オムニバス	
教職生物学	2②	1			○			2	2	1			兼2	オムニバス	
教職地学	2①	1			○			2	2	1			兼1	オムニバス	
小計(51科目)	—	29	33	0	—			18	16	1	14	0	兼18	—	
<b>【バイオ工学コース】</b>															
特別講義B	3①～② ・③～④	1			○								兼1		
専門英語A1	3①	1			○								兼1		
専門英語A2	3②	1			○								兼1		
インターンシップ実習	3①～② ・③～④	1				○		3	3					共同	
植物科学概論A	3③	1			○					1					
植物科学概論B	3④	1			○					1					



バイオテクノロジー	3①～②		2	○		1								
分子生物情報学	2①～②		2	○								兼1		
バイオインフォマティクス	2③～④		2	○								兼1		
バイオ工学1	3①	1		○				1						
バイオ工学2	3②	1		○				1						
物理化学A1	3①	1		○				1						
物理化学A2	3②	1		○				1						
単位操作A1	3①	1		○				1						
単位操作A2	3②	1		○				1						
生物反応工学1	3③	1		○				1						
生物反応工学2	3④	1		○				1						
バイオメディカル工学1	3③	1		○					2				共同	
バイオメディカル工学2	3④	1		○					2				共同	
微生物工学1	3①	1		○				1						
微生物工学2	3②	1		○				1						
単位操作B1	3③	1		○				1						
単位操作B2	3④	1		○				1						
移動現象論1	3③	1		○					1					
移動現象論2	3④	1		○					1					
バイオプロセス設計	3③～④	2		○				1						
環境安全工学1	3①	1		○					1					
環境安全工学2	3②	1		○					1					
天然物化学1	3③	1		○				1						
天然物化学2	3④	1		○				1						
反応工学1	3③	1		○				1						
反応工学2	3④	1		○				1						
工学における倫理と法	4①～②	2		○					2				オムニバス	
専門英語B	4①	2		○								兼1		
バイオ・物質循環工学演習B	3①～②	1			○				2	4				
バイオ・物質循環工学実験	3①～②	1				○		1	1	1			共同	
バイオ工学実験A	3①～②	1				○			1	2			共同	
バイオ工学実験B	3③～④	1				○			1	2			共同	
バイオプロセス創成	3①～②	1		○				2	1				オムニバス	
特別講義C2	1・2・3・4 ①・②・③・④		1	○				1				兼1		
バイオ工学・物質循環工学 課題研究 (1)	4①	2			○			7	7	0	5		オムニバス	
バイオ工学・物質循環工学 課題研究 (2)	4③～④	6			○			7	7	0	5		オムニバス	
工業概論	4①～②		2	○								兼6	オムニバス	

職業指導第1	3③～④		2		○						兼3	オムニバス
職業指導第2	4①～②		2		○						兼3	オムニバス
小計(45科目)	—	43	17	0	—						兼19	—
<b>【物質循環工学コース】</b>												
特別講義B	3①～② ・③～④		1		○						兼1	
専門英語A1	3①	1			○						兼1	
専門英語A2	3②	1			○						兼1	
インターンシップ実習	3①～② ・③～④		1			○	3	3				共同
バイオインフォマティクス	2③～④		1		○						兼1	
バイオ工学1	3①		1		○			1				
バイオ工学2	3②	1			○			1				
物理化学A1	3①	1			○			1				
物理化学A2	3②	1			○			1				
単位操作A1	3①	1			○			1				
単位操作A2	3②	1			○			1				
反応工学A1	3①	1			○			1				
反応工学A2	3②	1			○			1				
物理化学B1	3③	1			○			1				
物理化学B2	3④	1			○			1				
単位操作B1	3③	1			○			1				
単位操作B2	3④	1			○			1				
環境安全工学1	3①	1			○			1				
環境安全工学2	3②	1			○			1				
工学における倫理と法	4①～②	2			○			2				オムニバス
専門英語B	4①	2			○						兼1	
高分子化学	3③～④	2			○			1	1			オムニバス
特別講義C2	1・2・3・4 ①・②・③・④		1		○			1			兼1	
流体工学1	3①	1			○			1				
流体工学2	3②	1			○			1				
化学工学計算法1	3①	1			○			1				
化学工学計算法2	3②	1			○			1				
プロセス熱力学1	3③	1			○			1				
プロセス熱力学2	3④	1			○			1				
伝熱工学1	3③	1			○			1				
伝熱工学2	3④	1			○			1				
反応工学B1	3③	1			○			1				
反応工学B2	3④	1			○			1				

プロセス設計	3③～④	2			○			1							
拡散工学 1	3③	1			○				1						
拡散工学1	3④	1			○					1					
物質循環工学演習B	3①～②	1					○			1		1			オムニバス
物質循環工学演習C	3③～④	1					○			1		1			オムニバス
物質循環工学演習D	4①	1					○					2			オムニバス
物質循環工学実験A	3①～②	1						○	1	1		1			共同
物質循環工学実験B	3③～④	1						○	1	2		1			共同
物質循環プロセス創成	3①～②	1						○	5	1					オムニバス
バイオ工学・物質循環工学 課題研究 (1)	4①	2						○	7	7		5			オムニバス
バイオ工学・物質循環工学課 題研究(2)	4③～④	6						○	7	7		5			オムニバス
工業概論	4①～②	2			○									兼 6	オムニバス
職業指導第1	3③～④	2			○									兼 3	オムニバス
職業指導第2	4①～②	2			○									兼 3	オムニバス
小計(47科目)	—	49	11	0	—				18	16	1	14	0	兼 18	—
<b>【地球学コース】</b>															
特別講義B	3①～② ・③～④	1			○									兼 1	
専門英語A3	3③～④	2			○									兼 1	
インターンシップ実習	3①～② ・③～④	1						○	3	3					共同
地球環境と生物多様性A	3③	1			○					1					
地球環境と生物多様性B	3④	1			○					1					
層位・古生物学A	3①	1			○				1						
層位・古生物学B	3②	1			○				1						
鉱物学A	3①	1			○					1					
鉱物学B	3②	1			○					1					
岩石学A	3①	1			○				1						
岩石学B	3②	1			○				1						
地球物理学A	3①	1			○				1						
地球物理学B	3②	1			○				1						
地球環境学A	3①	1			○					1		1			オムニバス
地球環境学B	3②	1			○					1		1			オムニバス
環境地球化学A	3①	1			○					1					
環境地球化学B	3②	1			○					1					
結晶学A	3③	1			○				1	1					オムニバス
結晶学B	3④	1			○				1	1					オムニバス
応用地球物理学A	3③	1			○							1			

応用地球物理学B	3④		1	○				1	
地球発達史A	3③		1	○		1			
地球発達史B	3④		1	○		1			
同位体地球学A	3③		1	○		1			
同位体地球学B	3④		1	○		1			
鉱物学特論A	3③		1	○			1		
鉱物学特論B	3④		1	○			1		
地殻化学特論A	3③		1	○		1			
地殻化学特論B	3④		1	○		1			
地質学特論A	3③		1	○		1			
地質学特論B	3④		1	○		1			
地球物理学特論A	3①		1	○				1	
地球物理学特論B	3②		1	○				1	
大気圏環境科学A	3①		1	○			1		
大気圏環境科学B	3②		1	○			1		
地球学巡検1	3①～②	1		○		1	1		オムニバス
地球物質分析実験	3①～②	1			○	2	1	1	共同
地球化学実験	3①～②	1			○		3		共同
地球物理学実験	3①～②	1			○	1	1	1	共同
試料解析実験	3①～②	1			○	4		2	共同
計算機地球学A	3①		1	○			1		
計算機地球学B	3②		1	○			1		
応用地球物質分析実験	3③～④		1		○	1	2	1	共同
応用地球物理学実験	3③～④		1		○	1	1	1	共同
応用地球化学実験	3③～④		1		○	2	2	1	共同
応用試料解析実験	3③～④		1		○	2		2	共同
地球学巡検2	3③～④		2	○		1		1	オムニバス
地球学野外実習A	3①～②		2		○	1		1	共同
地球学野外実習B	3①～②		2		○	2		2	共同
特別講義C3	1・2・3・4 ①・②・③・④		1	○		1			
地球学ゼミナール1 (1)	3①	0.5		○		7	4	5	オムニバス
地球学ゼミナール1 (2)	3②	0.5		○		7	4	5	オムニバス
地球学ゼミナール1 (3)	3③	0.5		○		7	4	5	オムニバス
地球学ゼミナール1 (4)	3④	0.5		○		7	4	5	オムニバス
地球学ゼミナール2 (1)	4①	0.5		○		7	4	5	オムニバス
地球学ゼミナール2 (2)	4②	0.5		○		7	4	5	オムニバス
地球学ゼミナール2 (3)	4③	0.5		○		7	4	5	オムニバス
地球学ゼミナール2 (4)	4④	0.5		○		7	4	5	オムニバス
地球学文献演習 (1)	4①	2		○		7	4	5	オムニバス

地球学文献演習 (2)	4②	2			○	7	4		5			オムニバス
地球学文献演習 (3)	4③	2			○	7	4		5			オムニバス
地球学文献演習 (4)	4④	2			○	7	4		5			オムニバス
地球学課題研究 (1)	4①	3			○	7	4		5			オムニバス
地球学課題研究 (2)	4②	3			○	7	4		5			オムニバス
地球学課題研究 (3)	4③	3			○	7	4		5			オムニバス
地球学課題研究 (4)	4④	3			○	7	4		5			オムニバス
教職化学	2①		1		○						兼 5	オムニバス
教職生物学	2②		1		○	2	2	1			兼 2	オムニバス
教職地学	2①		1		○	2	2	1			兼 1	オムニバス
小計 (69科目)	—	38	40	0	—	18	16	1	14	0	兼 10	—
専門科目計 (345科目)	—	283	160	0	—	18	16	1	14	0	兼 94	—
合計 (629科目)	—	298	516	0	—	18	16	1	14	0	兼 711	—

金沢大学 理工学域

学生の確保の見通し等を記載した書類

国立大学法人 金沢大学

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ① 学生の確保の見通し

##### ア) 定員充足の見込み

改組後の理工学域における入学定員を 614 名、収容定員 2,536 名（うち 3 年次編入学者 80 名）と設定した。なお、既設の理工学域との入学定員の比較については、表 1 のとおりである。

表 1 入学定員

〔既設〕		〔改組後〕	
理工学域		理工学域	
数物科学類	84 名	数物科学類	84 名
物質化学類	81 名	物質化学類	81 名
機械工学類	140 名	機械工学類	100 名
電子情報学類	108 名	フロンティア工学類	110 名
環境デザイン学類	74 名	電子情報通信学類	80 名
自然システム学類	102 名	地球社会基盤学類	100 名
		生命理工学類	59 名
合計	589 名	合計	614 名

この入学定員の設定に当たり、学生の確保の見通しを明らかにするため、『理工学域「新 7 学類」に関するアンケート』を以下のとおり実施した。

#### ①2016 年 12 月～2017 年 1 月

対象：理数科クラスに所属する石川県内の高校 2 年生（16 校，2,096 名）

※平成 30 年度入学予定者を想定

#### ②2016 年 8 月

対象：本学の理工学域のオープンキャンパスに訪れた高校生（248 名）

その結果、改組後の理工学域において設定した入学定員については、適切な選抜がなされた上で、安定的に確保することが可能であり、十分な定員充足の見込みが立つと判断される。

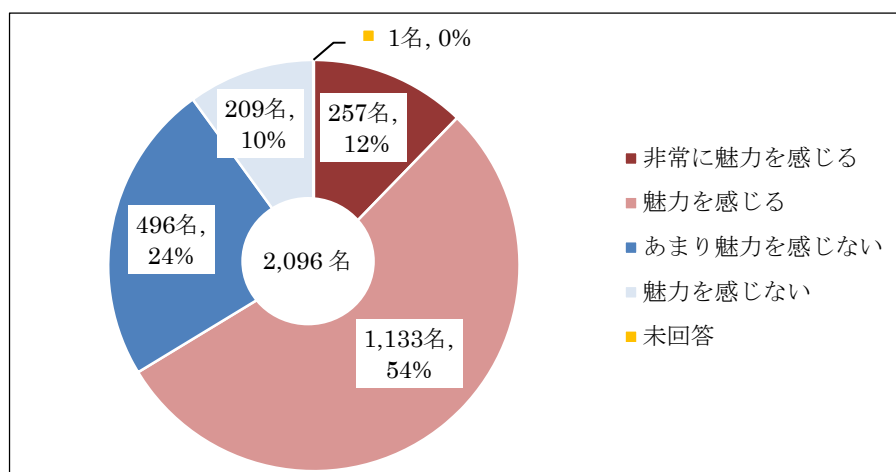
イ) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

上述の「ア 定員充足の見込み」に示した、『理工学域「新 7 学類」に関するアンケート』による調査の結果、表 2～表 6 のとおり回答を得た。

■定員充足の見込みの判断について■

“理学・工学分野の融合型教育”に魅力を感じるか調査したところ、表 2 のとおり結果が得られた。

表 2 “理学・工学分野の融合型教育”に魅力を感じるか



(出典：理数科クラスに所属する石川県内の高校 2 年生を対象としたアンケート調査)

これにより、改組後の「新 7 学類」のコンセプトである“理学・工学分野の融合型教育”は、約 70% の高校生が魅力を感じていることがわかった。

次に、進学先の分野として「理学または工学」を選択した回答者を対象に、本学の理工学域に進学すると仮定した場合、どの学類を志望したいと思うか調査したところ、表 3 のとおり結果が得られた。

表 3 どの学類を志望したいと思うか

学類	回答者数
数物科学類	163 名
物質化学類	109 名
機械工学類	252 名
フロンティア工学類	83 名
電子情報通信学類	194 名
地球社会基盤学類	212 名
生命理工学類	113 名
合計	1,126 名

(出典：理数科クラスに所属する石川県内の高校 2 年生を対象としたアンケート調査)



過去の入試実績を踏まえると、石川県内からの入学志願者数が全体の約 30%であることから、石川県内の高校生を対象として実施したアンケート調査をもとに、改組後の入学定員の 30%を対象として分析した。

また、表 3 の回答は、「本学の理工学域に進学すると仮定した場合」としているため、1,126 名には、他大学等への入学志願者も含まれる。アンケートを実施した石川県内 16 の高校の過去の入試実績を踏まえると、対象者の約半数が本学を志願しており、アンケートの実施校から本学への入学志願者数は表 4 のとおり想定される。

表 4 石川県内（アンケート実施校：16 校）からの入学志願者数の想定

学類	入学定員*30%	想定される 本学への志願者数
数物科学類	25 名	82 名
物質化学類	24 名	55 名
機械工学類	30 名	126 名
フロンティア工学類	33 名	42 名
電子情報通信学類	24 名	97 名
地球社会基盤学類	30 名	106 名
生命理工学類	18 名	57 名
合計	184 名	565 名

※小数点以下は四捨五入

学類ごとにばらつきはあるものの、改組後の理工学域において設定した入学定員については、適切な選抜がなされた上で、安定的に確保することが可能であると判断できる。

なお、フロンティア工学類の志願者数が他の学類に比して少ないが、これは、今までにないコンセプト及び教育方法（プログラム制等）を導入する学類であるため、書面でのアンケート調査では、高校生の理解が十分に得られなかったと思われる。そのため、工学系を志望する学生は、他の工学系の学類（機械工学類及び電子情報通信学類）に集中したと考えられるが、この点については、新たな入試制度の導入【補足 1】及び丁寧な説明【補足 2】により、改善されると考える。

以上より、石川県内からの進学者について定員充足の見込みが立ったが、県外からの入学志願者でも同じような結果が得られると推察される。

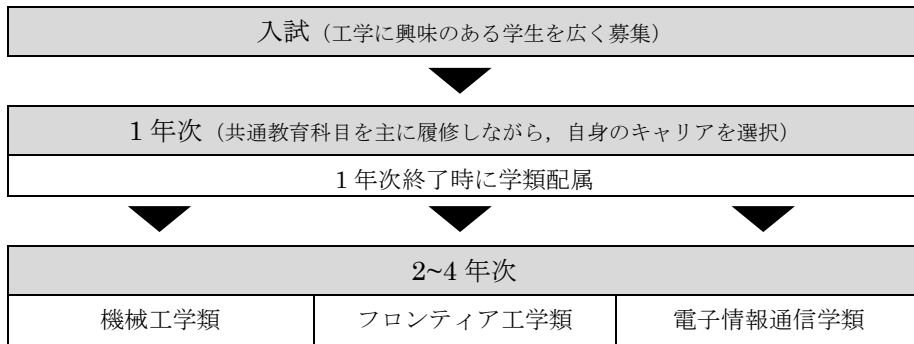
よって、改組後の理工学域において設定した入学定員については、適切な選抜がなされた上で、安定的に確保することが可能であり、十分な定員充足の見込みが立つと判断される。

【補足1】

フロンティア工学類では、従来の分野（機械、電気、化学等）だけでは解決できない諸問題を分野融合することにより、工学の未踏領域を開拓していくことを目指し、他の工学系の学類（機械工学類及び電子情報通信学類）では、それぞれの分野の専門家を目指す。

このようなコンセプトを十分に理解し、学生自身が適切なキャリア選択を行えるよう、本学では、工学系3学類による一括入試を実施し、2年次から学類に配属することとしている。

《参考》工学系3学類：入試～学類配属イメージ



以上を踏まえ、工学系3学類で表4を見ると、表5のとおりとなる。

表5 石川県内（アンケート実施校：16校）からの入学志願者数の想定【工学系3学類】

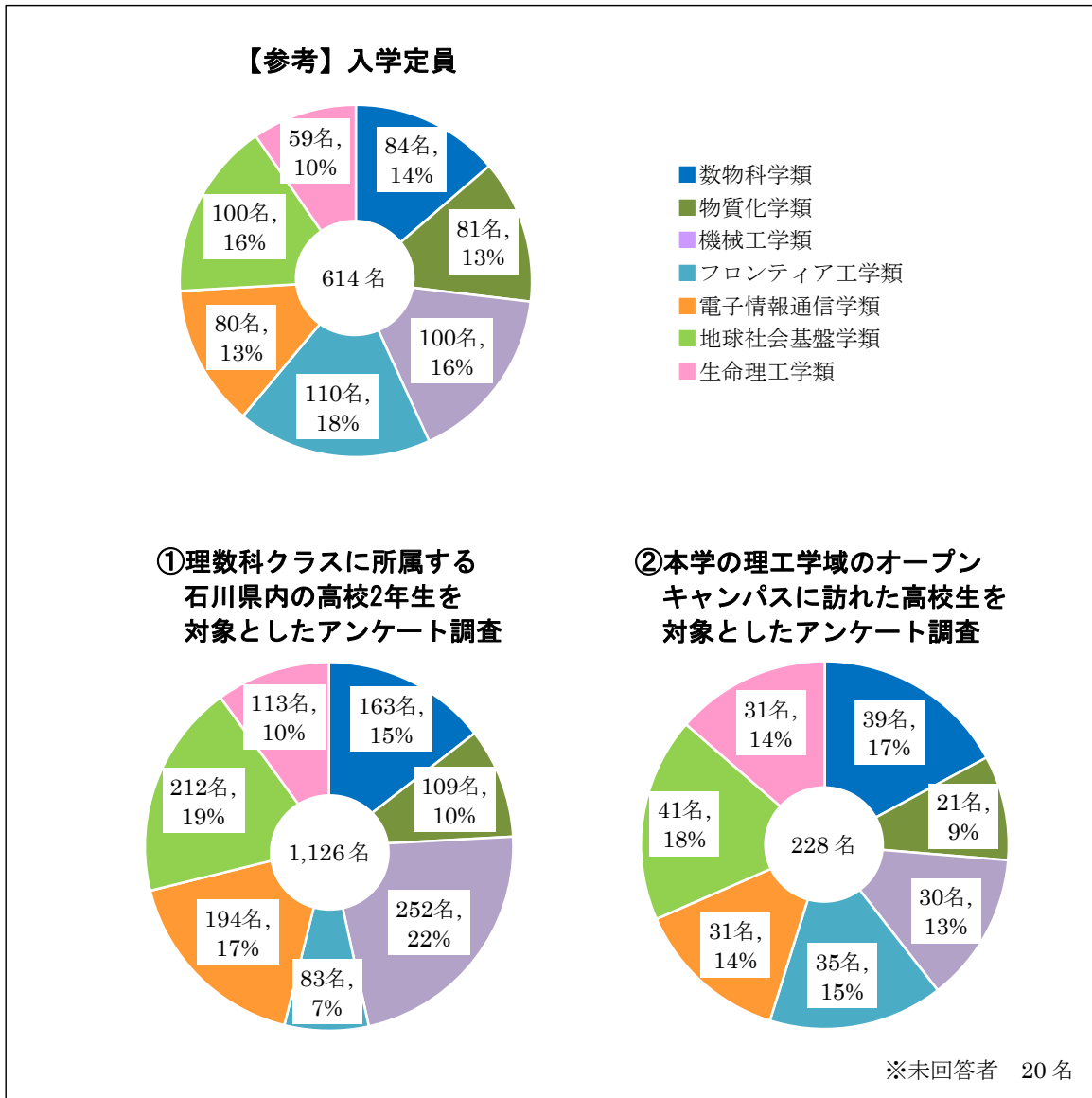
学類	入学定員*30%	想定される本学への志願者数
機械工学類	87名	265名
フロンティア工学類		
電子情報通信学類		

このことから、工学系3学類においても、設定した入学定員については、適切な選抜がなされた上で、安定的に確保することが可能であると判断できる。

【補足2】

アンケート調査で高校生に、「どの学類を志望したいと思うか」聞いたところ、表6のとおり結果が得られた。

表6 どの学類を志望したいと思うか



設定した入学定員の割合をもとに分析したところ、①ではフロンティア工学類の志望者の割合が7%と低いですが、②では15%と高くなっている。これは、①では書面による簡単な説明のみだったため、今までにないコンセプト及び教育方法（プログラム制等）の魅力が高校生に十分伝わらなかったが、②ではオープンキャンパスに訪れた学生に説明の上実施したため、このような差が生じたと考えられる。

よって、今後、「新7学類」についての説明を更に丁寧に行っていくことにより、改組後の理工学域において設定した入学定員については、適切な選抜がなされた上で、安定的に確保することが可能であり、十分な定員充足の見込みが立つと判断される。

## ■編入学定員について■

理工学域における今回の改組にあたり、これまで学域共通としていた 3 年次編入学定員 40 名について、改組後の入学定員及び過去の編入学者数の実績等を踏まえ、以下のとおり、学類ごとに設定した。なお、既設の編入学定員との比較については、表 7 のとおりである。

表 7 編入学定員

〔既設〕			〔改組後〕	
理工学域			理工学域	
数物科学類	学域共通 40 名		数物科学類	5 名
物質化学類			物質化学類	4 名
機械工学類			機械工学類	10 名
電子情報学類			フロンティア工学類	5 名
環境デザイン学類			電子情報通信学類	7 名
自然システム学類			地球社会基盤学類	7 名
合計	40 名		生命理工学類	2 名
			合計	40 名

これまで、理工学域においては、編入学の定員を学域共通としつつも、志願者に対し、志望学類及び志望コースを提示させている。よって、平成 28 年度及び平成 29 年度における学類及びコースごとの編入学志願者数をもとに、改組後の学類における志願者数を表 8 のとおり想定し、定員充足の見込みについて以下のとおり示す。

数物科学類、物質化学類については、改組しておらず、これまで同様、十分な志願者が見込まれる。

改組後の機械工学類、フロンティア工学類及び電子情報通信学類においては、これまで、機械工学類、電子情報学類の大部分及び自然システム学類の一部を志願していた者が志願すると見込まれ、過去の志願実績を踏まえると、十分な志願者が確保できる。

改組後の地球社会基盤学類においては、これまで、環境デザイン学類及び自然システム学類の一部を志願していた者が志願すると見込まれ、過去の志願実績を踏まえると、十分な志願者が確保できる。

改組後の生命理工学類においては、これまで、電子情報学類の一部及び自然システム学類の大部分を志願していた者が志願すると見込まれ、過去の志願実績を踏まえると、十分な志願者が確保できる。

以上により、編入学に係る定員充足の見込みについて、過去 2 年の理工学域における編入学の志願状況から、適切な選抜がなされた上で、安定的に確保することが可能であり、十分な定員充足の見込みが立つと判断される。

表8 改組後の学類における編入学志願者数の想定

〔改組後〕

学類	編入学定員
数物科学類	5名
物質化学類	4名
機械工学類	10名
フロンティア工学類	5名
電子情報通信学類	7名
地球社会基盤学類	7名
生命理工学類	2名

〔既設〕

学類	志願者数 (過去2年平均)
数物科学類 数学コース 物理学コース 計算科学コース	29名
物質化学類 化学コース 応用化学コース	18名
機械工学類 機械システムコース 知能機械コース 人間機械コース エネルギー環境コース	67名
電子情報学類 電気電子コース 情報システムコース	
自然システム学類 物質循環工学コース	
環境デザイン学類 土木建設コース 環境・防災コース 都市デザインコース	13名
自然システム学類 地球学コース	
電子情報学類 生命情報コース	8名
自然システム学類 生物学コース バイオ工学コース	

※小数点以下は四捨五入

ウ) 学生納付金の設定の考え方

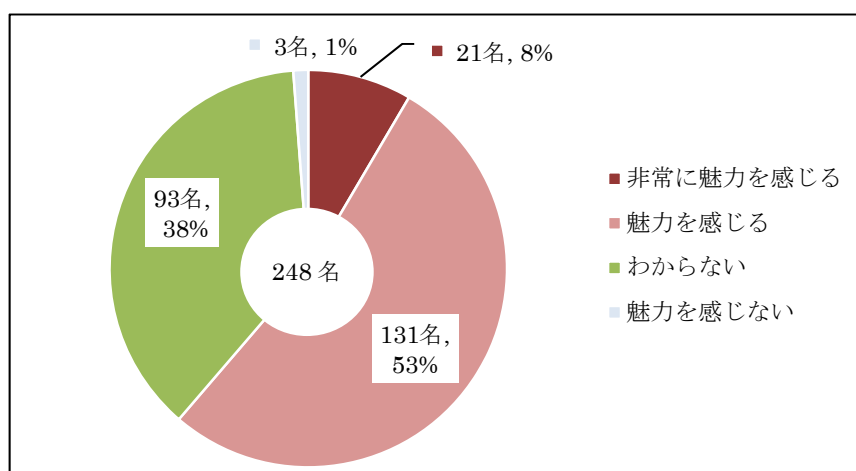
学生納付金については、国立大学等の授業料その他の費用に関する省令（平成16年3月31日文科省令第16号）に基づき、同省令に掲げる授業料、入学料及び検定料の額を標準とし、本学において設定する。

## ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

本学では、学生募集の専門部署として入試課を、広報の専門部署として広報室を設置し、全学の学生募集・広報活動を統括しているほか、個々の学域・学類においても委員会を設置し、広報活動を展開している。

平成28年度のオープンキャンパスでは、「構想中」と明記した上で、新学類の紹介パンフレットを作成し、平成30年度に予定している理工学域改組について高校生に周知するとともに、ニーズ把握のためのアンケートを実施した。その結果、約6割の高校生が、新7学類に「非常に魅力を感じる」または「魅力を感じる」という回答であった（表9）。今後、新学類に関する丁寧な広報活動を行うことで、高校生の各学類のコンセプト等の理解が一層深まることが想定されるため、十分な受験生及び入学学生の確保が見込まれる。

表9 新7学類に魅力を感じるか



(出典：本学の理工学域のオープンキャンパスに訪れた高校生を対象としたアンケート調査)

なお、今後の新学類に関する広報活動として、入試課及び広報室の下、対象者のニーズ等を踏まえた広報行事を実施する予定であるほか、理工学域の学生募集活動を担う委員会である「学生募集・広報委員会」の下、新学類の学生募集・広報活動に用いるパンフレットの作成や、Webサイトの構築に着手している。さらに、学生募集・広報委員が北陸三県の高等学校へ出向き、新学類に関する説明を行うことを予定しており、新学類のコンセプト等の詳細までを含め、その認知度を高めるための取組みを行うこととしている。

また、今回の改組では、これまでの入試の枠組みを見直し、「工学系3学類（機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類）前期一括入試（以下、「3学類前期一括入試」という。）」を導入する。これは、「工学系に進学したい気持ちはあるものの、詳しい内容が分からず具体的な学類を決めかねている。」といった受験者のニーズに対応するための制度である。3学類前期一括入試制度の導入により、当該学生は1年をかけて工学系3学類の基礎を学んだ上で、自分の希望学類へ2年次から配属されるため、受験生にとっては、入学後のミスマッチや不本意入学を避けることができるという観点から、魅力を感じるものと考えられる。

このような、新しい入試制度を含めた新学類に関する広報活動を丁寧に行うことにより、十分な受験生及び入学学生の確保が見込まれると判断される。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

#### ア) 養成する人材像

##### 【理工学域】

基礎科学と工学の先進的な研究を通して理工学の高度な専門知識を育み、高い倫理性と豊かな教養を備え、課題探究能力と国際感覚をもって自然環境と調和のとれた科学と技術の発展を目指し、人類の幸福のため世界で活躍する個性輝く人材を養成することを目的とする。

さらに「ミッションの再定義」を踏まえ、グローバルに活躍できる理工系人材の育成を目指して、社会の要請に応じた教育組織に改組することで、世界規模での課題発見・解決等が可能な人材を養成する。

##### 【機械工学類】

高度化、精密化、知能化、学際化するものづくりに対して、自然環境との調和を図りながら工業・産業の広い分野で活躍できる技術者・研究者の養成

##### 【フロンティア工学類】

先進的かつ安全な近未来人間社会を創造するために、電子情報工学、機械工学、物質工学の知と技を結集して、ナノの世界から宇宙空間までを対象とした様々な未踏領域を切り拓き、工学の飛躍的發展を牽引していくエンジニアや研究者の養成

##### 【電子情報通信学類】

電気電子・情報通信工学の専門的な知識と技術を基に、これらが必要とされる様々な分野において、深い洞察力と広い視野により最先端の技術課題を解決し、高い倫理観を持ちながら、社会の持続的な発展に貢献できる技術者・研究者の養成

##### 【地球社会基盤学類】

地球環境科学及び土木都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識を身に付けた、高度な学理探求を目指す研究者、地球環境の課題解決や人々の豊かな生活と持続的發展を志向する安全で安心な社会の基盤づくりを担う技術者、ならびに次世代の人材育成を担う教育者の養成

##### 【生命理工学類】

生物学、バイオ工学及びそれらを支援する生命情報学の観点から、生命と生態系システムの構築と作動原理を解き明かす研究者と、水産業を含む様々なバイオ関連産業に貢献する新技術を開発する技術者、及び次世代の人材を育成する教育者の養成

#### イ) 主要研究分野

- ・工学分野では、最先端工学に関する学類を設置する。特に、工学の新たな領域を切り拓く、知能ロボット、ヴィークルオートメーションなどに関する教育を一層充実させ、新たな産業を担う人材の育成に注力する。また、電気電子工学のみならず、情報通信工学に係る分野を更に強化する。
- ・理学・工学融合型分野では、バイオ工学や生命情報学を基軸とした学類を設置する。特に、石川県の地域特性（沿岸海域）を生かした海洋生物資源に関する教育を充実させ、地域に密着した新技術・新産業を創出できる人材の育成に注力する。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

今回改組する5学類のうち、特に大きく変革する「フロンティア工学類」、「地球社会基盤学類」、「生命理工学類」に関し、社会的、地域的な人材需要のニーズを客観的に把握するため、2016年9月から2017年1月にかけて、各学類が就職先として想定する民間企業、行政機関等を対象にアンケートを実施し、それぞれ表10、表11、表12のとおり回答を得た。

【フロンティア工学類】

フロンティア工学類の創設理念である「工学系の異分野連携により、機械、電気電子、物質工学の先端技術を結集し、近未来社会を切り拓く人材を育成する」ことについて、アンケート調査を行った25社のうち20社が、企業が大学に求める理念と「大いに一致する」または「一致する」と回答し、本学類の教育指針である「工学系異分野での専門教育を受けた上で専門性を高めるカリキュラム」について、25社のうち22社が、他分野の科目を履修することは「大いに望まれる」または「重要である」と回答している。

また、こうした理念や教育指針(カリキュラム)の下で育成するフロンティア工学類の学生(卒業生)については、アンケート調査を行った25社のうち15社が、「ぜひ採用したい」または「積極的に採用したい」と回答している。

したがって、フロンティア工学類で養成する人材は、人材需要の動向等、社会の要請を的確に踏まえたものである。

表10 フロンティア工学類企業アンケート結果

調査依頼先	25社(トヨタ自動車, コマツ, 本田技研工業(株), パナソニック(株), 三菱電機(株), デンソー (ほか))		
〈質問1〉学類創設理念である「工学系の異分野連携により、機械、電気電子、物質工学の先端技術を結集し、近未来社会を切り拓く人材を育成する」について			
企業が大学に求める理念とも大いに一致する	6社(24%)	} 20社(80%)	
企業が大学に求める理念と一致する	14社(56%)		
企業からの 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術革新のスピードが早い現代においては、大学時代に学んだ一分野の専門だけで企業での研究開発をずっと行うことはあり得ない。</li> <li>・企業でも分野横断的な視点や知識が必要になってきている。</li> </ul>		
〈質問2〉学類の教育指針である、工学系異分野での専門教育を受けた上で、専門性を高めるカリキュラムについて			
専門に限定せず、工学系他分野の科目を履修することは大いに望まれる	10社(40%)	} 22社(88%)	
他分野の科目を履修することは重要である	12社(48%)		
企業からの 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若いうちから幅の広い領域に目を向けることはこれからの企業人、特に経営管理者層にとっては重要である。</li> <li>・多角的な視野を持った人材が育まれることを期待する。</li> </ul>		
〈質問3〉このような理念、カリキュラムを履修した学生について			
ぜひ採用したい	4社(16%)	} 15社(60%)	
積極的に採用したい	11社(44%)		
企業からの 主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各基礎をしっかりと履修した学生を採用したいと考えている。</li> <li>・基礎学力と専門外の仕事にも対応できる柔軟性を重視する。</li> </ul>		



## 【地球社会基盤学類】

地球社会基盤学類の創設理念である「理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため、地球環境科学や土木都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い、地域からグローバルまで、さまざまな局面において、社会をリードする人材を育成する」ことについて、アンケート調査を行った行政機関 39 機関すべてと、民間企業 34 社のうち 33 社が、大学に求める理念と「大いに一致する」または「一致する」と回答し、本学類の教育指針である「理学系・工学系異分野の専門科目の選択も可能としたカリキュラム」について、行政機関 39 機関すべてと、民間企業 34 社のうち 31 社が、他分野の科目を履修することは「大いに望まれる」または「重要である」と回答している。

また、こうした理念や教育指針（カリキュラム）の下で育成する地球社会基盤学類の学生（卒業生）については、アンケート調査を行った行政機関 39 機関のうち 21 機関と、民間企業 34 社のうち 29 社が、「ぜひ採用したい」または「積極的に採用したい」と回答している。

したがって、地球社会基盤学類で養成する人材は、人材需要の動向等、社会の要請を的確に踏まえたものである。

表 1 1 地球社会基盤学類 行政・企業アンケート結果

調査依頼先	行政機関 39 機関（国土交通省北陸地方整備局，石川県土木部，富山県土木部，金沢市役所，福井市役所，高岡市役所 ほか） 民間企業 34 社（応用地質，ナチュラルコンサルタント，伊藤忠石油開発，ホクコク地水，JOGMEC ほか）		
〈質問 1〉学類創設理念である「理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため、地球環境科学や土木都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い、地域からグローバルまで、さまざまな局面において、社会をリードする人材を育成する」について			
行政	大学に求める理念とも大いに一致する	9 機関 (24%)	} 39 機関 (100%)
	大学に求める理念と一致する	30 機関 (76%)	
民間	大学に求める理念とも大いに一致する	22 社 (66%)	} 33 社 (97%)
	大学に求める理念と一致する	11 社 (31%)	
〈質問 2〉学類の教育指針である、理学系・工学系異分野の専門科目の選択も可能としたカリキュラムについて			
行政	理学系・工学系他分野の多様な科目を履修することは大いに望まれる	10 機関 (26%)	} 39 機関 (100%)
	他分野の科目を履修することは重要である	29 機関 (74%)	
民間	理学系・工学系他分野の多様な科目を履修することは大いに望まれる	16 社 (47%)	} 31 社 (91%)
	他分野の科目を履修することは重要である	15 社 (44%)	
〈質問 3〉このような理念、カリキュラムを履修した学生について			
行政	ぜひ採用したい	4 機関 (11%)	} 21 機関 (53%)
	積極的に採用したい	17 機関 (42%)	
民間	ぜひ採用したい	20 社 (63%)	} 29 社 (89%)
	積極的に採用したい	9 社 (26%)	

## 【生命理工学類】

生命理工学類の創設理念である「理工における生命関連の分野を結集することにより、生命の探究と利用において革新的な進展をもたらす、近未来社会を切り拓く人材を育成する」ことについて、アンケート調査を行った 15 社すべてが、企業が大学に求める理念と「大いに一致する」または「一致する」と回答し、本学類の教育指針である「理工双方の基礎教育を受けた上で、理工それぞれのコースで専門性を高めるカリキュラム」について、15 社のうち 13 社が、「良い方針である」と回答している。

また、こうした理念や教育指針（カリキュラム）の下で育成するフロンティア工学類の学生（卒業生）については、アンケート調査を行った 15 社のうち 8 社が、「ぜひ採用したい」または「積極的に採用したい」と回答している。

したがって、生命理工学類で養成する人材は、人材需要の動向等、社会の要請を的確に踏まえたものである。

表 1 2 生命理工学類企業アンケート結果

調査依頼先	15 社（花王株式会社, (株)ハウス食品, 株式会社資生堂, 塩野義製薬株式会社, 日本水産(株), 株式会社スギヨ ほか）		
〈質問 1〉学類創設理念である「理工における生命関連の分野を結集することにより、生命の探究と利用において革新的な進展をもたらす、近未来社会を切り拓く人材を育成する」について			
企業が大学に求める理念とも大いに一致する	2 社 (15%)	} 15 社 (100%)	
企業が大学に求める理念と一致する	13 社 (85%)		
〈質問 2〉学類の教育指針である、理工双方の基礎教育を受けた上で、理工それぞれのコースで専門性を高めるカリキュラムについて			
良い教育方針である	13 社 (85%)		-
〈質問 3〉このような理念、カリキュラムを履修した学生について			
ぜひ採用したい	2 社 (15%)	} 8 社 (54%)	
積極的に採用したい	6 社 (39%)		

以上のアンケート調査結果により、各学類において養成する人材は、社会的、地域的な人材需要のニーズを的確に踏まえたものであると判断される。

(参考)

<入学者のニーズ調査>

○『理工学域「新7学類」に関するアンケート』【別添参考資料】

調査方法：郵送調査

期 間：2016年12月～2017年1月

対 象：理数科クラスに所属する石川県内の高校2年生（16校，2,096名）

○『理工学域「新7学類」に関するアンケート』

調査方法：会場調査

期 間：2016年8月

対 象：本学の理工学域のオープンキャンパスに訪れた高校生（248名）

<社会的需要に関するニーズ調査>

○企業，行政等へのアンケート調査

調査方法：電子メールによる調査

期 間：①フロンティア工学類 2016年9月

②地球社会基盤学類・生命理工学類 2016年12月～2017年1月

対 象：各学類が就職先として想定する民間企業，行政機関等

## 金沢大学 理工学域「新7学類」に関するアンケート



金沢大学理工学域は、理学・工学分野の融合型教育を一層進め、世界で活躍する人材養成をはかるため、平成30年度より、これまでの6学類(一般的な「学部」に相当します。)から、**新7学類** (数物科学類・物質化学類・機械工学類・フロンティア工学類(仮称)・電子情報通信学類(仮称)・地球社会基盤学類(仮称)・生命理工学類(仮称))に、再編します。

この新7学類をスタートするにあたり、高校生の皆様からの意見を参考にしたいと考えています。  
以下のアンケートにご協力ください。

金沢大学理工学域長

性別： 男 ・ 女

※ ご自身の現在の状況や考えに、もっとも当てはまると思う「番号(数字)」を、右の□の中に記入してください

**Q1. 金沢大学の理工学域が、平成30年度から「新7学類」に変わることを、以前から知っていましたか？**

1. 知っていた 2. 知らなかった

Q1

**Q2. 「新7学類」のコンセプトである“理学・工学分野の融合型教育” (科学的真理の探究から工学的な実社会への応用まで、様々な学問知識や手法を学べる教育) に、魅力を感じますか？**

1. 非常に魅力を感じる 2. 魅力を感じる 3. あまり魅力を感じない 4. 魅力を感じない

Q2

**Q3. 大学に進学する場合に、進学先の分野(学部)として、どこを考えていますか？**

1. 理学または工学の分野 2. その他(文系分野、保健・医療系分野など)

1. を選択した方は、Q4. とQ5. についても回答をお願いします  
2. を選択した方は、ここでアンケート終了です。ありがとうございました

Q3

**Q4. Q3で「1」を選択された方にお伺いします。**

金沢大学の理工学域に進学すると仮定した場合、どの学類を志望したいと思えますか？  
以下の表の各学類の概要等を踏まえて、もっとも当てはまるものを1つ選択してください。

1. 数物科学類 2. 物質化学類 3. 機械工学類 4. フロンティア工学類  
5. 電子情報通信学類 6. 地球社会基盤学類 7. 生命理工学類

Q4

学類名 (該当分野)	学類の概要	属するコース等
1. 数物科学類 (理学)	自然科学の基盤となる「数学」、「物理学」や、コンピューターシミュレーションに関して学び、科学技術に関する根源的な理解力と、具体的な応用・発展能力を養う学類です。	・数学コース ・物理学コース ・計算科学コース
2. 物質化学類 (理学・工学)	「化学」への探求を通じて、物質の構造や性質、あるいは物質相互の反応を理解し、科学技術の発展と充実に貢献することができる技術・能力を養う学類です。	・化学コース ・応用化学コース
3. 機械工学類 (工学)	機械の設計や加工、制御、エネルギーなどに関する素養を身に付け、自然環境との調和を図りながら、高度な「ものづくり」ができる技術・能力を養う学類です。	・機械創造コース ・エネルギー機械コース ・機械数理コース
4. フロンティア工学類 (工学)	「機械」、「電気」、「化学」など、工学の基礎部分を幅広く学んだ上で、様々な知識や手法を組み合わせ、近未来社会を支える新テクノロジーを創造できる技術・能力を養う学類です。	※ 複数の「科目パッケージ」を自由に組み合わせる「プログラム制」を採用
5. 電子情報通信学類 (工学)	「電気」、「磁気」、「光(電磁波)」や、「情報通信」についての知識と実践力を身に付け、持続・発展が可能な高度情報化社会を支える技術・能力を養う学類です。	・電気電子コース ・情報通信コース
6. 地球社会基盤学類 (理学・工学)	「地学(地球惑星科学)」や「土木・都市工学」に関わる幅広い知識を身に付け、安全で安心な社会の基盤づくりを担う技術・能力を養う学類です。	・地球惑星科学コース ・土木防災コース ・環境都市コース
7. 生命理工学類 (理学・工学)	「生物学」と「バイオ工学」の観点から、生命現象や生態系システムの原理を探求し、水産業を含む様々なバイオテクノロジーの発展に貢献できる技術・能力を養う学類です。	・生命システムコース ・海洋生物資源コース ・バイオ工学コース

**Q5. Q3で「1」を選択された方にお伺いします。**

今の時点で、どのような職業に就職したいと考えていますか？もっとも当てはまるものを1つ選択してください。

1. 民間企業のエンジニア(技術者) 2. 民間企業のエンジニア以外  
3. 大学の教員や、研究所等の研究者 4. 公務員(中学や高校の先生を含む)  
5. その他(1~4以外の職業) 6. まだ決めていない、わからない

Q5

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。